

**EPSON**  
EXCEED YOUR VISION

# 取扱説明書

ビジネスプロジェクター

EB-1430WT

EB-1420WT

## マニュアル中の表示の意味

### • 安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### • 一般情報に関する表示

 <b>注意</b>	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。  「用語解説」 p.254
<b>【表記名】</b>	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：【戻る】ボタン
[メニュー名]	環境設定メニューの項目を示しています。 例： [画質調整]から[明るさ]を選びます。 [画質調整] - [明るさ]

## マニュアル中の表示の意味 ..... 2

### はじめに

#### 本機の特長 ..... 9

- インタラクティブ機能 (Easy Interactive Function) ..... 9
- コントロールパッドでかんたん操作 ..... 9
- 2種類の映像を同時に投写 (2画面) ..... 9
- ネットワークに接続してコンピューターの画面を投写 ..... 10

#### 各部の名称と働き ..... 11

- 前面/側面 ..... 11
- 上面/側面 ..... 12
- インターフェイス ..... 13
- 底面 ..... 15
  - フットの取り付け (フット同梱機種のみ) ..... 16
- 操作パネル ..... 16
- リモコン ..... 17
  - リモコンの電池交換 ..... 20
  - リモコンの操作可能範囲 ..... 21
- Easy Interactive Pen ..... 22
  - Easy Interactive Penの電池交換 ..... 23
  - Easy Interactive Penのペン先交換 ..... 24
- ペントレイ ..... 24
- コントロールパッド ..... 25
  - コントロールパッドの電池交換 ..... 26
- タッチユニット (EB-1430WTのみ) ..... 28
  - 前面 ..... 28
  - 背面 ..... 28

### 準備

#### 設置する ..... 31

- いろいろな設置方法 ..... 31
- インタラクティブ機能を使用するとき ..... 32

- タッチユニットの設置 (EB-1430WTのみ) ..... 33

#### 接続する ..... 34

- プロジェクターに接続する ..... 36
  - コンピューターの接続 ..... 37
  - スマートフォン/タブレット端末の接続 ..... 39
- 映像機器の接続 ..... 40
- USB機器の接続 ..... 42
- 外部機器の接続 ..... 44
- LANケーブルの接続 ..... 46
- 無線LANユニットの取り付け ..... 47
- 複数台のプロジェクターを接続する ..... 48
- コントロールパッドに接続する ..... 50
  - USBディスプレイで投写するとき/インタラクティブ機能でマウス操作を行うときの接続 ..... 50
  - PC Free時の接続 ..... 52
  - プリンターの接続 ..... 53

### 基本的な投写方法

#### 投写する ..... 55

- 設置から投写までの流れ ..... 55
- 入力信号を自動検出して切り替える (入力検出) ..... 56
- USBディスプレイで投写する ..... 57
  - 必要な設定 ..... 57
  - 動作環境 ..... 57
  - 初めて接続したとき ..... 58
  - アンインストール ..... 60

#### 投写映像を調整する ..... 62

- 台形ゆがみを補正する ..... 62
  - タテヨコ補正 ..... 62
  - Quick Corner ..... 63
- 映像のサイズを調整する ..... 64
- 映像の位置を調整する (デジタルピクチャーシフト) ..... 65
- 映像の高さを調整する (フット同梱機種のみ) ..... 66
  - 映像の高さを上げる ..... 66

映像の高さを下げる	66
水平傾斜を調整する（フット同梱機種のみ）	66
ピントのズレを補正する	67
音量を調整する	69
画質を調整する	69
色相・彩度・明度の調整	69
ガンマの調整	69
映り具合を選ぶ（カラーモードの選択）	70
オートアイリス（自動絞り）を設定する	71
投写映像のアスペクト比を切り替える	71
切り替え方法	72
アスペクトモードを切り替える	72

## インタラクティブ機能

<b>インタラクティブ機能の概要</b>	<b>75</b>
インタラクティブ機能でできること	75
<b>インタラクティブ機能をご使用になる前に</b>	<b>77</b>
インタラクティブ機能を安全にお使いいただくために	77
Easy Interactive Penを使って操作する	77
ペン位置合わせ	79
指を使って操作する（EB-1430WTのみ）	83
指タッチ位置合わせ	84
指での操作を安全に行っていただくために	87
<b>ホワイトボードとして使用する（ホワイトボードモード）</b>	<b>89</b>
ホワイトボードモードの始め方	89
ホワイトボードモードのツールバー	91
ホワイトボードモードの下段ツールバー	93
スキャナーから紙資料を読み込む	95
ファイルを開いてホワイトボードモードに読み込む	96
ホワイトボードモードの描画内容を利用する	96
保存する（ホワイトボードモード）	96
印刷する（ホワイトボードモード）	98
メール送信する（ホワイトボードモード）	99
描画内容を他の機器と共有する	100

本機のホワイトボードを他の機器と共有する	101
他のプロジェクターのホワイトボードを閲覧する	103

## 投写した資料に描画する（アノテーションモード）

アノテーションモードの始め方	109
アノテーションモードのツールバー	110
アノテーションモードの下段ツールバー	112
アノテーションモードの描画内容を利用する	113
保存する（アノテーションモード）	113
印刷する（アノテーションモード）	113

## 投写画面でコンピューターの操作を行う（マウス操作）

マウス操作に切り替える	114
ペンの操作エリアを調整する	117
Easy Interactive Driverシステム動作条件（OS Xのみ）	118
Easy Interactive Driverをインストールする（OS Xのみ）	119

## モードを切り替える

## 投写画面からプロジェクターを操作する

プロジェクター制御ツール	121
ネットワーク経由で接続している機器の映像を投写する	121

## ネットワーク経由でインタラクティブ機能を利用する

EasyMP Network Projectionでサブネットの異なる場所にあるプロジェクターに接続する際のご注意	123
---	-----

## Windowsのペン入力とインクツール

Windowsのペン入力とインク機能を有効にする	125
Windowsのペン入力とインク機能を使用する	126

## 2画面投写時にインタラクティブ機能を利用する

2画面に切り替える	127
片方の画面でマウス操作を行う	128

## 便利な機能

### 投写機能 ..... 130

2種類の映像を同時に投写する(2画面) .....	130
2画面で投写できる入力ソース .....	131
操作方法 .....	132
2画面で投写中の制限事項 .....	134
USBストレージの画像を投写する (PC Free) .....	134
PC Freeで投写できるファイルの仕様 .....	135
PC Freeの利用例 .....	136
PC Freeの操作方法 .....	136
選択した画像・動画を投写する .....	138
PDFファイルを投写する .....	139
フォルダー内の画像ファイルを連続投写する (スライドショー) .....	141
画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定 .....	141
映像と音声を一時的に消す (A/Vミュート) .....	142
映像を停止させる (静止) .....	143
説明箇所を指し示す (ポインター) .....	143
映像を部分的に拡大する (Eズーム) .....	144
リモコンでマウスポインターを操作する (ワイヤレスマウス) .....	145
ユーザーロゴの登録 .....	147
ユーザーパターンの登録 .....	148

### セキュリティ機能 ..... 150

利用者を管理する (パスワードプロテクト) .....	150
パスワードプロテクトの種類 .....	150
パスワードプロテクトの設定方法 .....	150
パスワードの認証 .....	151
操作を制限する (操作ボタンロック) .....	152
盗難防止用ロック .....	153
ワイヤーロックの取り付け方 .....	153

### 監視と制御 ..... 155

EasyMP Monitorについて .....	155
Message Broadcastingについて .....	155
Webブラウザを使って設定を変更する (Web制御) .....	155
本機の設定 .....	155

Web制御画面を表示する .....	156
Web Remote画面を表示する .....	156
証明書の設定をする .....	158
アドレス帳を作成する .....	159
セキュアHTTPについての注意 .....	159
サポートする証明書の一覧 .....	159
メール通知機能で異常を通知する .....	160
異常通知メールの見方 .....	160
SNMPを使って管理する .....	161
ESC/VP21コマンド .....	161
コマンドリスト .....	161
ケーブル配線 .....	162
PJLinkについて .....	163
Crestron RoomView®について .....	163
コンピュータの画面上でプロジェクターを操作する .....	164
スケジュール設定 .....	167
時刻を設定する .....	167
スケジュールを登録する .....	169
スケジュールを確認する .....	170
スケジュールを編集する .....	171

## 環境設定メニュー

### 環境設定メニューの操作 ..... 174

### 機能一覧 ..... 175

環境設定メニュー一覧 .....	175
ネットワークメニュー .....	176
画質調整メニュー .....	177
映像メニュー .....	178
設定メニュー .....	180
拡張設定メニュー .....	181
Easy Interactive Functionの設定項目 .....	183
ホワイトボード設定画面 .....	185
ネットワークメニュー .....	189
ネットワークメニュー操作上のご注意 .....	190
ソフトキーボードの操作 .....	191

基本設定メニュー	191
無線LANメニュー	192
セキュリティーメニュー	194
有線LANメニュー	197
管理者設定メニュー	198
初期化メニュー	202
節電メニュー	202
情報メニュー（表示のみ）	203
初期化メニュー	204

## 複数台のプロジェクターを一括設定する ..... 205

## 困ったときに

### ヘルプの見方 ..... 207

### 故障かなと思ったら ..... 208

インジケーターの見方	208
インジケーターを見てわからないとき	212
映像に関するトラブル	213
映像が表示されない	213
動画が表示されない（動画の部分だけが黒くなる）	214
自動的に投写が消える	214
この信号は本プロジェクターでは受けられません。と表示される	214
映像信号が入力されていません。と表示される	215
ぼやける、ピントが合わない、ゆがむ	215
ノイズが入る、乱れる	216
マウスカーソルがちらつく（USBディスプレイ投写時のみ）	217
映像が切れる（大きい）、小さい、アスペクトが合っていない、反転している	217
色合いが違う	218
暗い	218
投写開始時のトラブル	219
電源が入らない	219
インタラクティブ機能に関するトラブル	220
プロジェクターの投写画面に描画できない	220
コンピューターと接続して投写画面上でコンピューターを操作できない	220

Easy Interactive Functionにエラーが発生しました。と表示される	221
コンピューターのマウスが正しく動作しない	221
Easy Interactive Penが動作しない	221
Easy Interactive Penの反応が遅い（USBディスプレイ投写時のみ）	222
指での操作（タッチ操作）がうまくできない（EB-1430WTのみ）	222
手動ペン位置合わせ時に、ドットが次の位置に移動しない/自動的に移動してしまう	223
共有が許可されたプロジェクターのホワイトボードに接続できない	223
共有しているホワイトボードの描画内容が他の機器のホワイトボードに反映されない	223
共有しているホワイトボードの画面をWebブラウザで保存できない	224
キャプチャー、印刷、または保存の操作中に操作できなくなった	224
キャプチャーした投写画面を正常に貼り付けられない	224
正常に印刷できない	225
正常にスキャンできない	225
時計がずれている、内部ストレージの設定が正しく反映されない	225
入力ソースの変更ができない	225
その他のトラブル	226
音が出ない・小さすぎる	226
音声にノイズが混ざる（USBディスプレイ投写時のみ）	226
リモコンで操作できない	227
メッセージやメニューの言語を変更したい	227
無線LANの認証設定ができない	227
プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない	228
時刻を保持する電池残量が低下しています。と表示される	228
Webブラウザを使って設定を変更できない	228

## Event IDについて ..... 229

## メンテナンス

### 各部の掃除 ..... 232

本機の掃除	232
投写窓の掃除	232
障害物検知センサーの掃除	232
エアフィルター掃除	233

### 消耗品の交換方法 ..... 236

ランプの交換 .....	236
ランプの交換時期 .....	236
ランプの交換方法 .....	237
ランプ点灯時間の初期化 .....	239
エアフィルターの交換 .....	240
エアフィルターの交換時期 .....	240
エアフィルターの交換方法 .....	240

## 付録

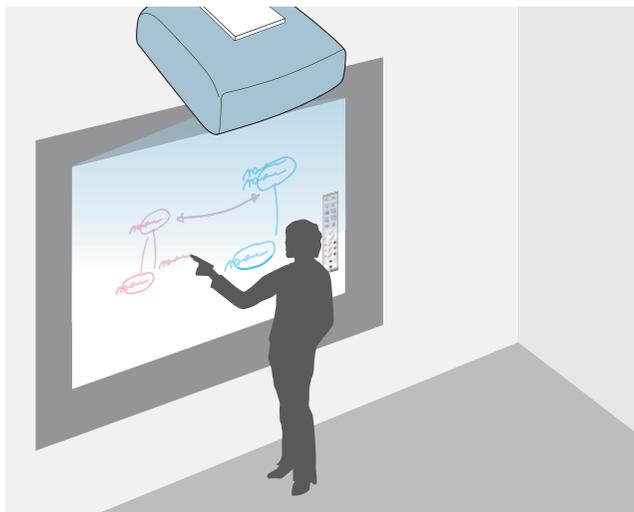
<b>オプション・消耗品一覧 .....</b>	<b>244</b>
オプション .....	244
消耗品 .....	244
<b>スクリーンサイズと投写距離 .....</b>	<b>245</b>
<b>対応解像度一覧 .....</b>	<b>247</b>
対応解像度 .....	247
コンピューター映像（アナログRGB） .....	247
コンポーネントビデオ .....	247
コンボジットビデオ .....	247
HDMI入力端子からの入力信号 .....	247
MHL入力端子からの入力信号 .....	248
<b>仕様一覧 .....</b>	<b>249</b>
本機仕様 .....	249
<b>外形寸法図 .....</b>	<b>252</b>
<b>用語解説 .....</b>	<b>254</b>
<b>一般のご注意 .....</b>	<b>256</b>
電波法による規制 .....	256
表記について .....	256
商標について .....	257



# はじめに

ここでは、本機の特長と各部の名称について説明しています。

## インタラクティブ機能(Easy Interactive Function)



電子ペン(Easy Interactive Pen)を使って、以下のことができます。

タッチユニットを取り付けると、指を使ってEasy Interactive Penと同じ操作ができます(EB-1430WTのみ)。

- ホワイトボードモード
  - ホワイトボードのような無地の画面に描画する
  - ホワイトボード画面を他の機器と共有する
  - 他のプロジェクターのホワイトボード画面を閲覧する
  - スキャナーから紙資料を読み込む
  - 投写画面を保存する
  - 投写画面を印刷する
  - 投写画面をメールに添付して送信する

- アノテーションモード
  - 投写した資料に描画する
  - 投写画面を保存する
  - 投写画面を印刷する
- 投写画面からコンピューターのマウス操作をする
- 投写画面からプロジェクターのリモコン操作をする
- 同梱のEasyMP Multi PC Projectionを使ってネットワーク接続している機器を、投写画面から選択して投写する
- 同梱のEasyMP Network ProjectionまたはQuick Wirelessを使って、ネットワーク経由でコンピューターを操作する
- ☛ 「インタラクティブ機能」 p.74

## コントロールパッドでかんたん操作

同梱のコントロールパッドを設置すると、電源のオン・オフや入力ソース切り替えなど、よく使う機能を手元で簡単に操作できます。また、USBストレージやプリンターのUSBケーブルなどを接続できます。

- ☛ 「コントロールパッド」 p.25
- ☛ 「コントロールパッドに接続する」 p.50

## 2種類の映像を同時に投写(2画面)

投写画面を2つに分割し、2種類の映像を並べて投写します。2つの入力ソースの画像を1つのスクリーンに同時に投写して、テレビ会議やプレゼンテーションの伝達力・提案力を高めます。

- ☛ 「2種類の映像を同時に投写する(2画面)」 p.130



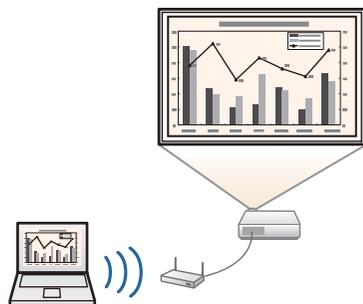
## ネットワークに接続してコンピューターの画面を投写

同梱のEPSON Projector Software CD-ROMに収録されている、EasyMP Network ProjectionやEasyMP Multi PC Projectionを使うと、以下のことができます。

### ● ネットワーク経由でプロジェクターを共用

EasyMP Network Projectionを使うと、プロジェクターをネットワークに接続して複数のコンピューターで共用できます。ケーブルをつなぎかえることなく、各コンピューターから映像や資料を投写できます。また、1台のコンピューターから複数台のプロジェクターへの投写もできます。

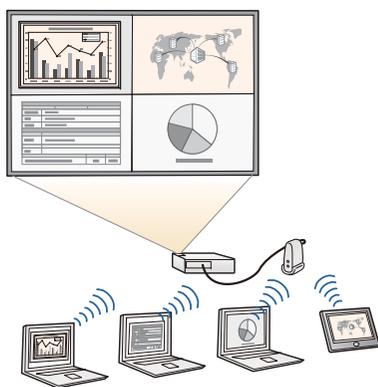
☞ 『EasyMP Network Projection操作ガイド』



### ● 複数のコンピューターの画面を同時に投写

EasyMP Multi PC Projectionを使うと、ネットワークに接続されたコンピューターや、Epson iProjectionがインストールされたスマートフォンやタブレット端末の画面を同時に4台まで投写できます。

☞ 『EasyMP Multi PC Projection操作ガイド』



### ● コンピューターの画面をワイヤレスで投写

同梱の無線LANユニットを本機に装着すると、無線LANネットワーク経由でコンピューターの画面を投写できます。

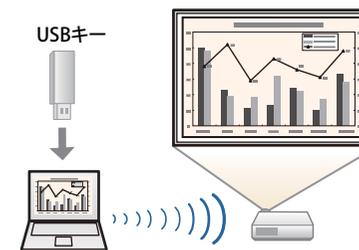
☞ 「無線LANユニットの取り付け」  
p.47



オプション品やアプリを活用すると、以下のことができます。

### ● コンピューターと簡単に接続できるクイックワイヤレス

オプションのクイックワイヤレス用USBキーをコンピューターに接続するだけで、無線LAN接続のネットワーク設定を自動化して、簡単にコンピューターの画面を投写できます (Windowsのみ)。

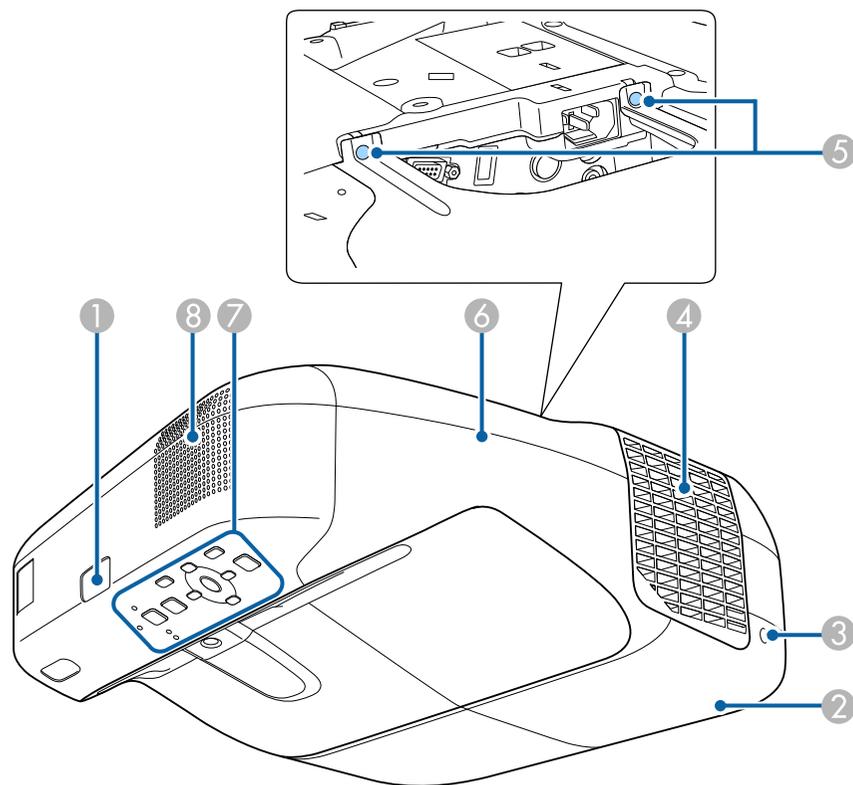


### ● 携帯端末の映像をネットワーク経由で投写

Epson iProjectionをスマートフォンやタブレット端末にインストールすると、端末内のデータをワイヤレスに投写できます。Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle playから無料でダウンロードできます。App Store、Google playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。



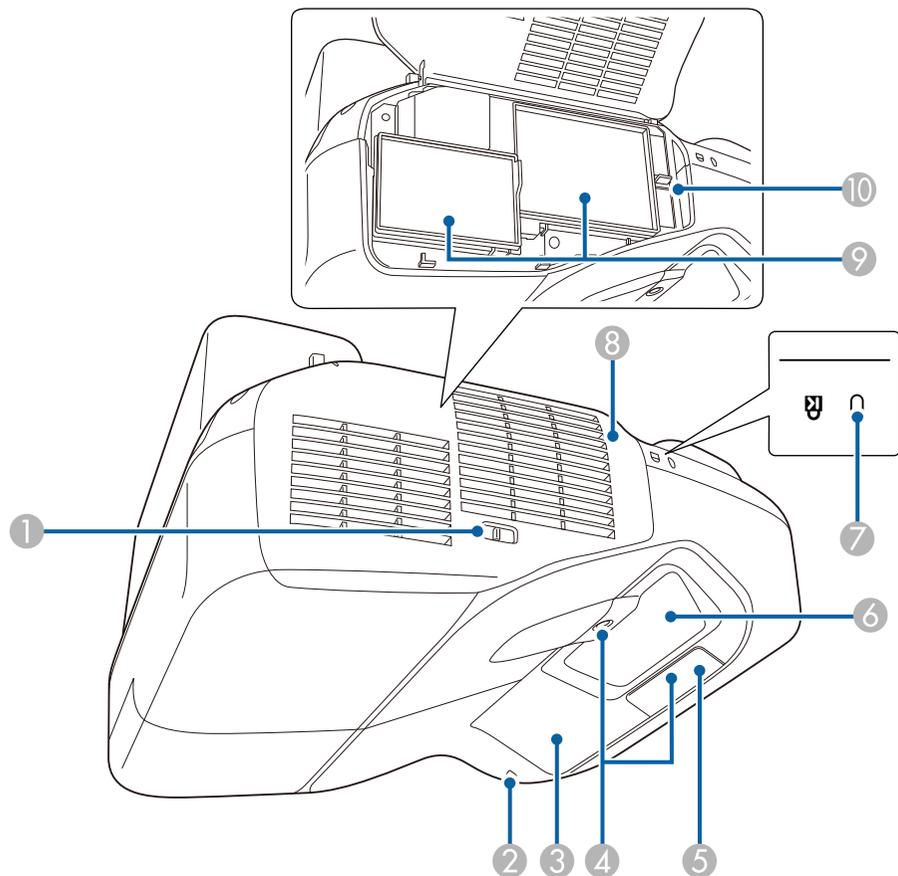
## 前面/側面



名称	働き
① リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
② ランプカバー	ランプ交換時に、このカバーを開けて中のランプを交換します。 ☛「ランプの交換」p.236
③ ランプカバー固定ネジ	ランプカバーを固定するネジです。 ☛「ランプの交換」p.236

名称	働き
④ 排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。 <b>⚠ 注意</b> 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。
⑤ ケーブルカバー固定ネジ	ケーブルカバーを固定するネジです。
⑥ ケーブルカバー	接続機器をケーブルで接続するときや無線LANユニットを装着するときに、ネジを2本ゆるめてカバーを開けます。
⑦ 操作パネル	本機の操作をします。 ☛「操作パネル」p.16
⑧ スピーカー	音声を出力します。

上面/側面

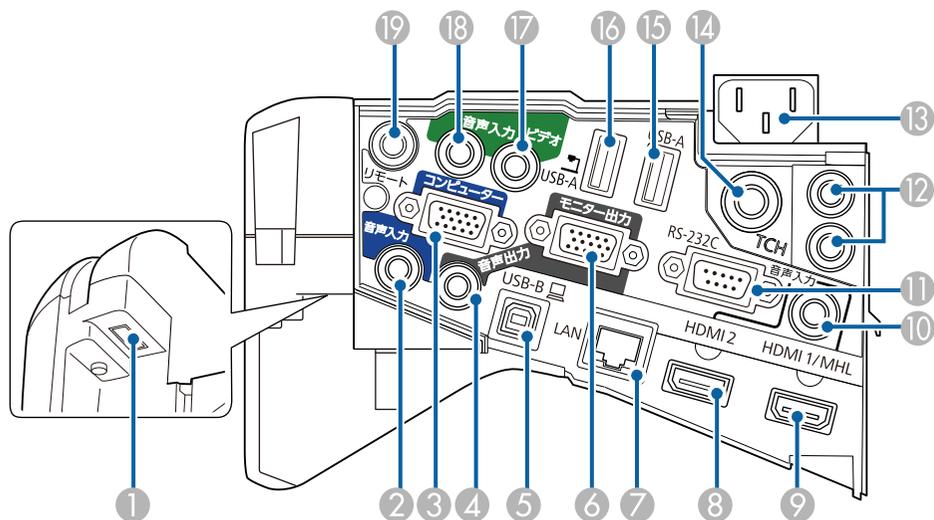


名称	働き
① エアフィルターカバー 開閉レバー	エアフィルターカバーの開閉時に操作します。
② 無線LANインジケータ	同梱の無線LANユニットのアクセス状況をお知らせします。
③ Easy Interactive Function受光部	Easy Interactive Penの信号を受信します。 ☛「インタラクティブ機能」 p.74

名称	働き
④ 障害物検知センサー	投写窓付近の障害物を検知します。 ☛「障害物検知センサーの掃除」 p.232
⑤ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
⑥ 投写窓	映像を投写します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>⚠ 警告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>投写中は投写窓をのぞかないでください。</li> <li>投写窓にものを置いたり、手を近づけたりしないでください。投写光が集束するため高温になり、やけどや変形、火災の原因になります。</li> </ul> </div>
⑦ セキュリティスロット	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。 ☛「盗難防止用ロック」 p.153
⑧ エアフィルターカバー	エアフィルターの交換時や、フォーカスレバーを操作するときはこのカバーを開けます。
⑨ 吸気口 (エアフィルター)	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。 ☛「エアフィルターの掃除」 p.233 ☛「エアフィルターの交換」 p.240
⑩ フォーカスレバー	映像のピントを合わせます。 エアフィルターカバーを開けて、操作します。

## インターフェイス

ケーブルカバーを外すと、以下の端子が装備されています。



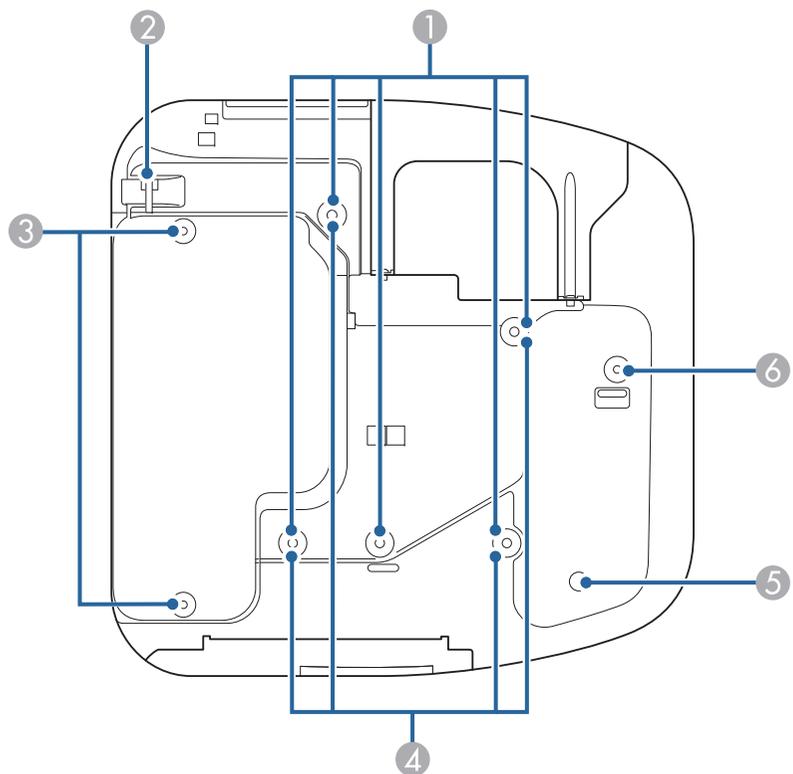
名称	働き
① 無線LANユニット装着部	同梱の無線LANユニットをここに装着します。 ☛「無線LANユニットの取り付け」 p.47
② 音声入力1端子	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンピューター入力端子に接続した機器の音声を入力します。</li> <li>• USB-A入力端子に接続した機器からの映像を投写しているときに、他の機器の音声を入力します。</li> </ul>
③ コンピューター入力端子	コンピューター映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。
④ 音声出力端子	現在投写している映像の音声を外部スピーカーに出力します。

名称	働き
⑤ USB-B端子	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 同梱のUSBケーブルでコンピューターと接続して、コンピューターの映像を投写します。 ☛「USBディスプレイで投写する」 p.57</li> <li>• ワイヤレスマウス機能を使うときに、同梱のUSBケーブルでコンピューターと接続します。 ☛「リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）」 p.145</li> <li>• Easy Interactive Penでマウスの操作をするときに、同梱のUSBケーブルでコンピューターと接続します。 ☛「投写画面でコンピューターの操作を行う（マウス操作）」 p.114</li> <li>• コントロールパッドにコンピューターを接続するときは、同梱のUSBケーブルでコントロールパッドと接続します。 ☛「コントロールパッドに接続する」 p.50</li> </ul>
⑥ モニター出力端子	コンピューター入力端子から入力しているアナログRGB信号を外部モニターに出力します。他の端子から入力している信号やコンポーネントビデオ信号は出力できません。
⑦ LAN端子	LANケーブルを接続して、ネットワークに接続します。
⑧ HDMI2入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信号を入力します。本機はHDCP▶▶に対応しています。 ☛「接続する」 p.34
⑨ HDMI1/MHL入力端子	<ul style="list-style-type: none"> <li>• HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信号を入力します。本機はHDCP▶▶に対応しています。</li> <li>• MHL▶▶ (Mobile High-definition Link)に対応したスマートフォンやタブレット端末の信号を入力します。</li> </ul>

名称	働き
⑩ 音声入力3端子	[拡張設定] - [A/V出力設定]で、[音声出力]、[HDMI1音声入力]、[HDMI2音声入力]のいずれかを[音声入力3]に設定したときに、この端子から音声が入力されます。 ☛ [拡張設定] - [A/V出力設定] p.181
⑪ RS-232C端子	コンピューターから本機を制御するときにRS-232Cケーブルでコンピューターと接続します。制御用の端子で通常は使用しません。 ☛ 「ESC/VP21コマンド」 p.161
⑫ SYNC IN/OUT端子	同じ部屋で本機を2台以上設置してインタラクティブ機能を使用するときに、オプションのワイヤードリモコンケーブル(ELPKC28)でプロジェクター同士を接続します。接続するとEasy Interactive Penの動作が安定します。 ☛ 「複数台のプロジェクターを接続する」 p.48
⑬ 電源端子	電源コードを接続します。 ☛ 「設置から投写までの流れ」 p.55
⑭ TCH 端子 (EB-1430WTのみ)	同梱のタッチユニット接続ケーブルでタッチユニットと接続します。 ☛ 『設置工事説明書』
⑮ USB-A端子	<ul style="list-style-type: none"> <li>• USBメモリーやデジタルカメラを接続し、PDFファイルや動画、画像をPC Freeで投写します。 ☛ 「USBストレージの画像を投写する (PC Free)」 p.134</li> <li>• USBメモリーを接続し、インタラクティブ機能の描画内容を保存したり読み込んだりします。 ☛ 「保存する (ホワイトボードモード)」 p.96 ☛ 「保存する (アノテーションモード)」 p.113</li> <li>• USBプリンターを接続できます。</li> <li>• コントロールパッドにUSBメモリーやプリンターを接続するときは、同梱のUSBケーブルでコントロールパッドと接続します。 ☛ 「コントロールパッドに接続する」 p.50</li> </ul>

名称	働き
⑯ USB-A端子 	オプションの書画カメラからの映像を投写します。他の機器からの投写はできません。
⑰ ビデオ入力端子	ビデオ機器のコンポジットビデオ信号を入力します。
⑱ 音声入力2端子	ビデオ入力端子に接続した機器の音声を入力します。
⑲ リモート端子	オプションのワイヤードリモコンケーブルでコントロールパッドと接続します。 ☛ 「コントロールパッド」 p.25

底面

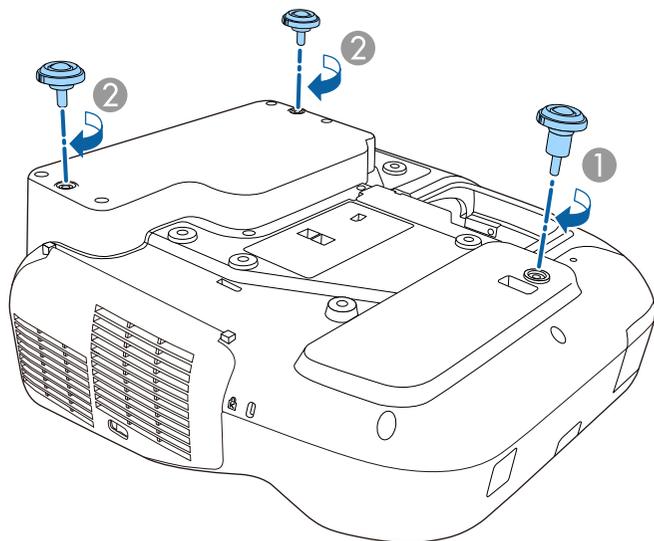


名称	働き
① 天吊り金具固定部(5箇所)	天井から吊り下げて使うときに、オプションの天吊り金具を取り付けます。 ☛「設置する」p.31 ☛「オプション」p.244
② セキュリティーケーブル取付け部	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。 壁掛けまたは天吊り設置するとき、落下防止用ワイヤー等はこの部分に通さないでください。 ☛「ワイヤーロックの取り付け方」p.153

名称	働き
③ リアフット取付け部(2箇所)	机などに置いて使用するとき、フットを取り付けます。(フット同梱機種のみ) ☛「フットの取り付け (フット同梱機種のみ)」p.16
④ 壁掛け金具固定部(4箇所)	壁に設置するとき、同梱またはオプションのセッティングプレートを取り付けます。 ☛「設置工事説明書」 ☛「オプション」p.244
⑤ 照度センサー	周囲の明るさを感知して、画面の明るさを自動で切り替えます。環境設定メニューで[明るさ切替]を[オート]に設定してください。 ☛「節電」-[明るさ切替] p.202
⑥ フロントフット取付け部	机などに置いて使用するとき、スペーサー付きのフットを取り付けます。(フット同梱機種のみ) ☛「フットの取り付け (フット同梱機種のみ)」p.16

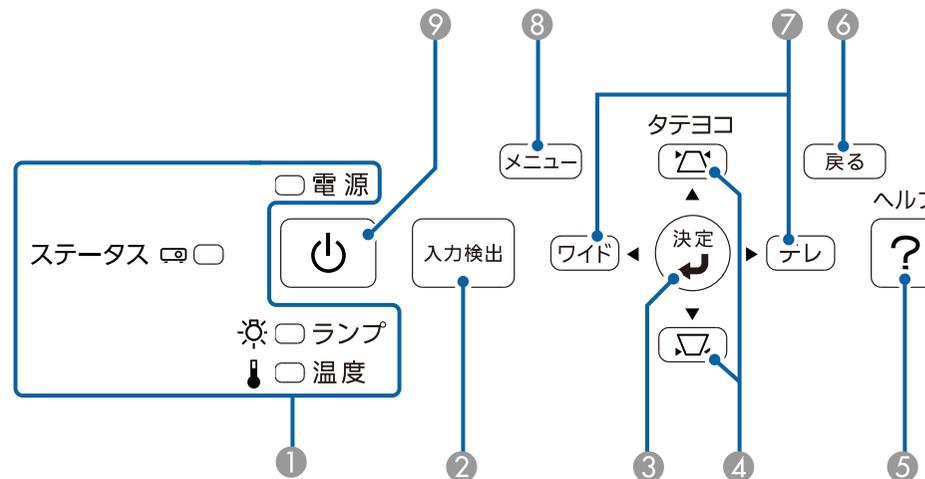
### フットの取り付け(フット同梱機種のみ)

フット取付け部に、フットを差し込みます。



- ① フロントフット取付け部にスペーサー付きのフットを差し込みます。
- ② リアフット取付け部(2箇所)にフットを差し込みます。

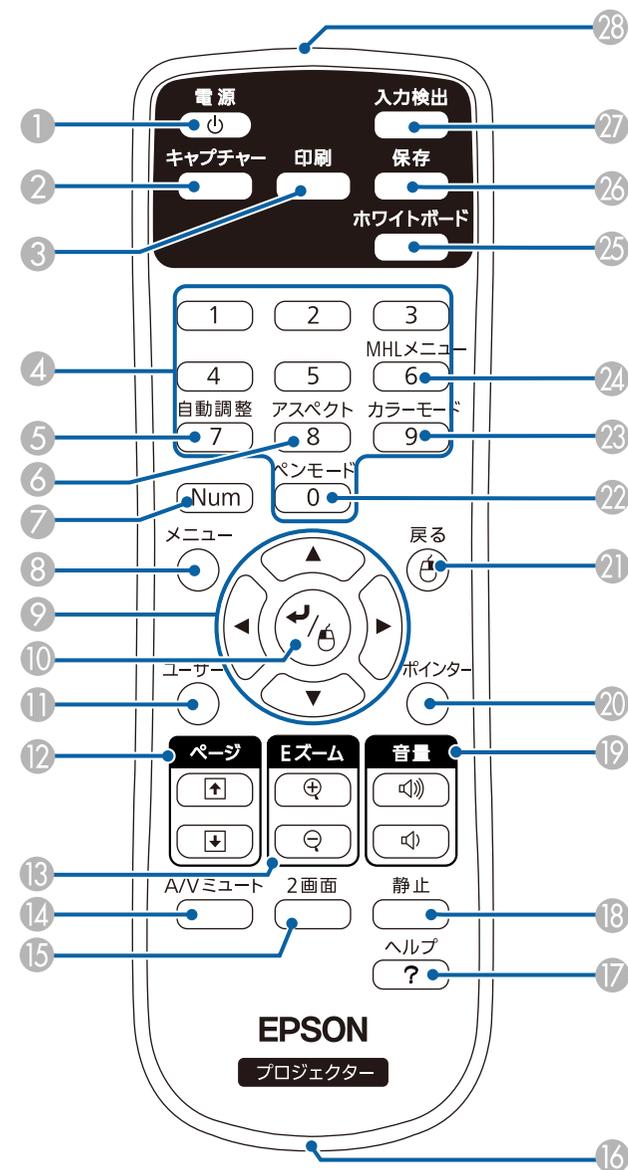
### 操作パネル



名称	働き
① インジケーター	本機の状態を色や点灯・点滅で確認します。 ☞「インジケーターの見方」 p.208
② 【入力検出】ボタン	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。 ☞「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.56
③ 【決定】ボタン 【↵】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進んだりします。</li> <li>• コンピューター入力端子から入力しているアナログRGB信号を投写中に押すと、トラッキング・同期・表示位置を最適な状態に自動調整します。</li> </ul>
④ 【△】【▽】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ゆがみ補正を実行します。 ☞「タテヨコ補正」 p.62</li> <li>• 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。 ☞「環境設定メニューの操作」 p.174 ☞「ヘルプの見方」 p.207</li> </ul>

名称	働き
⑤ 【ヘルプ】ボタン	<p>トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。</p> <p>☛「ヘルプの見方」 p.207</p>
⑥ 【戻る】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 実行中の機能を終了します。</li> <li>• 環境設定メニュー表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。</li> </ul> <p>☛「環境設定メニューの操作」 p.174</p>
⑦ 【テレ】【ワイド】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 投写画面のサイズを調整するときに押します。【テレ】ボタンを押すと投写画面のサイズが小さくなり、【ワイド】ボタンを押すと大きくなります。</li> <li>• 台形補正画面の表示中は、ヨコ方向の台形補正をします。</li> </ul> <p>☛「タテヨコ補正」 p.62</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。</li> </ul> <p>☛「環境設定メニューの操作」 p.174</p> <p>☛「ヘルプの見方」 p.207</p>
⑧ 【メニュー】ボタン	<p>環境設定メニューを表示/終了します。</p> <p>☛「環境設定メニューの操作」 p.174</p>
⑨ 【電源】ボタン 【 $\text{\textcircled{P}}$ 】	<p>電源をオン/オフします。</p> <p>☛「設置から投写までの流れ」 p.55</p>

## リモコン



名称	働き
① 【電源】ボタン 【  】	本機の電源をオン/オフします。 ☛「設置から投写までの流れ」 p.55
② 【キャプチャー】ボタン	投写画面のスナップショットを取得します。取得後、ホワイトボードモードの新規ページにスナップショットが貼り付けられます。(ホワイトボードモードではこのボタンを使用できません。) ☛「ホワイトボードモードのツールバー」 p.91 ☛「アノテーションモードの下段ツールバー」 p.112
③ 【印刷】ボタン	投写画面を印刷します。 ☛「印刷する(ホワイトボードモード)」 p.98 ☛「印刷する(アノテーションモード)」 p.113
④ テンキーボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>パスワードを入力します。 ☛「パスワードプロテクトの設定方法」 p.150</li> <li>環境設定メニューの[ネットワーク]で数字を入力します。</li> </ul>
⑤ 【自動調整】ボタン	コンピューター入力端子から入力しているアナログRGB信号を投写中に押すと、トラッキング・同期・表示位置を最適な状態に自動調整します。
⑥ 【アスペクト】ボタン	押すたびに、アスペクトモードが切り替わります。 ☛「投写映像のアスペクト比を切り替える」 p.71
⑦ 【Num】ボタン	パスワードや数字を入力するときに、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。 ☛「パスワードプロテクトの設定方法」 p.150
⑧ 【メニュー】ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.174

名称	働き
⑨     ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値の選択を行います。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.174</li> <li>PC Freeで投写しているときは、画像ファイルの送り/戻し、回転などをします。 ☛「USBストレージの画像を投写する(PC Free)」 p.134</li> <li>ワイヤレスマウス機能時は、ボタンを押すと、押した方向にマウスポインターが移動します。 ☛「リモコンでマウスポインターを操作する(ワイヤレスマウス)」 p.145</li> </ul>
⑩ 【決定】ボタン 【  】	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.174</li> <li>ワイヤレスマウス機能時は、マウスの左ボタンとして機能します。 ☛「リモコンでマウスポインターを操作する(ワイヤレスマウス)」 p.145</li> </ul>
⑪ 【ユーザー】ボタン	環境設定メニューの項目のうちよく使われる7項目から任意に項目を選択して、このボタンに割り当てることができます。ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。 ☛「設定メニュー」 p.180 初期設定では、[自動位置合わせ]が割り当てられています。

名称	働き
⑫ 【ページ】ボタン 【↑】【↓】	<p>以下のときに、PowerPointファイルなどのページを送り/戻しします。 (ホワイトボードモードではこのボタンを使用できません。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワイヤレスマウス機能時 ☛ 「リモコンでマウスポインターを操作する (ワイヤレスマウス)」 p.145</li> <li>USBディスプレイ時 ☛ 「USBディスプレイで投写する」 p.57</li> <li>ネットワーク接続時</li> </ul> <p>PC Freeで投写しているときは、画像ファイルを送り/戻しします。</p>
⑬ 【Eズーム】ボタン 【⊕】【⊖】	<p>投写サイズを変えずに映像を拡大/縮小します。 (ホワイトボードモードではこのボタンを使用できません。)</p> <p>☛ 「映像を部分的に拡大する (Eズーム)」 p.144</p>
⑭ 【AVミュート】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像と音声を一時的に遮断/解除します。 ☛ 「映像と音声を一時的に消す (AVミュート)」 p.142</li> <li>約5秒間押し続けると、設置モードを次のように切り替えることができます。 [フロント] ↔ [フロント・上下反転] [リア] ↔ [リア・上下反転]</li> </ul>
⑮ 【2画面】ボタン	<p>2つの入力ソースの映像を、1つのスクリーンの左右に同時に投写するか、通常の1画面の投写にするかを切り替えます。</p> <p>☛ 「2種類の映像を同時に投写する(2画面)」 p.130</p>
⑯ ストラップホール	<p>市販のストラップを取り付けるときは、この穴に通します。</p>
⑰ 【ヘルプ】ボタン	<p>トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。</p> <p>☛ 「ヘルプの見方」 p.207</p>

名称	働き
⑱ 【静止】ボタン	<p>映像を一時停止/解除します。</p> <p>☛ 「映像を停止させる (静止)」 p.143</p>
⑲ 【音量】ボタン 【◀】【▶】	<p>【◀】音量を下げます。 【▶】音量を上げます。</p> <p>☛ 「音量を調整する」 p.69</p>
⑳ 【ポインター】ボタン	<p>投写中の映像にポインターが表示されます。</p> <p>☛ 「説明箇所を指し示す (ポインター)」 p.143</p>
㉑ 【戻る】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>実行中の機能を終了します。</li> <li>環境設定メニューを表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。 ☛ 「環境設定メニューの操作」 p.174</li> <li>ワイヤレスマウス機能時は、マウスの右ボタンとして機能します。 ☛ 「リモコンでマウスポインターを操作する (ワイヤレスマウス)」 p.145</li> </ul>
㉒ 【ペンモード】ボタン	<p>Easy Interactive Penでマウス操作するか描画するかを切り替えます。(ホワイトボードモードではこのボタンを使用できません。)</p> <p>☛ 「インタラクティブ機能の概要」 p.75</p>
㉓ 【カラーモード】ボタン	<p>押すたびにカラーモードが切り替わります。</p> <p>☛ 「映り具合を選ぶ (カラーモードの選択)」 p.70</p>
㉔ 【MHLメニュー】ボタン	<p>本機のMHL端子と接続している機器の設定メニューを表示します。</p>
㉕ 【ホワイトボード】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクターの電源がオフのときに押すと、電源がオンになり、インタラクティブ機能のホワイトボードモードが起動します。</li> <li>プロジェクターの電源がオンのときに押すと、ホワイトボードモードに切り替わります。ホワイトボードモードの実行中に押した場合、1つ前の映像ソースに切り替わります。</li> </ul> <p>☛ 「ホワイトボードモードの始め方」 p.89</p>

名称	働き
②6 【保存】ボタン	USBストレージやネットワークフォルダーに、投写画面を保存します。 ☛「保存する（ホワイトボードモード）」p.96 ☛「保存する（アノテーションモード）」p.113
②7 【入力検出】ボタン	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。 ☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」p.56
②8 リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

## リモコンの電池交換

使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなったときは電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池2本を用意してください。単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池以外の電池は使用しないでください。

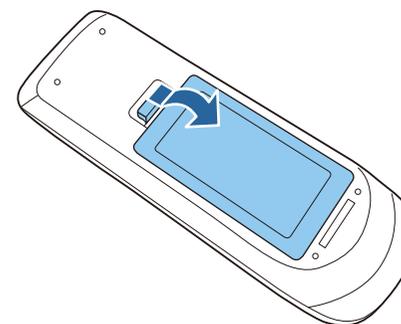
### 注意

電池を取り扱う前に、以下のマニュアルを必ずお読みください。

☛『安全にお使いいただくために』

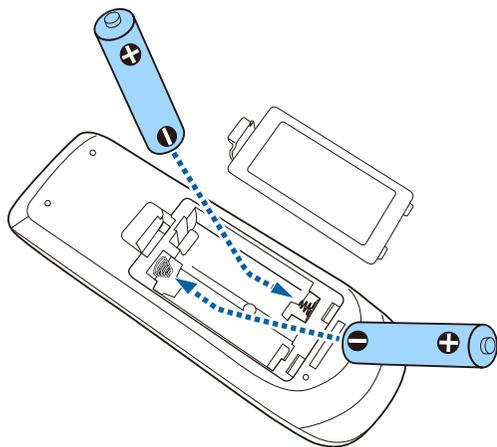
### 1 電池カバーを外します。

電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。



### 2 新しい電池と交換します。

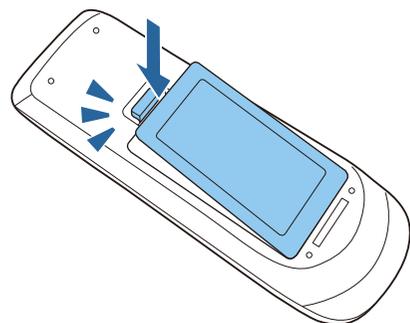
電池のマイナス側から、スライドするように入れます。



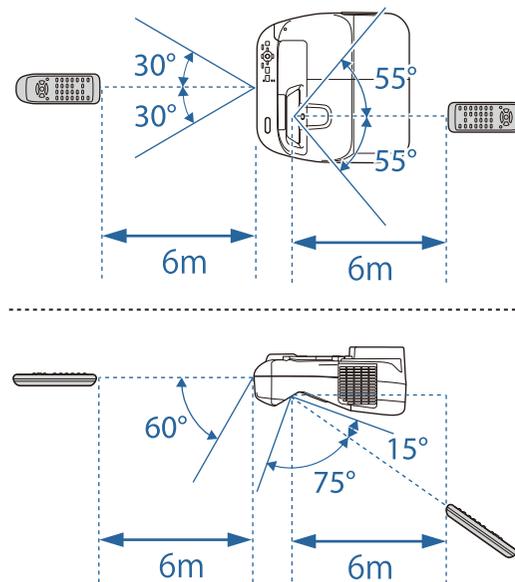
**⚠ 注意**

電池ホルダー内の表示を確認し、(+)(-)を正しく入れてください。  
電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

- 3** 電池カバーを取り付けます。  
カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



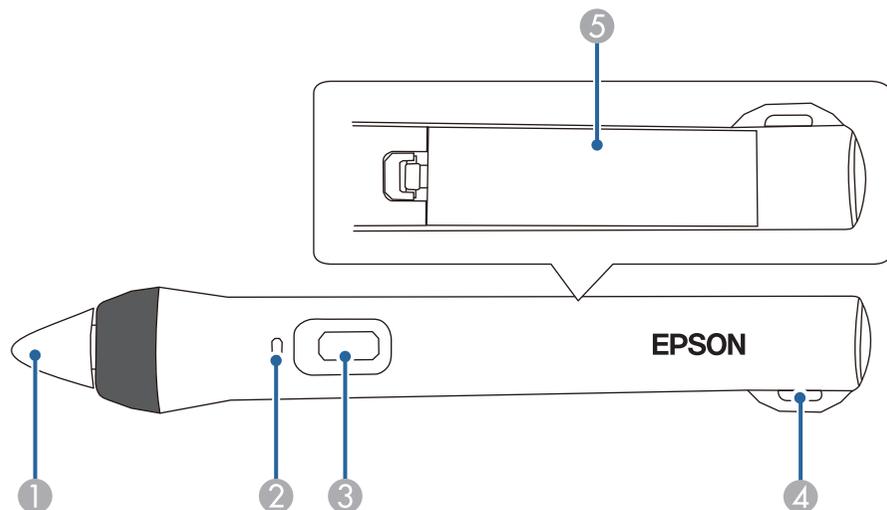
リモコンの操作可能範囲



## Easy Interactive Pen

Easy Interactive Penは2種類あり、ペン後方部の色が異なります。ペン後方部が同じ色のEasy Interactive Penは同時に使えません。

☛ 「Easy Interactive Penを使って操作する」 p.77



名称	働き
① ペン先ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペン先ボタンを押すと、Easy Interactive Penの電源がオンになります。オンになった後、Easy Interactive Penを使用できるまで約1秒かかります。</li> <li>投写画面に近づけたり押し当てたりして使います。</li> <li>☛ 「インタラクティブ機能」 p.74</li> <li>☛ 「オプション」 p.244</li> </ul>

名称	働き
② バッテリーインジケーター	<p>ペン側面にあるボタンを押したときに、電池残量をお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電池残量がある場合は、ボタンを離すまで緑色に点灯します。</li> <li>電池残量が少ない場合は、ボタンを離すまで緑色に点滅します。</li> <li>電池残量がない場合は、点灯しません。電池を交換してください。</li> </ul> <p>☛ 「Easy Interactive Penの電池交換」 p.23</p>
③ ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペン側面にあるボタンを押すと、Easy Interactive Penの電源がオンになります。オンになった後、Easy Interactive Penを使用できるまで約1秒かかります。</li> <li>描画時に押すたびに、ペン先ボタンの機能をペンから消しゴムへ交互に切り替えます。ボタンの動作は、環境設定メニューの[ペンボタン動作]で切り替えられます。</li> <li>☛ [拡張設定] - [Easy Interactive Function] - [詳細設定] - [ペンボタン動作] p.181</li> <li>マウス操作時に押すと、マウス操作の右クリックができます。</li> </ul>
④ ストラップホール	市販のストラップなどを取り付けることができます。
⑤ 電池カバー	電池交換時にこのカバーを開けます。 ☛ 「Easy Interactive Penの電池交換」 p.23



Easy Interactive Penを20分間使わないと、電源が自動でオフになります。

使用するときは、ペン先ボタンを押し当てるか、ペン側面にあるボタンを押して、再度電源をオンにしてください。

## Easy Interactive Penの電池交換

Easy Interactive Penのバッテリーインジケータは、ボタンを押したときに点灯・点滅します。電池残量がない場合は、点灯・点滅しません。ボタンを押しても点灯・点滅しなくなったときは、新しい電池(1本)と交換してください。交換用の電池は以下のいずれかを使用します。他の充電式乾電池は使用できません。

- 単3形マンガン乾電池
- 単3形アルカリマンガン乾電池
- eneloop®※(HR-3UTG/HR-3UTGA/HR-3UTGB/BK-3MCC)

※eneloop®はパナソニックグループの登録商標です。

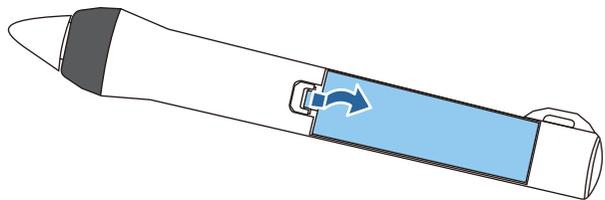
### 注意

電池を取り扱う前に、以下のマニュアルを必ずお読みください。

☛ 『安全にお使いいただくために』

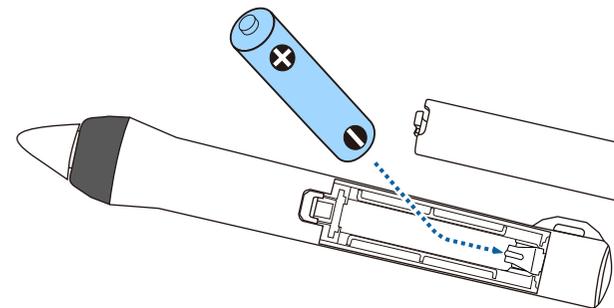
### 1 電池カバーを外します。

電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。



### 2 新しい電池と交換します。

電池のマイナス側から、スライドするように入れます。

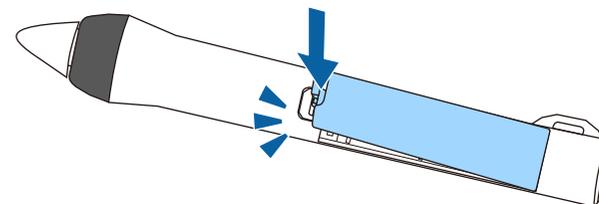


### ⚠ 注意

電池ホルダー内の表示を確認し、(+)(-)を正しく入れてください。電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

### 3 電池カバーを取り付けます。

カチッと音がするまでカバーを押し込みます。

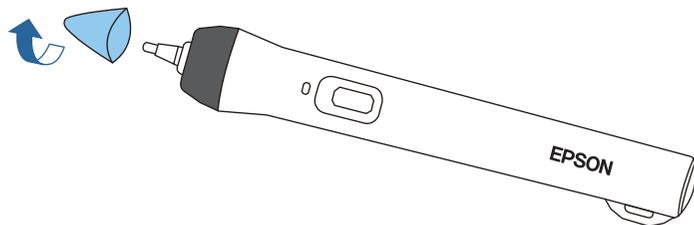


### Easy Interactive Penのペン先交換

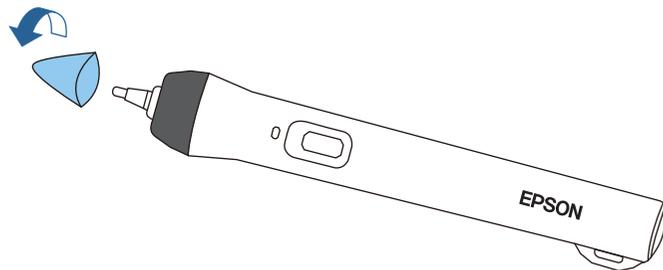
Easy Interactive Penのペン先がすり減ったときは、以下の手順で交換します。

☛ 「オプション」 p.244

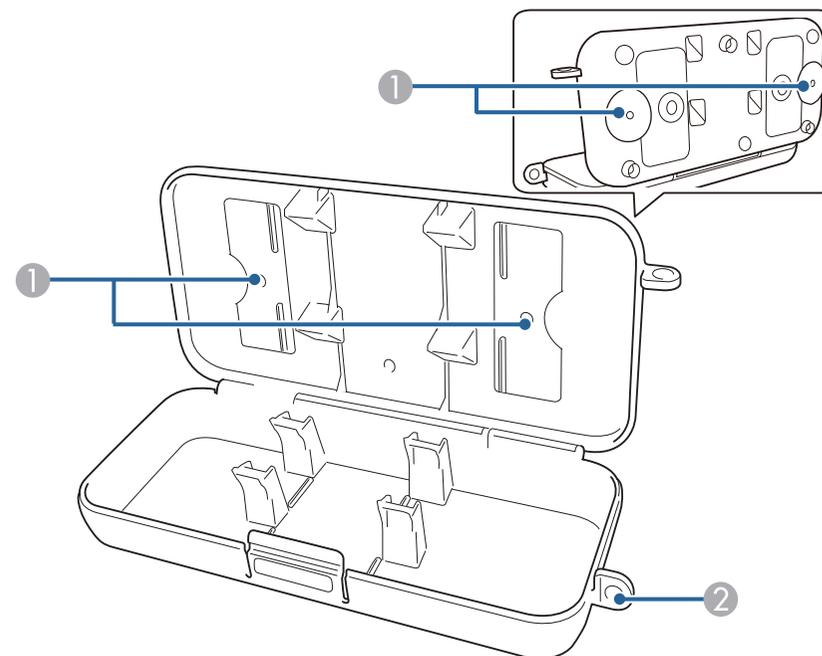
**1** ペン先を回して外します。



**2** 新しいペン先を回して取り付けます。



### ペントレイ

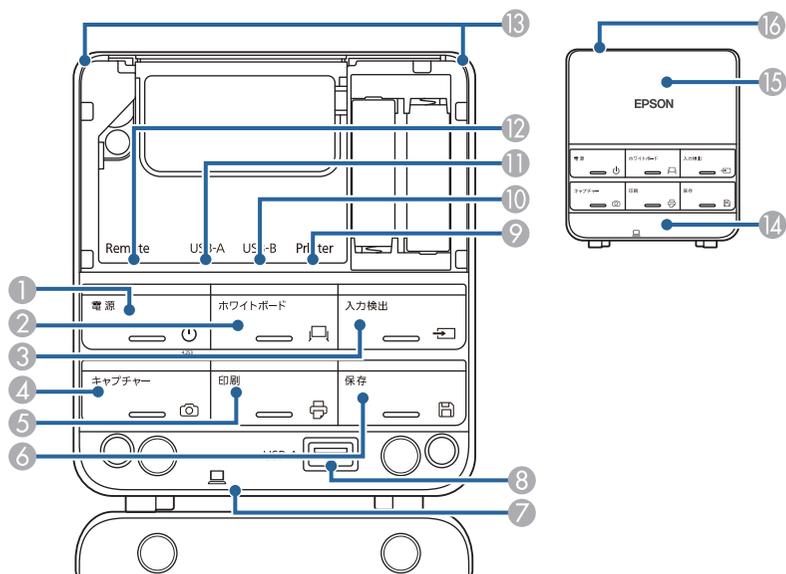


名称	働き
① 固定部	ホワイトボードや壁にペントレイを取り付けるために使います。
② セキュリティーロック 取り付け穴	市販のロックなどを取り付けることができます。



ペントレイは市販のM5ボルト2本で固定することをお奨めします。

## コントロールパッド



名称	働き
① 【電源】ボタン【】	本機の電源をオン/オフします。 ☛「設置から投写までの流れ」 p.55
② 【ホワイトボード】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクターの電源がオフのときに押すと、電源がオンになり、インタラクティブ機能のホワイトボードモードが起動します。</li> <li>プロジェクターの電源がオンのときに押すと、ホワイトボードモードに切り替わります。ホワイトボードモードの実行中に押した場合、1つ前の映像ソースに切り替わります。</li> </ul> ☛「ホワイトボードモードの始め方」 p.89
③ 【入力検出】ボタン	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。 ☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.56

名称	働き
④ 【キャプチャー】ボタン	投写画面のスナップショットを取得します。取得後、ホワイトボードモードの新規ページにスナップショットが貼り付けられます。（ホワイトボードモードではこのボタンを使用できません。） ☛「インタラクティブ機能」 p.74
⑤ 【印刷】ボタン	投写画面を印刷します。 ☛「印刷する（ホワイトボードモード）」 p.98 ☛「印刷する（アノテーションモード）」 p.113
⑥ 【保存】ボタン	USBストレージやネットワークフォルダーに、投写画面を保存します。 ☛「保存する（ホワイトボードモード）」 p.96 ☛「保存する（アノテーションモード）」 p.113
⑦ USB-B端子(コンピューター接続用)	インタラクティブ機能やUSBディスプレイ時に、USBケーブルでコンピューターと接続します。 ☛「コントロールパッドに接続する」 p.50
⑧ USB-A端子(USBストレージ用)	USBストレージを挿します。 ☛「コントロールパッドに接続する」 p.50
⑨ USB-A端子(プリンター接続用)	USBケーブルでプリンターと接続します。 ☛「コントロールパッドに接続する」 p.50
⑩ USB-B端子(プロジェクター接続用)	コントロールパッドにUSBストレージやプリンターを接続したとき、USBケーブルでプロジェクターと接続します。 ☛「コントロールパッドに接続する」 p.50
⑪ USB-A端子(プロジェクター接続用)	インタラクティブ機能やUSBディスプレイ時に、USBケーブルでプロジェクターと接続します。 ☛「コントロールパッドに接続する」 p.50

名称	働き
⑫ リモート端子	<p>オプションのワイヤードリモコンケーブルでプロジェクターと接続すると、プロジェクターからコントロールパッドに電源が供給され、プロジェクターを操作できるようになります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>ワイヤードリモコンケーブルで接続しないときは、電池で電源を供給します。プロジェクターの操作は赤外線を使って行います。</p> </div>
⑬ リモコン発光部	リモコン信号を出力します。
⑭ 下部カバー	USBストレージを挿すときに開けます。
⑮ 上部カバー	各ケーブルの接続時や電池交換時にこのカバーを開けます。
⑯ ケーブルカバー	各ケーブルを壁伝いに配線するときにこのカバーを開けます。

## コントロールパッドの電池交換

使い続けているうちに、コントロールパッドの反応が遅くなったり、操作できなくなったときは電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池2本を用意してください。コントロールパッドの電池にはアルカリ乾電池をお奨めします。単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池以外の電池は使用しないでください。

### 注意

電池を取り扱う前に、以下のマニュアルを必ずお読みください。

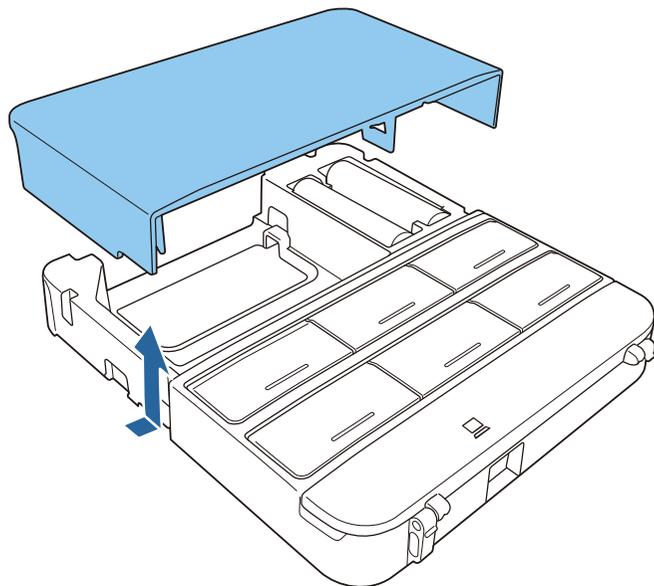
 『安全にお使いいただくために』



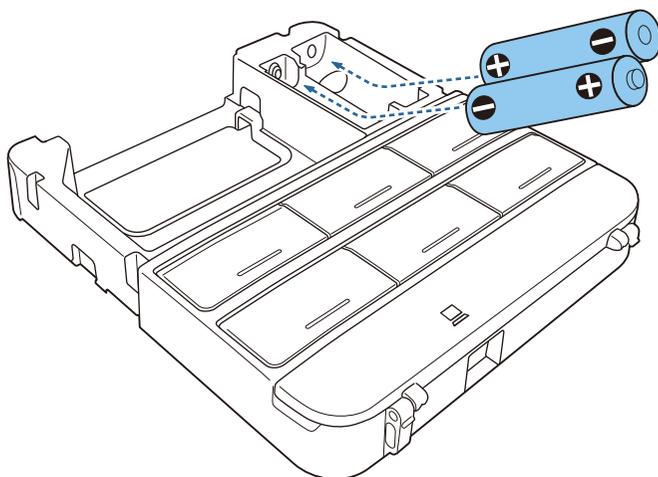
ワイヤードリモコンケーブルでコントロールパッドとプロジェクターを接続しているときは、プロジェクターからコントロールパッドに電源が供給されるので、電池は不要です。

### 1 上部カバーを外します。

上部カバーのへこみに指をかけて、外側に開きながら上へ持ち上げます。



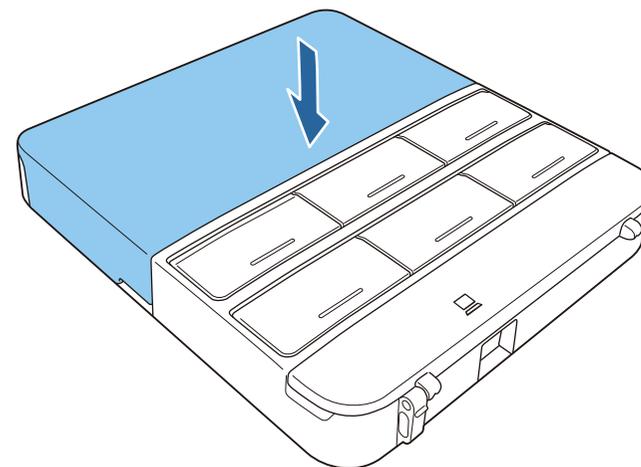
**2** 新しい電池と交換します。



**⚠ 注意**

電池ホルダー内の表示を確認し、(+)(-)を正しく入れてください。

**3** 上部カバーを取り付けます。  
カチッと音がするまでカバーを押し込みます。

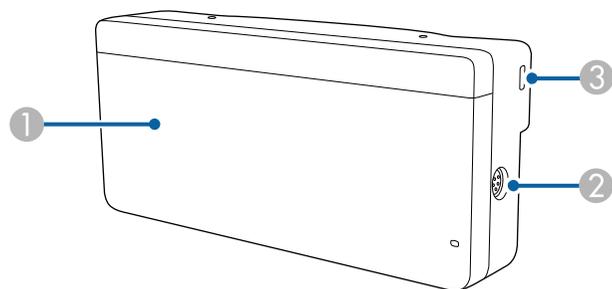


コントロールパッドの操作可能範囲については、以下を参照してください。

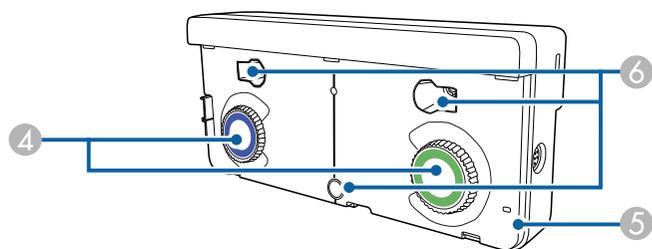
 [『設置工事説明書』](#)

## タッチユニット(EB-1430WTのみ)

### 前面

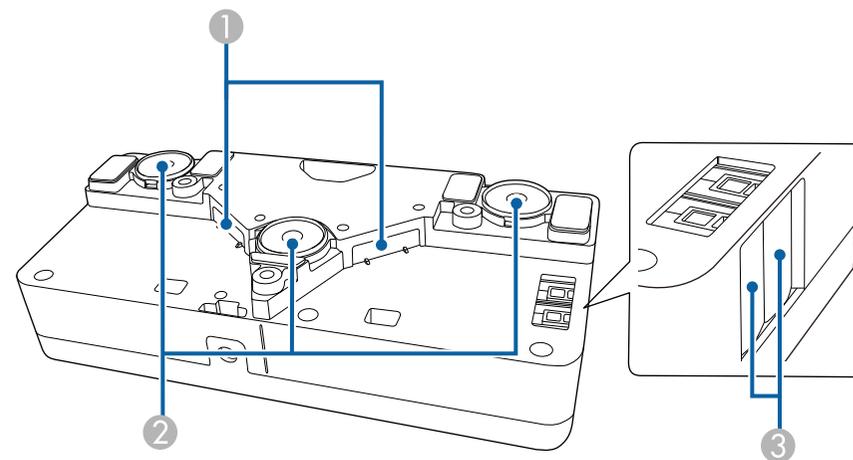


ダイヤルカバー非装着時



名称	働き
① ダイヤルカバー	調整ダイヤルを使うときに取り外します。
② TCH端子	タッチユニットとプロジェクターをタッチユニット接続ケーブルで接続します。
③ セキュリティスロット	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。
④ 調整ダイヤル	角度調整を行います。
⑤ インジケータ	タッチユニットの電源がオンになると点灯します。
⑥ ネジ穴(設置用)	タッチユニットを市販のM4ネジで固定するためのネジ穴です(マグネットを使えない設置面に取り付けるときのみ)。

### 背面



名称	働き
① レーザー照射口	指の位置を検出するためのレーザーが照射されます。
② 設置用マグネット	設置に使うマグネットです。
③ マーカー	角度調整を行うときに、スクリーンに配置します。

### 警告

- タッチユニットの設置は設置工事説明書に記載された方法で行ってください。誤った設置を行うと、強い光で目を痛めるなどの原因となります。
- 心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方は、タッチユニットに近づかないでください。また、タッチユニットを取り扱うときは、近くに心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方がいないことを確認してください。電磁妨害が生じ、医療機器が誤動作する可能性があります。

### 注意

- 磁気カードなどの磁気記憶媒体や、コンピューター、電子腕時計、携帯電話などの精密電子機器をタッチユニットに近づけないでください。データの破損や故障の原因となる可能性があります。
- マグネットが使える設置面にタッチユニットを設置するときは、マグネットと設置面の間に指や体の一部をはさまないようにご注意ください。

### 注意

- EB-1430WT以外の機器にタッチユニットを接続しないでください。機器の故障や制限以上のレーザー光が放出される可能性があります。
- 必ず同梱のタッチユニット接続ケーブルをお使いください。市販のケーブルでは正しく動作しません。
- タッチユニットを廃棄するときは分解しないでください。国や地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。



タッチユニットの設置方法、角度調整方法は『設置工事説明書』をご覧ください。

 [『設置工事説明書』](#)



# 準備

ここでは、本機の設置方法と投写機器の接続方法について説明します。

## いろいろな設置方法

本機の設置方法は、次の6種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。

本機を設置するときや設置方法を変えるときは、本機の電源をオフにします。設置完了後に、再度電源を入れてください。

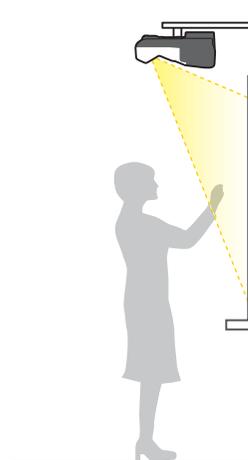
### 警告

- 壁や天井への取り付け工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの壁掛け金具用プレート固定部・天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。  
設置や金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

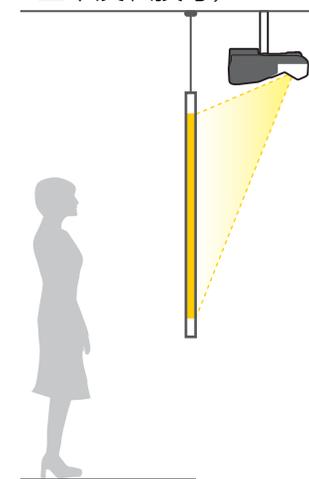


- 凹凸のない平滑なボードタイプのスクリーンの使用をお奨めします。投写面に凹凸があると、投写画面にゆがみが生じることがあります。
- 使用するスクリーンの材質や固定方法により、投写映像にゆがみが生じることがあります。
- 壁掛け・天吊りまたは縦にして設置するときは、必ず設置方法に合わせた専用の器具を使用してください。  
☛ 「オプション」 p.244
- 設置モードの初期設定は[フロント・上下反転]です。他の設置モードに切り替えるには、環境設定メニューで設定します。  
☛ 【拡張設定】-[設置モード] p.181
- リモコンの【AVミュート】ボタンを約5秒間押し続けると、設置モードを次のように切り替えることができます。  
[フロント] ↔ [フロント・上下反転]  
[リア] ↔ [リア・上下反転]

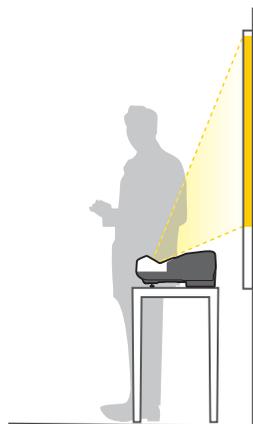
- 壁掛け・天吊りして正面から投写する(フロント・上下反転投写)



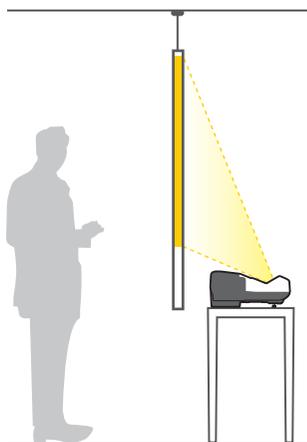
- 壁掛け・天吊りしてリアスクリーンへ裏側から投写する(リア・上下反転投写)



- 正面から投写する(フロント投写)



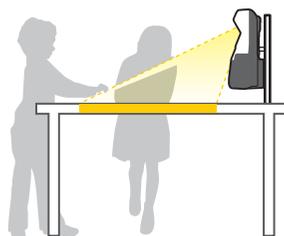
- リアスクリーンへ裏側から投写する(リア投写)



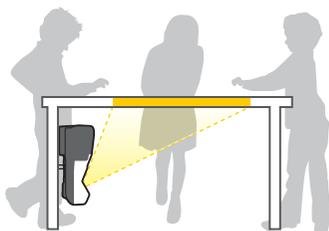
本機を机などに置いて使うときは、フットを取り付けてください。

☛ 「フットの取り付け (フット同梱機種のみ)」 p.16

- 縦にして正面から投写する(フロント・上下反転投写)



- 縦にしてリアスクリーンへ裏側から投写する(リア・上下反転投写)



## インタラクティブ機能を使用するとき

インタラクティブ機能を使用するときは、スクリーンの正面から投写します。設置モードを[フロント・上下反転]または[フロント]に設定してください。

### 注意

インタラクティブ機能は赤外線通信により動作します。設置の際は以下の点にご注意ください。

- Easy Interactive Function受光部、投写画面、本体側面、背面などに、強い光や太陽光が直接当たらないようにしてください。
- 太陽光が直接入るような窓の近くに本機を設置しないでください。インタラクティブ機能の誤動作の原因となります。
- Easy Interactive Function受光部と蛍光灯の距離を離して本機を設置してください。周囲が明るすぎると、インタラクティブ機能が正しく動作しないことがあります。
- Easy Interactive Function受光部にホコリが付着すると、赤外線受信の妨げとなり正常に使用できないことがあります。本機が汚れたら掃除をしてください。  
☛ 「各部の掃除」 p.232
- Easy Interactive Function受光部のカバーには、塗装やシールの貼付けをしないでください。
- インタラクティブ機能を使用するときは、赤外線リモコンや赤外線マイクを同じ室内で使用しないでください。Easy Interactive Penが誤動作することがあります。
- 回転機や変圧器など、強いノイズを発生する機器を本機に近づけないでください。インタラクティブ機能を使用できなくなることがあります。



- インタラクティブ機能を使用するときは、投写画面がゆがみのない長方形になるように設置してください。
- 同じ部屋にプロジェクターを2台以上設置してインタラクティブ機能を使用するときは、Easy Interactive Penの動作が不安定になることがあります。そのときは、プロジェクター同士をオプションのワイヤードリモコンケーブル(ELPKC28)で接続して、環境設定メニューの[複数台同期]を[有線接続]に変更してください。  
☛ [拡張設定]-[Easy Interactive Function]-[詳細設定]-[複数台同期] [p.181](#)

### タッチユニットの設置(EB-1430WTのみ)

タッチユニットを使用するときは、次のいずれかの方法でプロジェクターを設置してください。他の方法で設置したときは、タッチユニットは使用できません。

- 壁掛けまたは天吊りして、スクリーンの正面から投写する
  - 机の上に縦置き設置して、机の正面から投写する(オプションのテーブル投写金具(ELPMB29)が必要です)
- ☛ 「オプション」 [p.244](#)

ここでは、本機と周辺機器の接続方法について説明します。

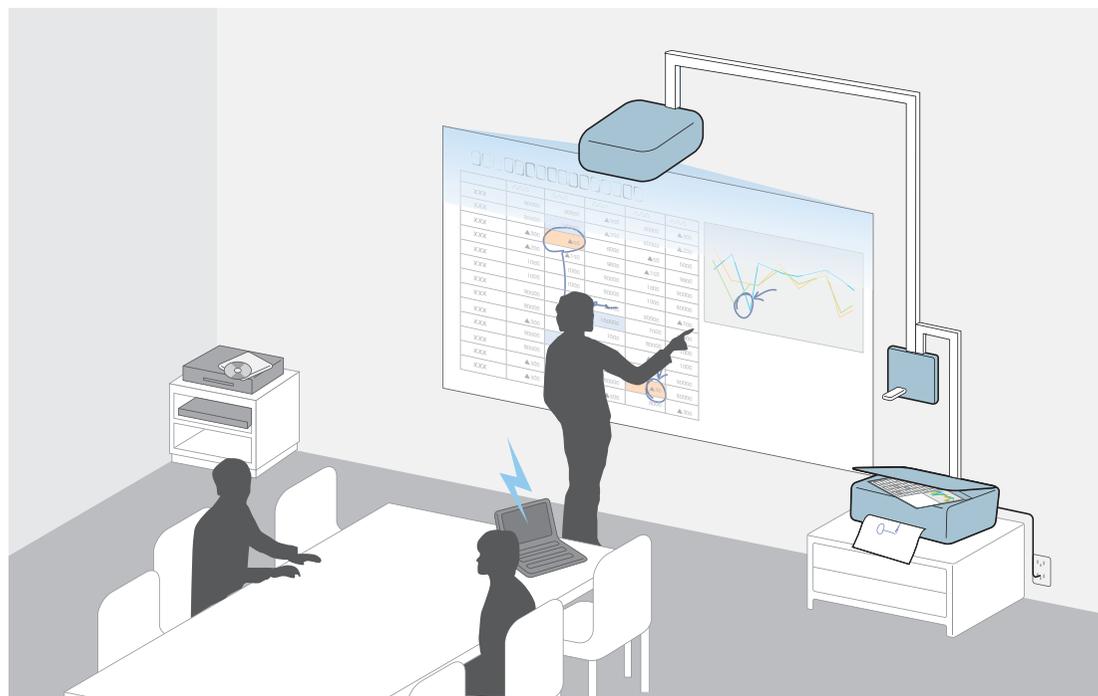
本機は、プロジェクターに機器を直接接続する方法と、コントロールパッドを介して接続する方法があります。

USBケーブルやUSBストレージを接続するときは、コントロールパッドに接続できます。

☛ 「コントロールパッドに接続する」 [p.50](#)

USBケーブルやUSBストレージ以外の機器を接続するときは、プロジェクターに直接接続してください。

☛ 「プロジェクターに接続する」 [p.36](#)



## 注意

USBハブを使用すると、正しく動作しません。直接本機またはコントロールパッドに接続してください。



- ネットワークへの接続は、有線または無線で可能です。  
有線でネットワークに接続するときは、プロジェクターにLANケーブルを接続します。
  - ☛ 「LANケーブルの接続」 [p.46](#)
- 無線でネットワークに接続するときは、プロジェクターに無線LANユニットを取り付けます。
  - ☛ 「無線LANユニットの取り付け」 [p.47](#)
- 接続する機器により、端子名称、位置や向きが異なります。

---

## プロジェクターに接続する

プロジェクターと周辺機器を直接接続する方法を説明します。

## コンピューターの接続

コンピューターの映像を投写するには、以下の方法で接続します。

### ① オプションのコンピューターケーブルを使用するとき

コンピューターのディスプレイ出力端子と本機のコンピューター入力端子を接続します。

音声を本機のスピーカーから出力するときは、市販のオーディオケーブルで、コンピューターの音声出力端子と本機の音声入力1端子を接続します。

### ② 同梱のUSBケーブルを使用するとき

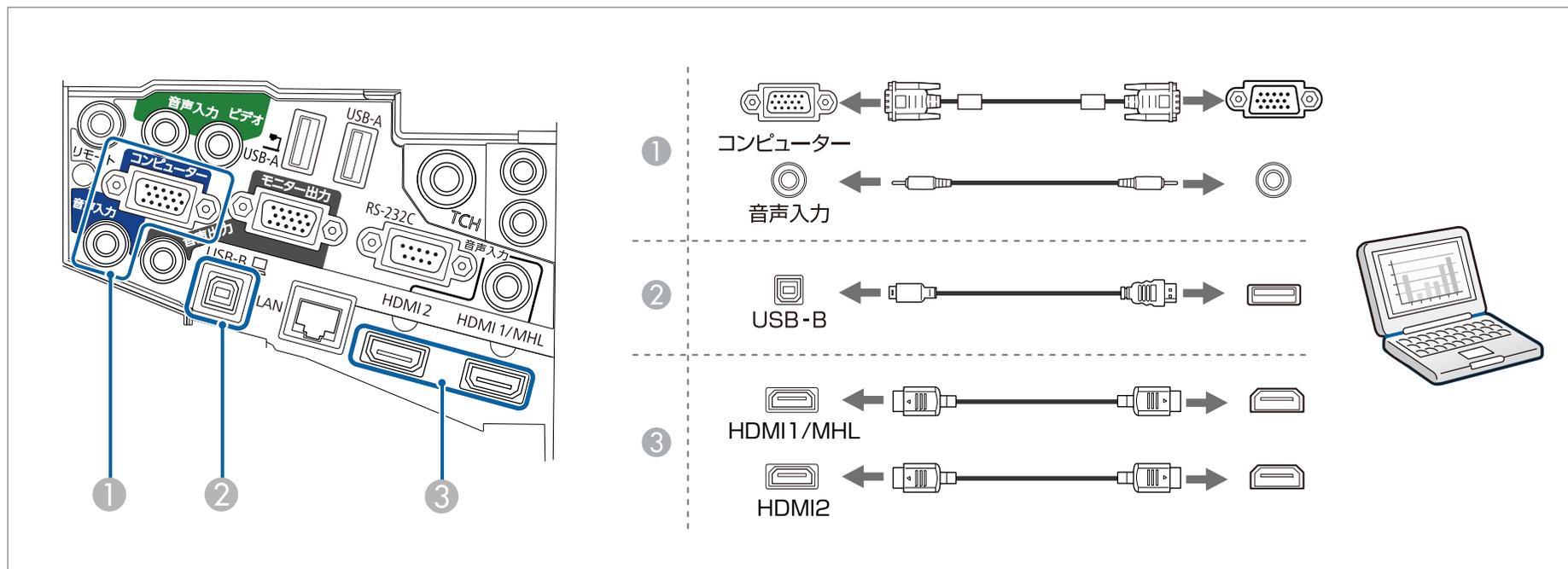
コンピューターのUSB端子と本機のUSB-B端子を接続します。

映像の投写と同時に、コンピューターの音声も本機から出力されます。

### ③ 市販のHDMIケーブルを使用するとき

コンピューターのHDMI端子と本機のHDMI1/MHLまたはHDMI2入力端子を接続します。

映像の投写と同時に、コンピューターの音声も本機から出力されます。

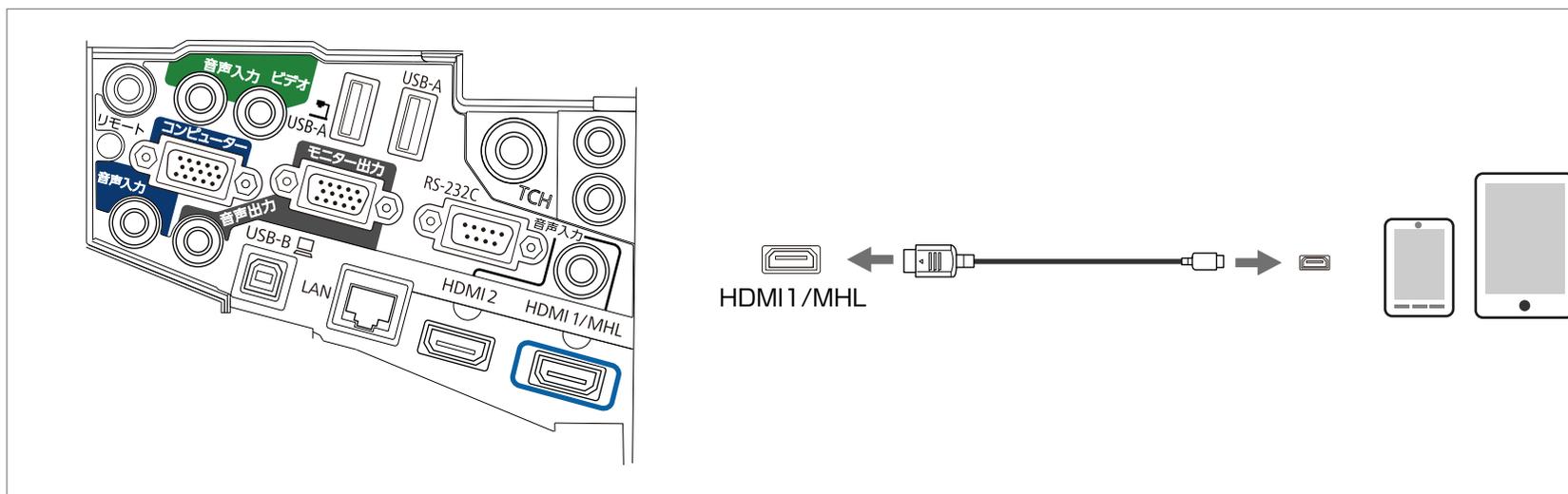




- 音声入力1端子、音声出力端子、コンピューター入力端子に接続するときは、音声入力1端子、音声出力端子、コンピューター入力端子の順にケーブルを挿すことをお奨めします。
- 音声入力として使用する端子は、環境設定メニューで指定することもできます。
  - ☛ [拡張設定] - [A/V出力設定] - [音声出力] [p.181](#)
- HDMIケーブルで接続している場合に音声が出力されないときは、市販のオーディオケーブルを音声入力端子に接続してください。接続したら、環境設定メニューの[HDMI1音声出力]/[HDMI2音声出力]でケーブルを接続した音声入力端子を選択してください。
  - ☛ [拡張設定]-[A/V出力設定]-[HDMI1音声出力]/[HDMI2音声出力] [p.181](#)
- 本機は、USBケーブルでコンピューターと接続してコンピューターの映像を投写できます。この機能をUSBディスプレイと呼びます。
  - ☛ 「USBディスプレイで投写する」 [p.57](#)

## スマートフォン/タブレット端末の接続

スマートフォンやタブレット端末を接続できます。市販のMHLケーブルで、端末のMHL端子と本機のHDMI1/MHL入力端子を接続します。映像の投写と同時に音声も転送できます。



スマートフォンやタブレット端末を本機に接続すると、映像の投写と同時に端末の充電も開始します。

### 注意

- 一部の端末ではMHLケーブルを使った接続ができない場合があります。
- 必ずMHLの規格に対応したケーブルで接続してください。MHLの規格に対応していないケーブルで接続すると、スマートフォンやタブレット端末の発熱や液もれ、破裂などの原因になることがあります。
- 市販のMHL-HDMI変換アダプターを使用して接続すると、スマートフォンやタブレット端末の充電や本機のリモコンからの操作ができない場合があります。



- 映像がうまく投写できないときは、MHLケーブルを抜き差ししてください。
- スマートフォンやタブレット端末の機種や設定によっては正しく投写できないことがあります。

## 映像機器の接続

DVDプレーヤーやVHSビデオなどの映像を投写するには、以下の方法で接続します。

### ① 市販のビデオケーブルを使用するとき

映像機器のビデオ出力端子と本機のビデオ入力端子を接続します。

音声を本機のスピーカーから出力するときには、市販のオーディオケーブルで、映像機器の音声出力端子と本機の音声入力2端子を接続します。

### ② オプションのコンポーネントビデオケーブルを使用するとき

☛「オプション・消耗品一覧」p.244

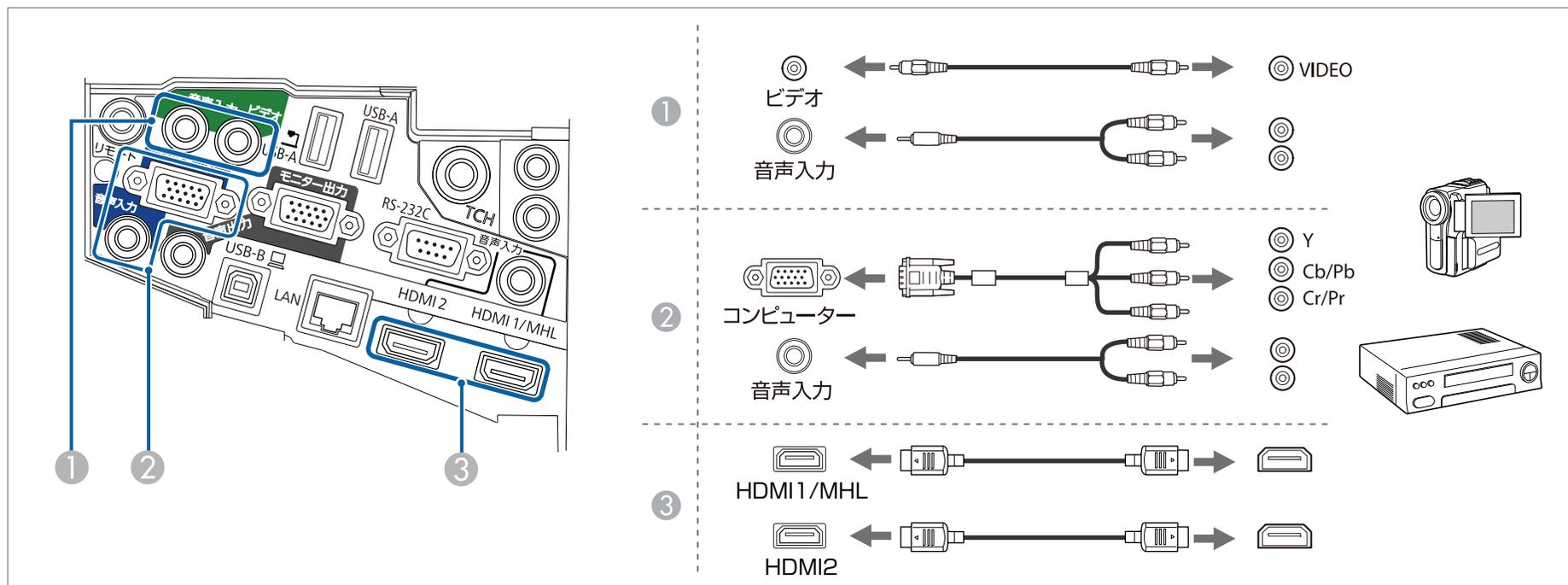
映像機器のコンポーネント出力端子と本機のコンピューター入力端子を接続します。

音声を本機のスピーカーから出力するときには、市販のオーディオケーブルで、映像機器の音声出力端子と本機の音声入力1端子を接続します。

### ③ 市販のHDMIケーブルを使用するとき

映像機器のHDMI端子と本機のHDMI1/MHLまたはHDMI2入力端子を接続します。

映像の投写と同時に、映像機器の音声も本機から出力されます。



**注意**

- 接続する前に接続機器の電源を切ってください。接続機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因となります。
- プラグの向きや形状が異なった状態で無理に押し込まないでください。機器の破損や故障の原因となります。



- 音声入力として使用する端子は、環境設定メニューで指定することもできます。
  - ☛ [拡張設定] - [A/V出力設定] - [音声出力] [p.181](#)
- HDMIケーブルで接続している場合に音声が出力されないときは、市販のオーディオケーブルを音声入力端子に接続してください。接続したら、環境設定メニューの[HDMI1音声出力]/[HDMI2音声出力]でケーブルを接続した音声入力端子を選択してください。
  - ☛ [拡張設定]-[A/V出力設定]-[HDMI1音声出力]/[HDMI2音声出力] [p.181](#)
- 接続する機器が特有の端子形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続してください。
- 市販の2RCA(L・R)/ステレオミニピンオーディオケーブルを使うときは、「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。

## USB機器の接続

USBメモリー、オプションの書画カメラ、USB対応のハードディスクやデジタルカメラなど、USB機器を接続できます。

### ① オプションの書画カメラを使用するとき

書画カメラに同梱のUSBケーブルで、書画カメラと本機の  端子を接続します。

### ② USBメモリーやデジタルカメラなどのUSB機器を使用するとき

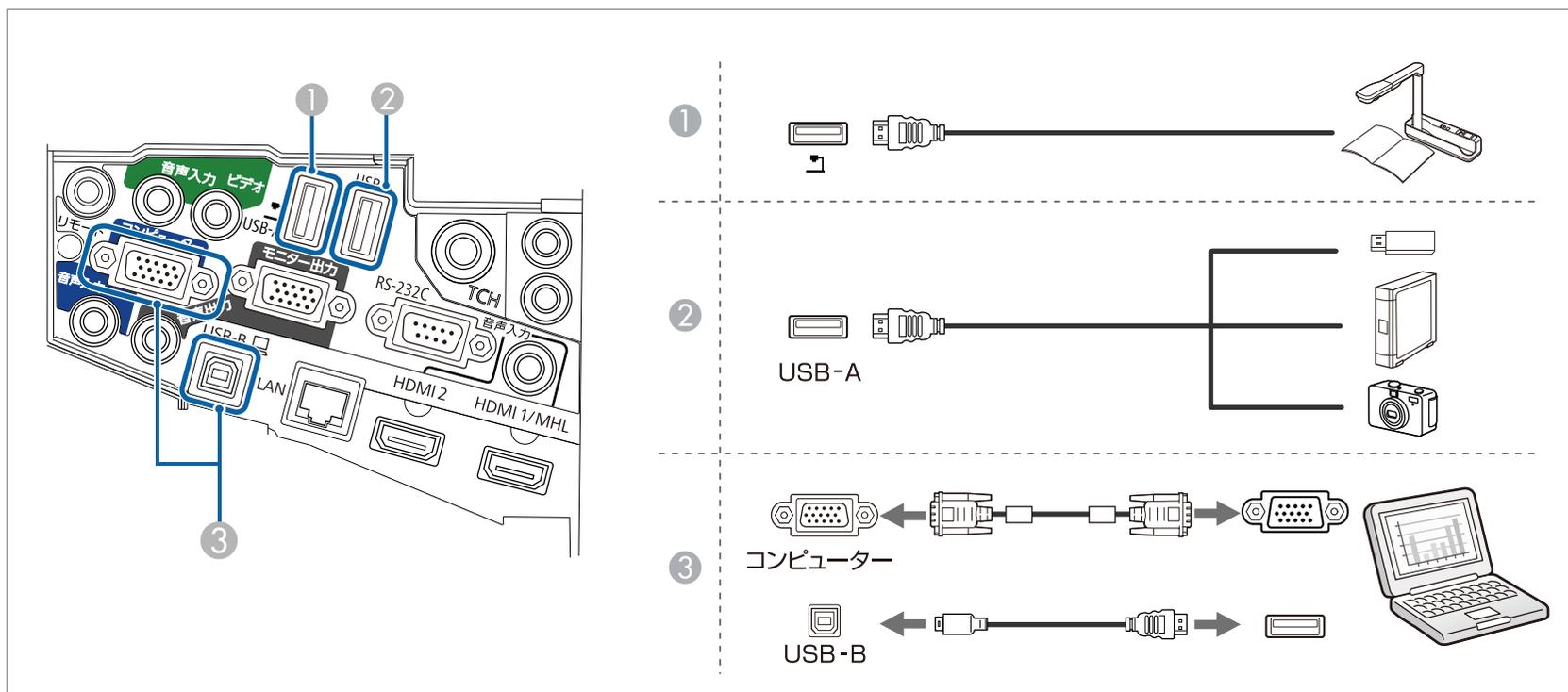
USB機器と本機のUSB-A端子を接続します。

### ③ インタラクティブ機能のマウス操作を使用するとき

 「インタラクティブ機能」 [p.74](#)

コンピューターケーブルで、コンピューターのディスプレイ出力端子と本機のコンピューター入力端子を接続します。

USBケーブルで、コンピューターのUSB端子と本機のUSB-B端子を接続します。



USB機器を接続したときは、USBメモリーやデジタルカメラ内の画像ファイルをPC Freeで再生します。

☛ 「USBストレージの画像を投写する（PC Free）」 p.134

他の入力端子からの映像を投写中に書画カメラを接続したときは、リモコン、操作パネル、またはコントロールパッドの【入力検出】ボタンを押して、投写映像を書画カメラの画像に切り替えます。

☛ 「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.56



書画カメラからの映像を投写中に音声出力機器を接続するときは音声入力1端子に接続してください。

### 注意

- USBハブを使用すると、正しく動作しません。デジタルカメラやUSB機器を直接本機に接続してください。
- USB対応のハードディスクを接続して使用する際は、必ずハードディスクに付属のACアダプターを接続してください。
- デジタルカメラやハードディスクの接続には、各機器に同梱または指定のUSBケーブルをお使いください。
- USBケーブルの長さは、3m以下のものをお使いください。ケーブル長が3mを超えると、PC Freeが正しく動作しないことがあります。

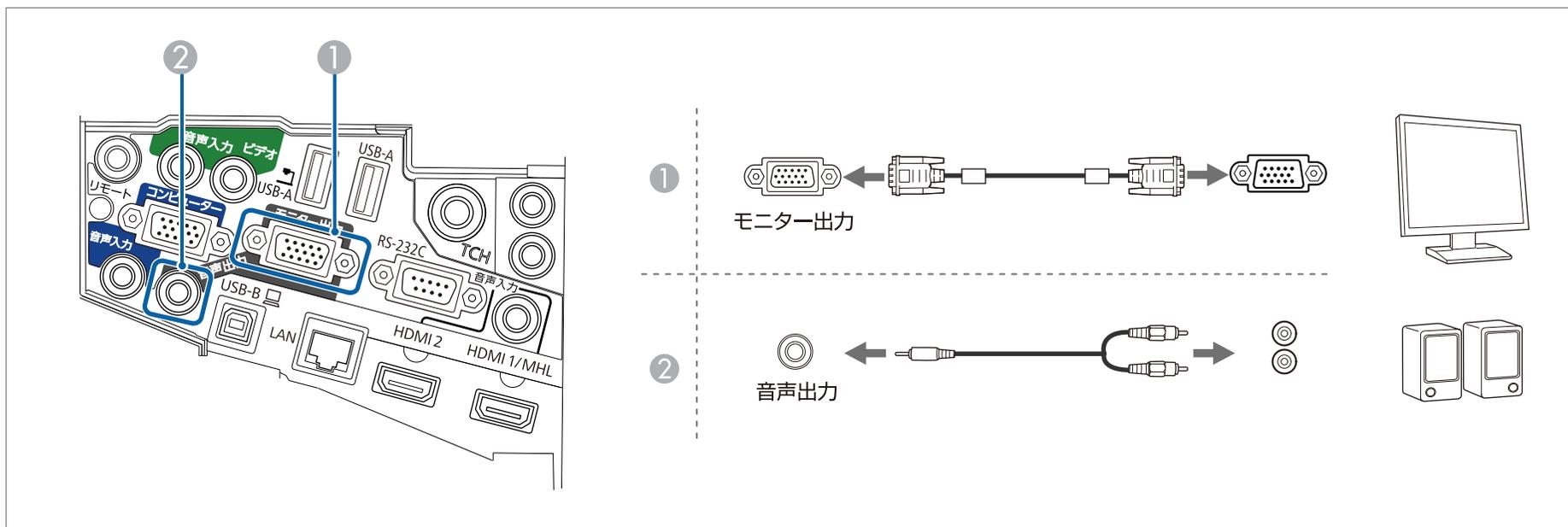
### USB機器の取り外し方

投写終了後は、本機からUSB機器を取り外します。デジタルカメラやハードディスクなどは、各機器の電源をオフにしてから取り外してください。

## 外部機器の接続

外部モニターやスピーカーを接続すると、映像や音声を外部に出力できます。

- ① 映像を外部モニターに出力するとき  
外部モニターに付属のケーブルで、外部モニターと本機のモニター出力端子を接続します。
- ② 音声を外部スピーカーに出力するとき  
市販のオーディオケーブルで外部スピーカーと本機の音声出力端子を接続します。

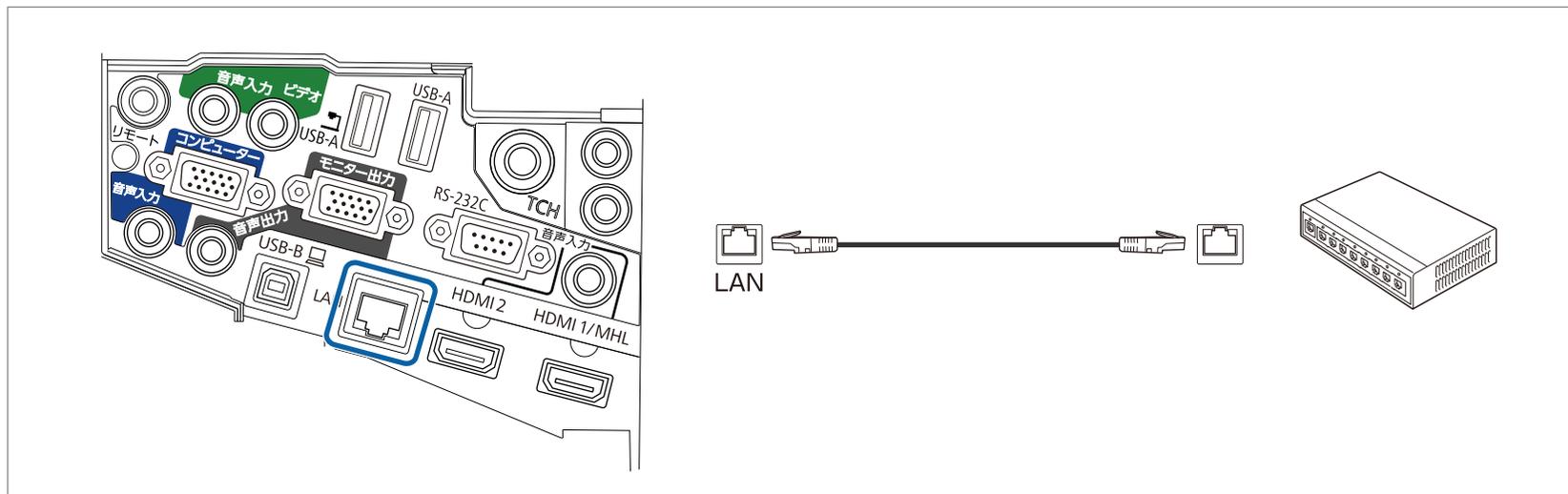




- [待機モード]を[通信オン]に設定すると、本機の電源がオフのときでも以下の操作ができます([A/V出力]を[常時]にしたときのみ)。
  - ・映像を外部モニターに出力する
  - ・外部に接続したスピーカーから音声を出力する(USB-B、LAN端子から入力される音声は出力できません)
- ☛ [節電] - [待機モード] [p.202](#)
- ☛ [拡張設定] - [A/V出力設定] - [A/V出力] [p.181](#)
- 外部モニターに出力できるのは、コンピューター入力端子から入力しているアナログRGB信号のみです。他の端子から入力している信号やコンポーネントビデオ信号は出力できません。
- インタラクティブ機能で描画した内容は外部モニターに表示されません。同梱のEasy Interactive Toolsを使用して描画した内容は外部モニターに表示できます。
- 台形補正などの設定ゲージや環境設定メニュー、ヘルプは外部モニターに出力されません。
- 音声出力端子にオーディオケーブルのプラグを差し込むと、音声の出力先が外部に切り替わり、本機の内蔵スピーカーからは音声がなくなります。

## LANケーブルの接続

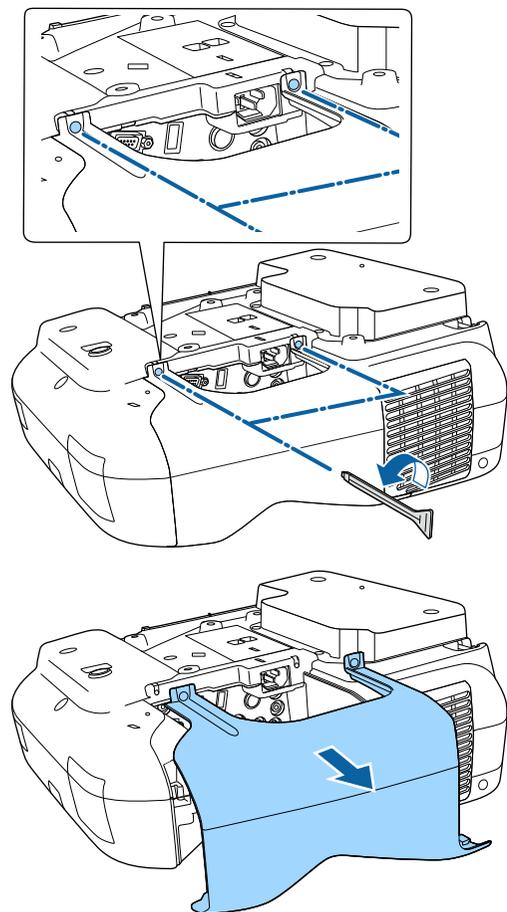
市販の100BASE-TXまたは10BASE-TタイプのLANケーブルで、ネットワークハブなどのLAN端子と本機のLAN端子を接続します。  
 コンピューターとプロジェクターをネットワーク経由で接続して、映像を投写したりプロジェクターの状態を確認したりできます。



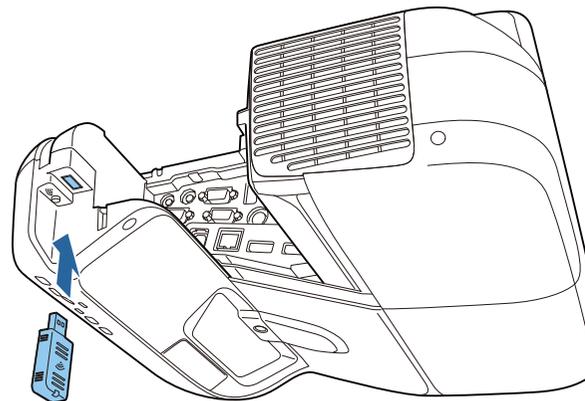
誤作動防止のために、LANケーブルはカテゴリ-5のシールド付きをお使いください。

## 無線LANユニットの取り付け

- 1** ケーブルカバー固定ネジ2本を外し、ケーブルカバーを開けます。

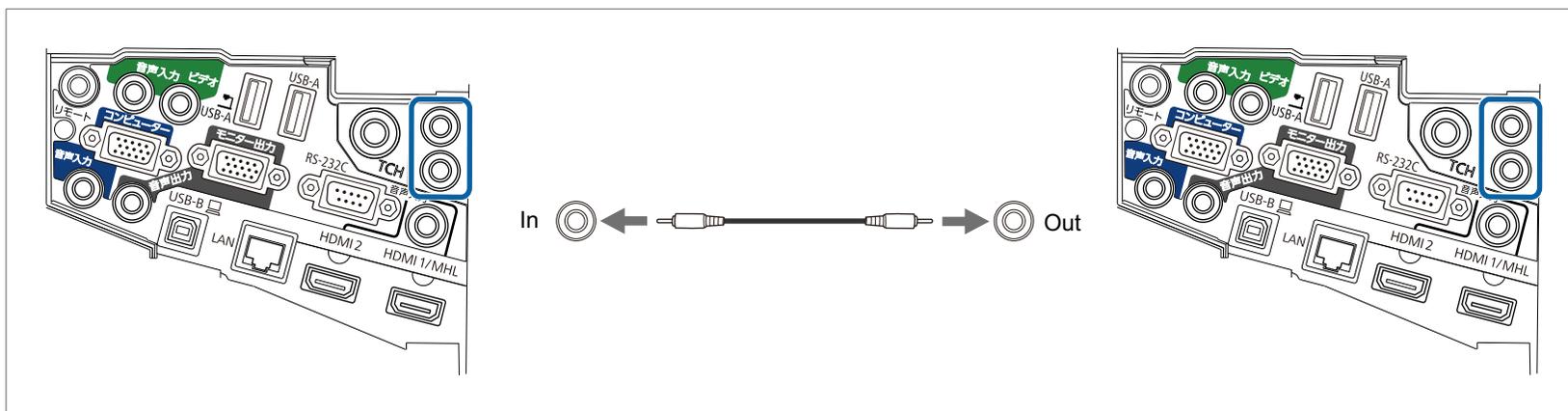


- 2** 無線LANユニット装着部に無線LANユニットを取り付けます。



## 複数台の 프로젝ターを接続する

同じ部屋に本機を2台以上設置してインタラクティブ機能を使用するとき、オプションのワイヤードリモコンケーブル(ELPKC28)で各 프로젝ターのSYNC端子を直列に接続します。 프로젝ター同士をケーブルで接続すると、Easy Interactive Penの動作が安定します。



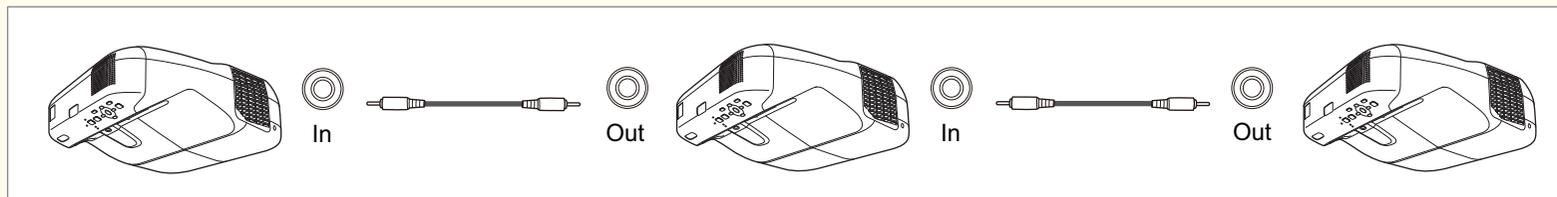
SYNC端子にはINとOUTの2種類があります。ワイヤードリモコンケーブルの一方の端子をINに接続したときは、もう一方の端子をOUTに接続してください。

接続後、環境設定メニューで[複数台同期]を[有線接続]に設定してください。

☛ [拡張設定]-[Easy Interactive Function]-[詳細設定]-[複数台同期] [p.181](#)



- 3台以上のプロジェクターを接続するときは、1台目のプロジェクターと最後のプロジェクターを接続する必要はありません。



- 有線接続に対応していないプロジェクターと本機を同じ部屋で使用するときは、環境設定メニューの[有線接続同期モード]を[モード2]に設定してください。
  - ☛ [拡張設定]-[Easy Interactive Function]-[詳細設定]-[有線接続同期モード] [p.181](#)
- オプションのワイヤードリモコンケーブルをお持ちでない方は、環境設定メニューの[複数台設置距離]の設定を変更してみてください。
  - ☛ [拡張設定]-[Easy Interactive Function]-[詳細設定]-[複数台設置距離] [p.181](#)

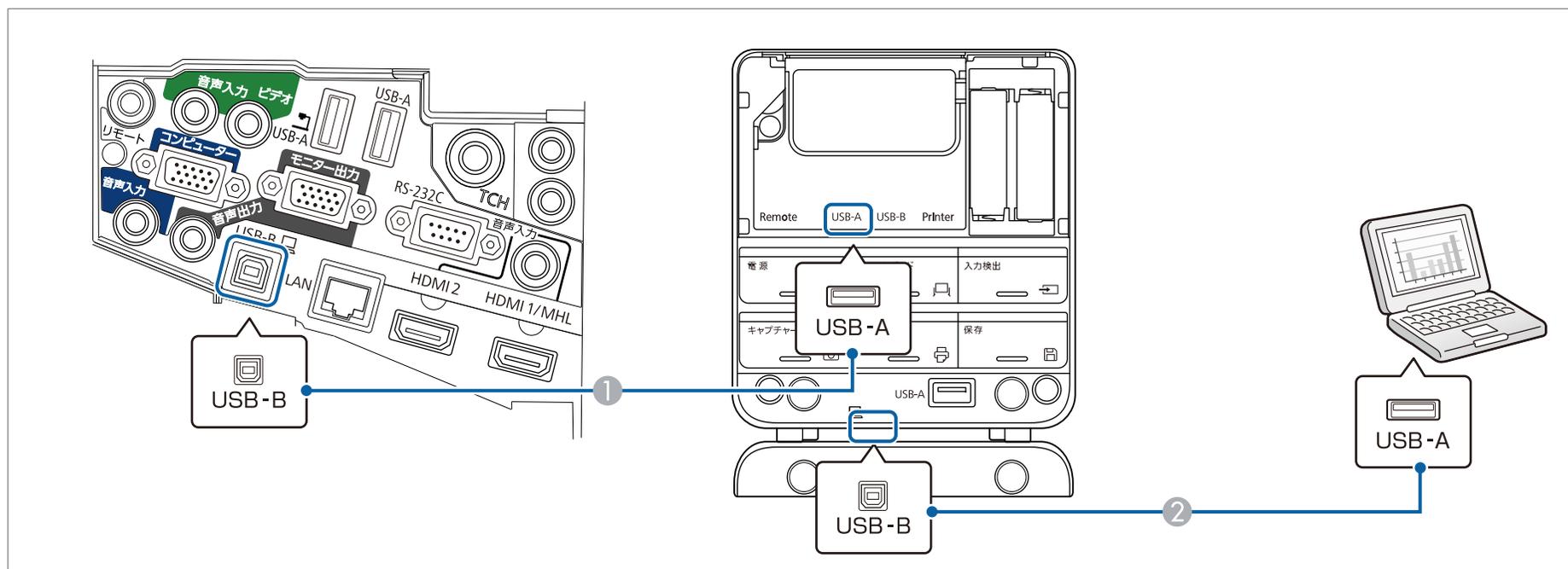
## コントロールパッドに接続する

コントロールパッドを介して、プロジェクターと周辺機器を接続する方法を説明します。

### USBディスプレイで投写するとき/インタラクティブ機能でマウス操作を行うときの接続

お使いになる機能によって、環境設定メニューの[USB Type B]の設定が異なります。それぞれの設定については、以下をご覧ください。

- ☛ 「USBディスプレイで投写する」 [p.57](#)
  - ☛ 「投写画面でコンピューターの操作を行う（マウス操作）」 [p.114](#)
- ① USBケーブルで、プロジェクターのUSB-B端子とコントロールパッドのUSB-A端子を接続します。
  - ② USBケーブルで、コントロールパッドのUSB-B端子とコンピューターのUSB-A端子を接続します。





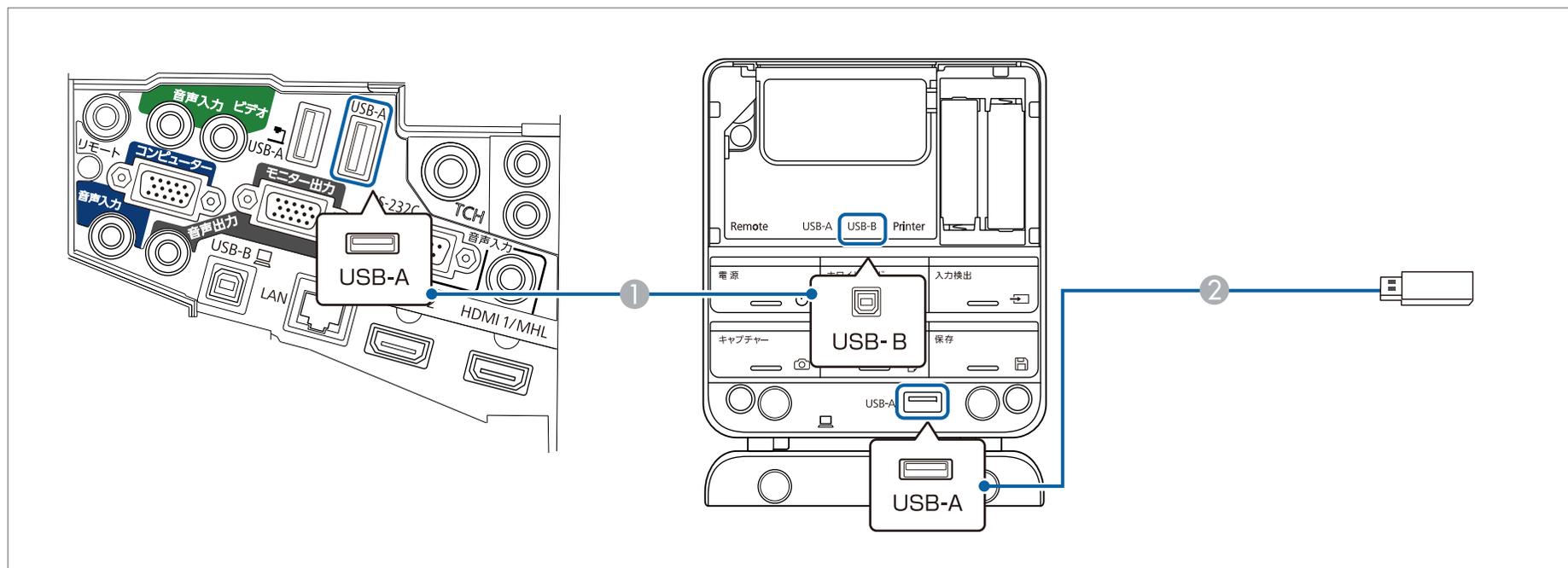
インタラクティブ機能でマウス操作を行う場合に、コンピューターケーブルを使って投写するときは、オプションのコンピューターケーブルで本機とコンピューターを接続します。

☛ 「コンピューターの接続」 [p.37](#)

## PC Free時の接続

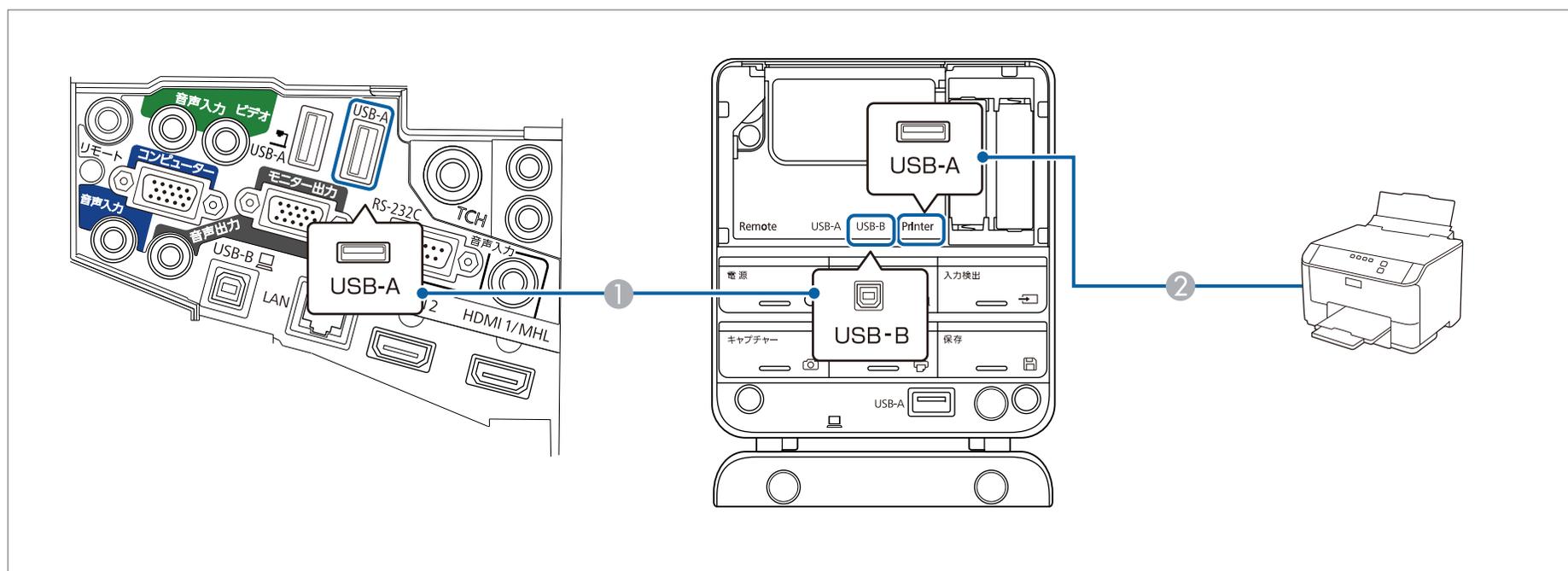
☛ 「USBストレージの画像を投写する（PC Free）」 [p.134](#)

- ① USBケーブルで、プロジェクターのUSB-A端子とコントロールパッドのUSB-B端子を接続します。
- ② コントロールパッドのUSB-A端子(USBストレージ用)にUSBストレージを挿します。



## プリンターの接続

- ☛ 「印刷する（ホワイトボードモード）」 [p.98](#)
  - ☛ 「印刷する（アノテーションモード）」 [p.113](#)
- ① USBケーブルで、プロジェクターのUSB-A端子とコントロールパッドのUSB-B端子を接続します。
  - ② USBケーブルで、コントロールパッドのUSB-A端子(プリンター用)とプリンターを接続します。



- コントロールパッドと書画カメラは接続できません。
- コントロールパッドの使用しない端子には同梱の端子保護シールを貼ってください。



# 基本的な投写方法

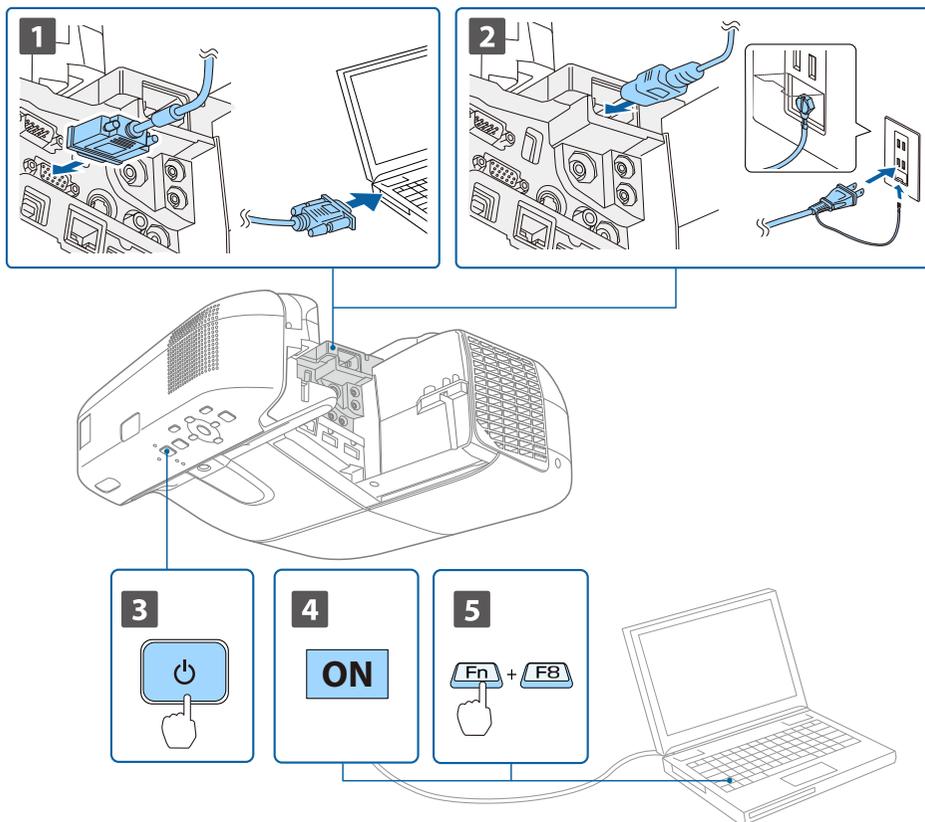
ここでは、映像の投写方法と映像補正方法について説明しています。

## 設置から投写までの流れ

コンピューターをコンピューターケーブルで接続して、映像を投写する手順を説明します。

### ⚠ 注意

接続機器のケーブルを本機に接続してから、本機の電源コードを接続してください。



**1** 本機とコンピューターをコンピューターケーブルで接続します。

**2** 本機とコンセントを電源コードで接続します。

### ⚠ 警告

必ず接地接続を行ってください。

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

**3** 本機の電源を入れます。

### ⚠ 警告

電源を入れるときは、絶対に投写レンズをのぞかないでください。強い光で目を痛めるなどの原因となります。本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。

小さなお子様のいる場所では特に注意してください。

**4** コンピューターの電源を入れます。

**5** コンピューターの画面出力先を切り替えます。

ノート型コンピューターを使用するときは、コンピューター側の画面出力切り替えが必要です。

Fnキー(ファンクションキー)を押したまま⌘/⌥キーを押します。



- 使用するコンピューターにより、切り替え方法が異なります。コンピューターの取扱説明書を参照してください。
- 本機の電源を切るときは、【⏻】ボタンを2回押してください。

映像が投写されないときは、リモコン、操作パネル、またはコントロールパッドの【入力検出】ボタンを押します。映像信号が入力されていない場合、ホワイトボードモードに切り替わります。

☛ 「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.56



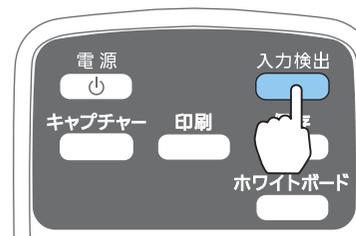
映像が正常に投写されたら、必要に応じて投写映像を補正してください。

- ☛ 「台形ゆがみを補正する」 p.62
- ☛ 「ピントのズレを補正する」 p.67

## 入力信号を自動検出して切り替える(入力検出)

【入力検出】ボタンを押して、映像信号が入力されている入力端子の映像を投写します。

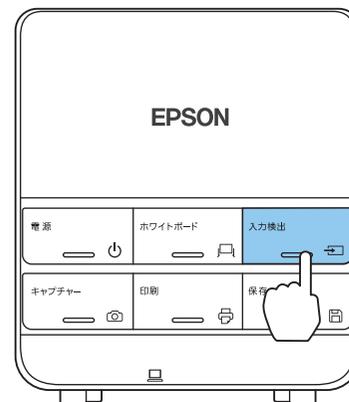
リモコンの場合



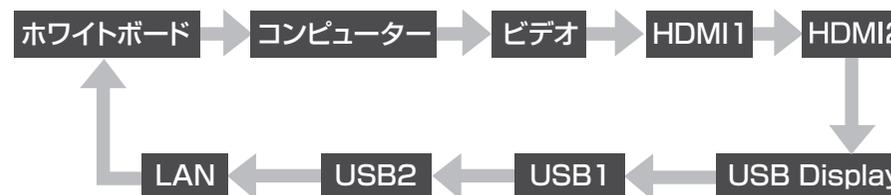
操作パネルの場合



コントロールパッドの場合



以下の順で入力ソースが切り替わります。



複数の機器を接続しているときは、目的の映像が投写されるまで【入力検出】ボタンを繰り返し押します。

ビデオ機器を接続しているときは、再生状態にしてから操作を開始してください。



- 本機を起動したときに、前回と同じ入力端子からの映像を投写するよう設定できます。  
☛ [拡張設定] - [動作設定] - [起動時入力検出] p.181
- 映像信号がなにも入力されていないときは、以下の画面が表示されます。  
映像信号が入力されていないときに限り、ホワイトボードに切り替えられます。



## USBディスプレイで投写する

本機は、同梱のUSBケーブルでコンピューターと接続してコンピューターの映像を投写できます。

映像の投写と同時に、コンピューターの音声も転送できます。

### 必要な設定

USBディスプレイを実行するには、[USB Type B]を[USB Display/Easy Interactive Function]または[ワイヤレスマウス/USB Display]に設定します。

☛ [拡張設定] - [USB Type B] p.181

### 動作環境

#### Windowsの場合

OS	対応OS	対応OS
	Windows 2000 <sup>※1</sup>	
	Windows XP	Professional 32ビット Home Edition 32ビット Tablet PC Edition 32ビット
	Windows Vista	Ultimate 32ビット Enterprise 32ビット Business 32ビット Home Premium 32ビット Home Basic 32ビット

	Windows 7	Ultimate 32/64ビット Enterprise 32/64ビット Professional 32/64ビット Home Premium 32/64ビット Home Basic 32ビット Starter 32ビット
	Windows 8	Windows 8 32/64 ビット Windows 8 Pro 32/64 ビット Windows 8 Enterprise 32/64 ビット
	Windows 8.1	Windows 8.1 32/64 ビット Windows 8.1 Pro 32/64 ビット Windows 8.1 Enterprise 32/64 ビット
CPU	Mobile Pentium III 1.2GHz以上 推奨：Pentium M 1.6GHz以上	
メモリー容量	256MB以上 推奨：512MB以上	
ハードディスク空き容量	20MB以上	
ディスプレイ	640x480 以上、1600x1200 以下の解像度 16ビットカラー以上の表示色	

※1 Service Pack 4のみ

**OS Xの場合**

OS	Mac OS X 10.5.x 32ビット Mac OS X 10.6.x 32/64ビット OS X 10.7.x 32/64ビット OS X 10.8.x OS X 10.9.x
----	---

CPU	Power PC G4 1GHz以上 推奨：Core Duo 1.83GHz以上
メモリー容量	512MB以上
ハードディスク空き容量	20MB以上
ディスプレイ	640x480以上、1680x1200以下の解像度 16ビットカラー以上の表示色

**初めて接続したとき**

初めて接続したときは、ドライバーのインストールが必要です。インストールはWindowsとOS Xで手順が異なります。



- 次回接続時はドライバーのインストールは不要です。
- 他の入力端子からの映像を投写しているときは、入力ソースをUSB Displayに切り替えます。
- USBハブを使用すると、正しく動作しません。直接本機またはコントロールパッドに接続してください。
- USBディスプレイを起動しているときは、オプション設定を変更できません。

**Windowsの場合**

- 1** 同梱のUSBケーブルで、コンピューターのUSB端子と本機またはコントロールパッドのUSB-B端子を接続します。



Windows 2000またはWindows XPの場合、再起動の確認メッセージが表示されることがあります。[いいえ]を選択します。

#### Windows 2000の場合

[コンピュータ] - [EPSON PJ\_UD] - [EMP\_UDSE.EXE]の順にダブルクリックします。

#### Windows XPの場合

自動的にドライバーのインストールが開始します。

#### Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1の場合

ダイアログが表示されたら、[EMP\_UDSE.exeの実行]をクリックします。

**2** 使用許諾画面が表示されたら、[同意する]を選択します。

**3** コンピューターの映像が投写されます。

コンピューターの映像が投写されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。コンピューターの映像が投写されるまではUSBケーブルを抜いたり、本機の電源を切ったりせずにそのままの状態でお待ちください。

**4** 終了するときはUSBケーブルを取り外します。

USBケーブルを取り外すときは、[ハードウェアの安全な取り外し]は必要ありません。



- 自動的にインストールされないときにはコンピューターで [マイコンピュータ] - [EPSON\_PJ\_UD] - [EMP\_UDSE.EXE] の順にダブルクリックします。
- 万一、投写されないときにはコンピューターで [すべてのプログラム] - [EPSON Projector] - [Epson USB Display] - [Epson USB Display Vx.xx] の順にクリックします。
- Windows 2000搭載のコンピューターをユーザー権限でお使いのときは、Windowsのエラーメッセージが表示され使用できないことがあります。この場合は、Windowsをアップデートして最新の状態にしてから再度、接続し直してください。  
詳細は、お買い上げの販売店または以下に記載の連絡先にご相談ください。  
☛ [『お問い合わせ先』](#)

#### OS Xの場合

**1** 同梱のUSBケーブルで、コンピューターのUSB端子と本機またはコントロールパッドのUSB-B端子を接続します。

FinderにUSBディスプレイのセットアップフォルダーが表示されます。

**2** [USB Display Installer]アイコンをダブルクリックします。

**3** 画面の指示に従って、インストールを進めます。

**4** 使用許諾画面が表示されたら、[同意する]を選択します。

管理者権限のパスワードを入力して、インストールを開始します。

インストールが完了すると、DockとメニューバーにUSBディスプレイのアイコンが表示されます。

**5** コンピューターの映像が投写されます。

コンピューターの映像が投写されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。コンピューターの映像が投写されるまでは

USBケーブルを抜いたり、本機の電源を切ったりせずにそのままの状態でお待ちください。

- 6** 終了するときは、メニューバーまたはDockの[USB Display]アイコンから[切断]を選択します。その後USBケーブルを取り外します。



- FinderにUSBディスプレイのセットアップフォルダーが自動的に表示されないときは、コンピュータで[EPSON PJ\_UD] - [USB Display Installer]の順にダブルクリックしてください。
- 万一、投写されないときにはDockの[USB Display]アイコンをクリックします。
- Dockに[USB Display]アイコンがないときは、アプリケーションフォルダーの[USB Display]をダブルクリックします。
- Dockの[USB Display]アイコンから[終了]を選択すると、次回USBケーブル接続時にUSBディスプレイが自動起動しなくなります。

## アンインストール

### Windows 2000の場合

- 1** [スタート] - [設定] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2** [アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。
- 3** [プログラムの変更と削除]をクリックします。
- 4** [Epson USB Display]を選択して、[変更/削除]をクリックします。

### Windows XPの場合

- 1** [スタート] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2** [プログラム追加と削除]をダブルクリックします。
- 3** [Epson USB Display]を選択して、[削除]をクリックします。

### Windows Vista/Windows 7の場合

- 1** [スタート] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2** [プログラム]の[プログラムのアンインストール]をクリックします。
- 3** [Epson USB Display]を選択して、[アンインストール]をクリックします。

### Windows 8/Windows 8.1の場合

- 1** チャームを表示して、[検索]を選択します。[Epson USB Display Ver.x.xx]を右クリック(長押し)します。
- 2** アプリバーから[アンインストール]を選択します。
- 3** [Epson USB Display]を選択して、[アンインストール]をクリックします。
- 4** 画面の指示に従って、アンインストールを進めます。

### OS Xの場合

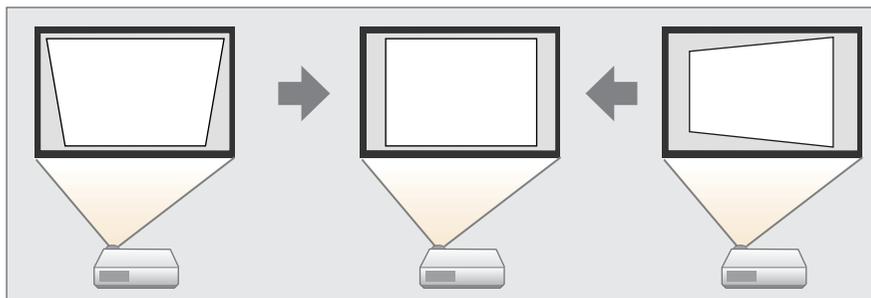
- 1** [アプリケーション] - [USB Display] - [Tool]の順にダブルクリックします。

- 2** [USB Display Uninstaller]を実行します。

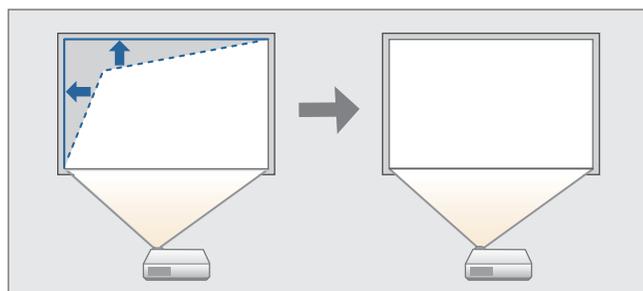
## 台形ゆがみを補正する

投写映像の台形ゆがみを補正するには、以下の方法があります。

- タテヨコ補正  
タテ方向とヨコ方向のゆがみを個別に補正します。



- Quick Corner  
4つのコーナーを個別に補正します。



台形ゆがみを補正すると、投写映像のサイズが小さくなります。

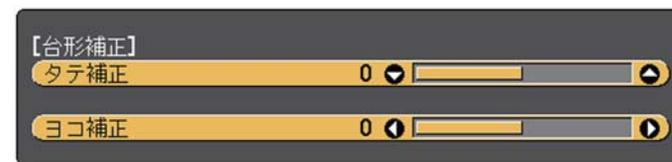
## タテヨコ補正

タテ方向とヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正します。タテヨコ補正は台形ゆがみの微調整に向いています。

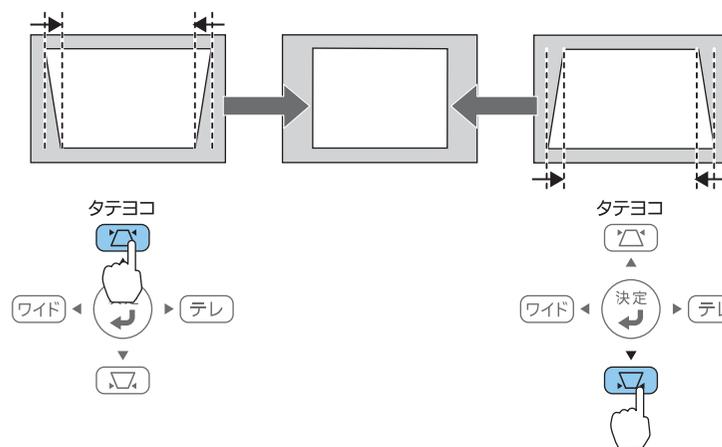
タテヨコ補正で投写映像を正しく補正できる条件は、以下のとおりです。

補正角度：左右約3°/上下約3°

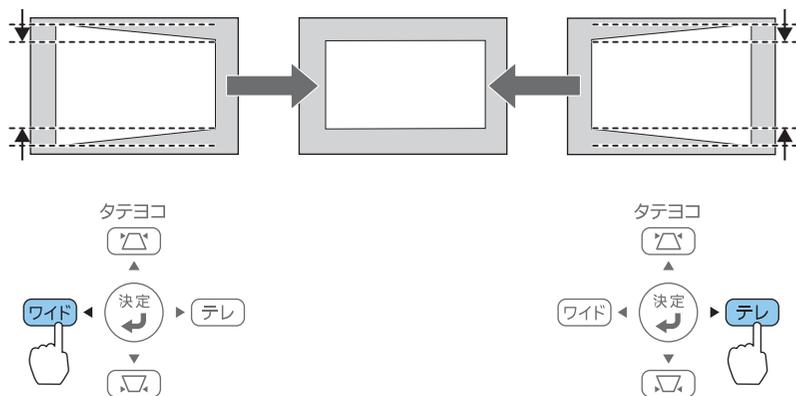
- 1 投写中に操作パネルの【△】または【▽】ボタンを押して、台形補正画面を表示します。



- 2 以下のボタンを押して、台形ゆがみを補正します。  
タテ補正は【△】【▽】ボタンを押します。



ヨコ補正は【テレ】【ワイド】ボタンを押します。



タテヨコ補正は環境設定メニューからも設定できます。

☞ [設定]-[台形補正]-[タテヨコ] p.180

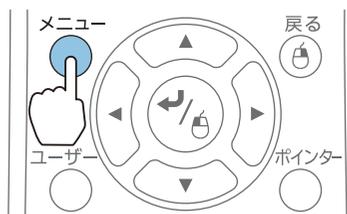
## Quick Corner

スクリーンに合わせて投写映像の4つのコーナーを個別に補正します。

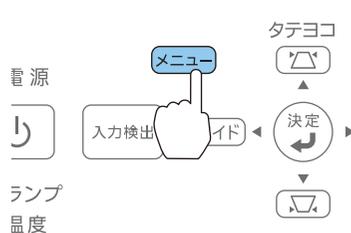
### 1 投写中に【メニュー】ボタンを押します。

☞ 「環境設定メニューの操作」 p.174

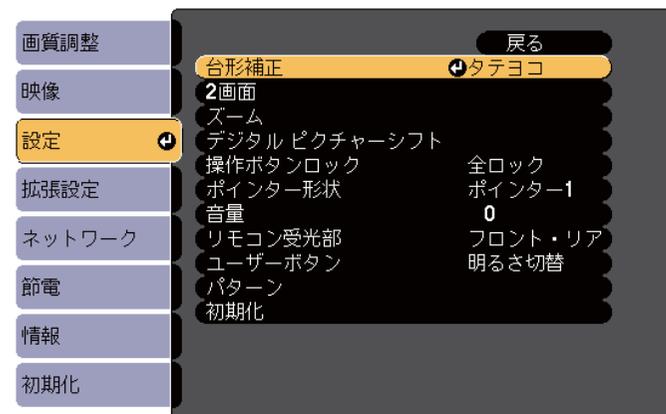
リモコンの場合



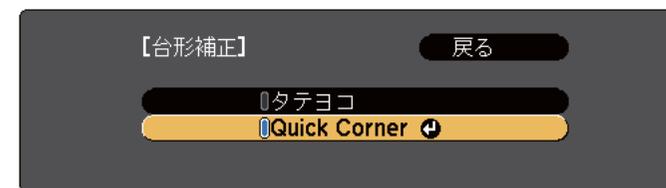
操作パネルの場合



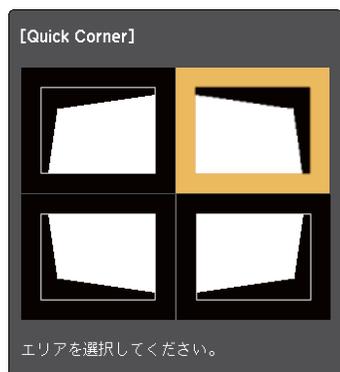
### 2 [設定]から[台形補正]を選択します。



### 3 [Quick Corner]を選択し【↵】ボタンを押します。



### 4 補正するコーナーをリモコンの【▲】【▼】【◀】【▶】ボタン、または操作パネルの【△】【▽】【ワイド】【テレ】ボタンで選択して、【↵】ボタンを押します。



- 5** リモコンの【】【】【】【】ボタン、または操作パネルの【】【】【ワイド】【テレ】ボタンでコーナーの位置を補正します。【】ボタンを押すと、手順4の画面が表示されます。

補正中に「これ以上調整できません。」と表示されたときは、グレーの三角で示す部分が補正量の限界に達したことを示しています。



- 6** 手順4と5を繰り返して補正が必要なコーナーすべてを補正します。

- 7** 【メニュー】ボタンを押して、補正を終了します。

【台形補正】を【Quick Corner】に変更したので、以降は操作パネルの【】【】ボタンを押すと手順4のコーナーを選択する画面が表示されます。操作パネルの【】【】ボタンを押したときにタテヨコ補正したいときは、【台形補正】を【タテヨコ】に変更してください。

☞ 【設定】-【台形補正】-【タテヨコ】 p.180

手順4のコーナーを選択する画面で【戻る】ボタンを約2秒間押し続けると、以下の画面が表示されます。



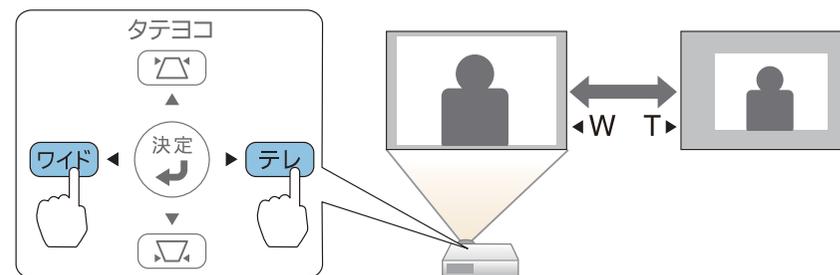
【Quick Corner初期化】：Quick Cornerで補正した結果を初期化します。

【タテヨコへ切替】：補正方法を【タテヨコ】に切り替えます。

☞ 「設定メニュー」 p.180

## 映像のサイズを調整する

操作パネルの【ワイド】【テレ】ボタンを押して、投写映像のサイズを調整します。



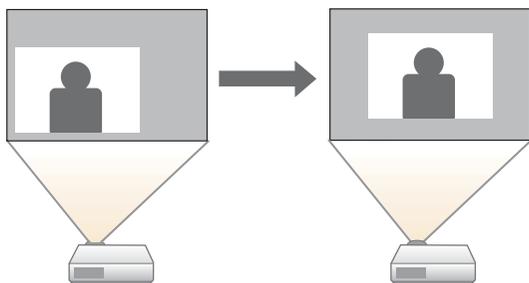


環境設定メニューからも調整できます。

☛ [設定]-[ズーム] p.180

## 映像の位置を調整する(デジタル ピクチャーシフト)

本機を動かさずに映像の投写位置を微調整できます。



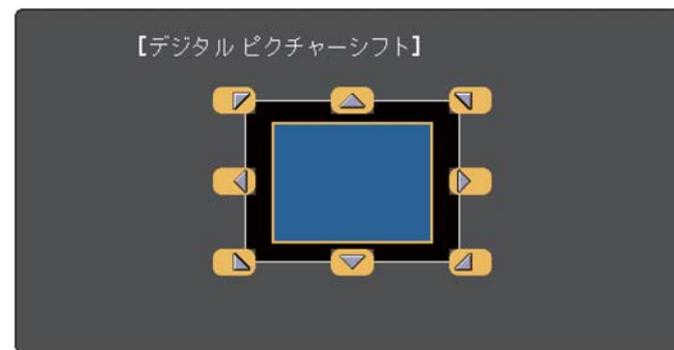
### 1 ズーム調整または台形補正を行います。

☛ 「映像のサイズを調整する」 p.64

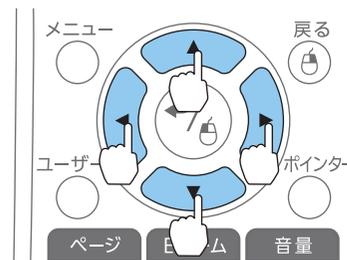
☛ 「台形ゆがみを補正する」 p.62

調整終了後にデジタル ピクチャーシフト調整画面が表示されます。

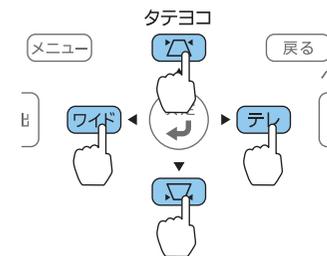
### 2 投写位置を調整します。



#### リモコンの場合



#### 操作パネルの場合



隣り合うリモコンの【△】【▽】【◀】【▶】ボタン、または操作パネルの【△】【▽】【ワイド】【テレ】ボタンを組み合わせると斜め方向にも移動することができます。

### 3 【戻る】ボタンを押して調整画面を終了します。

なにも操作しないと、約10秒後に自動的に調整画面が消えます。



- ズームを[ワイド]側に最大にしているときは投写位置を調整できません。
- デジタル ピクチャーシフトの設定は電源を切っても記憶されています。本機の設置位置や角度を変えたときは、再度調整してください。
- 環境設定メニューからも映像の位置を調整できます。  
 [設定] - [デジタル ピクチャーシフト] p.180

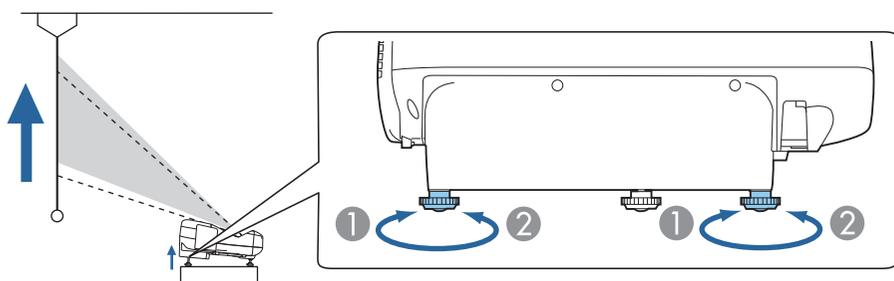
## 映像の高さを調整する(フット同梱機種のみ)

フットを伸縮します。最大1.5°まで傾けて、映像の高さを調整できます。



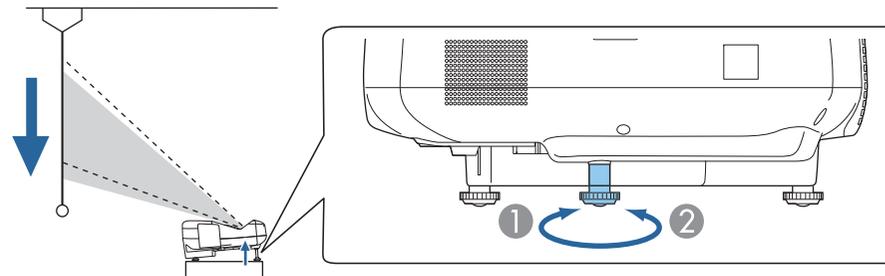
傾斜角度が大きくなると、ピン트가合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるように設置してください。

### 映像の高さを上げる



- ① リアフットを伸ばすと、映像の高さが上がります。
- ② リアフットを縮めると、映像の高さが元に戻ります。

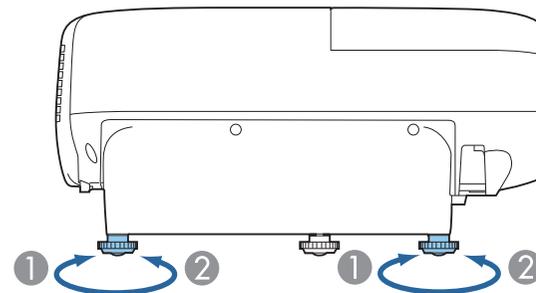
### 映像の高さを下げる



- ① フロントフットを伸ばすと、映像の高さが下がります。
- ② フロントフットを縮めると、映像の高さが元に戻ります。

## 水平傾斜を調整する(フット同梱機種のみ)

リアフットを伸縮して本機の水平方向の傾きを調整します。



- ① リアフットを伸ばします。
- ② リアフットを縮めます。

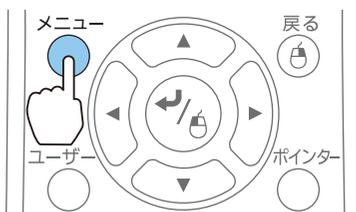
## ピントのズレを補正する

テストパターンを表示してピントのズレを補正します。

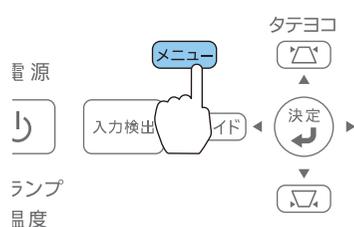
### 1 【メニュー】ボタンを押します。

☛ 「環境設定メニューの操作」 p.174

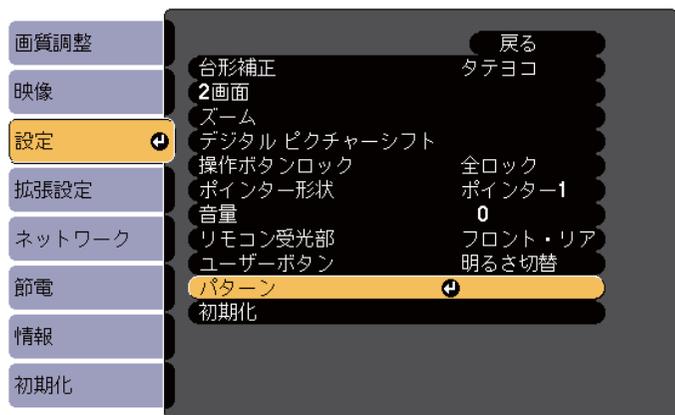
リモコンの場合



操作パネルの場合

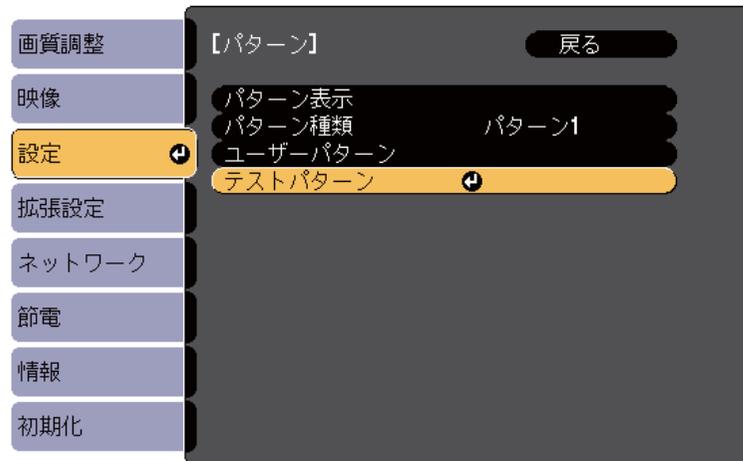


### 2 【設定】から【パターン】を選択します。

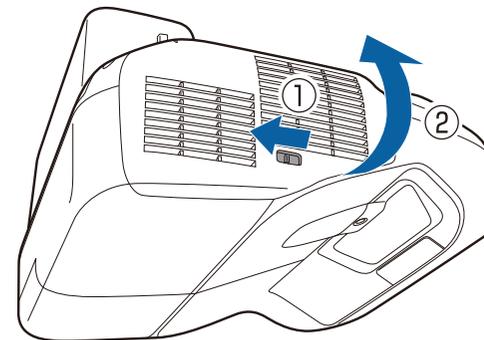


### 3 【テストパターン】を選択し、【決定】ボタンを押します。

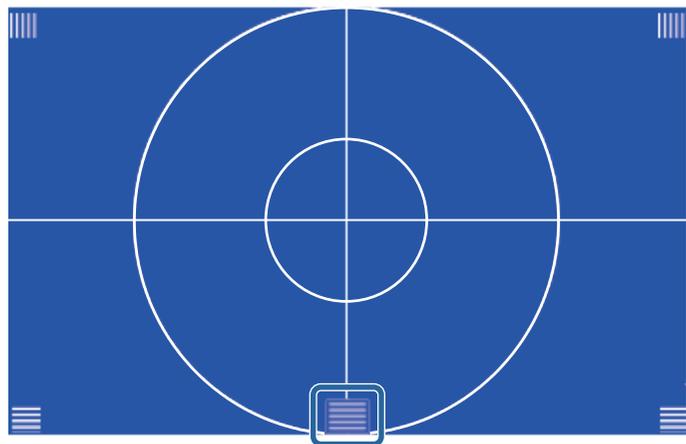
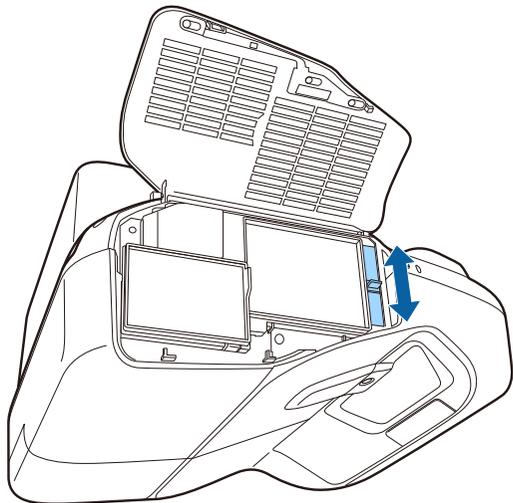
4：3のスクリーンに投写しているときは、[パターン種類]を[パターン5]に設定してから、[パターン表示]を選択して【決定】ボタンを押してください。



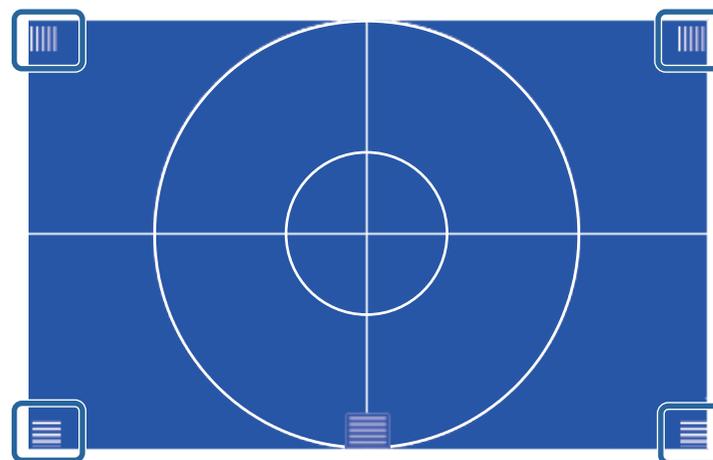
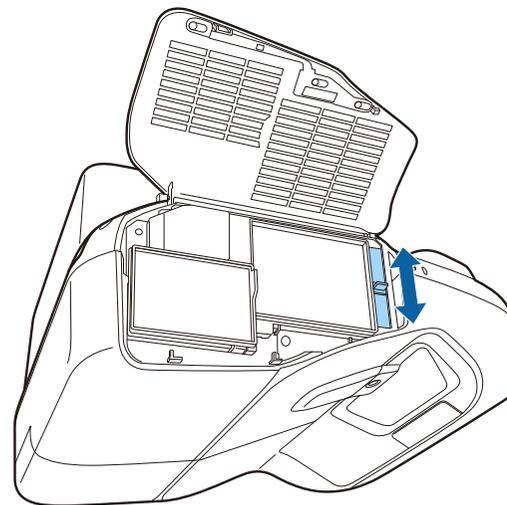
### 4 エアフィルターカバーを開けます。



- 5** 投写画面下側の中央(  )のピントを合わせます。  
フォーカスレバーでピントを合わせます。



- 6** 投写画面の四隅(  )のピントが合っていることを確認します。  
ピントが合っていない箇所があるときは、四隅のピントが均一になるようにフォーカスレバーで調整します。

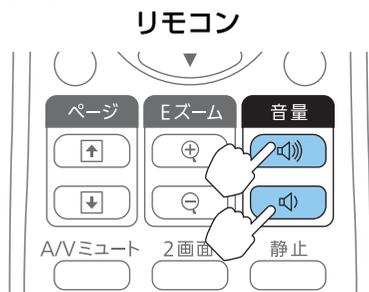


- 7** リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して、テストパターンの表示を消します。

## 音量を調整する

音量を調整するには、以下の方法があります。

- リモコンの【音量】ボタンを押して調整する。  
 【🔊】音量を下げます。  
 【🔊】音量を上げます。



- 環境設定メニューから調整する。  
 ● [設定] - [音量] p.180

### ⚠ 注意

初めから音量を上げすぎないでください。  
 突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

## 画質を調整する

### 色相・彩度・明度の調整

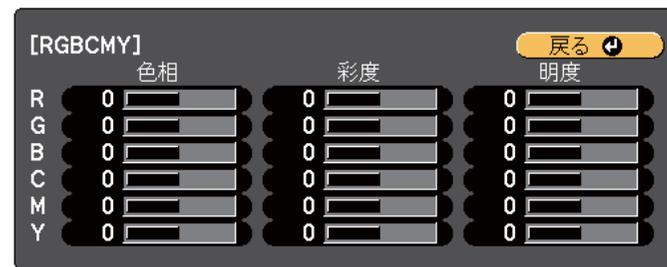
R(赤)G(緑)B(青)C(シアン)M(マゼンタ)Y(イエロー)の各色について、色相、彩度、明度を調整します。

[カラーモード]が[カスタム]に設定されているときのみ調整できます。

- 「映り具合を選ぶ (カラーモードの選択)」 p.70

設定は環境設定メニューから行います。

- [画質調整] - [アドバンスト] - [RGBCMY] p.177



色相	映像全体の色味を、青系～緑系～赤系へと調整します。
彩度	映像全体の鮮やかさを調整します。
明度	映像全体の色の明るさを調整します。

### ガンマの調整

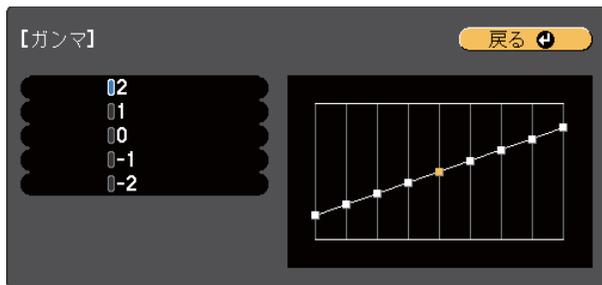
接続する機器の違いにより生じる、投写映像の発色の違いを調整します。

[カラーモード]が[DICOM SIM]または[カスタム]に設定されているときのみ調整できます。

- 「映り具合を選ぶ (カラーモードの選択)」 p.70

設定は環境設定メニューから行います。

☛ [画質調整] - [アドバンスト] - [ガンマ] p.177



数値が大きいほど、映像の暗い部分が明るくなり、明るい部分は色の濃淡が小さくなります。数値が小さいと、映像全体の明るさを抑えてメリハリのある映像になります。

投写サイズに応じた補正值を選択してください。

- 投写サイズが80インチ以下：より小さい数値を選択します。
- 投写サイズが80インチ以上：より大きい数値を選択します。



お使いの設置環境やスクリーンの仕様によっては、医用画像を正しく再現できない場合があります。

## 映り具合を選ぶ(カラーモードの選択)

投写時の環境に応じて次の設定から選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。

モード名	使い方
ダイナミック	明るい部屋での使用に最適です。一番明るいモードです。
プレゼンテーション	明るい部屋で、カラーの資料を使ってプレゼンテーションを行うのに最適です。

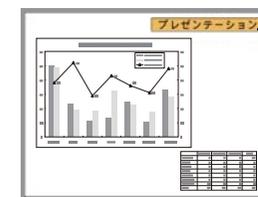
モード名	使い方
シアター	暗い部屋で、映画を楽しむのに最適です。自然な色合いの映像になります。
フォト※1	明るい部屋で、写真などの静止画像を投写するのに最適です。鮮やかで、コントラストのある映像になります。
スポーツ※2	明るい部屋で、テレビ番組などを楽しむのに最適です。鮮やかで、臨場感のある映像になります。
sRGB	sRGB▶▶に準拠した映像になります。
ホワイトボード	ホワイトボードを使ってプレゼンテーションを行うのに最適です。
DICOM SIM※1	エックス線写真などの医用画像を投写するのに最適です。陰影のくっきりした映像になります。なお、本機は医療機器ではありませんので、医療診断の用途ではご利用いただけません。
カスタム	RGBCMYを調整できます。 ☛「画質を調整する」 p.69

※1 RGB信号入力時と入力ソースがUSB Display/USB1/USB2/LANのときのみ選択できます。

※2 コンポーネントビデオ信号入力時と、入力ソースがビデオのときのみ選択できます。

【カラーモード】ボタンを押すたびに画面上にカラーモード名が表示され、カラーモードが切り替わります。

### リモコン



プレゼンテーション



カラーモードは環境設定メニューからも設定できます。

☛ [画質調整]-[カラーモード] p.177

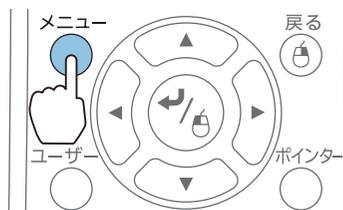
## オートアイリス(自動絞り)を設定する

表示される映像の明るさに合わせて、光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある画像が楽しめます。

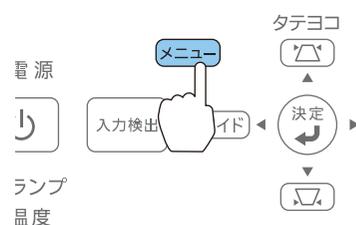
### 1 【メニュー】ボタンを押します。

☛ 「環境設定メニューの操作」 p.174

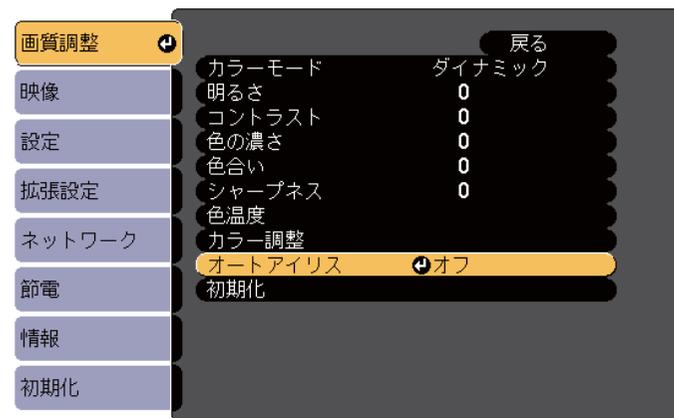
リモコンの場合



操作パネルの場合



### 2 【画質調整】 から 【オートアイリス】を選びます。



### 3 【高速】を選択します。

動作音が気になるときは、[標準]を選択してください。設定値はカラーモードごとに保存されます。

### 4 【メニュー】ボタンを押して設定を終了します。



[カラーモード]が[ダイナミック]、[シアター]、または[カスタム]に設定されているときに限り、オートアイリスの設定ができます。

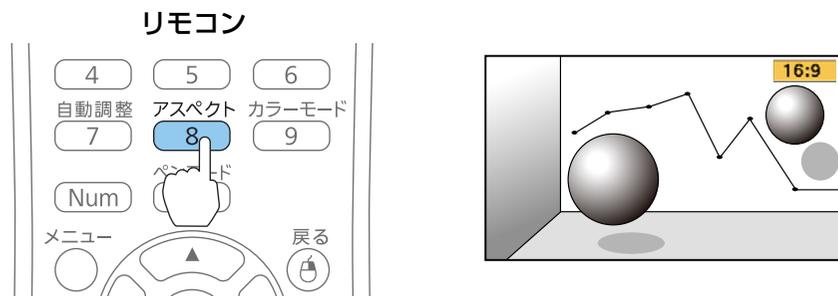
## 投写映像のアスペクト比を切り替える

入力信号の種類、縦横比、解像度に合わせて、投写映像の[アスペクト比](#)を切り替えます。

投写している映像の種類により、選択できるアスペクトモードは異なります。

## 切り替え方法

リモコンの【アスペクト】ボタンを押すたびに画面上にアスペクトモード名が表示され、アスペクト比が切り替わります。



アスペクト比は環境設定メニューからも設定できます。

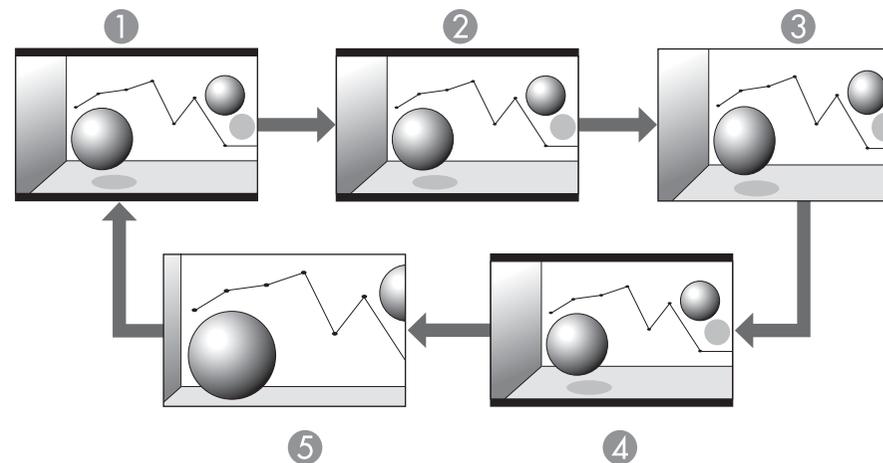
☞ [映像]-[アスペクト] p.178

## アスペクトモードを切り替える

### ビデオ機器の映像またはHDMI/MHL入力端子からの映像を投写しているとき

【アスペクト】ボタンを押すたびに、アスペクトモードが[ノーマル]または[オート]、[16:9]、[フル]、[ズーム]、[リアル]の順で切り替わります。

例：1080p信号入力時(解像度1920x1080、アスペクト比16:9)

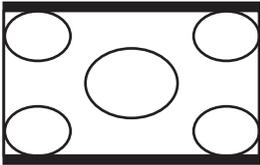
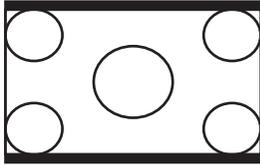
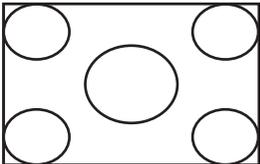
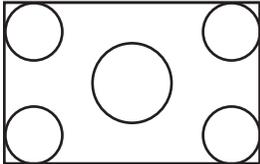
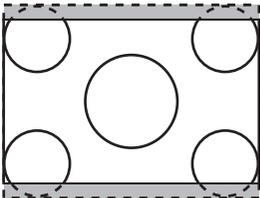
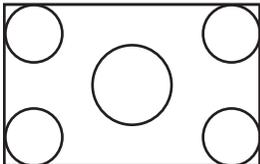
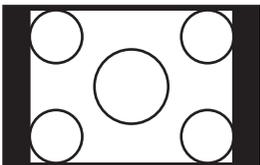
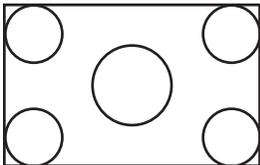


- ① ノーマルまたはオート
- ② 16:9
- ③ フル
- ④ ズーム
- ⑤ リアル

### コンピューターの映像を投写しているとき

各アスペクトモードに切り替えたときの投写例は以下のとおりです。

アスペクトモード	入力信号	
	XGA 1024X768(4:3)	WXGA 1280X800(16:10)
[ノーマル]		

アスペクト モード	入力信号	
	XGA 1024X768(4:3)	WXGA 1280X800(16:10)
[16:9]		
[フル]		
[ズーム]		
[リアル]		



投写映像が欠けてすべてが投写できないときは、お使いのコンピューターのパネルサイズに合わせて、環境設定メニューの[入力解像度]を[ワイド]または[ノーマル]に設定してください。

☛ [映像]-[入力解像度] [p.178](#)



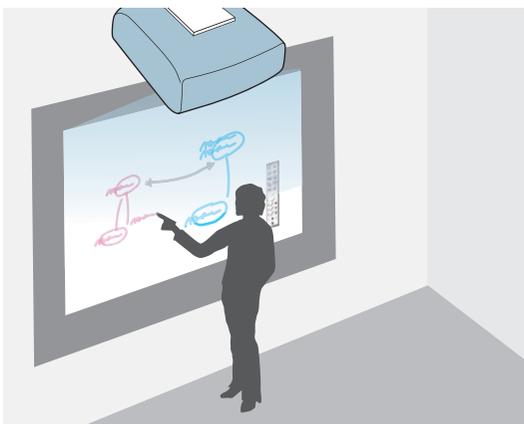
# インタラクティブ機能

ここでは、インタラクティブ機能の使い方について説明します。

## インタラクティブ機能でできること

インタラクティブ機能を使って以下のことができます。

- ペンまたは指(EB-1430WT)を使って、ホワイトボードのような無地の投写画面に描画できます(ホワイトボードモード)。☛ 「ホワイトボードとして使用する(ホワイトボードモード)」 p.89



特定のアプリケーションソフトをインストールしたり、コンピューターを接続したりしなくても、プロジェクター内蔵のホワイトボード機能を使って自由に文字や図形を描画できます。会議でホワイトボードの代わりに使用すると便利です。描画した内容は、他のプロジェクターやタブレット端末と共有したり、PDFやPNGファイルとして保存/メール送信したり、印刷したりできます。

- ☛ 「描画内容を他の機器と共有する」 p.100
- ☛ 「保存する(ホワイトボードモード)」 p.96
- ☛ 「メール送信する(ホワイトボードモード)」 p.99
- ☛ 「印刷する(ホワイトボードモード)」 p.98

- ペンまたは指(EB-1430WT)を使って、コンピューター、タブレット端末、書画カメラなどから投写した資料に注釈を書き込みます(アノテーションモード)。

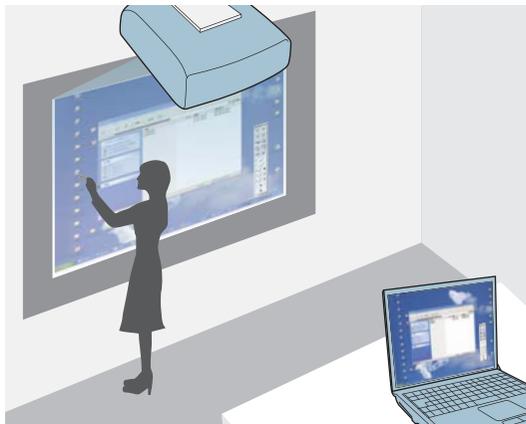
- ☛ 「投写した資料に描画する(アノテーションモード)」 p.109



重要なポイントを強調したり補足を書き込んだりして、効果的な授業やプレゼンテーションを実現できます。描画した内容は、保存したり印刷したりできます。

- ☛ 「保存する(アノテーションモード)」 p.113
- ☛ 「印刷する(アノテーションモード)」 p.113

- ペンまたは指(EB-1430WT)を使って、投写画面でコンピューターの操作ができます(マウス操作)。コンピューターからの投写映像上で、マウスと同じように、クリックやドラッグ&ドロップなどができます。
  - ☛ 「投写画面でコンピューターの操作を行う(マウス操作)」 [p.114](#)



同梱の描画アプリケーションソフトEasy Interactive Toolsを使うと、描画した内容を保存したり印刷したりできます。機能の詳細については、ソフトに同梱の『Easy Interactive Tools操作ガイド』をご覧ください。

## インタラクティブ機能を安全にお使いいただくために

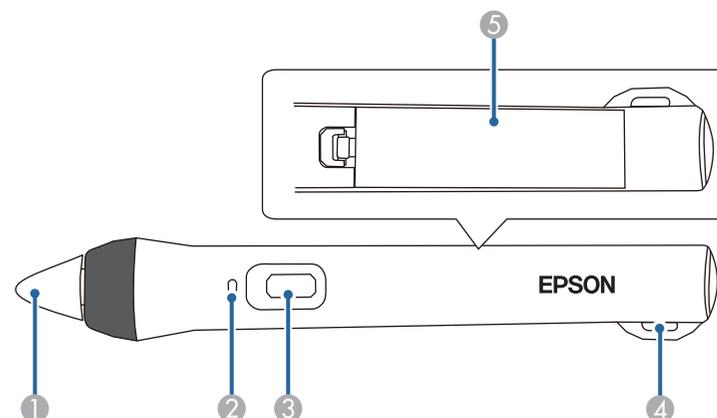
インタラクティブ機能は赤外線通信により動作します。以下の注意事項を必ず守ってご使用ください。

- Easy Interactive Function 受光部や投写画面に、強い光や太陽光が直接当たらないようにしてください。
- Easy Interactive Function 受光部にホコリが付着すると、赤外線受信の妨げとなり正常に使用できないことがあります。本機が汚れたら掃除をしてください。  
☛ 「各部の掃除」 p.232
- Easy Interactive Function 受光部のカバーには、塗装やシールの貼付けをしないでください。
- Easy Interactive Function 受光部と蛍光灯の距離を離して本機を設置してください。周囲が明るすぎると、インタラクティブ機能が正しく動作しないことがあります。
- 赤外線リモコンや赤外線マイクロホンと同じ空間で使用すると、ペンが誤動作することがあります。
- 強いノイズを発生する機器(回転機、変圧器など)は本機に近づけないでください。インタラクティブ機能を使用できなくなることがあります。

## Easy Interactive Penを使って操作する

プロジェクターには2種類のペンが同梱されており、ペン後方部の色が異なります(オレンジと青)。色の異なるペンは2本同時に使用できます。

ペンの電源をオンにする前に、電池が入っていることを確認します。



- ① ペン先ボタン
- ② バッテリーインジケーター
- ③ ボタン
- ④ ストラップホール
- ⑤ 電池カバー

ペン先ボタンを押し当てるか、ペン側面にあるボタンを押して、電源をオンにします。

ペンを使い終わったら、投写画面から離れた場所に置いてください。

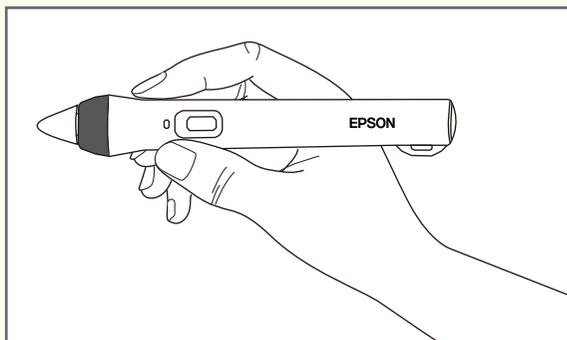
☛ 「Easy Interactive Pen」 p.22

### 注意

- 濡れた手でペンを使用したり、直接水のかかる場所で使用したりしないでください。ペンは防滴仕様ではありません。万一濡れた手でペンを使用すると、感電する可能性があります。
- 太陽光が直接当たる場所には、プロジェクターやスクリーンを設置しないでください。太陽光がプロジェクターやスクリーンに直接当たると、インタラクティブ機能が正しく動作しない場合があります。

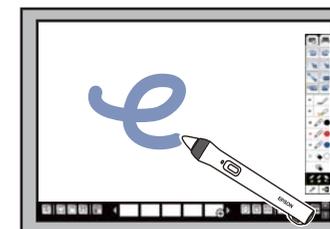
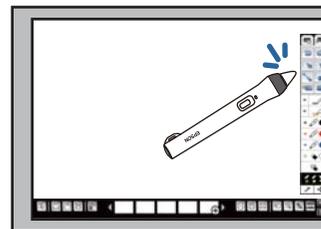


- ペンを20分間使わないと、電源が自動でオフになります。使用するときは、ペン先ボタンを押し当てるか、ペン側面にあるボタンを押して、再度電源をオンにしてください。
- ペンが正しく動作するよう、次の図のように投写面に対してペンを垂直に持ってください。また、ペン先の黒い部分を持たないでください。



電子ペンを使って次のことができます。

- ホワイトボードモードまたはアノテーションモードでは、以下の操作ができます。



- ・アイコンなどを選択するには、ペン先ボタンを投写面に押し当てます。
- ・投写面に描画するには、ペン先ボタンを押し当てて動かします。
- ・ポインターを移動するには、ペン先を投写面から浮かせて動かします。これをホバリングと呼びます。
- ・描画ツールから消しゴムに切り替えるには、ペン側面のボタンを押します。

- ペンをマウス操作として使用中は、以下の操作ができます。



- ・クリックするには、投写面にペン先ボタンを押し当ててすぐ離します。
- ・ダブルクリックするには、ペン先ボタンを2回押し当てます。
- ・右クリックするには、ペン側面のボタンを押します。
- ・ドラッグ&ドロップするには、移動したいアイコン等の上でペン先を押し当てて、投写面から離さずに移動し、移動先でペン先を離します。
- ・カーソルを移動するには、ペン先を投写面から浮かせて動かします。これをホバリングと呼びます。



- ・環境設定メニューの[拡張設定] - [Easy Interactive Function]でホバリング機能をオフにできます。
- ・☛ [拡張設定] - [Easy Interactive Function] - [ホバリング] p.181
- ・ペン先ボタンの長押しを右クリックとして使用したいときは、環境設定メニューの[拡張設定] - [Easy Interactive Function]で以下を設定します。
  - ・[ペン動作モード]を[2人で書く/マウス]または[1人で書く/マウス]にする(EB-1420WTの場合)。
  - ・[ペン動作モード]を[モード1]または[モード3]にする(EB-1430WTの場合)。
  - ・[右クリック通知]を[オン]にする。

## ペン位置合わせ

ペン位置を本機に正しく認識させるため、必ずペン位置合わせを行ってください。ペン位置合わせは、プロジェクターを初めて使うときに必要です。

ペン位置合わせは、[自動位置合わせ]で行います。[自動位置合わせ]に失敗したときや微調整が必要なときは、[手動位置合わせ]を行います。



- ・ペン位置合わせをするときは、使用しないペンを投写面から離してください。
- ・ペン位置合わせを行った後、以下の操作を行うと、位置がずれることがあります。位置ずれが気になるときは、再度ペン位置合わせを行ってください。
  - ・台形補正を行ったとき
  - ・映像のサイズを調整したとき
  - ・デジタルピクチャーシフトを行ったとき
  - ・プロジェクターの投写位置が変わったとき
- ・再度ペン位置合わせをするまで、ペン位置合わせの結果が保持されます。

## 自動ペン位置合わせ

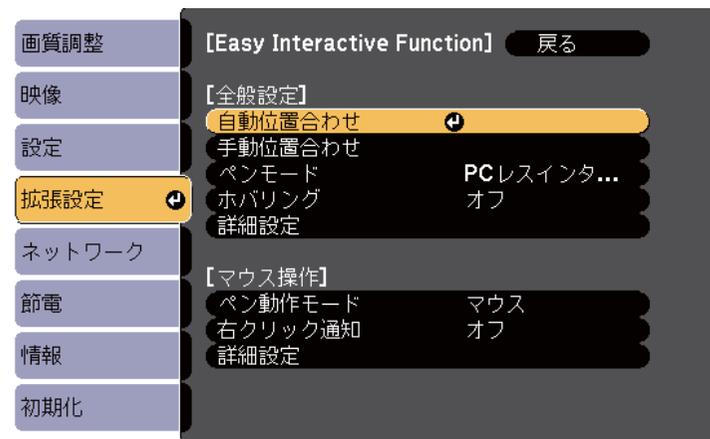
プロジェクターを初めて使用するときには、ペン位置合わせを行う必要があります。[自動位置合わせ]には、ペンやコンピューターは必要ありません。



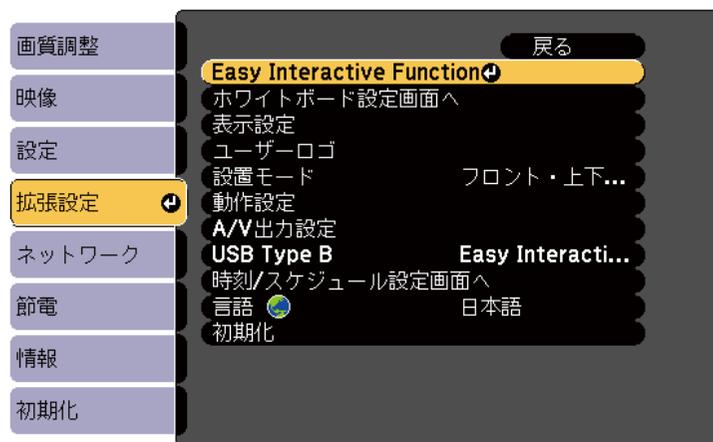
[自動位置合わせ]は、リモコンの【メニュー】ボタンを押して開始するほか、【ユーザー】ボタンを押しても開始できます。

**1**

【メニュー】ボタンを押して、[拡張設定]メニューを選択してから、【決定】ボタンを押します。

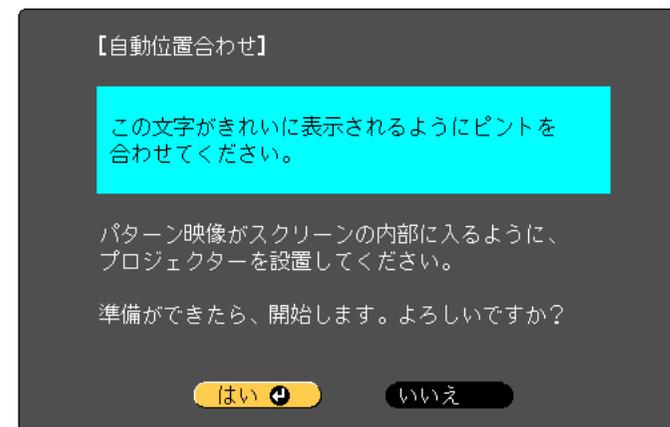


**2** **【Easy Interactive Function】**を選択して、**【決定】**ボタンを押します。



**3** **【自動位置合わせ】**を選択して、**【決定】**ボタンを押します。

次の画面が表示されます。



**4** 必要に応じて、プロジェクターの側面にあるエアフィルターカバーを開け、フォーカスレバーを操作してピントを合わせます。

**5** **【はい】**を選択して**【決定】**ボタンを押します。  
パターン映像が投写され、ペン位置合わせが始まります。自動位置合わせに失敗したときは、エラーメッセージが表示されます。手動位置合わせを行ってください。

位置合わせ後は、ペンで描画している位置と実際に描画される位置が合致します。合っていないときは、手動位置合わせを行ってください。

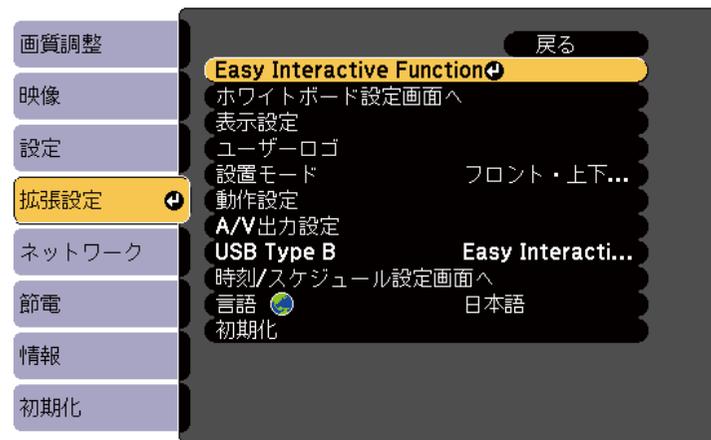
## 手動ペン位置合わせ

自動位置合わせを行っても、ペンで描画している位置と実際に描画される位置がずれるときは、手動位置合わせを行います。

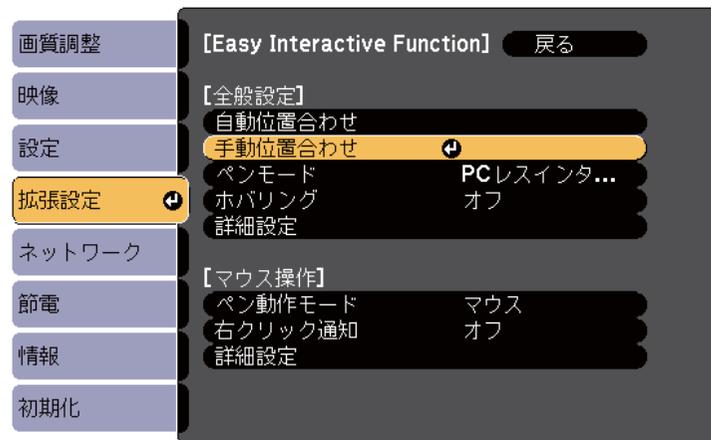
- 1 【メニュー】ボタンを押して、【拡張設定】メニューを選択してから、【決定】ボタンを押します。



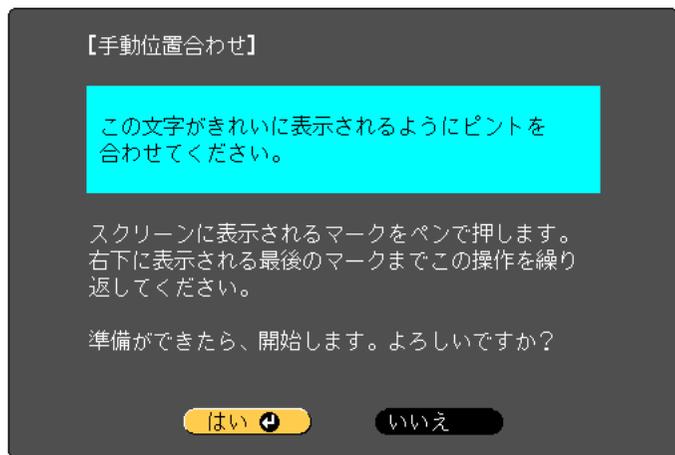
- 2 【Easy Interactive Function】を選択して、【決定】ボタンを押します。



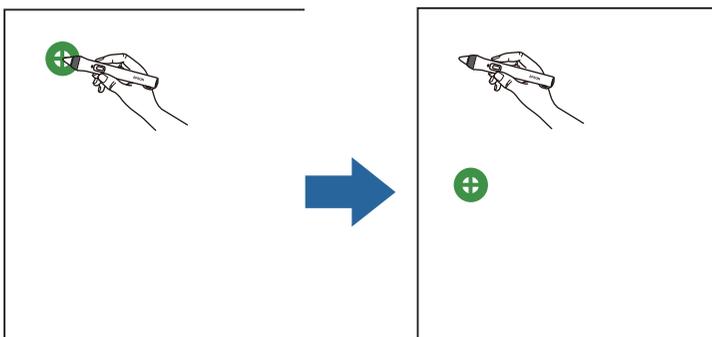
- 3 【手動位置合わせ】を選択して、【決定】ボタンを押します。



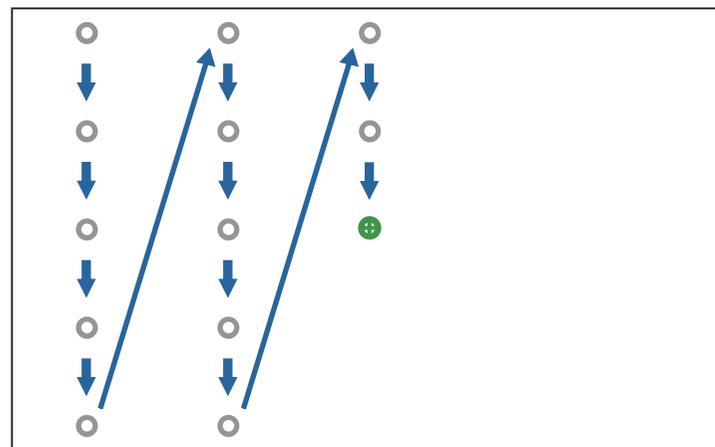
次の画面が表示されます。



- 4 必要に応じて、プロジェクターの側面にあるエアフィルターカバーを開け、フォーカスレバーを操作してピントを合わせます。
- 5 [はい]を選択して【決定】ボタンを押します。投写画面の左上に緑色のドットが表示されます。
- 6 ドットの中心をペン先で押します。ドットが消えて次の位置に移動します。



- 7 次のドットの中心をペン先で押します。この操作を繰り返します。ドットはスクリーンの左上から右下に向かって、順番に表示されます。





- ペンとEasy Interactive Function受光部との間に障害物がないことを確認してください。
- 押す位置を間違えたときは、リモコンの【戻る】ボタンを押して1つ前のドットに戻ります。
- 位置合わせを中止するときは、【戻る】ボタンを2秒間押し続けます。

## 8 すべてのドットが消えるまで、繰り返します。

### 指を使って操作する(EB-1430WTのみ)

ペンと同じように、投写画面で指を使ってタッチ操作ができます(EB-1430WTのみ)。ペンと指は同時に使用できます。

マウス操作では、最大6点までのマルチタッチを認識します。ホワイトボードモードおよびアノテーションモードでは、2本の指を使ったマルチタッチ操作が可能です。

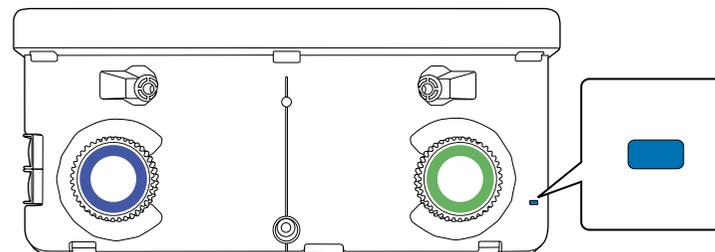
指での操作を始める前に、次の設定が完了していることを確認します。

- タッチユニットの取り付け
- 手動位置合わせ
- タッチユニットの角度調整
- 指タッチ位置合わせ

詳しくは、『設置工事説明書』をご覧ください。

#### ☛ 『設置工事説明書』

プロジェクターの電源を入れると、タッチユニットの電源がオンになり、インジケータが青色に点灯します。タッチユニットの電源がオンになると、指での操作が可能になります。



- タッチユニットの電源がオンにならないときは、以下をご確認ください。
  - ・ 環境設定メニューで、[タッチユニット設置]の[電源]が[オン]に設定されている。
  - ☛ [拡張設定] - [Easy Interactive Function] - [タッチユニット設置] - [電源] p.181
  - ・ タッチユニットと本機のTCH端子が、タッチユニット接続ケーブルで接続されている。
- 指の向きや角度により、タッチ操作の位置がずれることがあります。
- 付け爪やマニキュア、包帯などをしている指で操作すると、正しく動作しないことがあります。
- 指同士またはペン同士、あるいはその両方が近い場合、または複雑に交差する動きの場合は、複数の指を正しく認識しないことがあります。
- 衣服の袖や身体の一部がスクリーンに近づいたり接触すると、誤動作する場合があります。
- 投写面内に手をつけて描画や操作を行うと、誤動作する場合があります。

指タッチ操作では、次のことができます。

- 指をマウス操作として使用しているときは、以下の操作ができます。

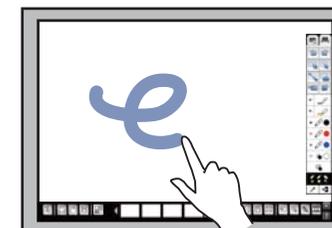
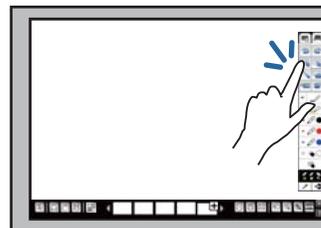


- クリックするには、投写面に指先を押し当ててすぐに離します。
- ダブルクリックするには、指先を2回押し当てます。
- ドラッグ&ドロップするには、移動したいアイコン等の上で指を押し当てて、投写面から離さずに移動し、移動先で指を離します。



- お使いの機器が下記の操作に対応しているときは、投写画面から同様の操作ができます。
  - 画像を拡大・縮小するには、2本の指で触れ、投写面上で指を離したり(拡大)近づけたり(縮小)します。
  - 画像を回転するには、2本の指で触れ、そのまま回します。
  - ページ送りをしたり、ブラウザ上で画面を切り替えるには、指ではじきます(フリック操作)。
- 複数の指でそれぞれ異なるツールを選択することはできません。
- 2画面投写時にホワイトボードモードを使用しているときは、以下の操作はできません。
  - 複数の指を使った描画
  - 2本の指を近づけたり離したりして行う、画像などの拡大・縮小

- ホワイトボードモードまたはアノテーションモードでは、以下の操作ができます。



- アイコンなどを選択するには、指先を投写面に押し当ててすぐに離します。
- 描画するには、ツールバーからペンを選択し、指先を投写面に押し当てて動かします。本機の電源をオンにしてから初めて指タッチ操作を行うときは、消しゴムが選択されています。
- 画像や選択した領域を拡大・縮小するには、2本の指で触れ、投写面上で指を離したり(拡大)近づけたり(縮小)します。

## 指タッチ位置合わせ

指の位置を正しく認識させるために、必ず指タッチ位置合わせを行ってください。指で描画している位置と実際に描画される位置がずれるときは、再度指タッチ位置合わせを行います。



- 指タッチ位置合わせは、タッチユニットが設置されたときに行います。詳しくは、『設置工事説明書』をご覧ください。  
 ● 『設置工事説明書』
- 指タッチ位置合わせの前に、[自動位置合わせ]または[手動位置合わせ]が終了していることを確認してください。  
 ● 「ペン位置合わせ」 p.79
- 位置合わせを行った後に以下の操作を行うと、位置がずれることがあります。位置ずれが気になるときは、再度指タッチ位置合わせを行ってください。
  - 自動位置合わせまたは手動位置合わせを行ったとき
  - タッチユニットの角度調整を行ったとき
  - 台形補正を行ったとき
  - 映像のサイズを調整したとき
  - デジタルピクチャーシフトを行ったとき
  - プロジェクターの投写位置が変わったとき

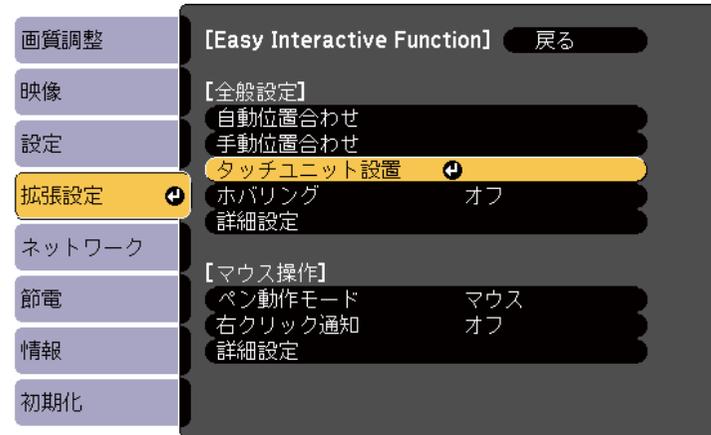
**1** 【メニュー】ボタンを押して、[拡張設定]メニューを選択してから、【決定】ボタンを押します。



**2** 【Easy Interactive Function】を選択して、【決定】ボタンを押します。



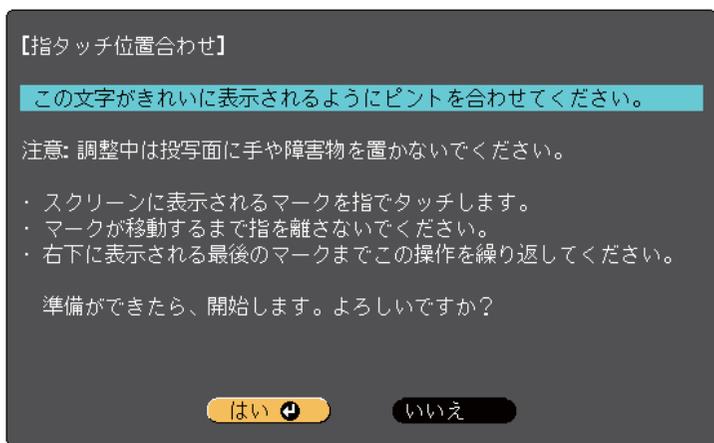
**3** 【タッチユニット設置】を選択して、【決定】ボタンを押します。



**4** 【指タッチ位置合わせ】を選択して、【決定】ボタンを押します。



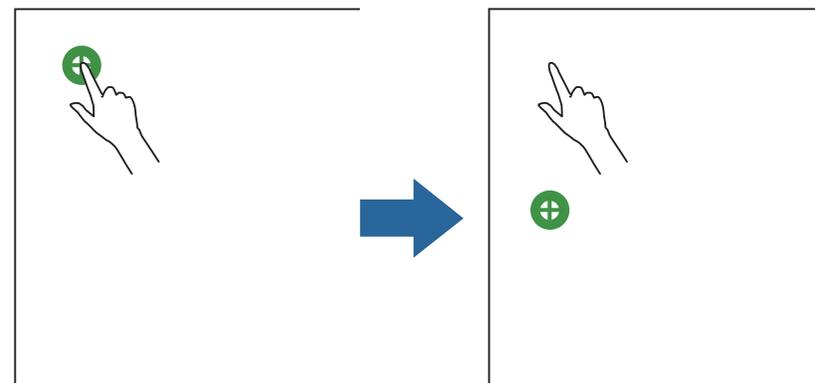
次の画面が表示されます。



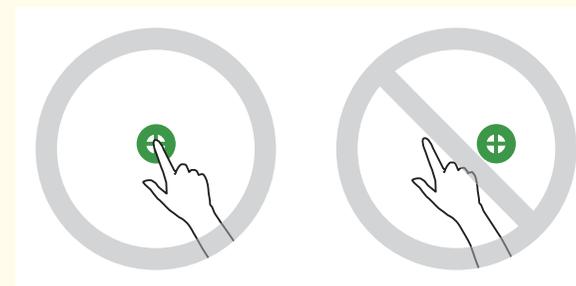
**5** 必要に応じて、プロジェクターの側面にあるエアフィルターカバーを開け、フォーカスレバーを操作してピントを合わせます。

**6** [はい]を選択して【決定】ボタンを押します。  
投写画面の左上に緑色のドットが表示されます。

**7** ドットの中心を指で押します。  
ドットが消えて次の位置に移動します。

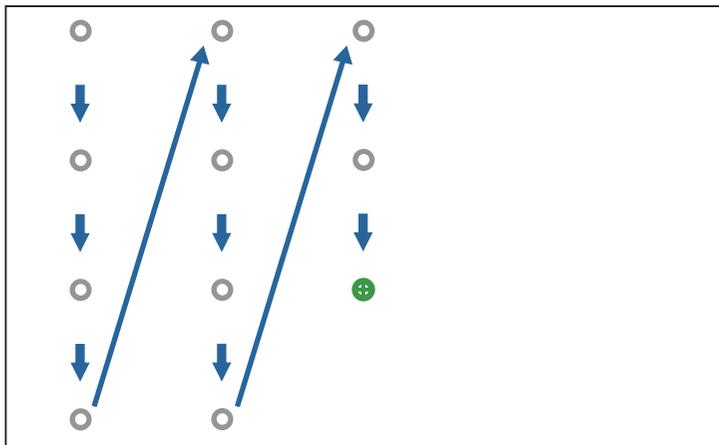


 • 必ずドットの中心を押してください。中心以外を押すと位置ずれの原因となります。



• 手の甲など、指以外のものが投写画面に当たらないようにしてください。

**8** 次のドットの中心を指で押します。この操作を繰り返します。  
ドットはスクリーンの左上から右下に向かって、順番に表示されます。



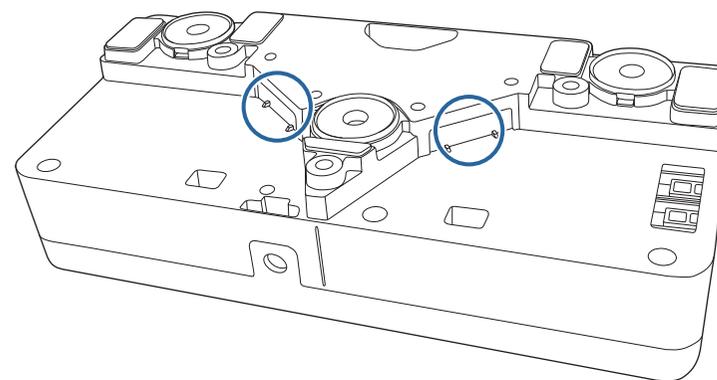
- 指とEasy Interactive Function受光部との間に障害物がないことを確認してください。
- 押す位置を間違えたときは、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して1つ前のドットに戻ります。
- 位置合わせを中止するときは、【戻る】ボタンを2秒間押し続けます。

## 9 すべてのドットが消えるまで、繰り返します。

### 指での操作を安全に行っていただくために

タッチユニットは、内部に高出力レーザー製品が組み込まれており、指での操作を可能にします。

レーザー光は、タッチユニットの背面にあるレーザー照射口から照射されます。



指での操作を行うときは、以下の注意事項を必ず守ってください。

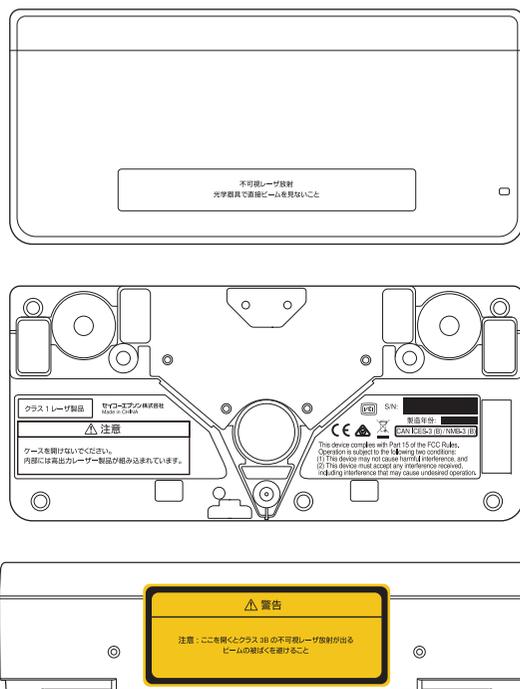
### 警告

- 小さなお子様が指操作を行うときは、誤った使い方をしないよう必ず保護者が同伴してください。
- タッチユニットのケースを開けないでください。また、タッチユニットの分解・改造は、絶対にしないでください。内部には電圧の高い部分が多くあり、火災・感電・事故の原因となります。
- 電源投入後は絶対に本機の投写レンズおよびタッチユニットの発光部をのぞかないでください。レーザーで目を痛めるなどの原因となります。小さなお子様のいる場所では特に注意してください。
- タッチユニットから照射されるレーザー光に対して、ルーペ、反射鏡などの光学機器をあてないでください。そのまま使用し続けると、人体に悪影響を及ぼす可能性があります。また、火災・事故の原因となるおそれがあります。
- 本機およびタッチユニットに異常が発生したときは、すぐにプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因だけでなく、視力障害の原因にもなります。
- タッチユニットの照射口から70mm以内の距離で特定の光学機器(アイルーペ、拡大鏡、顕微鏡等)を用いてレーザー光を見ると、眼に障害が生じる可能性があります。絶対に光学機器を通してレーザー光を見ないでください。

## タッチユニット警告ラベル

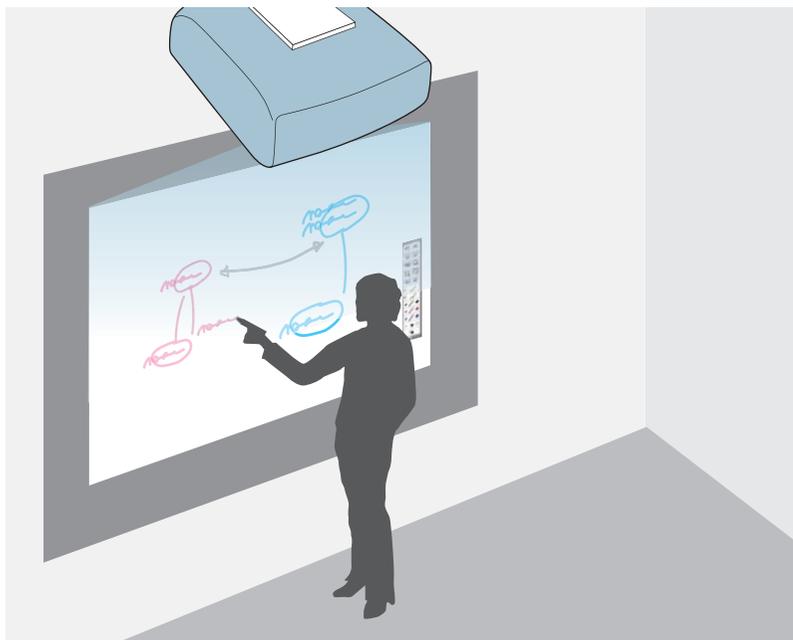
タッチユニットは、JIS C 6802:2011に適合したクラス1レーザー製品です。

タッチユニットにはクラス1レーザー製品であることと警告を示すラベルが貼られています。貼られている場所は次のとおりです。



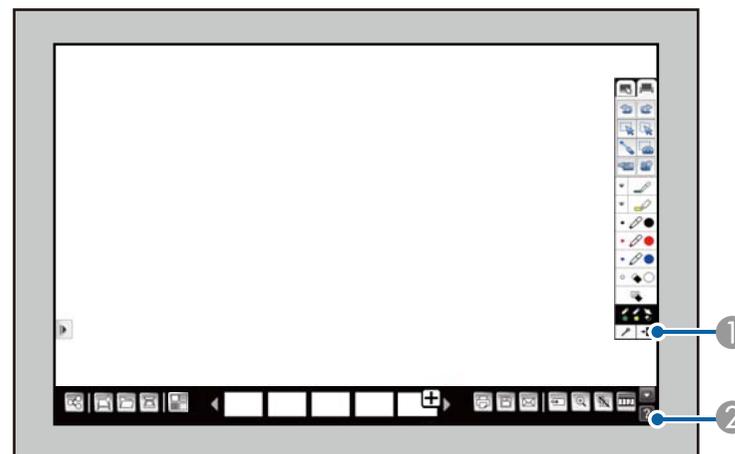
ラベルの内容は次のとおりです。

- クラス1レーザー製品
- 警告：ケースを開けないでください。内部には高出力レーザー製品が組み込まれています。
- 警告：
  - 注意：ここを開くとクラス3Bの不可視レーザー放射が出る
  - ビームの被ばくを避けること



ホワイトボードのような無地の背景が投写されます。Easy Interactive Penまたは指(EB-1430WT)を使用して、画面上に自由に文字や図形を描画できます。2本のペンを同時に使用できます。指と2本のペンを同時に使用することもできます(EB-1430WT)。

会議でホワイトボードの代わりに使用すると便利です。



- ① ツールバー
- ② 下段ツールバー

ツールバーが表示されたら、Easy Interactive Penまたは指(EB-1430WT)を使って投写面に書き込みができます。

ツールバーには、描画用のペンや図形描画ツールなどが用意されています。

下段ツールバーには、スキャンや画面保存などの機能があります。

☛ 「ホワイトボードモードのツールバー」 [p.91](#)

☛ 「ホワイトボードモードの下段ツールバー」 [p.93](#)

## ホワイトボードモードの始め方

- ① ペン先ボタンを投写面に押し当てるか、ペン側面にあるボタンを押してEasy Interactive Penの電源をオンにします。
- ② コントロールパッドまたはリモコンの【ホワイトボード】ボタンを押します。  
投写画面にツールバーと下段ツールバーが表示されます。

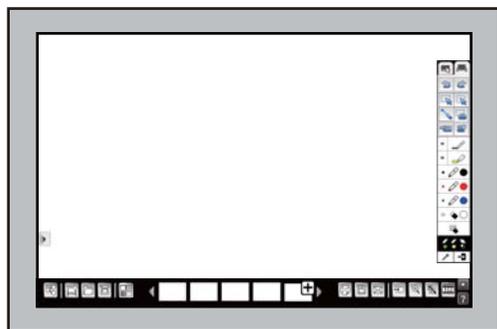
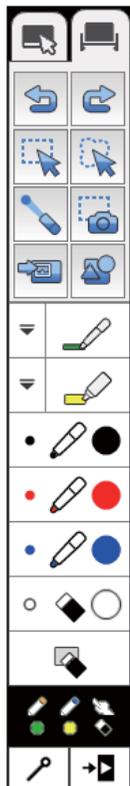


- 下記のいずれかの方法でもホワイトボードモードに切り替えられます。
  - ・ ツールバーの【】をクリックする(アノテーションモード使用中のみ)
  - ・ 下段ツールバーで【】をクリックして、[ホワイトボード]を選択する
    - ・ Web Remoteのソース設定で[ホワイトボード]を選択する
      - ☛ 「Web Remote画面を表示する」 p.156
  - ホワイトボードモードで描画した内容は、アノテーションモードや他の映像ソースに切り替えても保持されます。
  - ホワイトボードモード時にリモコンの【ホワイトボード】ボタンを押すと、ホワイトボードモードに切り替える前の映像ソースに切り替わります。

## 注意

- 停電や電源コードの引き抜きなど、描画中に意図せず電源がオフになったとき、描画中のデータはバックアップ機能で内部ストレージに自動保存されます。ただし、電源がオフになってから設定時間が経過すると、内部ストレージ内の保存データは自動的に消去されます。必要なデータは、設定時間内に再度電源をオンにして復元してください。
- データのバックアップ時間は、ホワイトボード設定画面で[0分]、[10分]、[3時間]、[無期限]から選択できます。初期設定は[3時間]です。お使いの環境に合わせてバックアップ時間を設定してください。
- ホワイトボード設定画面で、データ漏洩防止のための設定ができます。お使いの環境に合わせて設定してください。
  - ☛ [拡張設定] - [ホワイトボード設定] p.185
- 内部ストレージに保存されたデータは暗号化されていますが、データの漏えいには十分にご注意ください。特にデータのバックアップ時間を[無期限]に設定した場合には、情報漏洩のリスクが高まります。本機を他人と共有して使用したり、貸与・譲渡・廃棄等をする際には、個人情報や機密情報等の大切なデータが内部ストレージ内に残っていないかを確認して、必要に応じて消去してください。
- データの管理はお客様の責任において実施してください。データの損失・損傷、情報漏洩、その他本機の使用によりお客様または第三者のデータに関して生じた直接的・間接的な損害につきましては、当社は一切の責を負いかねます。あらかじめご了承ください。

## ホワイトボードモードのツールバー



	ツールバーの表示/非表示を切り替えます。 タブは上下に移動できます。
	アノテーションモードまたはマウス操作に切り替えます。
	アノテーションモード時またはマウス操作時に押すと、ホワイトボードモードに切り替えます。

	1つ前の操作を元に戻します。 1ページにつき15回前までの操作を元に戻せます。
	元に戻す操作をキャンセルして、元に戻す前の状態にします。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• クリックすると、オブジェクトや画像を選択できます。</li> <li>• ドラッグすると、選択する範囲を示す枠が表示されます。枠内に入っているオブジェクトや画像は全て選択できます。</li> <li>• オブジェクトや画像がない場所でクリックすると、選択が解除されます。</li> <li>• 選択したオブジェクトや画像の右下にある【】をクリックすると、以下の操作ができます。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・カット</li> <li>・コピー</li> <li>・グループ化/グループ解除(複数のオブジェクトや画像を選択しているときのみ)</li> <li>・自動トリミング：選択している画像の周りにある黒い枠を削除(1つの画像を選択しているときのみ)</li> <li>・削除</li> </ul>                     カットまたはコピーしたオブジェクトや画像を貼り付けるときは、ホワイトボード画面をクリックして、表示される【】をクリックします。[貼り付け]をクリックすると、カットまたはコピーしたオブジェクトや画像がホワイトボードの中央に貼り付けられます。                 </li> <li>• 選択した範囲の角をドラッグすると、オブジェクトや画像を拡大・縮小できます。</li> <li>• 選択した範囲の辺をドラッグすると、選択している画像をトリミングできます(1つの画像を選択しているときのみ)。</li> <li>• 選択した範囲の上部にある【】をドラッグすると、選択した範囲内のオブジェクトや画像が回転します。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• クリックすると、オブジェクトや画像を選択できます。</li> <li>• ペンで囲んだ範囲内のオブジェクトや画像をすべて選択できます。ペン先ボタンをスクリーンに押し当てて動かすことで、選択する範囲を自由に設定できます。</li> <li>• オブジェクトや画像がない場所でクリックすると、選択が解除されます。</li> <li>• 選択したオブジェクトや画像の右下にある【】をクリックすると、以下の操作ができます。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・カット</li> <li>・コピー</li> <li>・グループ化/グループ解除(複数のオブジェクトや画像を選択しているときのみ)</li> <li>・自動トリミング：選択している画像の周りにある黒い枠を削除(1つの画像を選択しているときのみ)</li> <li>・削除</li> </ul>             カットまたはコピーしたオブジェクトや画像を貼り付けるときは、ホワイトボード画面をクリックして、表示される【】をクリックします。[貼り付け]をクリックすると、カットまたはコピーしたオブジェクトや画像がホワイトボードの中央に貼り付けられます。           </li> <li>• 選択した範囲の角をドラッグすると、オブジェクトや画像を拡大・縮小できます。</li> <li>• 選択した範囲の辺をドラッグすると、選択している画像をトリミングできます(1つの画像を選択しているときのみ)。</li> <li>• 選択した範囲の上部にある【】をドラッグすると、選択した範囲内のオブジェクトや画像が回転します。</li> </ul>
---	--

	<p>議論の注意点などを示すためのポインターを表示します。ポインターは、ドラッグで移動できます。</p> <p>ホワイトボードを共有しているときにポインターを表示すると、他のプロジェクターやタブレット端末にも同じポインターが表示されます。ポインターは、複数の機器で同時に操作することはできません。</p> <p>☛「描画内容を他の機器と共有する」p.100</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> プロジェクターのポインター機能とは異なるため、ポインターの形状を変更したり、リモコンでポインターを操作したりはできません。</p> </div>
	<p>選択した範囲の右下にある【】をクリックすると、選択した範囲内を画像としてコピーできます。</p> <p>コピーした画像を貼り付けるときは、ホワイトボード画面をクリックして、表示される【】をクリックします。[貼り付け]をクリックすると、コピーした画像がホワイトボードの中央に貼り付けられます。</p>
	<p>USBストレージやネットワークフォルダーにある画像の中から、使用したいファイルを選べます。選択可能なファイルは以下です。</p> <p>形式：PNG、JPEG          解像度：最大2048x2048          画素数：約200万画素以下          ページより大きい画像は縮小されます。</p>
	<p>あらかじめ用意された図形の中から、使用したい図形を選べます。図形の色と線の太さも選択できます。</p>
	<p>フリーハンドで描けるペンに切り替わります。アイコンの左端にある【】をクリックすると、ペンの色と太さを設定できます。</p>
	<p>半透明の線を描ける蛍光ペンに切り替わります。アイコンの左端にある【】をクリックすると、蛍光ペンの色と太さを設定できます。</p>

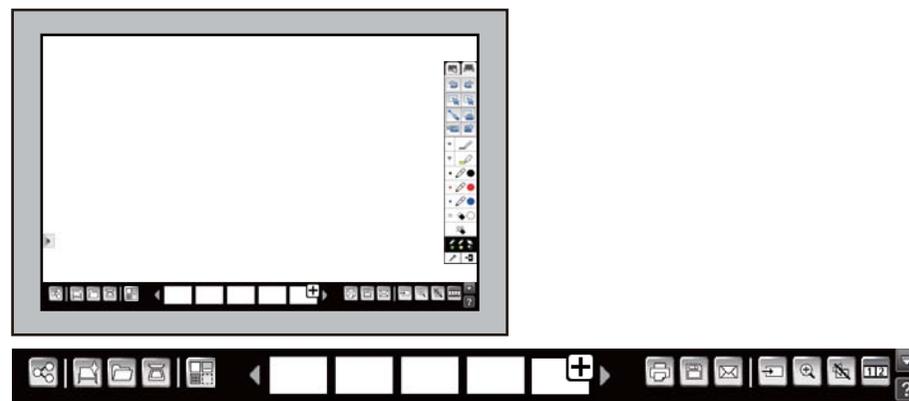
	黒色のペンに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い線、左側をクリックすると細い線が描けます。
	赤色のペンに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い線、左側をクリックすると細い線が描けます。
	青色のペンに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い線、左側をクリックすると細い線が描けます。
	消しゴムに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い消しゴム、左側をクリックすると細い消しゴムになります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>消しゴムを選択中に図形をクリックすると、図形の全体が削除されます。図形の一部のみを消すことはできません。</li> <li>消しゴムを使って、画像やテンプレートを削除することはできません。</li> </ul> </div>
	表示中のページで描画した内容をすべて消去します。
	ペン   または指 (EB-1430WT)  で選択しているツールをアイコンで表示します。  : ペンを選択しています。アイコンの色は、選択しているペンと同じ色になります。  : オブジェクト選択、オブジェクト自由選択、キャプチャ、ポインターのいずれかを選択しています。  : 図形を選択しています。  : 消しゴムを選択しています。
	描画中のツールバーの表示/非表示を切り替えます。  : 描画中はツールバーが非表示になります。  : 描画中もツールバーが表示されます。

	ツールバーを非表示にします。
---	----------------



- ホワイトボード内に読み込める画像の枚数と合計サイズは以下の通りです(クリップボードに保存されている画像も含む)。
  - ・1ページにつき最大20枚、1280×800×2画素まで
  - ・全ページ合わせて1280×800×50画素まで
- カットまたはコピーしたオブジェクトや画像の貼り付けは、カットまたはコピーしたペンと同じペンで行ってください。
- 描画したオブジェクトは、読み込んだ画像よりも手前に表示されます。ただし、グループ化するとオブジェクトと画像の重なる順番が変わることがあります。
- ホワイトボード画面の外に移動したオブジェクトや画像は選択できないことがあります。

## ホワイトボードモードの下段ツールバー





ホワイトボードに描画した内容を他の機器と共有したり、他のプロジェクターのホワイトボードを閲覧したりできます。  
 「描画内容を他の機器と共有する」 p.100

	以下のいずれかを実行します。 [保存]：現在の編集内容を保存して、ホワイトボードを初期状態に戻します。 [新規会議]：現在の編集内容を保存せずに破棄して、ホワイトボードを初期状態に戻します。
	ファイルを選択して新規ページに貼り付けます。 ●「ファイルを開いてホワイトボードモードに読み込む」 <a href="#">p.96</a>
	スキャナーから画像を取り込んで新規ページに挿入できます。 ●「スキャナーから紙資料を読み込む」 <a href="#">p.95</a>
	あらかじめ用意された背景パターンからホワイトボードモードの背景を選択できます。[設定]ボタンを押すと、ユーザー定義テンプレートの読み込みや削除が行えます。ユーザー定義テンプレートは、Webブラウザからも設定できます。 ●「Webブラウザを使って設定を変更する（Web制御）」 <a href="#">p.155</a> <div data-bbox="315 842 1046 1125" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 罫線アイコンまたはグリッド線アイコンを押すと、罫線またはグリッドの線幅を変更できます。</li> <li>● ホワイトボード設定画面で[ユーザーテンプレートの保護]が[オン]に設定されているときは、ホワイトボード上でユーザー定義テンプレートの読み込みや削除はできません。 ●「ホワイトボード設定画面」<a href="#">p.185</a></li> </ul> </div>
	編集中のページサムネイルを一覧表示します。 Easy Interactive Penで以下の操作ができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● サムネイルを選択して表示するページを切り替えます。</li> <li>● サムネイルをドラッグしてページの順番を入れ替えます。</li> <li>● サムネイルをフリックしてサムネイル表示をスクロールします。</li> <li>● 【◀】をクリックすると、選択中のページの前のページに移動します。長押しすると、最初のページに移動します。</li> <li>● 【▶】をクリックすると、選択中のページの次のページに移動します。長押しすると、最後のページに移動します。</li> </ul>

	現在のページを削除します。
	現在のページを複製して、最終ページの後に追加します。
	新しいページを追加して開きます。
	投写画面の内容を印刷します。 ●「印刷する（ホワイトボードモード）」 <a href="#">p.98</a>
	投写画面の内容を、接続されたUSBストレージまたはネットワークフォルダーに保存します。 ●「保存する（ホワイトボードモード）」 <a href="#">p.96</a>
	投写画面の内容をメール送信します。メールサーバーはあらかじめ設定しておく必要があります。 ●「メール送信する（ホワイトボードモード）」 <a href="#">p.99</a>
	入力ソースの一覧が表示されます。選択した入力端子からの映像に切り替えます。
	ホワイトボードを拡大/縮小します。
	映像と音声を一時的に遮断します。遮断中に画面をクリックすると、映像と音声の遮断が解除されます。 ●「映像と音声を一時的に消す（AVミュート）」 <a href="#">p.142</a>
	2つの入力ソースの映像を、1つのスクリーンの左右に同時に投写するか、通常の1画面の投写にするかを切り替えます。 ●「2画面投写時にインタラクティブ機能を利用する」 <a href="#">p.127</a>
	ツールバーと下段ツールバーの機能を説明するヘルプ画面を表示します。Easy Interactive Penで投写画面のどこかをクリックするとヘルプ画面が消えます。



下段ツールバーの表示/非表示を切り替えます。



- 環境設定メニューのホワイトボード設定画面で、ホワイトボードモードの詳細な設定ができます。
  - ☛ [拡張設定] - [ホワイトボード設定] p.181
- 以下の機能はホワイトボードモードでは使用できません。
  - Eズーム
  - ページの送り/戻し



- プリンター本体のスキャンボタンではスキャンできません。
- スキャナーの読み取り領域全体を読み取ります。
- ADF(自動給紙装置)を使った両面スキャンには対応していません。

**1** スキャナーに紙をセットします。

**2** 下段ツールバーの[]をクリックします。

スキャン画面が表示されます。

## スキャナーから紙資料を読み込む

紙などの資料をスキャナーで読み込んで、ホワイトボードモードの新規ページに画像として貼り付けます。USBケーブルまたはネットワークで接続されているプリンターのスキャナー機能に対応しています。

☛ 「プリンターの接続」 p.53

ネットワークプリンターを使用するときは、事前に設定が必要です。

☛ 「ホワイトボード設定画面」 p.185

以下のプリンター制御コマンドを搭載したプリンター※のスキャナー機能をサポートしています。単体のスキャナーはサポートされません。

• ESC/P-R

※ すべてのプリンターに対応していることを保証するものではありません。対応型番については、次に記載の連絡先にお問い合わせください。

☛ 『お問い合わせ先』



- 3** スキャン画面で必要な設定をします。  
 [詳細設定]ボタンをクリックすると詳細メニューが開きます。

項目	説明
カラーモード	カラーか白黒か選択します。
用紙方向	スキャンした原稿を配置する方向を選択します。
ADF	ADF機能を使用するときはオンを選択します。ADF非対応のスキナーでは、この設定にかかわらず原稿台からスキャンします。
スキナー	使用するスキナーを選択します。
品質	スキャン品質を選択します。

- 4** [スキャン]をクリックします。  
 スキャン画面が表示されます。

- 5** スキャン完了後、ホワイトボードモードの新規ページに画像として貼り付けられます。



ADF搭載のスキナーを使用するときは、最大10枚の原稿を読み取ります。10枚を超える原稿をスキャンするときは、操作を繰り返してください。

## ファイルを開いてホワイトボードモードに読み込む

【】を押すと、既存のファイルを開いてホワイトボードモードに読み込みます。開いたファイルは新しいページとして追加されます。

ホワイトボードモードに読み込めるファイルの仕様は以下のとおりです。ページより大きい画像は縮小されます。

種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
画像	.jpg	以下の場合は読み込みません。 ● 解像度が2048×2048を超えるもの ● 拡張子が.jpegのファイル ● CMYKカラーモード形式 ● プログレッシブ形式
	.png	解像度が2048×2048を超えるものは読み込みません。
PDF	.pdf	バージョンが1.7以下のPDFファイルがサポートされます。 PDFファイルを開くときは、読み込むページ範囲を指定します。また、パスワードで保護されている場合は、パスワードを入力します。
EWF	.ewf	EWFファイルを開くときは、読み込むページ範囲を指定します。また、パスワードで保護されている場合は、パスワードを入力します。

## ホワイトボードモードの描画内容を利用する

### 保存する(ホワイトボードモード)

USBストレージやネットワークフォルダーに、投写画面を保存できます。保存可能なファイル形式は以下のとおりです。

再編集可能な状態でファイルを保存したいときは、EWF形式を選択してください。EWF形式のファイルは、本機以外のプロジェクターやコンピュータでは使用できません。

- PNG (解像度：1280×800)
- PDF (必要に応じてパスワードをかけられます)

- EWF(対応プロジェクターでのみ閲覧できる形式です。必要に応じてパスワードをかけられます)

## 注意

マルチカードリーダーやUSBハブを使用すると、正しく動作しません。USBストレージは直接本機またはコントロールパッドに接続してください。



セキュリティー機能が付いているUSBストレージは、使用できないことがあります。

- 1 コントロールパッドの【保存】ボタンまたは下段ツールバーの【】を押します。



リモコンの【保存】ボタンからも保存を実行できます。

- 2 表示された保存画面で必要な設定をします。



項目	説明
ファイル名	ファイル名を入力します。テキストボックスをクリックすると、ソフトキーボードが表示され、ファイル名を入力できます。
場所	保存フォルダーを選択します。クリックするとダイアログが表示されます。
参加者に配布	<p>(ホワイトボードを共有しているときのみ有効)</p> <p>本機に接続しているWebブラウザーにファイルを保存するときはチェックを入れます。</p> <p>チェックを入れて保存を実行すると、描画内容は一時的に本機へ保存され、Webブラウザーからダウンロードできるようになります。Webブラウザーでのダウンロードが終わると、一時的に保存された描画内容は本機から削除されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  Webブラウザーで保存できるファイル形式は、PDFまたはPNGです。                 </div> <p> 「タブレット端末やコンピューターで接続する」 <a href="#">p.105</a></p>

項目	説明
保存形式	保存形式(PDF、PNG、EWF)を選択します。PDFまたはEWFを選択したときは、ファイルを暗号化できます。暗号化する場合はパスワードを設定します。
ページ範囲	保存するページ範囲を選択します。保存形式がPNGの場合、[全て]は選択できません。

**注意**

- 入力中のパスワードは画面に表示されません。
- 暗号化したときは、パスワードを忘れないようにしてください。

### 3 [保存]をクリックします。

 手順2で[参加者に配布]にチェックを入れたときは、描画内容が本機に一時的に保存され、Webブラウザと本機にそれぞれ以下のダイアログが表示されます。

- Webブラウザ：保存を実行するためのダイアログが表示されます。
- 本機：ダウンロード状況を確認するダイアログが表示されます。すべてのWebブラウザが保存を行ったことを確認したら、ダイアログを閉じてください。

以下のプリンター制御コマンドを搭載したプリンター※をサポートしています。

制御コマンド	接続方法
ESC/P-R	USBまたはネットワーク経由
ESC/Page, ESC/Page-Color	ネットワーク経由
PCL6	ネットワーク経由

※ すべてのプリンターに対応していることを保証するものではありません。対応型番については、次に記載の連絡先にお問い合わせください。

☞ [「お問い合わせ先」](#)

### 1 コントロールパッドの【印刷】ボタンまたは下段ツールバーの【】を押します。

 リモコンの【印刷】ボタンからも印刷を実行できます。

### 2 表示された印刷画面で必要な設定をします。 [詳細設定]ボタンをクリックすると、詳細な設定メニューが表示されます。

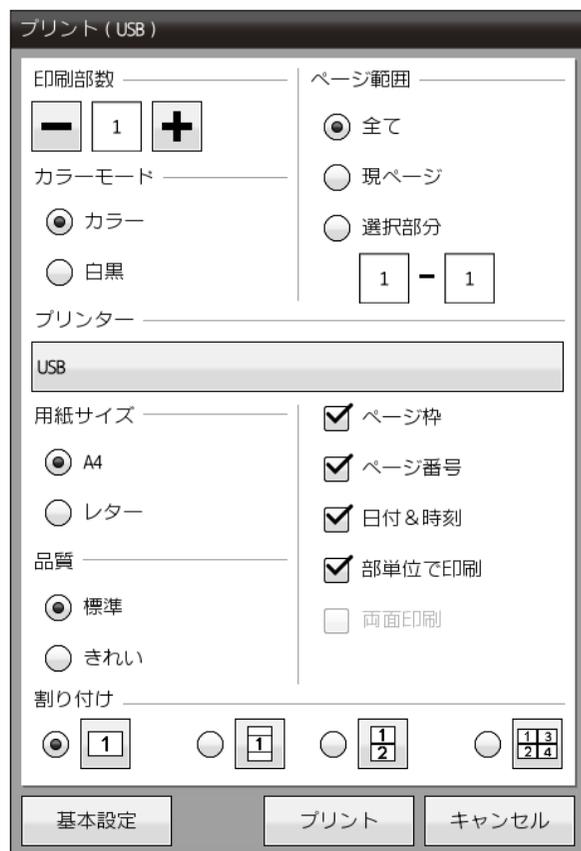
## 印刷する(ホワイトボードモード)

投写画面の内容をプリンターへ送信して印刷できます。USBケーブルまたはネットワークで接続されているプリンターで印刷できます。

☞ 「プリンターの接続」 p.53

ネットワークプリンターは、事前に設定が必要です。

☞ 「ホワイトボード設定画面」 p.185



項目	説明
印刷部数	コピー枚数を選択します。最大で20枚まで選択できます。
カラーモード	印刷カラーを選択します。
ページ範囲	印刷するページの範囲を指定します。
プリンター	接続されているプリンター名一覧が表示されます。印刷したいプリンターを選択します。
用紙サイズ	印刷用紙サイズを選択します。
品質	(制御コマンドがESC/P-Rのプリンターのみ選択できます) 印刷品質を選択します。

項目	説明
割り付け	割り付け枚数を選択します。
ページ枠	各ページに外枠をつけるか選択します。
ページ番号	各ページに番号をつけて印刷するか選択します。
日付&時刻	各ページに日付と時刻をつけて印刷するか選択します。
部単位で印刷	ページを部単位で印刷するか選択します。
両面印刷	(制御コマンドがESC/P-Rのプリンターでは選択できません) 両面印刷に対応しているプリンターをお使いのときは、両面に印刷するか片面に印刷するかを選択します。

### 3 [プリント]をクリックします。

## メール送信する(ホワイトボードモード)

ホワイトボードモードで描画中の内容をメールに添付して送信できます。一度に10件までのアドレスへ送信できます。



- メールを送信するには、事前にメールサーバーの設定が必要です。
- 送信元アドレスは、ホワイトボード設定画面の送信元アドレスで設定されたアドレスになります。送信元アドレスが設定されていないときは、送信先として設定したメールアドレスが送信元アドレスとして表示されます。
- メール本文は編集できません。

### 1 下段ツールバーの【】をクリックします。

### 2 表示されたメール送信画面で必要な設定をします。

### 3 [送信]をクリックします。

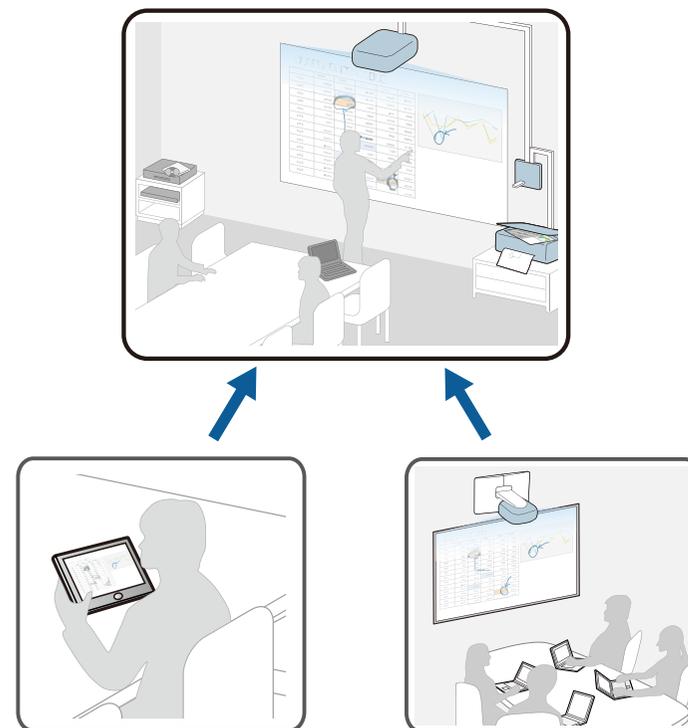


- 大量の描画内容や画像がホワイトボード内にあると、メールの送信に時間がかかることがあります。
- 送信先のメールサーバーの設定により、メールの送信ができないことがあります。あらかじめ、メールサーバーの設定をネットワーク管理者に確認してください。

項目	説明
メールアドレス	送信先のメールアドレスを入力します。設定したメールアドレスは、新規会議を実行するまで保存されます。
アドレス帳	事前に登録したアドレス帳から、送信先のメールアドレスを選択します。アドレス帳は、Webブラウザを使って設定できます。 ☛「アドレス帳を作成する」p.159
宛先追加	送信先を追加します。10件まで追加できます。
サブジェクト	メールの題名を入力します。
ファイル名	添付ファイルのファイル名を入力します。
ファイル形式	添付ファイルの形式(PDF、PNG、EWF)を選択します。PDFまたはEWFを選択したときは、ファイルを暗号化できます。暗号化する場合はパスワードを指定します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 入力中のパスワードは画面に表示されません。</li> <li>• 暗号化したときは、パスワードを忘れないようにしてください。</li> </ul> </div>
ページ範囲	送信するページを指定します。

## 描画内容を他の機器と共有する

共有機能を使うと、同一ネットワーク上の他の機器とホワイトボードを共有して同時に描画したり、他のプロジェクターのホワイトボードを閲覧したりできます。



共有機能を使うときは、本機をネットワークに接続してください。

有線でネットワークに接続する場合は、本機にLANケーブルを接続します。

☛ 「LANケーブルの接続」 p.46

無線でネットワークに接続する場合は、同梱の無線LANユニットを本機に取り付け、ネットワークメニューで無線LANメニューの設定を行ってください。

☛ 「無線LANユニットの取り付け」 p.47

☛ 「無線LANメニュー」 p.192



本機とホワイトボードを共有できるプロジェクターは、ホワイトボード共有機能に対応した機種のみです。

## 本機のホワイトボードを他の機器と共有する

本機をWebサーバーとして、本機のホワイトボードを同時に15台までの外部機器（他のプロジェクターやタブレット端末など）と共有できます。外部機器で本機のホワイトボードの描画内容を閲覧・保存したり、外部機器から本機のホワイトボードへ描画したりできます。

本機のホワイトボードを共有するときは、お使いのネットワーク環境で次のポートを開くよう設定してください。

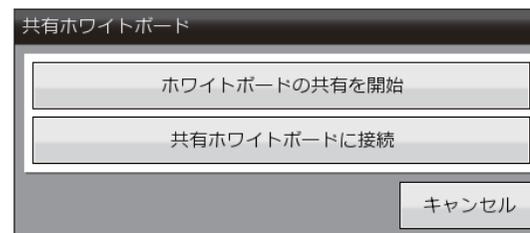
ポート	プロトコル	用途	通信
80	TCP	接続・描画転送	双方向
443	TCP	接続・描画転送	双方向(SSL使用時)



ホワイトボードを共有するために必要な通信帯域は、ホワイトボード内の描画量により変化します。また、共有を開始したときは、ホワイトボード内の描画情報を一括して転送するため、一時的に大きな帯域が必要となる場合があります。

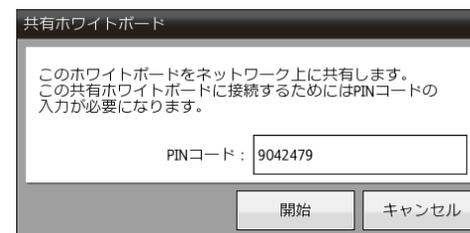
**1** 下段ツールバーで【】をクリックします。

**2** 「ホワイトボードの共有を開始」をクリックします。



**3** PINコードを確認します。

本機に接続するためのPINコード(7桁の数字)が表示されます。必要に応じて変更してください。



一度設定したPINコードは、ホワイトボードの共有を終了するまで変更できません。

## 4 【開始】をクリックします。

本機のホワイトボードが、他の機器と共有できる状態になります。

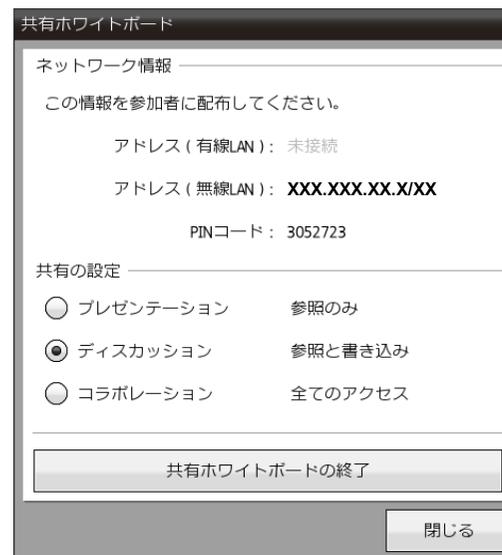
下段ツールバーに以下の情報が表示されます。

- 本機のホワイトボードに接続しているユーザー数
- [共有の設定]で選択した、ユーザーの操作権限



## 5 下段ツールバーで【】をクリックします。

本機のアドレス/PINコードの表示や、本機に接続する機器の操作権限を設定します。



項目	説明
ネットワーク情報	<p>本機に接続するために必要な情報が表示されます。外部機器から本機に接続するときは、以下の項目を入力します。</p> <p>[アドレス(有線LAN)]/[アドレス(無線LAN)]：本機に接続するためのアドレスが表示されます。</p> <p>[PINコード]：手順3で設定したPINコード(7桁の数字)が表示されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>⚠ 注意</b></p> <p>外部機器側で正しいPINコードを入力しないと、本機への接続はできません。情報漏えいなどのリスクを避けるために、PINコードは接続を許可されたメンバーのみに共有してください。</p> </div>

項目	説明
共有の設定	<p>本機に接続した外部機器の操作権限を設定します。</p> <p>[プレゼンテーション]：外部機器から本機のホワイトボードの閲覧と保存のみ許可します。描画など、ページの編集はできません。</p> <p>[ディスカッション]：外部機器から本機のホワイトボードへの描画を許可します。外部機器からページの編集やテンプレートの読み込みはできません。</p> <p>[コラボレーション]：本機のホワイトボードモードで可能なすべての機能（[新規会議]を除く）を外部機器から使用できます。</p>

## 6 [閉じる]をクリックします。

接続する外部機器で、本機のアドレスとPINコードを入力すると、外部機器に本機のホワイトボードが表示されます。



- ホワイトボードの共有を終了するときは、下段ツールバーで  をクリックして、表示された画面で[共有ホワイトボードの終了]をクリックします。メッセージが表示されたら、[OK]をクリックすると、ホワイトボードの共有が終了します。
- 大量に描画したり、大量の画像をホワイトボードに貼り付けたりした場合は、他のプロジェクターやWebブラウザへの反映が遅れることがあります。

## 他のプロジェクターのホワイトボードを閲覧する

共有が許可された他のプロジェクターに接続して、ホワイトボードを共有します。接続したプロジェクターのホワイトボードを閲覧・保存したり、接続したプロジェクターと同時に描画したりできます。プロジェクターへの接続は、本機またはタブレット端末やコンピューターから行います。

## 注意

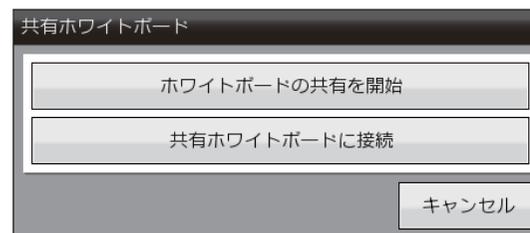
他のプロジェクターのホワイトボードに接続すると、それまで本機のホワイトボードに描画していた内容はすべて消去されます。



- 接続するときは、接続先のアドレスとPINコードが必要です。アドレスとPINコードは、接続先のプロジェクターの[ネットワーク情報]で確認できます。  
 ● 「本機のホワイトボードを他の機器と共有する」 p.101
- 接続先の[共有の設定]によって、接続側の機器で利用できる機能は異なります。他のホワイトボードに接続しているときに、接続先で[共有の設定]を変更すると、本機で利用できる機能が変わります。
- 1台のプロジェクターへ同時に接続できる台数は15台です。

## プロジェクターで接続する

- 1 下段ツールバーで  をクリックします。
- 2 [共有ホワイトボードに接続]をクリックします。



- 3 メッセージの内容を確認して、[OK]をクリックします。
- 4 表示された画面に、必要な情報を入力します。

共有ホワイトボード

接続先の情報を入力してください。

接続先アドレス:

PINコード:

接続      キャンセル

項目	説明
接続先アドレス	接続先のプロジェクターのアドレスを入力します。 【  】をクリックすると、過去に接続したプロジェクターのアドレスが履歴として最大5件まで表示されます。履歴は電源を切っても保持されます。
PINコード	接続先のプロジェクターで設定されているPINコード(7桁の数字)を入力します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  10分間のうちに、PINコードの入力を10回間違えると、その後3分間は接続できません。                     </div>

## 5 【接続】をクリックします。

共有されたホワイトボードへの接続が完了すると、下段ツールバーに以下の情報が表示されます。

- 同じホワイトボードに接続しているユーザー数
- 接続先の[共有の設定]で選択されている、本機の操作権限



- ホワイトボードの共有を終了するときは、下段ツールバーで【】をクリックして、表示された画面で[共有ホワイトボードの終了]をクリックします。メッセージが表示されたら、[OK]をクリックすると、ホワイトボードの共有が終了します。
- 大量に描画したり、大量の画像をホワイトボードに貼り付けたりした場合は、他のプロジェクターやWebブラウザへの反映が遅れることがあります。

他のホワイトボードに接続しているときに使用できる機能は、接続先の[共有の設定]で選択されている操作権限によって異なります。

### すべての権限で使用できる機能

-  : ポインター
-  : ページサムネイル
-  : 印刷
-  : 保存
-  : メール送信
-  : ズーム

### 【ディスカッション】または【コラボレーション】でのみ使用できる機能

-  : 戻る
-  : 進む

-  : 矩形選択
-  : 自由選択
-  : 画面キャプチャー
-  : 画像読み込み
-  : 図形
-  : ペン
-  : 蛍光ペン
-  : 黒ペン
-  : 赤ペン
-  : 青ペン
-  : 消しゴム
-  : 全消去

## 【コラボレーション】でのみ使用できる機能

-  : ファイル貼り付け
-  : スキャナーからの読み込み
-  : テンプレート
-  : ページ削除

-  : ページのコピー
-  : 新規ページ追加

## タブレット端末やコンピューターで接続する

ネットワークに接続したタブレット端末やコンピューターから、Webブラウザを使って接続します。

接続できるWebブラウザは以下のとおりです。

OS	Webブラウザ	画面サイズ
Windows	Internet Explorer 8*/9*/10/11	XGA以上
OS X	Safari 5/6/7	1280 x 800以上
iOS	iOS 6.0/7.0以降	1024 x 768以上
Android OS	Android OS 4.0以降(標準ブラウザのみ)	4:3 アスペクト 1024 x 768以上 16:9 アスペクト 1280 x 600以上 16:10 アスペクト 1280 x 720以上

※ SSL経由の接続です。一部の機能に制限があります。



端末の画面サイズによっては、描画できる範囲が狭くなります。

**1** お使いの機器を、接続先のプロジェクターと同じネットワークに接続します。

接続方法は機器によって異なります。お使いの機器に添付の取扱説明書をご確認ください。タブレット端末をお使いのときは、Wi-Fiの設定をご確認ください。

**2** お使いの機器でWebブラウザを起動します。

**3** WebブラウザのURL入力欄に、接続先のプロジェクターのアドレスを入力して接続します。

**4** 表示されたPINコード入力画面に、接続先のプロジェクターで設定されているPINコード(7桁の数字)を入力します。

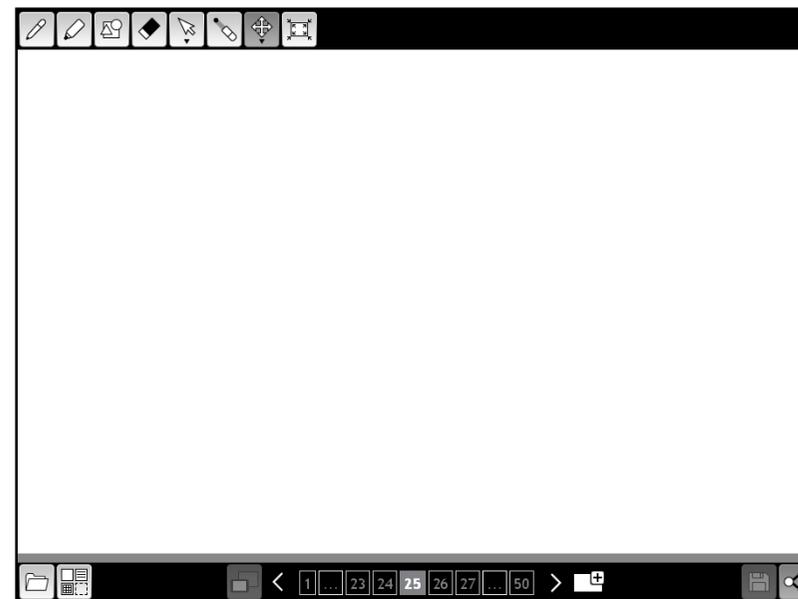
[接続]をクリックすると、接続したプロジェクターのホワイトボード画面とツールバーが表示されます。



- ホワイトボードの共有を終了するときは、【】をクリックし、表示された画面で[切断]をクリックします。またはWebブラウザを閉じます。
- 大量に描画したり、大量の画像をホワイトボードに貼り付けたりした場合は、他のプロジェクターやブラウザへの反映が遅れることがあります。
- 共有機能では、AESによる暗号で描画内容を保護しています。一部のWebブラウザではSSLによる暗号化通信を行うため、証明書のエラーが表示されることがありますが、接続には問題ありません。

Webブラウザからホワイトボードを操作するときは、以下のツールバーを使います。接続先の[共有の設定]で選択されている操作権限によって、使用できる機能が異なります。

☛ 「本機のホワイトボードを他の機器と共有する」 p.101



## すべての権限で使用できる機能

	<p>(接続先のプロジェクターが、[参加者に配布]を選択して保存を実行しているときのみ有効)</p> <p>ホワイトボードの内容をPDFまたはPNGファイルとして保存します。接続先のプロジェクターで選択されたファイル形式で保存されます。</p>
	<p>議論の注意点などを示すためのポインターを表示します。ポインターは、ドラッグで移動できます。接続しているいずれかの機器でポインターを表示すると、接続しているすべての機器で同じポインターが表示されます。</p>
	<p>お使いの機器の画面に合わせて、ホワイトボードの表示を以下のとおり調整できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ページにフィット</li> <li>• 横方向にフィット</li> <li>• 縦方向にフィット</li> <li>• 拡大</li> <li>• 縮小</li> </ul>

	ホワイトボード全体を表示します。
---	------------------

## 【ディスカッション】または【コラボレーション】のみで利用できる機能

	フリーハンドで描けるペンに切り替わります。
	半透明の線を描けるペンに切り替わります。
	あらかじめ用意された図形の中から、使用したい図形を選びます。
	消しゴムに切り替わります。描画内容をクリックするとメッセージが表示され、[OK]をクリックすると選択した描画内容が消去されます。ホワイトボードモードの消しゴムのように、描画内容の一部のみを消すことはできません。

	クリックすると、オブジェクトや画像を選択できます。ドラッグすると、選択する範囲を示す枠が表示されます。枠内に入っているオブジェクトや画像を全て選択できます。選択した範囲内で、以下の操作ができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ドラッグすると、選択した範囲内のオブジェクトや画像を移動できます。</li> <li>• 【】を再度押すと、以下の操作ができます。                         <ul style="list-style-type: none"> <li>• カット</li> <li>• コピー</li> <li>• 貼り付け</li> <li>• グループ化</li> <li>• グループ解除</li> <li>• 削除</li> </ul> </li> <li>• 角をドラッグすると、選択した範囲内のオブジェクトや画像を拡大・縮小できます。</li> <li>• 上部にある【】をドラッグすると、選択した範囲内のオブジェクトや画像が回転します。</li> </ul>
	選択しているペンや図形の線の太さを選択できます。
	選択しているペンや図形の色を選択できます。【  】をクリックすると、表示されている以外の色を選択できます。
	PNG/JPEGファイルをホワイトボードに読み込みます。ページより大きい画像は縮小されます。選択可能なファイルは以下です。 <p>形式：PNG、JPEG</p> <p>解像度：最大2048x2048</p> <p>画素数：約200万画素以下</p>

## 【コラボレーション】のみで利用できる機能

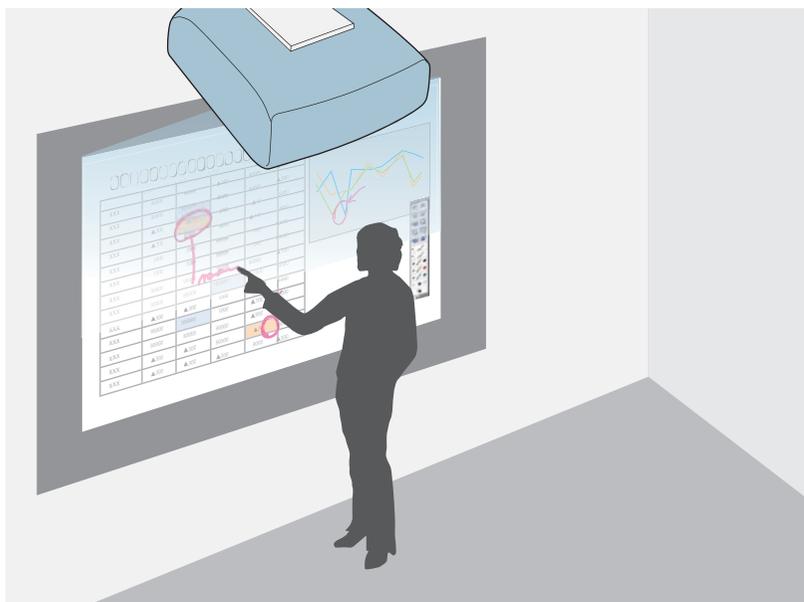
	あらかじめ用意された背景パターンからホワイトボードモードの背景を選択できます。
---	---

	<p>表示するページを設定します。</p> <p>[オフ]：接続先のプロジェクターで表示されているページと異なるページを参照できます。接続先のプロジェクターで表示されているページ以外のページへの描画はできません。</p> <p>[オン]：接続先のプロジェクターとページを同期します。ブラウザ上でページを移動すると、接続先のプロジェクターにも反映されます。</p>
	<p>編集中のページサムネイルを一覧表示します。</p> <p>【】をクリックすると、選択中のページの前のページに移動します。</p> <p>【】をクリックすると、選択中のページの次のページに移動します。</p>
	<p>新しいページを開きます。</p>



以下の機能は、Webブラウザからは使用できません。

- アノテーションモードへの切り替え
- 元に戻す/やり直し
- 全消去
- オブジェクト自由選択
- 選択画像のトリミング
- ユーザー定義テンプレートの読み込み
- PDF/EWFファイルの読み込み
- 新規会議
- スキャン
- 印刷
- メール送信
- ページの削除
- プロジェクター制御ツール
- ヘルプ



アノテーションモードでは、コンピューター、タブレット端末、ビデオ機器などから投写した資料に、ペンまたは指(EB-1430WT)を使って注釈を書き込みます。2本のペンを同時に使用できます。指と2本のペンを同時に使用することもできます(EB-1430WT)。

## アノテーションモードの始め方

- 1 接続機器から映像を投写します。  
 ● 「入力信号を自動検出して切り替える(入力検出)」 p.56
- 2 ペン先ボタンを投写面に押し当てるか、ペン側面にあるボタンを押してEasy Interactive Penの電源をオンにします。
- 3 Easy Interactive Penを投写面に近づけます。  
 投写画面にツールバーと下段ツールバーが表示されます。



- 1 ツールバー
- 2 下段ツールバー(  をクリックすると表示されます)

ツールバーが表示されたら、Easy Interactive Penを使って投写面に書き込みができます。

ツールバーには、描画用のペンや図形描画ツールなどが用意されています。

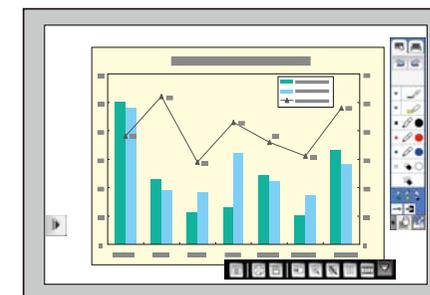
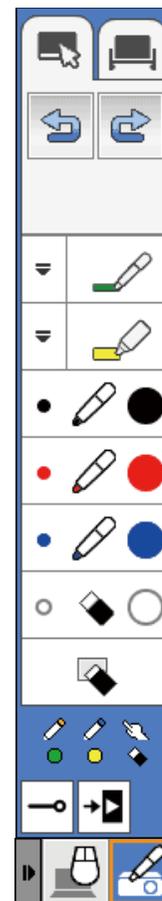
下段ツールバーには、画面保存などの機能があります。

- 「アノテーションモードのツールバー」 p.110
- 「アノテーションモードの下段ツールバー」 p.112



- アノテーションモードからホワイトボードモードに切り替えるには、リモコンまたはコントロールパッドの【ホワイトボード】ボタンを押すか、ツールバーのをクリックします。
  - マウス操作からアノテーションモードに切り替える方法は、以下を参照してください。
    - 「マウス操作に切り替える」 p.114
  - 1台のコンピューターから2台のプロジェクターに映像を投写しているときは(マルチディスプレイ)、複数の画面を横断して描画できません。
  - Windows 7でマルチディスプレイを使って、2番目の投写映像上でインタラクティブ機能を使用するときは、下記を設定してください。
    - ・ 環境設定メニューの [拡張設定] - [Easy Interactive Function]で[ペン動作モード]を[1人で書く/ペン]に設定する (EB-1420WTの場合)
    - ・ 環境設定メニューの [拡張設定] - [Easy Interactive Function]で [ペン動作モード]を [モード2]に設定する (EB-1430WTの場合)
    - ・ コンピューターの[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [Tablet PC 設定] > [セットアップ]からセットアッププログラムを起動して、インタラクティブ機能を設定する
- 3台のディスプレイを使用しているとき、3番目のディスプレイではインタラクティブ機能は使用できません。

## アノテーションモードのツールバー



	ツールバーの表示/非表示を切り替えます。 タブは上下に移動できます。
	ホワイトボードモード時に、アノテーションモードに切り替えます。

	ホワイトボードモードに切り替えます。
	1つ前の操作を元に戻します。
	元に戻す操作をキャンセルして、元に戻す前の状態にします。
	フリーハンドで描けるペンに切り替わります。アイコンの左端にある【  】をクリックすると、ペンの色と太さを設定できます。
	半透明の線を描ける蛍光ペンに切り替わります。アイコンの左端にある【  】をクリックすると、蛍光ペンの色と太さを設定できます。
	黒色のペンに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い線、左側をクリックすると細い線が描けます。
	赤色のペンに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い線、左側をクリックすると細い線が描けます。
	青色のペンに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い線、左側をクリックすると細い線が描けます。
	消しゴムに切り替わります。アイコンの右側をクリックすると太い消しゴム、左側をクリックすると細い消しゴムになります。
	描画した内容をすべて消去します。

	ペン   または指 (EB-1430WT)  で選択しているツールをアイコンで表示します。  : ペンを選択しています。アイコンの色は、選択しているペンと同じ色になります。  : 消しゴムを選択しています。
	描画中のツールバーの表示/非表示を切り替えます。  : 描画中はツールバーが非表示になります。  : 描画中もツールバーが表示されます。
	ツールバーを非表示にします。



描画中にコンピューターの操作をしたいときに、アノテーションモードとマウス操作を切り替えます。

- アノテーションモードからマウス操作に切り替えるには、【】

を押し、表示された【】を選択します。

マウス操作に切り替えた後も、アノテーションモードで描画した内容は保持されます。

- マウス操作からアノテーションモードに切り替えるには、【】

を押し、表示された【】を選択します。

☛「マウス操作に切り替える」p.114



- 【】が表示されていない場合は、[拡張設定]メニューから[ペンモードアイコン]の設定を[オン]にします。

☛ [拡張設定] - [表示設定] - [ペンモードアイコン] p.181

- 以下の方法でも、アノテーションモードとマウス操作を切り替えられます。

・リモコンの【ペンモード】ボタンを押す

・環境設定メニューの[ペンモード]の設定を変更する

☛ [拡張設定] - [Easy Interactive Function] - [ペンモード] p.181

## アノテーションモードの下段ツールバー



投写画面のスナップショットを取得します。取得後、ホワイトボードモードの新規ページにスナップショットが貼り付けられます。



投写画面の内容を印刷します。

☛「印刷する（アノテーションモード）」p.113

ホワイトボードモードの印刷機能とは、設定できる項目などが異なります。



投写画面の内容を、PNG形式で保存します。

☛「保存する（アノテーションモード）」p.113

ホワイトボードモードの保存機能とは、設定できる項目などが異なります。



入力ソースの一覧が表示されます。選択した入力端子からの映像に切り替えます。

入力ソース一覧を非表示にするには、下部にある  アイコンを選択します。

	<p>表示されたボックス内の倍率または+/-ボタンを使って、映像を拡大/縮小します。次のことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1~4倍まで拡大できます。元のサイズに戻すには、x1を選択します。</li> <li>• +/-ボタンを押し続けると、すばやく拡大/縮小します。</li> </ul> <p>拡大/縮小リストを非表示にするには、下部にある  アイコンを選択します。</p>
	<p>映像と音声を一時的に遮断します。 元に戻す場合は、投写画面をクリックしてください。</p> <p>☛「映像と音声を一時的に消す（AVミュート）」<a href="#">p.142</a></p>
	<p>映像を一時停止します。</p>
	<p>2つの入力ソースの映像を、1つのスクリーンの左右に同時に投写するか、通常の1画面の投写にするかを切り替えます。</p> <p>☛「2画面投写時にインタラクティブ機能を利用する」<a href="#">p.127</a></p>
	<p>下段ツールバーの表示/非表示を切り替えます。</p>

 HDCP▶▶で保護されているコンテンツのスナップショットの取得、印刷、保存はできません。

## アノテーションモードの描画内容を利用する

### 保存する（アノテーションモード）

USBストレージやネットワークフォルダーに、投写画面を保存できます。保存可能なファイル形式はPNGです。保存場所はホワイトボード設定画面の保存メニューで設定されている場所になります。設定された場

所が使用できないときはエラーになります。また、ファイル名は自動的に設定されます。

☛「保存メニュー」[p.187](#)

- 1** コントロールパッドの【保存】ボタンまたは下段ツールバーの  を押します。

 リモコンの【保存】ボタンからも保存を実行できます。

- 2** 自動で保存が実行されます。

### 印刷する（アノテーションモード）

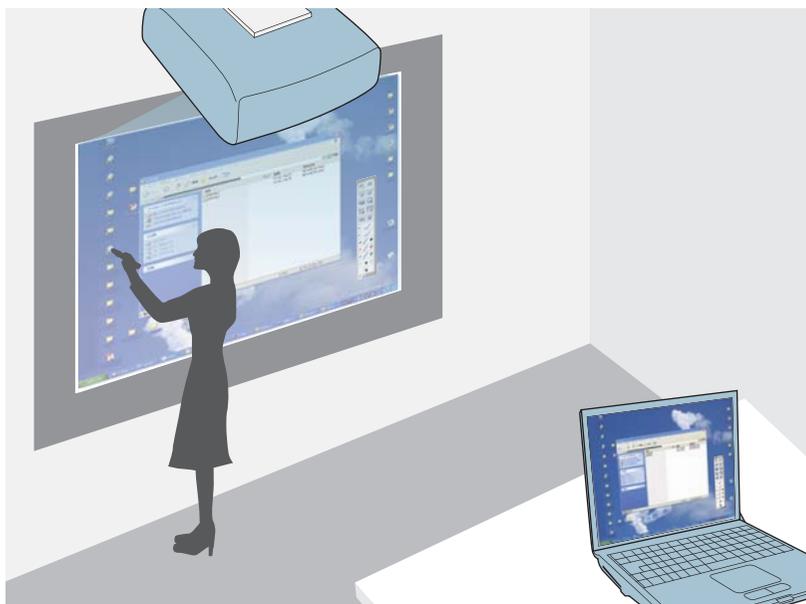
ホワイトボード設定画面のプリントメニューで設定したプリンターの設定内容で印刷します。プリンターが接続されていないときはエラーになります。

☛「プリントメニュー」[p.187](#)

- 1** コントロールパッドの【印刷】ボタンまたは下段ツールバーの  を押します。

 リモコンの【印刷】ボタンからも印刷を実行できます。

- 2** 表示された印刷画面で印刷部数を指定します。  
最大20枚まで指定できます。
- 3** 【印刷】をクリックします。



コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続すると、ペンまたは指(EB-1430WT)を使って、投写画面上でコンピューターを操作できます。コンピューターのマウスと同じようにクリックやドラッグ&ドロップなどができます。

OS Xを使用するときは、コンピューターにEasy Interactive Driverをインストールする必要があります。



- Windows 7でマルチディスプレイを使って、2番目の投写映像でインタラクティブ機能を使用するときは、下記を設定してください。
  - ・環境設定メニューの[拡張設定] - [Easy Interactive Function]で[ペン動作モード]を[1人で書く/ペン]に設定する(EB-1420WTの場合)
  - ・環境設定メニューの[拡張設定] - [Easy Interactive Function]で[ペン動作モード]を[モード2]に設定する(EB-1430WTの場合)
  - ・コンピューターのコントロールパネル>ハードウェアとサウンド>Tablet PC設定>セットアップからセットアッププログラムを起動して、インタラクティブ機能を設定する3台のディスプレイを使用しているとき、3番目のディスプレイではインタラクティブ機能は使用できません。
- ネットワーク経由でマウス操作をするには、EasyMP Network Projection Ver.2.84以降(Windows)/Ver.2.83以降(OS X)、またはQuick Wireless Ver.1.32以降のいずれかをコンピューターにインストールする必要があります。
- 入力ソースが[ビデオ]、[USB1]、[USB2]のときはマウス操作はできません。

## マウス操作に切り替える

**1** OS Xで初めてプロジェクターを使うときは、コンピューターに**Easy Interactive Driver**をインストールします。

☛ 「Easy Interactive Driverシステム動作条件 (OS Xのみ)」  
[p.118](#)

☛ 「Easy Interactive Driverをインストールする (OS Xのみ)」  
[p.119](#)

## 2 USBケーブルを使用してプロジェクターとコンピューターを接続します。

コントロールパッドを使用しているときは、以下を参照してください。

☛ 「USBディスプレイで投写するとき/インタラクティブ機能でマウス操作を行うときの接続」 p.50



ネットワーク経由でマウス操作するときは、USBケーブルは不要です。

☛ 「ネットワーク経由でインタラクティブ機能を利用する」 p.123

## 3 プロジェクターの電源を入れます。

## 4 コンピューターの画面を投写します。

## 5 リモコンまたは操作パネルのメニューボタンを押して、[拡張設定]メニューを選択してから、決定ボタンを押します。



## 6 [USB Type B]を選択して、[決定]ボタンを押します。

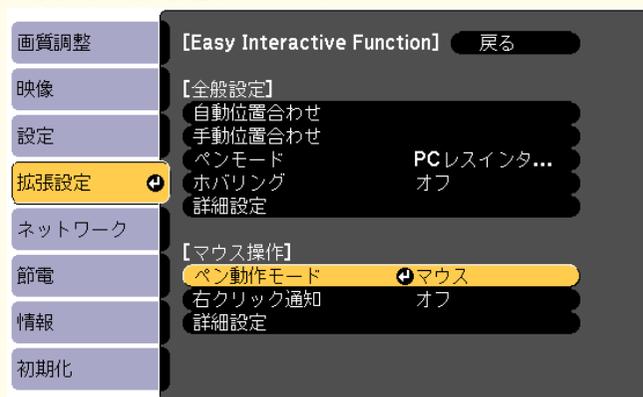


## 7 次のいずれかを選択します。

- コンピューターケーブルまたはHDMIケーブルを使用して投写している場合、またはネットワーク経由でプロジェクターとコンピューターを接続して投写している場合は、[Easy Interactive Function]を選択します。
- USBディスプレイで投写している場合は、[USB Display/Easy Interactive Function]を選択します。



- USBディスプレイで投写しているときは、ペンや指での操作に対する反応が遅くなることがあります。
- 2本のペンを同時に使用すると、ご使用のアプリケーションソフトによっては干渉を引き起こすことがあります。使用していない方のペンを投写画面から離してください。
- EB-1430WTをお使いの場合は、[拡張設定]メニューに戻って[Easy Interactive Function]を選択し、[ペン動作モード]で次のいずれかを選択します。



- Windows XPおよびそれ以前のバージョン：[モード1]を選択します。
- Windows Vista、Windows 7、Windows 8およびOS X：[モード2]を選択します。
- Linux：[モード3]を選択します。

**8** 【メニュー】ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

**9** プロジェクターを初めて使うときは位置合わせを行います。

- 「自動ペン位置合わせ」 p.79
- 「指タッチ位置合わせ」 p.84

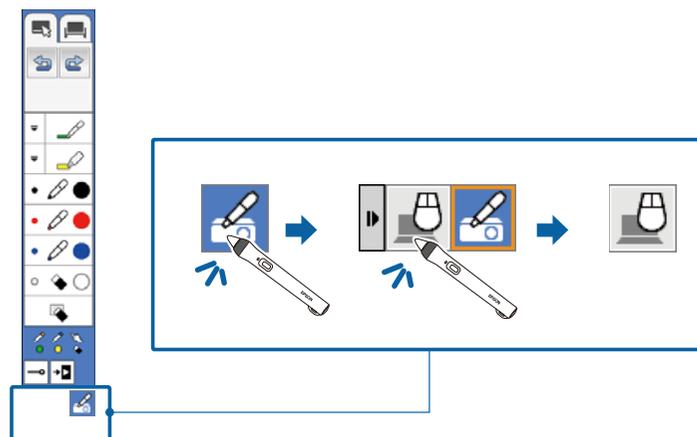
**10** ペンまたは指を投写画面に近づけます。

【】アイコンが投写画面の右側に表示されます。



- 初めてマウス操作をするときは、【】アイコンは右側に表示されます。2回目以降は、最後に開いた場所に表示されます。
- 【】アイコンが表示されていない場合は、[拡張設定]メニューから[ペンモードアイコン]の設定を[オン]にします。  
● [拡張設定] - [表示設定] - [ペンモードアイコン] p.181

**11** 【】アイコンを選択して、【】アイコンを選択します。



以下の方法でもマウス操作に切り替えられます。

- リモコンの【ペンモード】ボタンを押す。
- 環境設定メニューの[拡張設定]から[ペンモード]を[マウス操作]に変更する。

ペンまたは指を使ってコンピューターの操作ができます。

また、次の操作もできます。

- Windows 7またはWindows VistaでタブレットPCの入力パネルを使う
- Microsoft Officeアプリケーションで、インクツールを使用する
- ☛ 「Windowsのペン入力とインクツール」 [p.125](#)

## ペンの操作エリアを調整する

接続するコンピューターを変えたときや、コンピューターの解像度が変わったときは、ペン操作エリアが自動調整されます。投写画面からコンピューターを操作しているときに（マウス操作）、ペンの位置ずれが気になるときは、操作エリア手動調整を行います。



ネットワーク経由で映像を投写しているときは、調整できません。

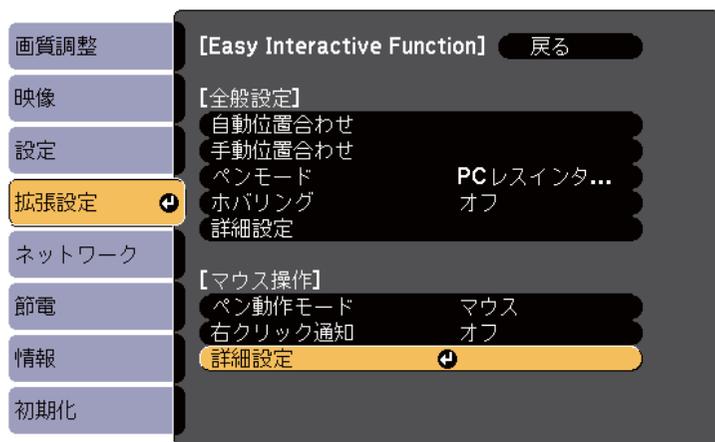
- 1** 必要に応じて、マウス操作に切り替えます。  
☛ 「マウス操作に切り替える」 [p.114](#)
- 2** 【メニュー】ボタンを押して、[拡張設定]メニューを選択してから、【決定】ボタンを押します。



- 3** 【Easy Interactive Function】を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 4** 【マウス操作】の項目から[詳細設定]を選択して、【決定】ボタンを押します。

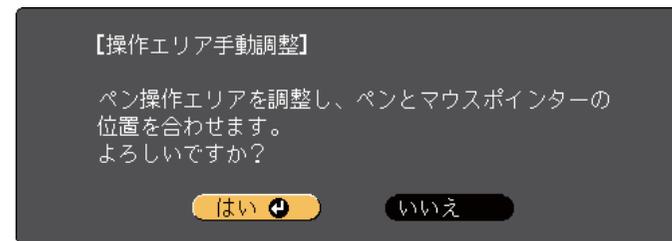


**5** 【操作エリア手動調整】を選択して、【決定】ボタンを押します。



【操作エリア自動調整】が【オン】に設定されているときは、【オフ】に変更してください。

**6** 【はい】を選択して【決定】ボタンを押します。



マウスポインターが左上に移動します。

**7** 左上で停止したマウスポインターの先端を、Easy Interactive Pen で押します。

マウスポインターが右下に移動します。

**8** 右下で停止したマウスポインターの先端を、Easy Interactive Pen で押します。

## Easy Interactive Driverシステム動作条件(OS Xのみ)

マウス操作機能を使用するには、お使いのOS XにEasy Interactive Driverをインストールする必要があります。動作条件を確認してください。

OS	Mac OS X 10.5.x Mac OS X 10.6.x OS X 10.7.x OS X 10.8.x OS X 10.9.x
CPU	Power PC G4 1GHz以上 推奨：CoreDuo 1.83GHz以上
メモリー容量	512MB以上
ハードディスク空き容量	100MB以上

ディスプレイ	1024x768(XGA) 以上、1920x1200(WUXGA) 以下の解像度 16ビットカラー以上の表示色(約32000色の表示色)
--------	---

## Easy Interactive Driverをインストールする(OS Xのみ)

マウス操作機能を使用するには、お使いのOS XにEasy Interactive Driverをインストールします。

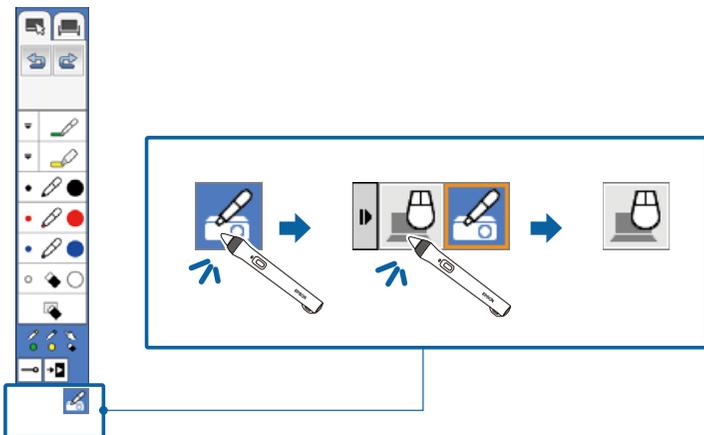


Easy Interactive Toolsを[おすすめインストール]でインストールしたときは、Easy Interactive DriverはEasy Interactive Toolsと一緒にインストールされているので、以下の操作は不要です。詳細については、ソフトに同梱の『Easy Interactive Tools操作ガイド』をご覧ください。

- 1** コンピューターの電源を入れます。
- 2** コンピューターに**EPSON Projector Software for Easy Interactive Function CD-ROM**をセットします。  
EPSONウィンドウが表示されます。
- 3** EPSONウィンドウで**[Install Navi]**アイコンをダブルクリックします。
- 4** **[カスタムインストール]**を選択します。
- 5** 画面の指示に従って、インストールを進めます。
- 6** コンピューターを再起動します。

投写画面に表示されたモード切り替えアイコンを使うと、インタラクティブ機能のモードを簡単に切り替えられます。

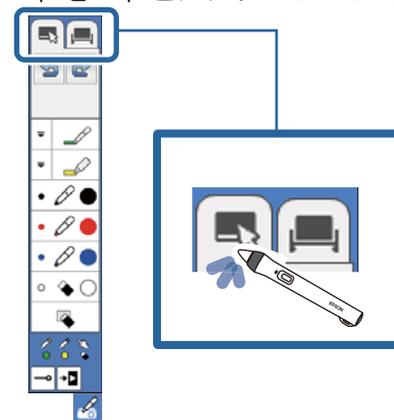
- アノテーションモードとマウス操作を切り替える
  - アノテーションモードからマウス操作へ切り替える



- マウス操作からアノテーションモードへ切り替える



- ホワイトボードモードとアノテーションモードを切り替える



- 以下の操作でも、インタラクティブ機能のモードを切り替えられます。
  - ・ リモコンの【ペンモード】ボタンを押す
  - ・ 環境設定メニューの[拡張設定]から、[ペンモード]を[PCレスインタラクティブ]または[マウス操作]に変更する
    - ☞ [拡張設定] - [Easy Interactive Function] - [ペンモード] p.183
- マウス操作に切り替えられるのは、入力ソースがコンピューター/HDMI1/HDMI2/USB Display/LANのときのみです。
- 環境設定メニューの[拡張設定]で、[USB Type B]を[ワイヤレスマウス/USB Display]に設定しているときは、マウス操作には切り替えられません。
- アノテーションモードで描画した内容は、マウス操作に切り替えたあとも保持されます。

## プロジェクター制御ツール

プロジェクター制御ツールを使うと、リモコンと同じように、投写画面からプロジェクターの機能进行操作できます。また、EasyMP Multi PC Projectionを使ってネットワーク経由でプロジェクターに接続している機器を簡単に選択して投写できます。



お使いのモードによって、使用できる機能が異なります。詳しい使い方は以下をご確認ください。

☛ 「ホワイトボードモードの下段ツールバー」 [p.93](#)

☛ 「アノテーションモードの下段ツールバー」 [p.112](#)

## ネットワーク経由で接続している機器の映像を投写する

プロジェクター制御ツールを使うと、ネットワーク経由でプロジェクターに接続している機器の中から目的の機器を選択して映像を投写できます。EasyMP Multi PC Projectionを使って接続しているコンピュータとEpson iProjectionを使って接続しているスマートフォンやタブレット端末から選択できます。

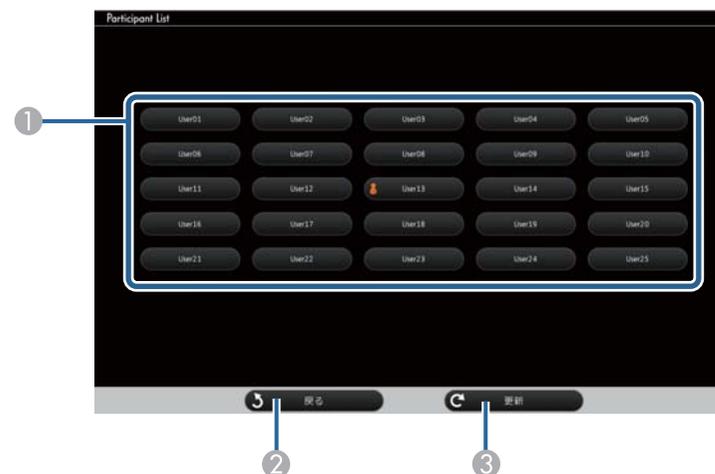


EasyMP Multi PC Projectionでモデレーター機能が有効になっているときも、ネットワーク経由で接続している機器を自由を選択して投写できます。モデレーター機能について詳しくは、『EasyMP Multi PC Projection操作ガイド』をご覧ください。

- 1 プロジェクター制御ツールの  アイコンを選択して、入力ソース一覧から[参加者一覧]を選択します。



- 2 投写する機器のユーザー名を選択します。



- 1 ネットワーク経由でプロジェクターに接続している機器のユーザー名を表示します。  
直前に選択したユーザー名の横には  アイコンが表示されません。
- 2 ユーザー選択画面を閉じて前の画面に戻ります。

- ③ ユーザーの一覧を更新します。  
ネットワーク経由で、新たにプロジェクターに接続したユーザーがいるときは、このボタンを選択してユーザーの一覧を更新します。



- ユーザー選択画面の表示中、すべてのユーザーがコンピューターとプロジェクターとの接続を解除したまま20分経過すると、ユーザー選択画面は自動で閉じます。
- ユーザー選択画面の表示中、次の操作はできません。
  - ・投写する入力ソースを切り替える。
  - ・その他のインタラクティブ機能を使用する。
  - ・プロジェクター制御ツールからプロジェクターの機能を操作する。
  - ・複数のプロジェクターに接続する。
  - ・プロジェクターから音声を出力する(一時的に遮断されます)。
  - ・プロジェクターの環境設定メニューで設定を変更する。
  - ・EasyMP Multi PC ProjectionまたはEpson iProjectionを使用して映像を投写する。

選択したユーザーの画面が表示されます。

投写するユーザーを変更するには、手順1~2を繰り返します。



- EasyMP Multi PC Projectionで複数のプロジェクターに接続して同じ映像を投写しているときは(ミラーリング)、ユーザー選択画面を表示できません。
- インタラクティブ機能が動作しなくなったときは、リモコンまたは操作パネルの戻るボタンを押して前の画面に戻ってください。

ネットワーク経由でマウス操作機能が使用できます。

ネットワーク経由でコンピューターを操作しているとき、描画するには、Easy Interactive Toolsまたはその他のインタラクティブ描画ソフトを使用する必要があります。Easy Interactive Toolsを使うと、さまざまな描画ツールを使用でき、描画した内容をページとして扱ったり、ファイルに保存して後から編集したりできます。Easy Interactive Toolsは、Epson Projector Software for Easy Interactive Function CD-ROMからインストールできます。また、EpsonのWebサイトからダウンロードすることもできます。

- プロジェクターをネットワークに接続して、ネットワーク経由でコンピューターを操作するには、以下のいずれかのネットワークアプリケーションソフトが必要です。
  - EasyMP Network Projection Ver. 2.84 以降(Windows)/2.83 以降(Mac OS X)。詳しくは、『EasyMP Network Projection操作ガイド』をご覧ください。
  - Quick Wireless Ver.1.32以降(Windowsのみ)。詳しくは、オプションのクイックワイヤレス用USBキー同梱の取扱説明書をご覧ください。
- お使いのアプリケーションで、[一般設定]タブの[インタラクティブペンを使用する]と[パフォーマンス調整]タブの[レイヤードウィンドウの転送]を選択します。



- 同時に使用できるペンまたは指(EB-1430WT)は1本です。
- ネットワーク経由でインタラクティブ機能を使用しているときは、ペンや指での操作に対する反応が遅くなることがあります。
- ネットワーク経由でコンピューターを操作しているときは、リモコンまたは環境設定メニューの[拡張設定]から[ペンモード]の切り替えはできません。また、 アイコンによる切り替えもできません。
- Microsoft Officeアプリケーションのインクツールは使用できません。
- 環境設定メニューの[拡張設定]から[ペン動作モード]は変更できません。
- EasyMP Network Projectionを使用すると、4台までのプロジェクターに同時に接続できます。複数のプロジェクターに同時に接続しているときは、いずれの投写画面からもマウス操作ができません。
- ネットワーク経由でコンピューターの映像を投写してアノテーションモードを使用するには、EasyMP Network Projectionまたはクイックワイヤレスで、[一般設定]タブの[インタラクティブペンを使用する]および[パフォーマンス調整]タブの[レイヤードウィンドウの転送]のチェックをはずしてから、ネットワークに接続し直す必要があります。

## EasyMP Network Projectionでサブネットの異なる場所にあるプロジェクターに接続する際のご注意

EasyMP Network Projectionでサブネットの異なる離れた場所にあるプロジェクターに接続して、インタラクティブ機能を使用するときは、以下の点にご注意ください。

- プロジェクターのIPアドレスを指定してネットワーク上のプロジェクターを検索してください。プロジェクター名では検索できません。

- pingコマンドでネットワークプロジェクターとの接続を確認したときに、正しく応答されることを確認してください。(ルーターでインターネット制御通知プロトコル(ICMP)の設定を無効にしているときは、pingコマンドでの応答がなくても、離れた場所にあるプロジェクターに接続できる場合があります。)
- 次のポートが開いていることを確認してください。

ポート	プロトコル	用途	通信
3620	TCP/UDP	接続・制御	双方向
3621	TCP	画像転送	双方向
3629	TCP	プロジェクター制御	双方向

- ルーターで、MACアドレスフィルタリングおよびアプリケーションフィルタリングが無効に設定されていることを確認してください。
- お使いのネットワーク環境で、ネットワークアドレス変換(NAT)が行われていないことを確認してください。インターネットVPNおよびIP-VPNでは、上記の条件を満たせば、離れた場所にあるネットワークプロジェクターに接続できます。
- 拠点間の通信で帯域が管理されており、EasyMP Network Projectionが制限を越えるときは、離れた場所にあるプロジェクターに接続できません。



上記の条件を満たすことで、EasyMP Network Projectionでのサブネットの異なるプロジェクターへの接続を必ず保証するものではありません。導入を検討いただく際には、必ず、事前にお使いのネットワーク環境での接続を検証してください。

Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、またはWindows Vistaをお使いのときは、ペン入力とインクツールを使って手書きで入力したり、注釈を追加したりできます。

## Windowsのペン入力とインク機能を有効にする

Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、またはWindows Vistaでペン入力とインク機能を使用するには、環境設定メニューの[拡張設定]からペンの動作を設定します。

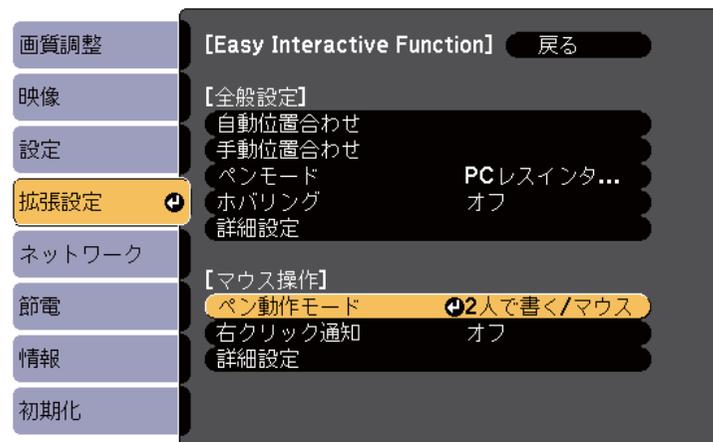
- 1 【メニュー】ボタンを押して、[拡張設定]メニューを選択してから、【決定】ボタンを押します。



- 2 【Easy Interactive Function】を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 3 【ペン動作モード】を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 4 次のいずれかを選択します。

- [1人で書く/ペン]を選択して、【決定】ボタンを押します (EB-1420WTのみ)。
- ペン入力を使用している場合は、[モード2]を選択して、【決定】ボタンを押します (EB-1430WTのみ)。

- インク機能を使用している場合は、[モード1]または[モード2]を選択して、【決定】ボタンを押します(EB-1430WTのみ)。



[モード1]または[モード2]を選択している場合は、Windowsのマルチタッチ機能が使用できます(EB-1430WTのみ)。

## Windowsのペン入力とインク機能を使用する

Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、またはWindows Vistaをお使いのときは、手書きで描画したり、手書き入力をテキストに変換したりできます。

Microsoft Office 2007以降では、インク機能を使って、Word、Excel、またはPowerPointのファイルに手書きで注釈を追加できます。



Microsoft Officeのバージョンにより、機能のオプション名が異なる場合があります。

- Windows 8でタッチキーボードを表示するには、タスクバーで右クリックまたは長押しして、[ツールバー]>[タッチキーボード]の順に選択します。キーボードアイコンを選択して、ペンアイコンを選択します。
- Windows 7またはWindows VistaでタブレットPCの入力パネルを表示するには、 >[すべてのプログラム]>[アクセサリ]>[Tablet PC] >[Tablet PC入力パネル]の順に選択します。  
ペンまたは指(EB-1430WT)を使ってボックス内に書き込み、さまざまなオプションを使って、テキストを編集したり変換したりできます。

- Microsoft Officeアプリケーションでインク注釈を追加するには、[校閲]メニューから[インクの開始]を選択します。



WordまたはExcelでは、[挿入]タブから[インクの開始]をクリックしてください。

- PowerPointのスライドショーに注釈を追加するには、投写面上でペン側面のボタンを押す、または指先で投写面を3秒間押し続けて、[ポインタオプション]>[ペン]の順に選択します。



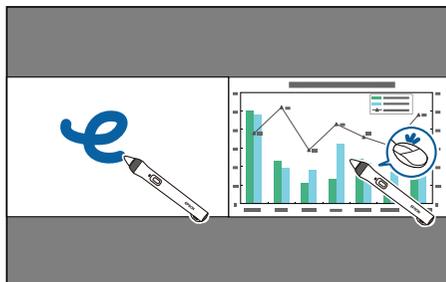
Windows XP Tablet PC Editionでも同じように操作できます。

機能の詳細については、Windowsのヘルプをご覧ください。

2つの入力ソースからの映像を1つのスクリーンへ同時に投写して、インタラクティブ機能を利用できます。

### ☛ 「2種類の映像を同時に投写する(2画面)」 p.130

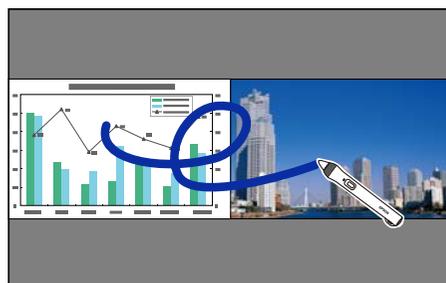
片方の画面をホワイトボードモードにしているときは、もう片方の画面はマウス操作のみ行えます。



片方の画面でマウス操作を行っているときは、もう片方の画面はホワイトボードモードのみ使用できます。



両方の画面にアノテーションモードを設定すると、投写画面をまたいで描画できます。



- ネットワーク経由でインタラクティブ機能を使用するときは、左右どちらか1つの画面でのみ、アノテーションモードまたはマウス操作が使用できます。
- 描画できる範囲を枠で表示できます。2画面で投写しているときに、【メニュー】ボタンを押して、[描画エリア表示]を[オン]にしてください。
- 2画面で投写中にインタラクティブ機能を使用しているときは、ペンや指の操作に対する反応が遅くなることがあります。

## 2画面に切り替える

ここではペンを使ってツールバーから操作する方法を説明します。リモコンから操作する方法は以下を参照してください。

### ☛ 「2画面で投写する」 p.132

- 1 下段ツールバーの  をクリックします。



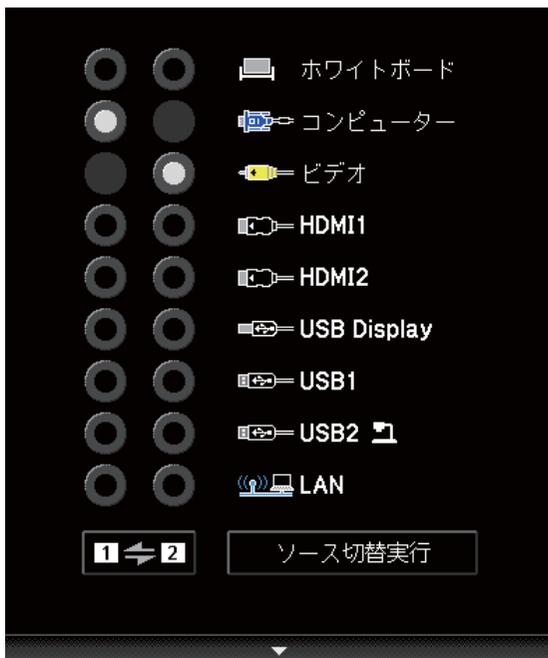
投写している入力ソースの映像が左画面に投写されます。

- 2 下段ツールバーの  をクリックします。



ソース選択画面が表示されます。

### 3 左画面と右画面で投写する入力ソースをそれぞれ選択します。



 2画面で投写できる入力ソースについては以下をご覧ください。

 「2画面で投写できる入力ソース」 p.131

### 4 [ソース切替実行]をクリックします。

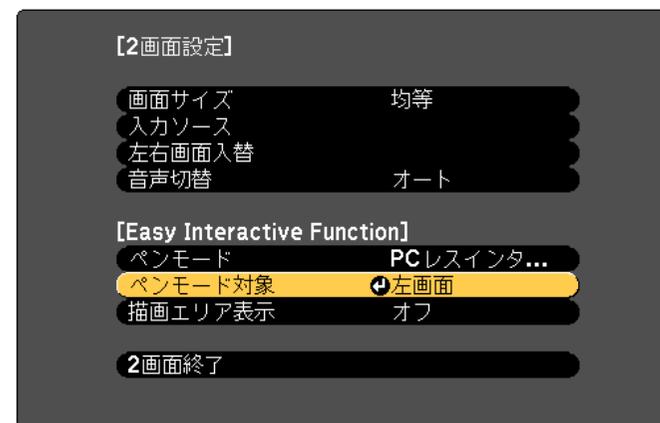
**1 ↔ 2** をクリックすると、左画面と右画面の入力ソースが入れ替わります。

## 片方の画面でマウス操作を行う

**1** 2画面で投写しているときに、リモコンの【メニュー】ボタンを押します。

2画面設定画面が表示されます。

**2** 【ペンモード対象】を選択して、【決定】ボタンを押します。



**3** マウス操作を行う画面を選択して、【決定】ボタンを押します。

 選択した画面の入力ソースが、[ビデオ]、[USB1]、[USB2]のいずれかに設定されているときは、マウス操作に切り替えられません。

**4** 【メニュー】ボタンを押して、2画面設定画面を終了します。

 ペンモード対象で選択した画面に、ネットワークで接続したコンピュータの映像を投写しているときは、マウス操作のみ行えます。

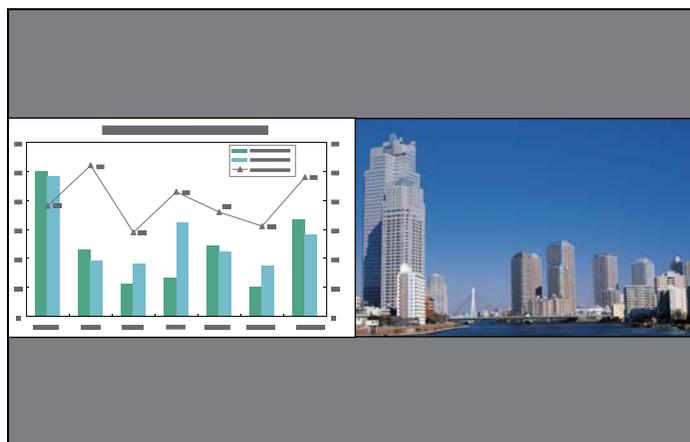


## 便利な機能

ここでは、プレゼンテーションなどに効果的な機能と、セキュリティー機能について説明しています。

## 2種類の映像を同時に投写する(2画面)

2つの入力ソースからの映像を、1つのスクリーンの左右に同時に投写できます。



2画面に投写しているときも、インタラクティブ機能が使用できます。

☛ 「2画面投写時にインタラクティブ機能を利用する」 [p.127](#)

## 2画面で投写できる入力ソース

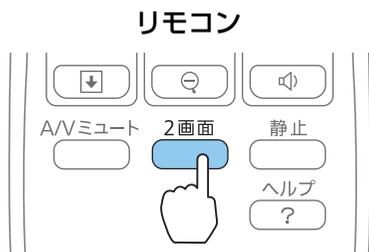
2画面で投写できる入力ソースの組み合わせは以下のとおりです。

左画面ソース	右画面ソース								
	コンピューター	ビデオ	HDMI1	HDMI2	USB Display	USB1	USB2	LAN	ホワイトボード
コンピューター	-	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ビデオ	✓	-	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
HDMI1	✓	✓	-	-	✓	✓	✓	✓	✓
HDMI2	✓	✓	-	-	✓	✓	✓	✓	✓
USB Display	✓	✓	✓	✓	-	-	-	-	-
USB1	✓	✓	✓	✓	-	-	-	-	-
USB2	✓	✓	✓	✓	-	-	-	-	-
LAN	✓	✓	✓	✓	-	-	-	-	-
ホワイトボード	✓	✓	✓	✓	-	-	-	-	-

## 操作方法

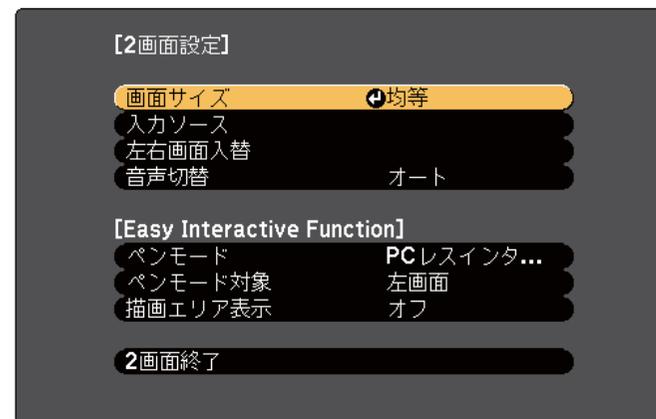
## 2画面で投写する

- 1** 投写中にリモコンの【2画面】ボタンを押します。  
投写している入力ソースの映像が左画面に投写されます。



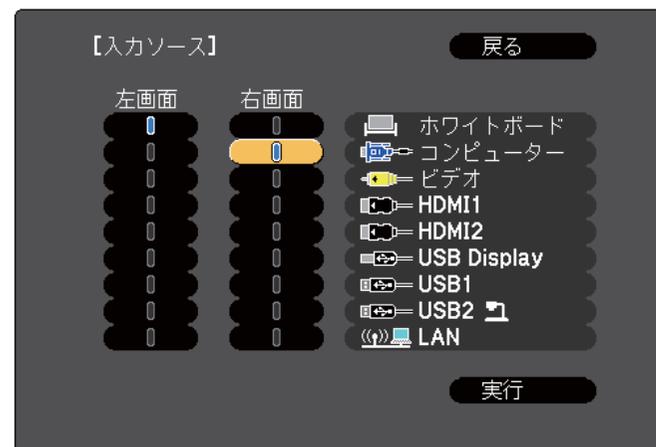
- インタラクティブ機能を使用しているときは、下段ツールバーからも同様の操作ができます。
  - ☛ 「ホワイトボードモードの下段ツールバー」 p.93
  - ☛ 「アノテーションモードの下段ツールバー」 p.112
- 環境設定メニューからも同様の操作ができます。
  - ☛ [設定]-[2画面] p.180

- 2** 【メニュー】ボタンを押します。  
2画面設定画面が表示されます。



- 3** 【入力ソース】を選択して【↵】ボタンを押します。

- 4** 【左画面】、【右画面】でそれぞれ投写する入力ソースを選択します。



投写できる組み合わせの入力ソースのみ選択できます。

☛ 「2画面で投写できる入力ソース」 p.131

2画面でインタラクティブ機能を使うときの組み合わせについては、以下をご覧ください。

☛ 「2画面投写時にインタラクティブ機能を利用する」 p.127



2画面投写中に【入力検出】ボタンを押したときも入力ソース画面が表示されます。

## 5 【実行】を選択して【↵】ボタンを押します。

2画面で投写中に各画面の入力ソースを切り替えるときは、手順2から始めます。

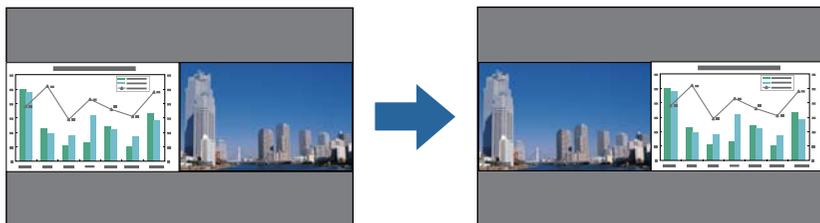
### 左画面/右画面を入れ替える

投写映像を左右で入れ替えるときは、以下の操作を行います。

## 1 2画面で投写中に【メニュー】ボタンを押します。

## 2 【左右画面入替】を選択して【↵】ボタンを押します。

投写映像の左右が入れ替わります。



### 左画面/右画面の画面サイズを切り替える

## 1 2画面で投写中に【メニュー】ボタンを押します。

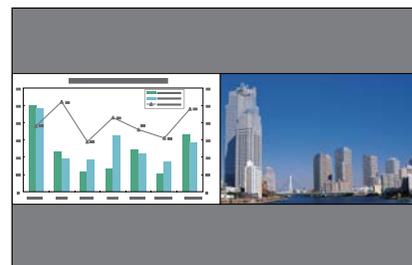
## 2 【画面サイズ】を選択して【↵】ボタンを押します。

## 3 表示したい画面サイズを選択して【↵】ボタンを押します。

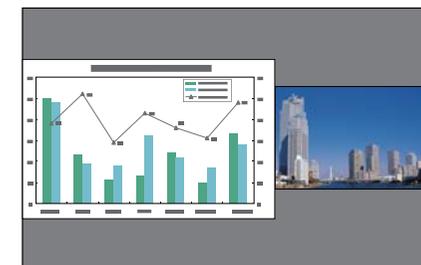


画面サイズ設定後の投写イメージは以下のとおりです。

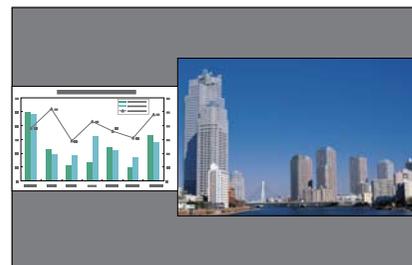
【均等】



【左拡大】



【右拡大】





- 左画面、右画面の両方を同時に拡大することはできません。
- 片方の画面を拡大したときは、もう片方の画面は縮小されます。
- 入力している映像信号によっては、[均等]に設定しても左右の画面が同じサイズに見えない場合があります。

## 2画面を終了する

2画面を終了するときは、【戻る】ボタンを押します。

以下の操作でも2画面を終了できます。

- リモコンの【2画面】ボタンを押す。
- 環境設定メニューから[2画面終了]を選択する。  
☛ [設定]-[2画面]-[2画面設定] p.180

## 2画面で投写中の制限事項

### 操作に関する制限事項

2画面で投写中は、以下の操作はできません。

- 環境設定メニューの設定
  - Eズーム
  - アスペクトモードの切り替え(アスペクトモードは[ノーマル]が適用されます。)
  - リモコンの【ユーザー】ボタンでの操作
  - オートアイリス
  - ライトオフティマイザー
  - 映像処理
  - 静止(片方の画面を[ホワイトボード]にしているときのみ)
- ヘルプを表示できるのは、映像信号が入力されていないとき、または異常・警告通知が表示されたときのみです。

## 映像に関する制限事項

- 右画面の映像には、[画質調整]メニューの初期値が適用されます。ただし、[カラーモード]、[絶対色温度]、[アドバンスト]は、左画面で投写している映像の設定値が適用されます。
- 右画面の映像には、[プログレッシブ変換]、[ノイズリダクション]の設定値は[オフ]が適用されます。  
☛ 「映像メニュー」 p.178
- 映像信号が入力されていないときの表示画面は背景表示で設定されている色になります。[ロゴ]に設定されているときは[青]になります。
- AVミュートを実行したときの表示画面は[黒]になります。

## USBストレージの画像を投写する(PC Free)

USBメモリーやUSBハードディスクなどのUSBストレージを本機に装着して、保存されているファイルをコンピューターを使わずに投写できます。この機能をPC Freeといいます。

### 注意

マルチカードリーダーやUSBハブを使用すると、正しく動作しません。USBストレージは直接本機またはコントロールパッドに接続してください。



- セキュリティー機能が付いているUSBストレージは、使用できないことがあります。
- PC Freeで投写時は、操作パネルの【凸】【凸】ボタンを押しても台形補正できません。

## PC Freeで投写できるファイルの仕様

種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
画像	.jpg	以下の場合は投写できません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>解像度が8192×8192を超えるもの</li> <li>ファイルサイズが12MBを超えるもの</li> <li>拡張子が.jpegのファイル</li> <li>CMYKカラーモード形式</li> <li>プログレッシブ形式</li> </ul> JPEGファイルの特性上、圧縮率が高いと画像がきれいに投写されないことがあります。
	.bmp	解像度が2048×2048を超えるものは投写できません。
	.gif	<ul style="list-style-type: none"> <li>解像度が2048×2048を超えるものは投写できません。</li> <li>アニメーションGIFは投写できません。</li> </ul>
	.png	解像度が2048×2048を超えるものは投写できません。
PDF	.pdf	<ul style="list-style-type: none"> <li>バージョンが1.7以下のPDFファイルを投写できます。</li> <li>暗号化されているPDFファイルは投写できません。</li> </ul>

各ファイルの投写方法は以下をご覧ください。

- 画像ファイルの投写方法  
 「選択した画像・動画を投写する」 [p.138](#)
- PDFファイルの投写方法  
 「PDFファイルを投写する」 [p.139](#)

## 再生できる動画ファイル

ファイルタイプ (拡張子)	動画コーデック	音声コーデック	記録品質
.mpg※	MPEG-2	MPEG-1 Layer1/2 無音のMPEGコンテンツも再生できます。 リニアPCMとAC-3は再生できません。	最大ビットレート： 12Mbps 最大解像度： 1280×720
.mp4※	MPEG-4 ASP MPEG-4 AVC	MPEG-4 AAC-LC	
.wmv	WMV9	WMA	
.avi	Motion JPEG	リニアPCM ADPCM	

※ 拡張子が.mpegのファイルは投写できません。

動画ファイルの投写方法は以下をご覧ください。

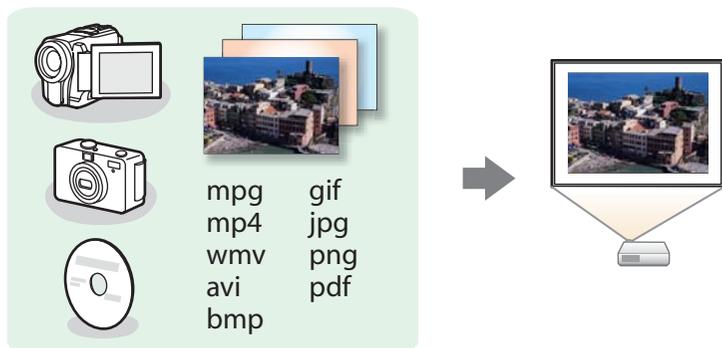
 「選択した画像・動画を投写する」 [p.138](#)



- USB対応のハードディスクを接続して使用する際は、必ずハードディスクに付属のACアダプターを接続してください。
- セキュリティー機能が付いているUSB ストレージは、使用できないことがあります。
- デジタル著作権管理(DRM)がかかっているファイルは投写できません。
- 動画を再生する場合、アクセス速度が遅いUSBストレージ(高ビットレート再生のとき)を使用すると、正しく再生されなかったり、音飛びしたり音が出なくなったりすることがあります。
- 一部のファイルシステムに対応できないことがありますので、Windows上でフォーマットしたメディアをお使いください。
- メディアはFAT16/32でフォーマットしてください。

## PC Freeの利用例

### USBストレージに保存した画像・動画ファイルを投写する



動画ファイルや画像ファイルを単体で投写したり、複数のファイルをスライドショーで連続再生できます。

- ☛ 「選択した画像・動画を投写する」 [p.138](#)
- ☛ 「フォルダー内の画像ファイルを連続投写する（スライドショー）」 [p.141](#)

## PC Freeの操作方法

以降、コントロールパッドにUSBストレージを接続してリモコンで操作する場合を例に説明しています。USBストレージは、プロジェクター本体に直接接続することもできます。リモコン操作は操作パネルでも可能です。



PC Freeでファイルを投写しているときに使用できる機能は以下のとおりです。

- 静止
  - ☛ 「映像を停止させる（静止）」 [p.143](#)
- A/Vミュート
  - ☛ 「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」 [p.142](#)
- Eズーム
  - ☛ 「映像を部分的に拡大する（Eズーム）」 [p.144](#)
- ポインター
  - ☛ 「説明箇所を指し示す（ポインター）」 [p.143](#)

## 起動する

- 1** コントロールパッドに、USBストレージまたはデジタルカメラをセットします。
    - ☛ 「コントロールパッドに接続する」 [p.50](#)
  - 2** 【入力検出】ボタンを押して入力ソースをUSB1に切り替えます。
    - ☛ 「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 [p.56](#)PC Freeが起動して、ファイル一覧画面が表示されます。
- 以下のファイルはサムネイル表示(ファイルの内容が小さい画像で表示)されます。
    - JPEGファイル
    - PDFファイル(PDFの1ページ目の画像)
    - MPEG/WMV/AVIファイル(動画の始めから15秒付近の画像)

- それ以外のファイルとフォルダーは次表のようにアイコンで表示されます。

アイコン	ファイル	アイコン	ファイル
	MPEGファイル		WMVファイル
	JPEGファイル※		PFXファイル (クライアント証明書/ Webサーバー証明書)
	BMPファイル		P12ファイル (クライアント証明書/ Webサーバー証明書)
	GIFファイル		CERファイル (CA証明書)
	PNGファイル		DERファイル (CA証明書)
	AVI(Motion JPEG)ファイル※		PEMファイル (CA証明書)
	PDFファイル※		

※ サムネイル表示できない場合は、アイコンで表示されます。

## 投写する

- 1  ボタンを押して、操作の対象となるファイルまたはフォルダーを選択します。



現在表示中の画面にすべてのファイルやフォルダーが表示しきれていない場合は、リモコンの【】ボタンを押すか、画面下部の[次のページ]にカーソルを合わせて【】ボタンを押します。

前の画面に戻る場合は、リモコンの【】ボタンを押すか、画面上部の[前のページ]にカーソルを合わせて【】ボタンを押します。

- 2  ボタンを押します。

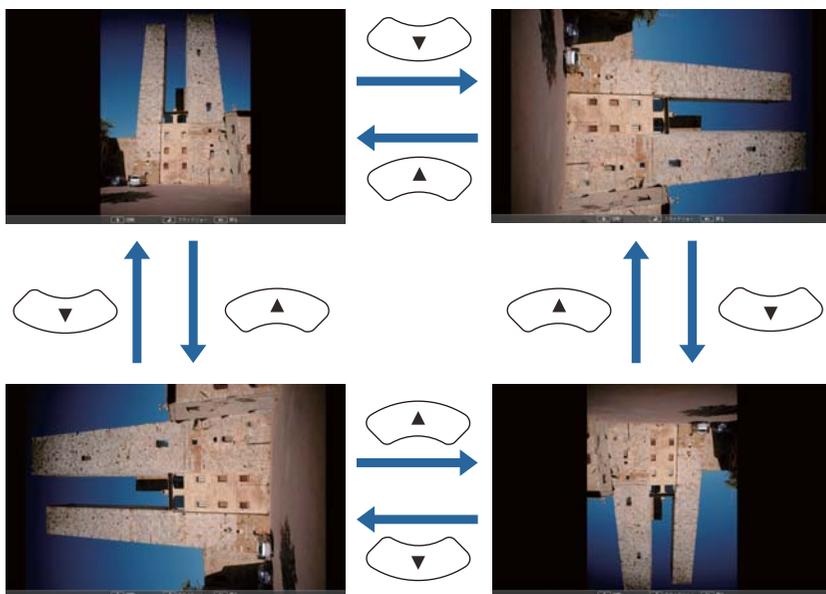
選択した映像が表示されます。

フォルダーを選択したときは、フォルダー内のファイルが表示されます。フォルダーを開いた画面で、[上へ戻る]を選択して【】ボタンを押すとフォルダーを開く前の画面に戻ります。

## 画像を回転する

PC Freeで画像ファイルを投写しているときは、画像を90°単位で回転できます。

- 1 画像を再生するか、PC Freeを実行します。
- 2 画像が再生されたら、【】ボタンまたは【】ボタンを押します。



## 終了する

PC Freeを終了するには、接続しているUSB機器をコントロールパッドのUSB端子から取り外します。デジタルカメラやハードディスクなどは、各機器の電源をオフにしてから取り外してください。

## 選択した画像・動画を投写する

### 注意

USBストレージにアクセス中はUSBストレージの接続を外さないください。PC Freeに異常が発生する場合があります。

- 1 PC Freeを起動します。  
ファイル一覧画面が表示されます。  
☞ 「起動する」 p.136
- 2 【】【】【】【】ボタンを押して、投写する画像ファイルを選択します。



- 3 【】ボタンを押します。  
画像または動画の再生が始まります。



画像を再生中に【◀】【▶】ボタンを押すと、画像ファイルの送り/戻しができます。

**4** 再生を終了するときは、次の操作を行います。

- 静止画を投写中：【戻る】ボタンを押す。
  - 動画を投写中：【戻る】ボタンを押して表示されるメッセージ画面で、[終了]を選択して【↶】ボタンを押す。
- 再生を終了すると、ファイル一覧画面に戻ります。

**PDFファイルを投写する**

PC FreeでPDFファイルを投写できます。PDFファイルのページの送り/戻しや拡大・回転ができます。

- 1** PC Freeを起動します。  
ファイル一覧画面が表示されます。  
☛ 「起動する」 p.136

- 2** 【◀】【▶】【↶】【↷】ボタンを押して、投写するPDFファイルを選択します。



拡張子が.pdf以外のときは、ファイル一覧画面にファイルが表示されません。

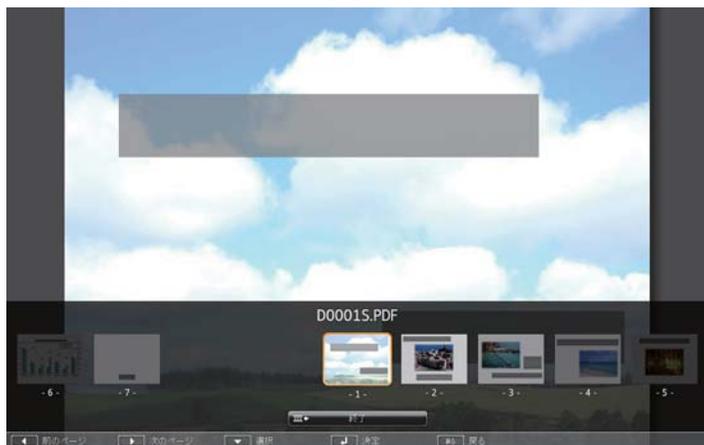
**3** 【↶】ボタンを押します。

PDFファイルの最初のページが全体表示されます。



PDFファイルを表示中は以下の操作ができます。

- ページの送り/戻し  
全体表示中に【<】【>】ボタンを押すと、ページが送り/戻しされます。
- ページの選択  
【戻る】ボタンを押すと、ページ選択メニューが表示されます。



【<】【>】ボタンで投写したいページを選択して【↵】ボタンを押すと、選択したページが表示されます。

ページ選択メニューを表示中に【戻る】ボタンを押すと、ページ選択メニューは消えます。

- ページを拡大して表示  
全体表示中に【↵】ボタンを押すと、表示が拡大されます。  
縦長のページは投写画面の横幅いっぱい、横長のページは投写画面の縦幅いっぱい拡大されます。  
拡大表示中に【↵】ボタンを押すと、全体表示に戻ります。

- ページのスクロール  
拡大表示中に【<】【>】【<>】【<>】ボタンを押すと、ページがスクロールされます。
- ページの回転  
全体表示中に【<>】【<>】ボタンを押すと、PDF のすべてのページが90度回転して表示されます。

### PDFファイルの表示を終了する

- 1 PDFファイルを表示中に【戻る】ボタンを押します。  
ページ選択メニューが表示されます。
- 2 【<】【>】ボタンを押して、[終了]を選択します。



- 3 【↵】ボタンを押します。  
PDFファイルの表示を終了し、ファイル選択画面が表示されます。



PC FreeのPDF再生では、以下の操作はできません。

- ・パスワードの解除
- ・電子署名の表示
- ・透明効果の表示
- ・マルチメディアコンテンツの再生
- ・3Dアートワークの表示
- ・注釈の表示

## フォルダー内の画像ファイルを連続投写する(スライドショー)

フォルダー内の画像ファイルを順番に1つずつ投写できます。この機能をスライドショーと呼びます。以下の手順でスライドショーを実行します。



繰り返して投写したり画面切替時の表示に効果をつけるなどの表示条件を設定できます。スライドショーで動画・画像ファイルを自動的に切り替えて表示するには、PC Freeのオプション画面で[表示時間設定]を[なし]以外に設定してください。初期設定は[なし]に設定されています。

☞ 「画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定」  
p.141

### 1 PC Freeを起動します。

☞ 「起動する」 p.136

ファイル一覧画面が表示されます。

### 2 【】【】【】【】ボタンを押して、スライドショーを実行するフォルダーにカーソルを合わせ【】ボタンを押します。

### 3 ファイル一覧画面の下部で[スライドショー]を選択して、【】ボタンを押します。

スライドショーが実行され、自動的にフォルダー内の画像・動画ファイルが順次1つずつ投写されます。

最後まで投写すると、自動的にファイル一覧表示に戻ります。オプション画面で[繰り返し再生]を[オン]に設定しているときは、最後まで投写すると最初から投写を繰り返します。

☞ 「画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定」  
p.141

スライドショー投写中は次画面に送る、前画面に戻す、再生を中止することができます。



オプション画面で[表示時間設定]を[なし]に設定している場合、スライドショー再生を実行しても自動的にファイルが切り替わりません。【】ボタン、【】ボタンまたは【】ボタンを押して、次のファイルを投写します。

## 画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定

ファイルの表示順序やスライドショーの動作をオプション画面で設定できます。

### 1 ファイル一覧画面下部の[オプション]を選択して【】ボタンを押します。

### 2 オプション画面が表示されるので、各項目を設定します。

変更したい項目の設定にカーソルを合わせて【】ボタンを押すと、設定が有効になります。

各項目の詳細は次の表のとおりです。

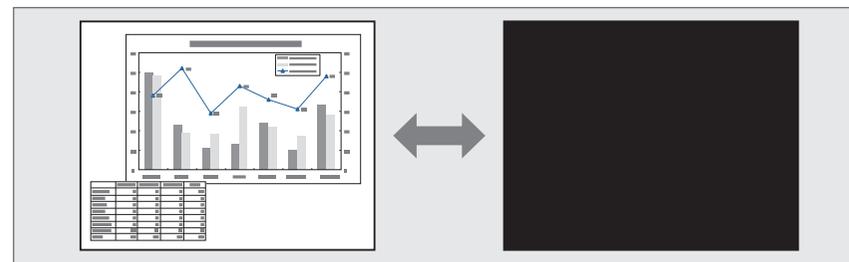


<b>表示順序設定</b>	表示するファイルの順序を、[ファイル名順]、[更新日付順]から選択します。
<b>ソート方向</b>	ファイルの並び替え方向を、[昇順]、[降順]から選択します。
<b>繰り返し再生</b>	繰り返しスライドショーを実行するかを設定します。
<b>表示時間設定</b>	スライドショー再生で、1つのファイルを表示する時間を設定します。[なし](0)~60秒までの設定ができます。[なし]に設定したときは、自動送りは無効となります。
<b>画面切替効果</b>	スライドを切り替えるときの画面効果を設定します。

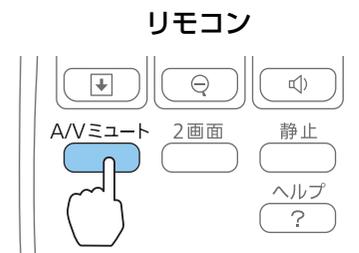
- 3** 【】【】【】【】ボタンを押して【OK】にカーソルを合わせて、【】ボタンを押します。  
設定が適用されます。  
設定を適用したくない場合は、【キャンセル】にカーソルを合わせて、【】ボタンを押します。

## 映像と音声を一時的に消す(A/Vミュート)

スクリーンの映像を消して聴衆を話に集中させたいときや、ファイルの切り替え操作などを見せたくないときに使います。



【A/Vミュート】ボタンを押すたびにA/Vミュートが実行/解除されます。





- 動画の場合は、A/Vミュート中でも映像と音声は進んでいますので、遮断したときの場面からは再開できません。
- 【A/Vミュート】ボタンを押したときに表示される画面は、環境設定メニューから選択できます。  
☛ [拡張設定]-[表示設定]-[A/Vミュート] p.181
- 【A/Vミュート】ボタンでA/Vミュートを実行して約30分経つと、[A/Vミュートタイマー]が機能して自動的に電源がオフになります。[A/Vミュートタイマー]を機能させたくないときは[A/Vミュートタイマー]を[オフ]にします。  
☛ [節電] - [A/Vミュートタイマー] p.202
- A/Vミュート中でもランプは点灯しているので、ランプ点灯時間に累積されます。



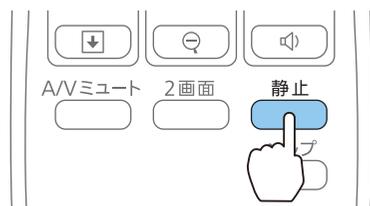
- 音声は停止しません。
- 動画の場合は、停止している間も映像は進んでいますので、静止したときの場面からは再開できません。
- 環境設定メニューやヘルプを表示中に【静止】ボタンを押すと、表示中のメニュー・ヘルプは消去されます。
- Eズーム実行中でも、静止機能で停止できます。

## 映像を停止させる(静止)

静止を実行したときの画面が投写されたままになりますので、動画の一場面を静止画で投写できます。また、ファイル切り替えの前に静止を実行すれば、操作内容を投写せずに操作できます。

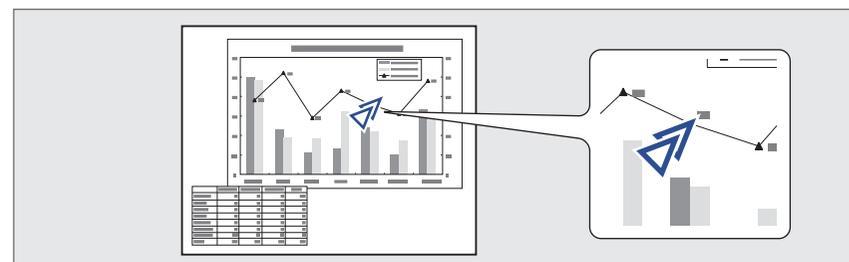
【静止】ボタンを押すたびに静止が実行/解除されます。

### リモコン



## 説明箇所を指し示す(ポインター)

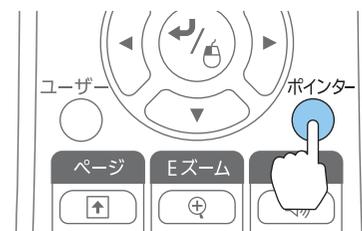
ポインターで映像を指し示し、どこを説明しているかを明確にしたり、注目させるときに使います。



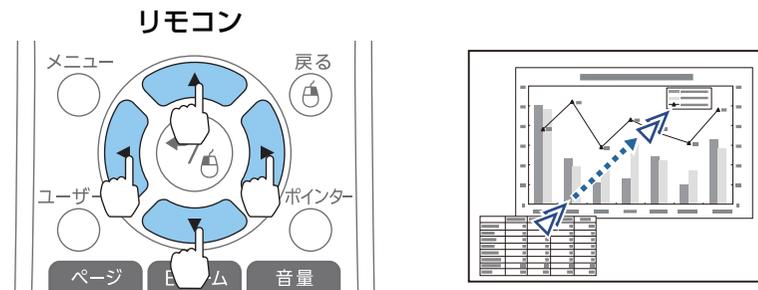
### 1 ポインターを表示します。

【ポインター】ボタンを押すたびに表示/非表示が切り替わります。

### リモコン



**2** ポインターアイコン(➤)を移動します。



隣り合う【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンを組み合わせると斜め方向にも移動することができます。

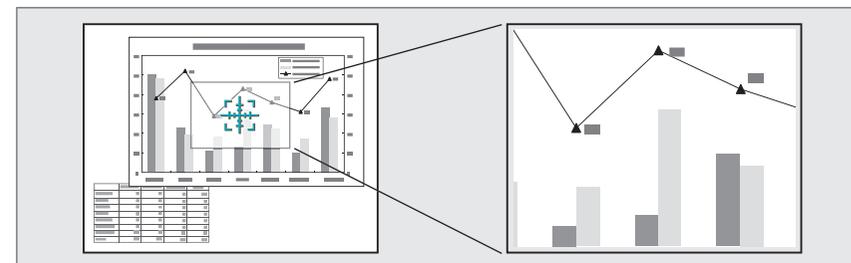


ポインターアイコンの形状は環境設定メニューから設定できます。

☞ [設定]-[ポインター形状] p.180

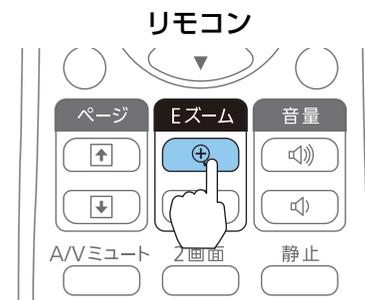
**映像を部分的に拡大する(Eズーム)**

グラフや表の細目などを拡大して見せたいときに便利です。

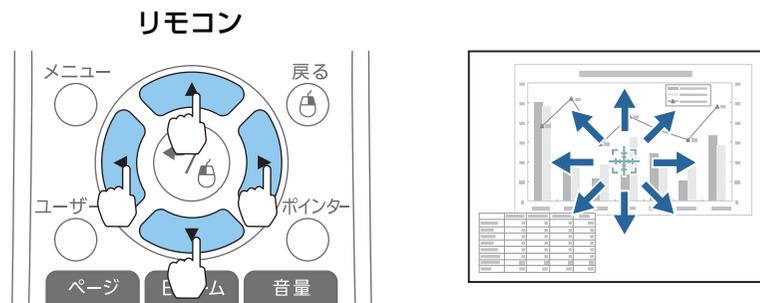


**1** Eズームを開始します。

【⊕】ボタンを押すと、ターゲットスコープ(📏)が表示されます。



**2** 拡大表示したい部分にターゲットスコープ( )を移動させます。



隣り合う【】【】【】【】ボタンを組み合わせると斜め方向にも移動することができます。

**3** 拡大します。



【】ボタン：押すたびに拡大されます。ボタンを押し続けると、すばやく拡大できます。

【】ボタン：拡大した結果を縮小します。

【戻る】ボタン：Eズームを解除します。



- 画面上に倍率が表示されます。1~4倍まで、25段階で拡大できます。
- 拡大投写中に【】【】【】【】ボタンを押すと、映像をスクロールできます。

## リモコンでマウスポインターを操作する(ワイヤレスマウス)

本機のリモコンでコンピューターのマウスポインターを操作できます。この機能をワイヤレスマウスと呼びます。

ワイヤレスマウスの対応OSは以下のとおりです。

	Windows	OS X
OS	Windows 2000 Windows XP Windows Vista Windows 7 Windows 8 Windows 8.1	Mac OS X 10.3.x Mac OS X 10.4.x Mac OS X 10.5.x Mac OS X 10.6.x OS X 10.7.x OS X 10.8.x OS X 10.9.x

※ OSのバージョンによりワイヤレスマウス機能を使用できない場合があります。

ワイヤレスマウスを実行するには、以下の設定をします。

**1** 環境設定メニューの[USB Type B]を[ワイヤレスマウス/USB Display]に設定します。

☛ [拡張設定] - [USB Type B] [p.181](#)

**2** 本機とコンピューターを同梱のUSBケーブルで接続します。

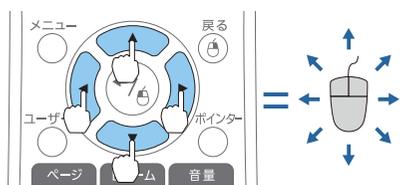
☛ 「コンピューターの接続」 [p.37](#)

**3** 入力ソースを以下のいずれかに切り替えます。

- USB Display
- コンピューター
- HDMI1
- HDMI2

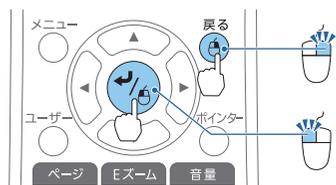
☛ 「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.56  
設定した後はマウスポインターを次のように操作できます。

### マウスポインターの移動



【】【】【】【】ボタン：  
マウスポインターを移動します。

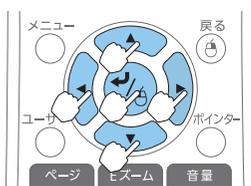
### マウスクリック



【戻る】ボタン：マウスの右クリックの働きをします。

【】ボタン：マウスの左クリックの働きをします。ダブルクリックのときはすばやく2回押します。

### ドラッグ&ドロップ



【】ボタンを押したまま、【】  
【】【】【】ボタンを押してドラッグします。  
任意の場所で【】ボタンを離すと、ドロップします。

### ページの送り/戻し



【】ボタン：ページを戻します。

【】ボタン：ページを送ります。



- 隣り合う【】【】【】【】ボタンを組み合わせると斜め方向にも移動することができます。
  - コンピューターでマウスボタンの左右を逆に設定している場合は、リモコンでの操作も逆になります。
  - 以下のときは、ワイヤレスマウス機能は動作しません。
    - ・ [拡張設定] - [USB Type B]が、[ワイヤレスマウス/USB Display]以外になっているとき
    - ・ HDMI1/MHL入力端子にMHLケーブルで接続している機器からの映像を投写しているとき
    - ・ 環境設定メニューやヘルプを表示しているとき
    - ・ ワイヤレスマウス以外の機能を実行しているとき(音量調整など)
- ただし、Eズームやポインター機能を使用しているときは、ページの送り/戻しのみ操作できます。

## ユーザーロゴの登録

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

登録したユーザーロゴは、投写開始時や映像信号が入力されていないときの表示画面として使用できます。

☛ [拡張設定] - [表示設定] [p.181](#)



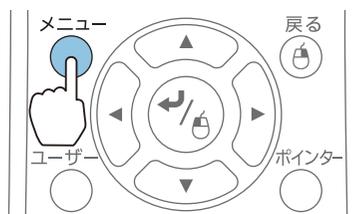
- ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。
- 一括設定機能を使って環境設定の内容を他のプロジェクターに設定すると、登録してあるユーザーロゴは他のプロジェクターにも設定されます。機密情報などをユーザーロゴとして登録しないでください。

☛ 「複数台のプロジェクターを一括設定する」 [p.205](#)

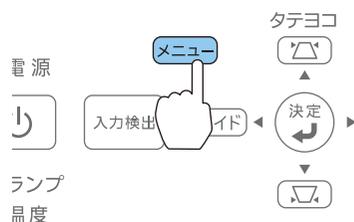
**1** ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、【メニュー】ボタンを押します。

☛ 「環境設定メニューの操作」 [p.174](#)

リモコンの場合



操作パネルの場合



**2** [拡張設定]から[ユーザーロゴ]を選びます。



- [パスワードプロテクト]で[ユーザーロゴ保護]を[オン]に設定しているときは、メッセージが表示され操作することはできません。[ユーザーロゴ保護]を[オフ]にしてから操作してください。

☛ 「利用者を管理する (パスワードプロテクト)」 [p.150](#)

- 台形補正、Eズーム、アスペクト、ズーム調整を行っているときに[ユーザーロゴ]を選択すると、実行している機能は一時的に解除されます。

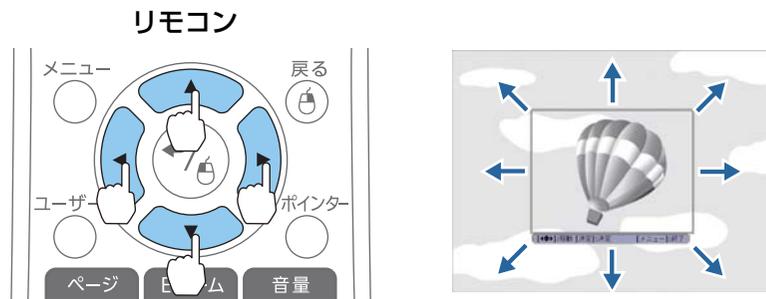
**3** 「現在投写されている映像の一部をユーザーロゴとして使いますか?」と表示されるので、[はい]を選択します。



リモコンまたは操作パネルの【↩】ボタンを押すと、映像信号の実際の解像度に切り替わるため、信号によっては画面サイズが変わることがあります。

- 4** 登録する映像と選択枠が表示されるので、ユーザーロゴとして使う位置を選択します。

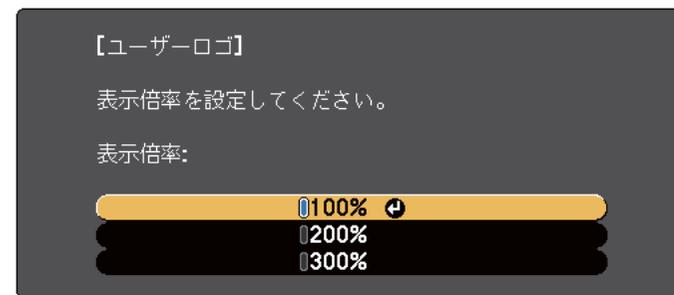
プロジェクターの操作パネルでも同様の操作を行えます。



登録できるサイズは400x300ドットです。

- 5** 【←】ボタンを押すと「この映像を使用しますか？」と表示されるので、【はい】を選択します。

- 6** 表示倍率設定画面で倍率を選択します。



- 7** 「この映像を保存しますか？」とメッセージが表示されるので、【はい】を選択します。

映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。



ユーザーロゴの登録を実行すると、先に登録されているユーザーロゴは消去されます。

## ユーザーパターンの登録

本機には罫線や格子など5種類のパターン映像が登録されています。

☛ [設定]-[パターン]-[パターン種類] p.180

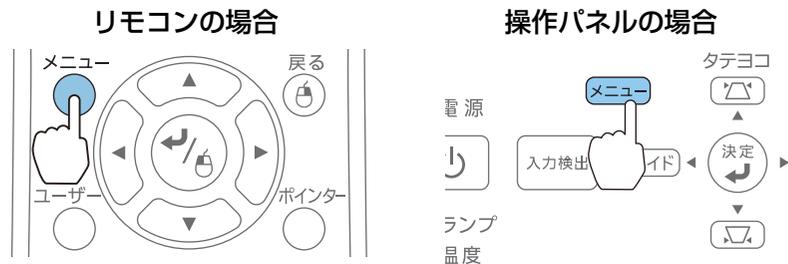
その他に、現在表示している映像をユーザーパターンとして登録できません。



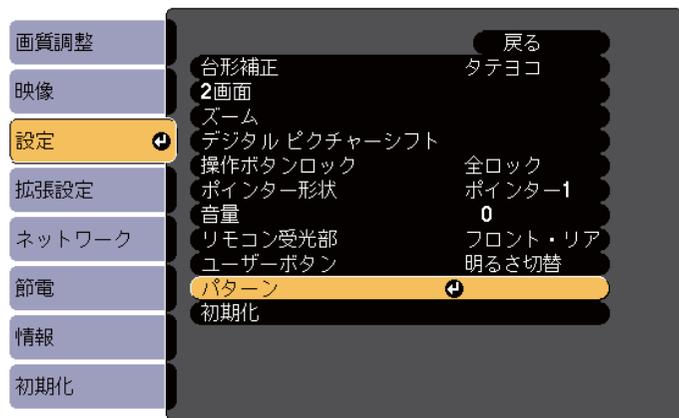
ユーザーパターンの登録を実行すると、現在登録されているユーザーパターンは消去されます。

**1** ユーザーパターンとして登録したい映像を投写し、【メニュー】ボタンを押します。

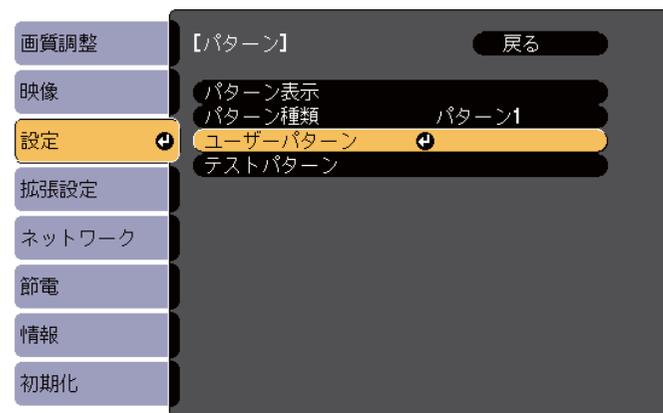
☛ 「環境設定メニューの操作」 p.174



**2** 【設定】から【パターン】を選びます。



**3** 【ユーザーパターン】を選びます。



☛ 台形補正、Eズーム、アスペクト、ズーム調整、デジタルピクチャーシフトを行っているときに【ユーザーパターン】を選択すると、実行している機能は一時的に解除されます。

**4** 「現在投写されている映像をユーザーパターンとして使いますか？」と表示されるので、【はい】を選択します。

**5** 【↵】ボタンを押すと、「この映像を保存しますか？」とメッセージが表示されるので、【はい】を選択します。

映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーパターンの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。

☛ ユーザーパターンは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

本機には、次の充実したセキュリティ機能が備わっています。

- パスワードプロテクト  
本機を使用する人を制限・管理できます。
- 操作ボタンロック  
本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。  
☛ 「操作を制限する（操作ボタンロック）」 [p.152](#)
- 盗難防止用ロック  
本機には機器そのものを持ち出されないように、盗難防止の機構が備わっています。  
☛ 「盗難防止用ロック」 [p.153](#)

## 利用者を管理する(パスワードプロテクト)

パスワードプロテクト機能を有効にすると、電源を入れてもパスワードを知らない人は投写できません。さらに、電源を入れたときに表示される社名ロゴ等を変更できなくなります。この結果、本機を持ち出しても使用できないため、盗難等の防止につながります。ご購入時は、パスワードプロテクト機能は無効になっています。

### パスワードプロテクトの種類

本機のパスワードプロテクトは利用シーンに応じて次の3種類の設定ができます。

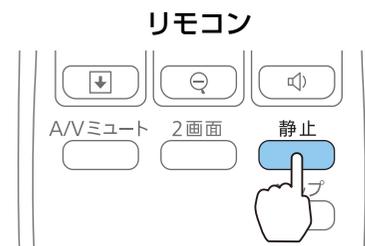
- [電源投入時]  
[電源投入時]を[オン]にすると、電源コードで本機とコンセントを接続後、最初に電源を入れたとき(ダイレクトパワーオンも同様)に、事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。正しいパスワードを入力しないと、投写は開始しません。

- [ユーザーロゴ保護]  
せっかくプロジェクターの所有者を明示するためにユーザーロゴを登録していても、ロゴ表示を変更されては意味がありません。[ユーザーロゴ保護]を[オン]にすると、ユーザーロゴに関する次の設定変更を禁止できます。
  - ユーザーロゴのキャプチャー
  - [表示設定]の[背景表示]、[スタートアップスクリーン]、[AVミュート]の設定  
☛ [拡張設定]-[表示設定] [p.181](#)
- [ネットワーク保護]  
[ネットワーク保護]を[オン]にすると、[ネットワーク]の設定変更を禁止できます。  
☛ 「ネットワークメニュー」 [p.176](#)
- [時刻/スケジュール保護]  
[時刻/スケジュール保護]を[オン]にすると、本機のシステム時刻やスケジュール設定の変更を禁止できます。

### パスワードプロテクトの設定方法

パスワードプロテクトの設定は、下記の手順で行います。

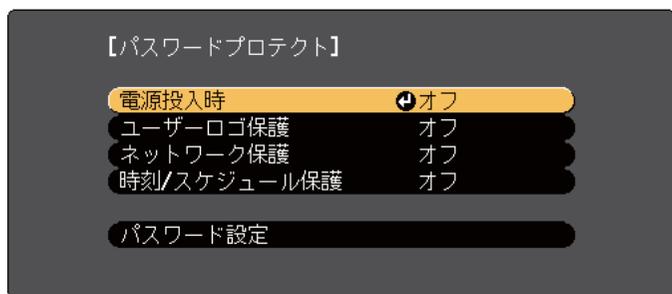
- 1** 投写中に【静止】ボタンを約5秒間押し続けます。  
パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。





- すでにパスワードプロテクトが有効になっていると、パスワードの入力が要求されます。パスワードを正しく入力するとパスワードプロテクト設定メニューが表示されます。
  - ☛ 「パスワードの認証」 p.151
- パスワード設定をしたときは、盗難防止の効果をさらに高めるために製品同梱のパスワードプロテクトシールを本機のお好きな位置に貼ってください。
  - ☛ 「パスワードプロテクトシール」

- 2** 設定したいパスワードプロテクトの種類を選択し、【↵】ボタンを押します。



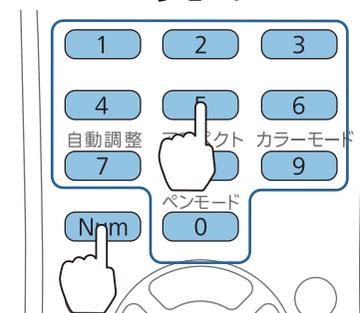
- 3** 【オン】を選択し、【↵】ボタンを押します。  
【戻る】ボタンを押して、手順2の画面に戻ります。

- 4** パスワードを設定します。

- (1) 「パスワード設定」を選択し、【↵】ボタンを押します。
- (2) 「パスワードを変更しますか？」と表示されるので、【はい】を選択し、【↵】ボタンを押します。初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。必ず任意のパスワードに変更してください。【いいえ】を選択すると、手順2の画面に戻ります。

- (3) 【Num】ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンで4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「\*\*\*\*」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面に切り替わります。

リモコン

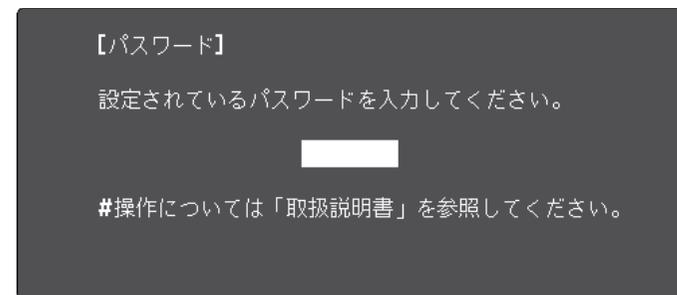


- (4) 入力したパスワードを再度入力します。「パスワード設定が終了しました。」とメッセージが表示されず。間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

## パスワードの認証

パスワードの入力画面が表示されたら、設定してあるパスワードをリモコンで入力します。

【Num】ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押してパスワードを入力します。



正しいパスワードを入力すると、一時的にパスワードプロテクトが解除されます。

**注意**

- パスワードに関してお問い合わせいただいた際は、お客様のお名前や連絡先などをお聞きし、お客様から返送いただいた『お客様情報+正式保証書発行カード』と照合しご本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報+正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。
- 間違ったパスワードを続けて3回入力した場合は、「プロジェクターの動作を停止します。」と、メッセージが約5分間表示され、本機がスタンバイ状態になります。この場合は、電源プラグを抜いて挿し直し、本機の電源を入れます。パスワードの入力を求める画面が表示されますので、パスワードを正しく入力してください。
- 万一、パスワードを忘れてしまったときは、画面に表示されている問い合わせコード：xxxxxの番号を控えて、プロジェクターインフォメーションセンターにご連絡いただき、その指示に従ってください。  
☞ 『お問い合わせ先』
- 上記の操作を繰り返し、間違ったパスワードを続けて30回入力した場合は、次のメッセージが表示されパスワード入力もできなくなります。「プロジェクターの動作を停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」  
☞ 『お問い合わせ先』

## 操作を制限する(操作ボタンロック)

次のどちらかを選んで本機の操作パネルのボタンをロックできます。

- 全ロック  
操作パネルのボタンをすべてロックします。操作パネルからは電源のオン/オフを含めまったく操作できなくなります。
- 操作ロック  
操作パネルの【⏻】ボタンを除くすべてのボタンをロックします。

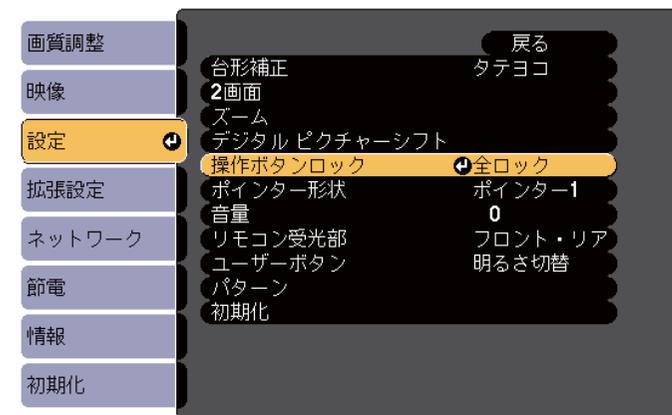
イベントやショーなどで投写中に本機の手動操作をできないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利です。リモコンからは通常どおり操作できます。

### 1 投写中に【メニュー】ボタンを押します。

☞ 「環境設定メニューの操作」 p.174



### 2 [設定]から[操作ボタンロック]を選びます。



### 3 目的に応じて、[全ロック]または[操作ロック]を選択します。



- 4** 確認のメッセージが表示されるので、[はい]を選びます。  
設定に従い、操作パネルのボタンがロックされます。



操作パネルのボタンロックを解除するには、次の2通りの方法があります。

- [操作ボタンロック]で[オフ]を選びます。  
☛ [設定]-[操作ボタンロック] p.180
- 操作パネルの【↵】ボタンを約7秒間押し続けると、メッセージが表示され、ロックが解除されます。

## 盗難防止用ロック

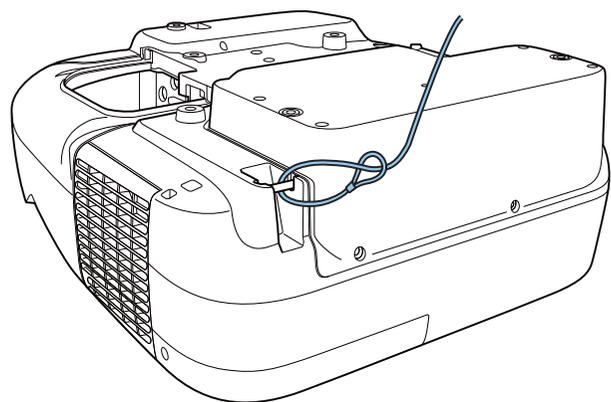
本機には機器そのものを持ち出されないように、次の機構が備わっています。

- セキュリティスロット  
Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。  
マイクロサーバーセキュリティシステムについての詳細は、以下をご覧ください。  
☛ <http://www.kensington.com/>
- セキュリティーケーブル取付け部  
市販の盗難防止用ワイヤーロックなどを通して、机や柱などに固定できます。プロジェクターを壁掛けまたは天吊り設置するときに、落下防止用ワイヤー等はこの部分に通さないでください。

## ワイヤーロックの取り付け方

盗難防止用ワイヤーロックのワイヤーを通します。

ワイヤーロックの施錠方法は、ワイヤーロックに添付の取扱説明書をご覧ください。



## EasyMP Monitorについて

EasyMP Monitorを使うと、ネットワーク上の複数のエプソンプロジェクターの状態をコンピューターのモニターに表示して確認したり、コンピューターから制御したりできます。

EasyMP Monitorは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

<http://www.epson.jp/download/>

EasyMP Monitorでできる監視・制御の概要は次のとおりです。

- 監視・制御するプロジェクターの登録
- 登録したプロジェクターのグループ登録
- 登録したプロジェクターの状態監視
- 登録したプロジェクターの制御
- メール通知機能の設定
- 登録したプロジェクターへのメッセージ送信

## Message Broadcastingについて

Message BroadcastingはEasyMP Monitor用のプラグインソフトです。Message Broadcastingを使うと、ネットワーク接続されたすべてのエプソンプロジェクター、または指定したプロジェクターにメッセージ(JPEGファイル)を送信し、投写することができます。

データは手動で送信したり、EasyMP Monitorのタイマー機能を使って自動的に送信することができます。

Message Broadcastingは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

<http://www.epson.jp/download/>

## Webブラウザを使って設定を変更する(Web制御)

本機とネットワーク接続したコンピューターのWebブラウザを利用して、コンピューターから本機の設定や制御が行えます。この機能を使えば、本機と離れた場所から、設定や制御の操作ができます。また、キーボードを使って設定内容を入力できるので、文字の入力を伴う設定も容易にできます。

Webブラウザは、Microsoft Internet Explorer8.0以降を使用してください。OS Xをお使いの場合は、Safariを使用してください。



【待機モード】を【通信オン】に設定しておくと、本機がスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、Webブラウザを使った設定や制御ができます。

☞ 【節電】 - 【待機モード】 [p.202](#)

## 本機の設定

本機の環境設定メニューで設定する項目をWebブラウザ上で設定できます。設定した内容は、環境設定メニューに反映されます。また、Webブラウザでのみ設定できる項目もあります。

### Webブラウザで設定できない環境設定メニューの項目

- 設定メニュー - デジタル ピクチャーシフト
- 設定メニュー - ポインター形状
- 設定メニュー - ユーザーボタン
- 設定メニュー - パターン(パターン種類を除く)
- 拡張設定メニュー - Easy Interactive Function
- 拡張設定メニュー - 表示設定 - ツールバー

- 拡張設定メニュー - 表示設定 - ペンモードアイコン
  - 拡張設定メニュー - 表示設定 - プロジェクター制御
  - 拡張設定メニュー - ユーザーロゴ
  - 拡張設定メニュー - 動作設定 - 高地モード
  - 拡張設定メニュー - USB Type B
  - 拡張設定メニュー - 言語
  - 初期化メニュー - 全初期化、ランプ点灯時間初期化
- 各メニューの項目の内容は本機の環境設定メニューと同じです。
- ☛ 「環境設定メニュー」 p.173

### Webブラウザでのみ設定できる項目

ホワイトボード設定メニュー - アドレス帳

### Web制御画面を表示する

以下の手順で、Web制御画面を表示します。

コンピューターとプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。環境設定メニューで[接続モード]を[マニュアルモード]にしてください。

☛ [ネットワーク]-[無線LAN]-[接続モード] p.189



ご使用のWebブラウザで、プロキシサーバーを使用して接続するように設定されていると、Web制御画面を表示できません。表示したい場合は、プロキシサーバーを使用しないで接続するように設定してください。

**1** コンピューターでWebブラウザを起動します。

**2** Webブラウザのアドレス入力部に、プロジェクターのIPアドレスを入力し、コンピューターのキーボードのEnterキーを押します。

Web制御画面が表示されます。

プロジェクターの環境設定メニューのネットワークメニューでWeb制御パスワードを設定しているときは、パスワードを入力する画面が表示されます。

**3** ユーザーIDとパスワードを入力する画面が表示されます。

ユーザーIDに「EPSONWEB」と入力します。

パスワードの初期設定は「admin」です。



- パスワードの設定が無効でも、ユーザーIDを入力します。ユーザーIDは変更できません。
- パスワードの変更は、環境設定メニューのネットワークメニューから行ってください。  
☛ [ネットワーク]-[管理者設定]-[Web制御パスワード] p.189
- 管理者パスワードが設定されている場合に管理者設定メニューへ接続するときは、以下を入力してください。
  - ・ユーザーID：EPSONADMIN
  - ・パスワード：設定した管理者パスワード☛ [ネットワーク]-[管理者設定]-[管理者パスワード] p.189

### Web Remote画面を表示する

Web Remote機能では、プロジェクターのリモコンでの操作をWebブラウザで行うことができます。

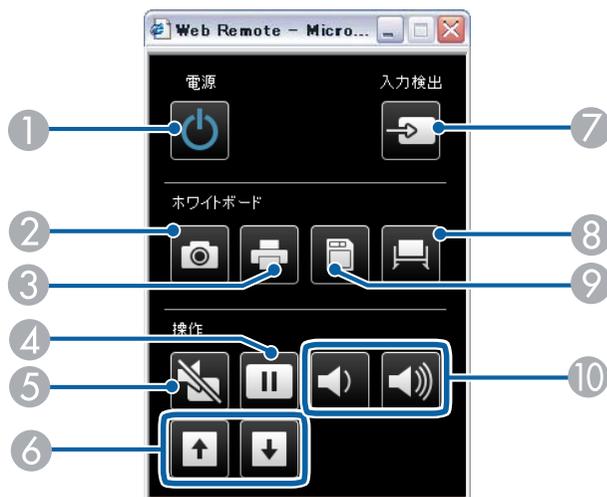
**1** Web制御画面を表示します。

**2 Web Remoteをクリックします。**

[ネットワーク]メニューで[Web Remoteパスワード]を設定しているときは、ユーザーIDに「EPSONREMOTE」と入力します。



**3 Web Remote画面が表示されます。**



名称	働き
① 【 <b>⏻</b> 】ボタン	本機の電源をオン/オフします。 ☛「設置から投写までの流れ」 <a href="#">p.55</a>
② 【 <b>📷</b> 】ボタン	投写画面のスナップショットを取得します。取得後、ホワイトボードモードの新規ページにスナップショットが貼り付けられます。(ホワイトボードモードではこのボタンを使用できません。) ☛「プロジェクター制御ツール」 <a href="#">p.121</a>

名称	働き
③ 【 <b>🖨️</b> 】ボタン	投写画面を印刷します。 ☛「印刷する (ホワイトボードモード)」 <a href="#">p.98</a> ☛「印刷する (アノテーションモード)」 <a href="#">p.113</a>
④ 【 <b>⏸️</b> 】ボタン	映像を一時停止/解除します。 ☛「映像を停止させる (静止)」 <a href="#">p.143</a>
⑤ 【 <b>🔇</b> 】ボタン	映像と音声を一時的に遮断/解除します。 ☛「映像と音声を一時的に消す (A/Vミュート)」 <a href="#">p.142</a>
⑥ 【 <b>📄</b> 】ボタン 【 <b>➡️</b> 】 <b>【送リ】</b> 【 <b>↩️</b> 】 <b>【戻し】</b>	以下のときに、PowerPointファイルなどのページを送り/戻しします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ワイヤレスマウス機能時                             <ul style="list-style-type: none"> <li>☛「リモコンでマウスポインターを操作する (ワイヤレスマウス)」<a href="#">p.145</a></li> </ul> </li> <li>• USBディスプレイ時                             <ul style="list-style-type: none"> <li>☛「USBディスプレイで投写する」<a href="#">p.57</a></li> </ul> </li> <li>• ネットワーク接続時</li> </ul> PC Freeで投写しているときは、画像ファイルを送り/戻します。
⑦ 【 <b>🔍</b> 】ボタン	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。 ☛「入力信号を自動検出して切り替える (入力検出)」 <a href="#">p.56</a>
⑧ 【 <b>🖨️</b> 】 <b>【ホワイトボード】</b> ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プロジェクターの電源がオフのときに押すと、電源がオンになり、インタラクティブ機能のホワイトボードモードが起動します。</li> <li>• プロジェクターの電源がオンのときに押すと、ホワイトボードモードに切り替わります。ホワイトボードモードの実行中に押した場合、1つ前の映像ソースに切り替わります。</li> </ul> ☛「インタラクティブ機能をご使用になる前に」 <a href="#">p.77</a>

名称	働き
9 【保存】ボタン	投写画面を保存します。 ● 「保存する（ホワイトボードモード）」 p.96 ● 「保存する（アノテーションモード）」 p.113
10 【音量】ボタン 【🔊】【🔇】	【🔊】音量を下げます。 【🔇】音量を上げます。 ● 「音量を調整する」 p.69

## 証明書の設定をする

無線ネットワークの認証に使用する証明書の設定をWebブラウザで行います。

無線LANのセキュリティー設定に用いるクライアント証明書、CA証明書や、セキュアHTTP機能のWebサーバー証明書を本機にインストールします。

- 1 Web制御を表示します。  
● 「Web制御画面を表示する」 p.156
- 2 [ネットワーク]から[管理者設定]-[証明書管理]の順にクリックします。
- 3 証明書管理画面が表示されます。  
インストールする証明書に応じて、設定を行います。

サブメニュー名	項目または設定値
クライアント証明書	更新/削除
	発行先
	発行者
	有効期限

サブメニュー名	項目または設定値
CA証明書	更新/削除
	発行先
	発行者
	有効期限
自己署名証明書	更新/削除
	発行先
	発行者
	有効期限
Webサーバー証明書	更新/削除
	発行先
	発行者
	有効期限

- 4 設定が終了したら、[反映]をクリックします。





- 証明書をインストールするときは、本機に対応した形式であることを確認してください。  
 ☛ 「サポートする証明書の一覧」 p.159
- 本機への電子証明書のインストールは、USBストレージから行うことができます。ただし、USBストレージとネットワークの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。  
 ☛ 「USBストレージの画像を投写する (PC Free)」 p.134

## アドレス帳を作成する

アドレス帳を作成すると、ホワイトボードモード中にメールを送信するときに、宛先の選択が便利になります。アドレス帳は以下のフォーマットで作成してください。作成したファイルに記載された順番でアドレスが表示されます。

作成したアドレス帳を本機に読み込むときは、Web制御画面の[ホワイトボード設定] - [管理者設定] - [アドレス帳設定] - [アドレス帳ファイル]から行います。

項目	説明
ファイル形式	タブ区切りテキスト
フィールド	名前,アドレスの順にタブで区切る。名前だけの行は区切り線が表示される。
最大アドレス数	999件
拡張子	.txt
文字コード	Unicode

## セキュアHTTPについての注意

[ネットワーク]メニューの[管理者設定]で[セキュアHTTP]を[オン]にしたときは、HTTPSプロトコルを用いたセキュリティを適用します。

この機能を用いると、プロジェクターとWebブラウザ間のセキュリティを強固にできます。

HTTPSプロトコルを用いた通信では、サーバー側の信頼性を証明するために証明書を uses。Webブラウザから信頼性を検証できるサーバー証明書を作成して、プロジェクターにインストールします。

サーバー証明書がないときは、プロジェクター内部で自己署名証明書を自動作成して通信します。自己署名証明書はWebブラウザから信頼性を検証できないため、Webブラウザからプロジェクターにアクセスしたときにサーバーの信頼性に関する警告が表示されます。サーバー証明書に比べてセキュリティは劣りますが、この警告を無視することで通信を継続できます。

## サポートする証明書の一覧

### クライアント証明書(PEAP-TLS/EAP-TLS)

項目	説明
対応フォーマット	PKCS#12
拡張子	PKCS, P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
パスワード	設定が必要。32文字以内の英数字

### サーバー証明書(PEAP/PEAP-TLS/EAP-TLS/EAP-FAST)

項目	説明
対応フォーマット	X509v3
拡張子	DER/CER/PEM

項目	説明
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
エンコード	BASE64/バイナリー

### Webサーバー証明書(セキュアHTTP)

項目	説明
対応フォーマット	PKCS#12
拡張子	PKCS, P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
Common Name	ネットワークホスト名
Organization	任意
パスワード	設定が必要。32文字以内の英数字

## メール通知機能で異常を通知する

メール通知機能の設定をしておくこと、異常/警告状態になったとき、設定したメールアドレスに異常状態が電子メールで通知されます。これにより、離れた場所においても本機の異常を知ることができます。

☛ [ネットワーク]-[管理者設定]-[メール通知機能] p.189



- 送信先(宛先)は最大3つまで登録でき、一括して送ることができません。
- 本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になった場合などは、メール送信できないことがあります。
- [待機モード]を[通信オン]に設定しておくこと、本機がスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、制御ができます。  
☛ [節電] - [待機モード] p.202

### 異常通知メールの見方

メール通知機能をオンに設定して本機が異常/警告状態になったときには、次のメールが送付されます。

差出人：宛先1のアドレス

メールタイトル：EPSON Projector

1行目：異常が生じたプロジェクターのプロジェクター名

2行目：異常が生じたプロジェクターに設定されているIPアドレス

3行目以降：異常の内容

異常の内容は、1行に1つずつ記載されています。メッセージの示す主な内容は以下のとおりです。

- Internal error(内部異常)
- Fan related error(ファン異常)
- Sensor error(センサー異常)
- Lamp timer failure(ランプ点灯失敗)
- Lamp out(ランプ異常)
- Internal temperature error(内部高温異常/オーバーヒート)

- High-speed cooling in progress(高温警告)
- Lamp replacement notification(ランプ交換勧告)
- No-signal(ノーシグナル)  
本機に映像信号が入力されていません。 接続状態や、接続している機器の電源が入っているかを確認してください。
- Auto Iris Error(オートアイリス異常)
- Power Err. (Ballast)(電源系異常(バラスト))
- Interactive Warning(インタラクティブ警告)
- Obstacle Detection Error(障害物検知異常)  
異常/警告の対処方法は、以下をご確認ください。  
☛ 「インジケータの見方」 p.208

## SNMPを使って管理する

環境設定メニューで[SNMP]を[オン]に設定をしておくと、異常/警告状態になったとき、設定したコンピューターに異常状態が通知されます。これにより、離れた場所で集中管理している状態でも本機の異常を知ることができます。

☛ [ネットワーク]-[管理者設定]-[SNMP] p.189



- SNMPによる管理は、必ず、ネットワーク管理者などネットワークに詳しい人が行ってください。
- SNMP機能を使って本機を監視するには、コンピューター側にSNMPマネージャプログラムがインストールされている必要があります。
- 本機のSNMPエージェントはバージョン1(SNMPv1)に準拠しています。
- SNMPを使った管理機能は、無線LANのかんたんモードでは使用できません。
- 通知先のIPアドレスは2つまで登録できます。

## ESC/VP21コマンド

ESC/VP21を使うと本機を外部機器から制御できます。

### コマンドリスト

本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。本機は電源オンの状態になったときにコロン ‘:’ (3Ah)を返信します。

このように本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後 ‘:’を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に ‘:’ を返信しません。

主な内容は以下のとおりです。

項 目		コマンド
電源のオン/オフ	オン	PWR ON
	オフ	PWR OFF
信号切り替え	コンピューター	オート
		SOURCE 1F

項目		コマンド	
	RGB	SOURCE 11	
	コンポーネント	SOURCE 14	
	HDMI1/MHL	SOURCE 30	
	HDMI2	SOURCE A0	
	ビデオ	SOURCE 41	
	USB Display	SOURCE 51	
	USB1	SOURCE 52	
	LAN	SOURCE 53	
	USB2	SOURCE 54	
	ホワイトボード	SOURCE 55	
	A/Vミュート機能のオン/オフ	オン	MUTE ON
		オフ	MUTE OFF

各コマンドの最後に、復帰(CR)コード(0Dh)を追加して送信してください。

詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

☛ [『お問い合わせ先』](#)

## ケーブル配線

### シリアル接続

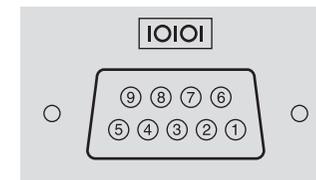
- コネクタ形状：D-Sub 9pin(オス)

- プロジェクター入力端子名：RS-232C

<プロジェクター側>



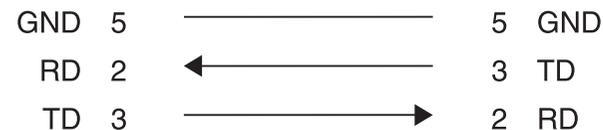
<コンピューター側>



<プロジェクター側>

(PCシリアルケーブル)  
ケーブルタイプ：  
クロスケーブル

<コンピューター側>



信号名	機能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ

### 通信プロトコル

- ボーレート基準速度：9600bps
- データ長：8bit
- パリティ：なし
- ストップビット：1bit
- フロー制御：なし

## PJLinkについて

JBMIA(社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会)によりネットワーク対応プロジェクターの制御用プロトコルの標準化が進められ、制御用標準プロトコルPJLink Class1が策定されました。

本機は、JBMIAが策定したPJLink Class1の規格に適合しています。

PJLinkを使うにはネットワーク設定が必要です。ネットワーク設定については以下をご覧ください。

☛ 「ネットワークメニュー」 p.189

PJLink Class1で定義されているコマンドのうち、以下の内容を除く全コマンドに対応しており、PJLink 規格適合性検証で適合を確認しています。

URL : <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

### • 非対応コマンド

機能		PJLinkコマンド
ミュート設定	映像ミュート設定	AVMT 11
	音声ミュート設定	AVMT 21

### • PJLinkで定義している入力名と本機の入カソースの対応

入カソース	PJLinkコマンド
コンピューター	INPT 11
ビデオ	INPT 21
HDMI1/MHL	INPT 32
HDMI2	INPT 33
USB1	INPT 41
USB2	INPT 42

入カソース	PJLinkコマンド
LAN	INPT 52
USB Display	INPT 53
ホワイトボード	INPT 55

- 「メーカー名問合せ」で表示するメーカー名  
EPSON
- 「機種情報問合せ」で表示する機種名  
EPSON 1420  
EPSON 1430

## Crestron RoomView®について

Crestron RoomView®はCrestron®社が提供する統合コントロールシステムです。ネットワークで接続された複数の機器を一括して監視・制御できます。

本機はその制御用プロトコルに対応していますので、Crestron RoomView®で構築されたシステム環境下でご利用いただけます。

Crestron RoomView®の詳細は、Crestron®社のWebページを参照してください。(英語のみの表示となります。)

<http://www.crestron.com>

Crestron RoomView®の概要は次のとおりです。

- **Webブラウザーを利用した遠隔操作**  
コンピューターの画面上でリモコンと同様にプロジェクターを操作できます。

### ● アプリケーションソフトを利用した監視・制御

Crestron®社が提供するアプリケーションソフトCrestron RoomView® Express/Crestron RoomView® Server Editionでシステム内の機器の監視、ヘルプデスクとの通信、緊急時のメッセージ送信を行えます。詳細は以下をご覧ください。

<http://www.crestron.com/getroomview>

本書では、Webブラウザを利用してコンピューターの画面上で本機を操作する方法を説明します。



- 文字入力に使用できるのは半角英数字と記号のみです。
- Crestron RoomView®使用中は、以下の機能はご利用になれません。
  - ☞ 「Webブラウザを使って設定を変更する（Web制御）」 p.155
  - Message Broadcasting (EasyMP Monitorのプラグイン)
- [待機モード]を[通信オン]に設定しておく、本機がスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、制御ができます。
  - ☞ [節電] - [待機モード] p.202

## コンピューターの画面上でプロジェクターを操作する

### 操作画面を表示する

操作の前に以下の点をご確認ください。

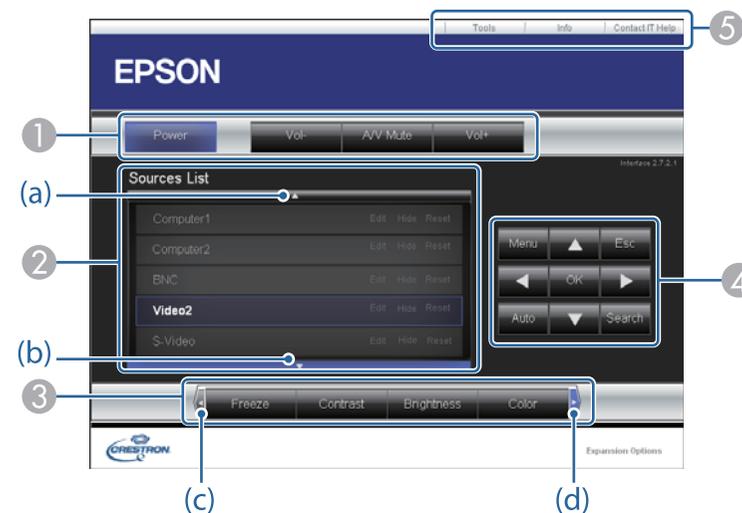
- コンピューターとプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。無線LANで接続するときは、マニュアルモードで接続してください。
  - ☞ 「無線LANメニュー」 p.192

- [ネットワーク]メニューの[Crestron RoomView]を[オン]に設定してください。

☞ [ネットワーク]-[管理者設定]-[Crestron RoomView] p.189

- 1 コンピューターでWebブラウザを起動します。
- 2 Webブラウザのアドレス入力部に、プロジェクターのIPアドレスを入力して、キーボードのEnterキーを押します。操作画面が表示されます。

### 操作画面の使い方



- 1 各ボタンをクリックすると、以下の操作を行えます。

ボタン	機能
Power	電源をオン/オフします。

ボタン	機能
Vol-/Vol+	音量の調整を行います。
A/V Mute	映像と音声を一時的に遮断/解除します。 ☛「映像と音声を一時的に消す (A/Vミュート)」 p.142

- ② クリックした入力ソースの映像に切り替わります。画面に表示されていない入力ソースは(a)、(b)をクリックして上下にスクロールすると表示されます。映像信号が入力されているソースは青色で表示されます。ソース名は任意で変更できます。
- ③ 各ボタンをクリックすると、以下の操作を行えます。画面に表示されていないボタンは(c)、(d)をクリックして左右にスクロールすると表示されます。

ボタン	機能
Freeze	映像を一時停止/解除します。 ☛「映像を停止させる (静止)」 p.143
Contrast	映像の明暗の差を調整します。
Brightness	映像の明るさを調整します。
Color	映像の色の濃さを調整します。
Sharpness	映像のシャープ感を調整します。
Zoom	[Q]ボタンをクリックすると、投写サイズを変えずに映像を拡大します。[Q]ボタンをクリックすると、[Q]ボタンで拡大した結果を縮小します。 [▲][▼][◀][▶]ボタンで拡大表示する位置を移動します。 ☛「映像を部分的に拡大する (Eズーム)」 p.144

- ④ [▲][▼][◀][▶]ボタンをクリックするとリモコンの【】【】【】ボタンと同様の操作を行えます。その他のボタンをクリックすると以下の操作を行えます。

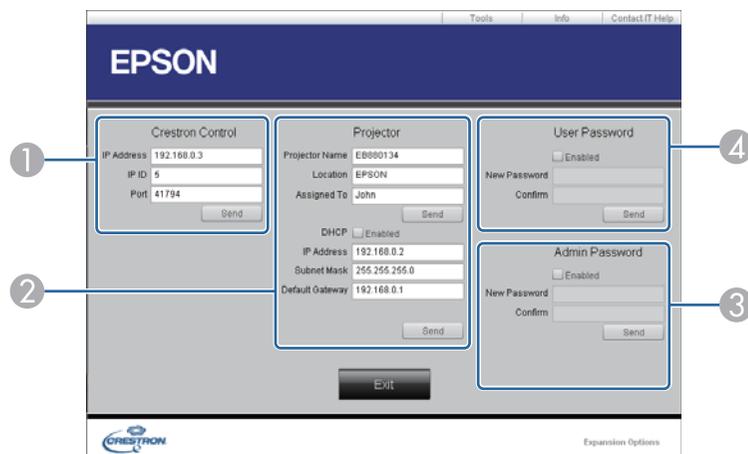
ボタン	機能
OK	リモコンの【  】ボタンと同じ操作を行えます。 ☛「リモコン」 p.17
Menu	環境設定メニューを表示/終了します。
Auto	コンピューター入力端子から入力しているアナログRGB信号を投写しているときにクリックすると、トラッキング・同期・表示位置を最適な状態に自動調整します。
Search	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。 ☛「入力信号を自動検出して切り替える (入力検出)」 p.56
Esc	リモコンの【  】ボタンと同じ操作を行えます。 ☛「リモコン」 p.17

- ⑤ 各タブをクリックすると以下の操作を行えます。

タブ	機能
Contact IT Help	Help Deskウィンドウが表示されます。Crestron RoomView®Expressを利用する管理者に対して、メッセージの送受信を行えます。
Info	現在接続しているプロジェクターの情報を表示します。
Tools	現在接続しているプロジェクターに対して設定の変更を行います。次項を参照してください。

## Tools画面の使い方

操作画面で**Tools**タブをクリックすると以下の画面が表示されます。現在接続しているプロジェクターに対して設定の変更を行えます。



- ① **Crestron Control**  
Crestron® の集中制御コントローラーに対する各設定を行います。
- ② **Projector**  
以下の項目を設定できます。

項目名	機能
<b>Projector Name</b>	現在接続しているプロジェクターを、ネットワーク上で識別するための個別の名前を任意に入力します。(半角英数字15文字以内)
<b>Location</b>	現在接続しているプロジェクターの設置場所名を任意に入力します。(半角英数字記号32文字以内)
<b>Assigned To</b>	プロジェクターの利用者名を任意に入力します。(半角英数字記号32文字以内)

項目名	機能
<b>DHCP</b>	DHCPを使用するときは、 <b>Enabled</b> にチェックを入れます。チェックを入れると以降のアドレスの設定はできなくなります。
<b>IP Address</b>	現在接続しているプロジェクターに割り当てるIPアドレスを入力します。
<b>Subnet Mask</b>	現在接続しているプロジェクターのサブネットマスクを入力します。
<b>Default Gateway</b>	現在接続しているプロジェクターのゲートウェイアドレスを入力します。
<b>Send</b>	<b>Projector</b> で変更した内容を確定するときをクリックします。

- ③ **Admin Password**  
Tools画面を開くときにパスワードの入力を求めるときは、**Enabled**にチェックを入れます。  
以下の項目を設定できます。

項目名	機能
<b>New Password</b>	Tools画面を開くときに入力するパスワードを変更するときは、新しいパスワードを入力します。(半角英数字26文字以内)
<b>Confirm</b>	<b>New Password</b> で入力したパスワードを入力します。一致しないときは、エラーが表示されます。
<b>Send</b>	<b>Admin Password</b> で変更した内容を確定するときをクリックします。

- ④ **User Password**  
コンピューター上で操作画面を開くときにパスワードの入力を求めるときは、**Enabled**にチェックを入れます。  
以下の項目を設定できます。

項目名	機能
New Password	操作画面を開くときに入力するパスワードを変更するときは、新しいパスワードを入力します。(半角英数字26文字以内)
Confirm	New Passwordで入力したパスワードを入力します。一致しないときは、エラーが表示されます。
Send	User Passwordで変更した内容を確定するときにクリックします。

## スケジュール設定

特定の日、あるいは毎週の決まった時間に電源のオン/オフを行ったり、入力ソースを切り替えるなど、スケジュールに登録したイベントを自動的に実行することができます。イベントは30個まで登録できます。

### 警告

燃えやすいものをプロジェクターのレンズの前に置かないでください。スケジュール機能により、プロジェクターの電源がオンになり、火災の原因となることがあります。

## 時刻を設定する

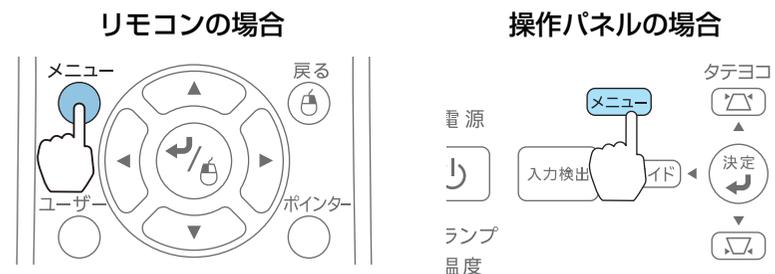
本機の日付/時刻を設定します。時刻の設定は、スケジュール機能や無線LANの認証時に必要となります。



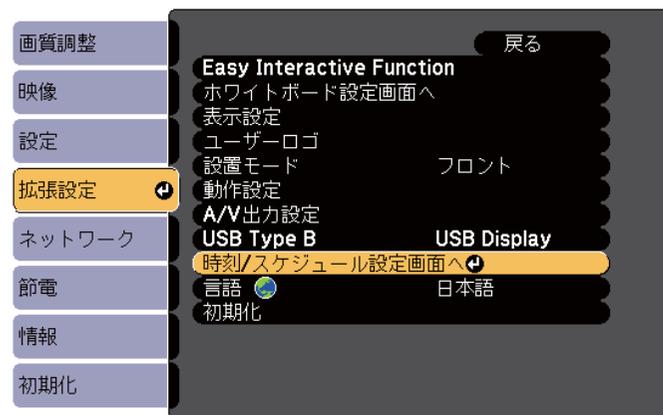
- 初めて本機の電源をオンにしたときに、[時刻を設定しますか?]とメッセージが表示されます。[はい]を選択したときは、手順4から始めてください。
- [パスワードプロテクト]の[時刻/スケジュール保護]を[オン]にしているときは、日付や時刻に関する設定の変更はできません。[時刻/スケジュール保護]を[オフ]にしてから設定を変更してください。  
☛ 「利用者を管理する (パスワードプロテクト)」 p.150

### 1 投写中に【メニュー】ボタンを押します。

☛ 「環境設定メニューの操作」 p.174



### 2 【拡張設定】から【時刻/スケジュール設定画面へ】を選択します。



### 3 [日付&時刻]を選択します。



### 4 設定したい項目を選択します。

時刻や日付の入力はソフトキーボードで行います。

☛ 「ソフトキーボードの操作」 p.191

サブメニュー名	機能
日付	プロジェクターに今日の日付を設定します。
時刻	プロジェクターに現在の時刻を設定します。
時差(UTC)	協定世界時からの時差を設定します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  時差が正しく設定されていないと、ホワイトボードモードで画面を保存するときに、保存日時がずれることがあります。 </div>
夏時間設定画面へ	夏時間の設定を行う画面を表示します。
インターネット時刻	[オン]に設定するとインターネット時刻サーバーへ接続し、時刻を自動的に更新します。

サブメニュー名	機能
インターネット時刻サーバー	インターネット時刻サーバーのIPアドレスを入力します。

#### 夏時間設定画面

設定を変更したときは、[保存]を選択して【↩】ボタンを押します。

サブメニュー名	機能
夏時間	夏時間を有効にする([オン])/しない([オフ])を設定します。
夏時間開始※	夏時間を開始する日時を設定します。
夏時間終了※	夏時間を終了する日時を設定します。
夏時間調整(分)	標準時間と夏時間の差を調整します。

※ 月の最終日曜日に設定するときは、[週]を[5]に設定してください。

### 5 [設定完了]を選択してから[はい]を選択すると、登録が完了します。

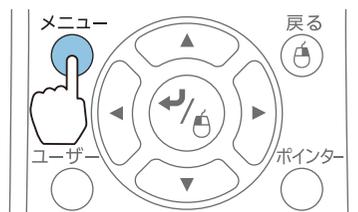


## スケジュールを登録する

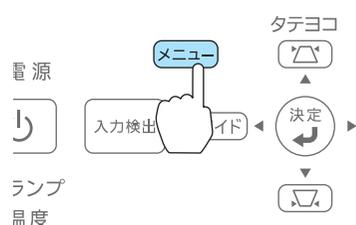
**1** 投写中に【メニュー】ボタンを押します。

☛ 「環境設定メニューの操作」 p.174

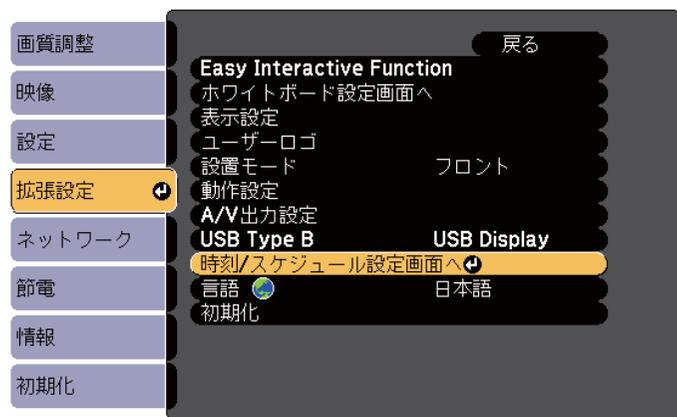
リモコンの場合



操作パネルの場合



**2** 【拡張設定】から【時刻/スケジュール設定画面へ】を選択します。



**3** 【スケジュール】から【新規追加】を選択します。



**4** 【日付&時刻/スケジュール設定】を設定します。

サブメニュー名	機能
イベント設定	イベント実行時のプロジェクターの動作を設定します。特にイベント実行時の動作を指定しない項目は[変更しない]を選択します。以下の項目の動作を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>電源</li> <li>入力ソース</li> <li>節電モード</li> <li>A/Vミュート</li> <li>音量</li> </ul>
日付/時刻設定	イベントを実行する日付や曜日、時刻を設定します。日付や時刻は、ソフトキーボードで入力します。 ☛ 「ソフトキーボードの操作」 p.191

**5** 【保存】を選択し、【↵】ボタンを押します。

引き続きスケジュールを登録するときは手順3から手順5を行います。

**6** 【設定完了】を選択し、【はい】を選択して、登録を終了します。

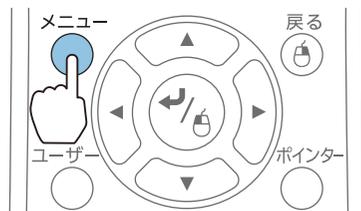


## スケジュールを確認する

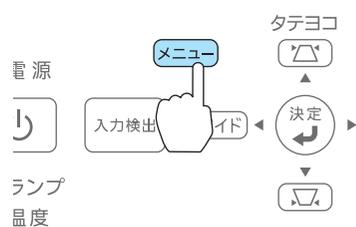
**1** 投写中に【メニュー】ボタンを押します。

☛ 「環境設定メニューの操作」 p.174

リモコンの場合



操作パネルの場合



**2** 【拡張設定】から【時刻/スケジュール設定画面へ】を選択します。

**3** 【スケジュール】を選択して、【↵】ボタンを押します。

スケジュール設定画面が表示されます。イベントが設定されている時刻にはインジケーターが点灯します。



- (水色)：単発のイベント
- (橙)：定期的イベント
- (緑)：通信監視のオン/オフ
- (グレー)：無効のイベント

- 4** リモコンの【】【】ボタンまたは操作パネルの【テレ】【ワイド】ボタンで、確認したい日付にカーソルを合わせます。  
その日に登録されているイベントの詳細が表示されます。



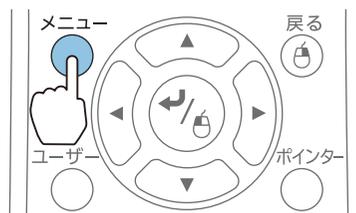
- (青)：有効のイベント
- (グレー)：無効のイベント
- ：定期のイベント

### スケジュールを編集する

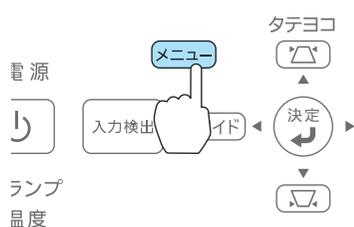
- 1** 投写中に【メニュー】ボタンを押します。

● 「環境設定メニューの操作」 p.174

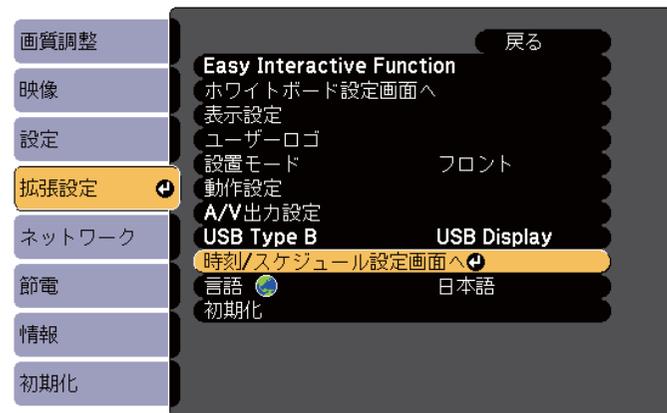
リモコンの場合



操作パネルの場合



- 2** 【拡張設定】から【時刻/スケジュール設定画面へ】を選択します。

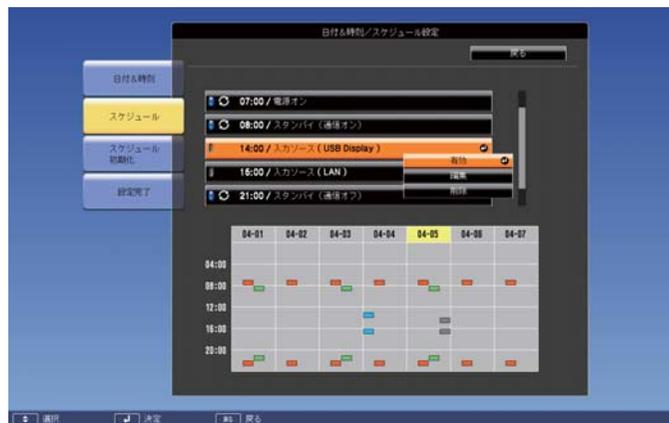


- 3** 【スケジュール】を選択して、【】ボタンを押します。

- 4** 【】【】ボタンで編集するスケジュールが登録されている日付にカーソルを合わせます。

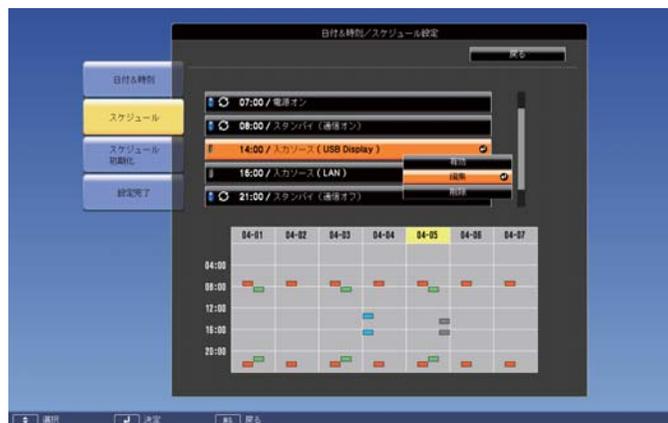


- 5** 【】【】ボタンで編集するスケジュールを選択して、【戻る】ボタンを押します。



メニューが表示されます。

**6** [編集]を選択して、【↵】ボタンを押します。



サブメニュー名	機能
有効/無効	選択したスケジュールを有効または無効にします。
編集	選択したスケジュールの内容を編集します。 [保存]を選択し、【↵】ボタンを押して編集を終了します。

サブメニュー名	機能
削除	選択したスケジュールを削除します。

**7** [設定完了]を選択し、[はい]を選択して、編集を終了します。



 登録されているスケジュールをすべて削除するには[スケジュール初期化]を選択して[はい]を選択します。[設定完了]を選択し、[はい]を選択するとスケジュールが削除されます。



# 環境設定メニュー

ここでは、環境設定メニューの機能と操作方法について説明しています。

環境設定メニューの操作方法を説明します。

リモコンで操作を行ったときを例に説明していますが、操作パネルでも同様の操作を行えます。使用できるボタンと操作はメニューの下に表示されるガイドでご確認ください。

## 1 環境設定メニュー画面を表示します。



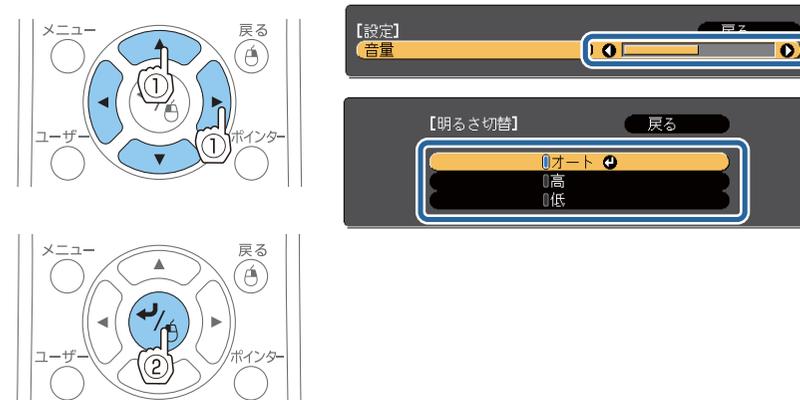
## 2 トップメニュー項目を選択します。



## 3 サブメニュー項目を選択します。



## 4 設定を変更します。



## 5 【メニュー】ボタンを押して、設定を終了します。

## 環境設定メニュー一覧

お使いの機種、現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が異なります。

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
画質調整メニュー ☛ p.177	カラーモード	ダイナミック、プレゼンテーション、シアター、フォト、スポーツ、sRGB、ホワイトボード、DICOM SIM、カスタム
	明るさ	-24~24
	コントラスト	-24~24
	色の濃さ	-32~32
	色合い	-32~32
	シャープネス	-5~5
	色温度	5000K~10000K、-3~6
	アドバンスト	ガンマ、RGB、RGBCMY
	オートアイリス	オフ、標準、高速
	映像メニュー ☛ p.178	自動調整
入力解像度		オート、ワイド、ノーマル
トラッキング		-
同期		-
表示位置		上、下、左、右
プログレッシブ変換		オフ、ビデオ、フィルム/オート
ノイズリダクション		オフ、NR1、NR2
HDMI ビデオレベル		オート、通常、拡張
入力信号方式		オート、RGB、コンポーネント
ビデオ信号方式		オート、NTSC、NTSC4.43、PAL、M-PAL、N-PAL、PAL60、SECAM

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
	アスペクト	ノーマル、オート、16:9、フル、ズーム、リアル
	オーバースキャン	オート、オフ、4%、8%
	映像処理	きれい、速い
設定メニュー ☛ p.180	台形補正	タテヨコ、Quick Corner
	2画面	-
	ズーム	0(ワイド)~40(テレ)
	デジタル ピクチャーシフト	-
	操作ボタンロック	全ロック、操作ロック、オフ
	ポインター形状	ポインター1、ポインター2、ポインター3
	音量	0~20
	リモコン受光部	フロント・リア、フロント、リア、オフ
	ユーザーボタン	明るさ切替、情報、プログレッシブ変換、テストパターン、入力解像度、パターン表示、自動位置合わせ
	パターン	パターン表示、パターン種類、ユーザーパターン、テストパターン
拡張設定メニュー ☛ p.181	Easy Function	[全般設定]の項目 自動位置合わせ、手動位置合わせ、タッチユニット設置、ペンモード、ホバリング、詳細設定 [マウス操作]の項目 ペン動作モード、右クリック通知、詳細設定
	ホワイトボード設定画面へ	-

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
	表示設定	メッセージ表示、背景表示、スタートアップスクリーン、A/Vミュート、ツールバー、ペンモードアイコン、プロジェクター制御
	ユーザーロゴ	-
	設置モード	フロント、フロント・上下反転、リア、リア・上下反転
	動作設定	ダイレクトパワーオン、高地モード、起動時入力検出、オートパワーオン
	A/V出力設定	A/V出力、音声出力、HDMI1音声出力、HDMI2音声出力
	USB Type B	Easy Interactive Function、USB Display/Easy Interactive Function、ワイヤレスマウス/USB Display
	時刻/スケジュール設定画面へ	-
	言語	15言語
節電メニュー ☛ p.202	明るさ切替	オート、高、低
	ライトオフティマイザー	オン、オフ
	スリープモード	オン、オフ
	スリープモード時間	1~30
	A/Vミュートタイマー	オン、オフ
	待機モード	通信オン、通信オフ
	節電表示	オン、オフ

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
情報メニュー ☛ p.203	プロジェクター情報	ランプ点灯時間、入力ソース、入力信号、入力解像度、ビデオ信号方式、リフレッシュレート、同期情報、ステータス、シリアル番号、EventID
	バージョン	Main、Main2
初期化メニュー ☛ p.204	全初期化	-
	ランプ点灯時間初期化	-

## ネットワークメニュー

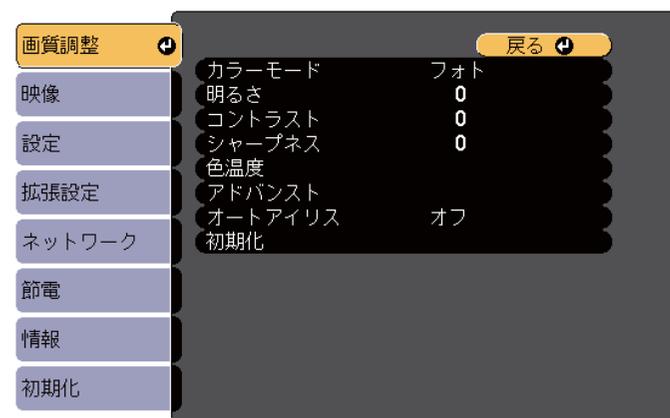
トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
基本設定メニュー ☛ p.191	プロジェクター名	-
	Web Remoteパスワード	-
	プロジェクターキーワード	オン、オフ
無線LANメニュー ☛ p.192	無線LAN電源	オン、オフ
	Wi-Fi Protected Setup	-
	接続モード	かんたんモード、マニュアルモード
	自動SSID設定	オン、オフ
	SSID	-
	アクセスポイント検索	-
	チャンネル設定	1ch、6ch、11ch
	SSID表示	オン、オフ
	DHCP	オン、オフ
	IPアドレス	-
	サブネットマスク	-
ゲートウェイアドレス	-	

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
	WINSサーバー	-
	DNSサーバー	-
	IPアドレス表示	オン、オフ
セキュリティーメニュー  p.194	セキュリティー	Open、WPA/WPA2-PSK、WPA/WPA2-EAP
有線 LAN メニュー  p.197	DHCP	オン、オフ
	IPアドレス	-
	サブネットマスク	-
	ゲートウェイアドレス	-
	WINSサーバー	-
	DNSサーバー	-
	IPアドレス表示	オン、オフ
	管理者設定メニュー  p.198	管理者パスワード
ネットワークホスト名		-
PJLinkパスワード		-
Web制御パスワード		-
Monitor パスワード		-
セキュアHTTP		オン、オフ
メール通知機能		-
証明書管理		-
SNMP		-
優先ゲートウェイ		有線、無線
AMX Device Discovery		オン、オフ
Crestron RoomView		オン、オフ
Bonjour		オン、オフ
EPSON Message Broadcasting		オン、オフ

## 画質調整メニュー

現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。

 「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.56



サブメニュー	機能
カラーモード	使用シーンに応じて、画質を選択できます。  「映り具合を選ぶ（カラーモードの選択）」 p.70
明るさ	映像の明るさを調整します。
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。
色の濃さ	(コンポーネントビデオ/コンポジットビデオ信号入力時のみ調整可能) 映像の色の濃さを調整します。
色合い	(コンポーネントビデオ信号入力時に調整可能。コンポジットビデオ信号入力時は、NTSC系の信号入力時のみ調整可能) 映像の色合いを調整します。
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。

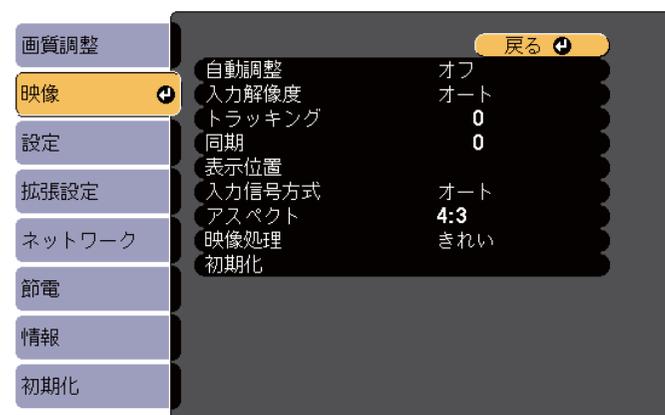
サブメニュー	機能
色温度	<p>映像全体の色合いを調整します。高い値を選択すると青みがかかった映像になり、低い値を選択すると赤みを帯びた映像になります。[カラーモード]の設定によって、調整できる値が異なります。</p> <p>sRGB▶の場合：5000Kから10000Kまでの10段階 それ以外の場合：-3から6までの10段階</p>
アドバンスト	<p>([カラーモード]をsRGB▶に設定しているときは設定不可)</p> <p>以下の項目を選んで調整できます。</p> <p>[ガンマ]：補正値を選んだり、映像やグラフを見ながら映像の発色を調整します。</p> <p>[RGB]：オフセット、ゲインをR(赤)、G(緑)、B(青)ごとに調整します。</p> <p>[RGBCMY]：R(赤)、G(緑)、B(青)、C(シアン)、M(マゼンタ)、Y(イエロー)ごとに色相、彩度、明度を調整します。</p>
オートアイリス	<p>([カラーモード]を[ダイナミック]、[シアター]、または[カスタム]に設定しているときのみ設定可能)</p> <p>[標準]または[高速]にすると、映像に合わせて最適な光量に調整します。映像のシーン変化に対してより速く光量を調整するときは[高速]を選択してください。</p> <p>設定値はカラーモードごとに保存されます。</p> <p>☛「オートアイリス（自動絞り）を設定する」p.71</p>
初期化	<p>[画質調整]メニューの調整値を初期値に戻します。全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。</p> <p>☛「初期化メニュー」p.204</p>

## 映像メニュー

現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。

入力ソースがホワイトボード/USB Display/USB1/USB2/LANのときは映像メニューの設定は行えません。

☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」p.56

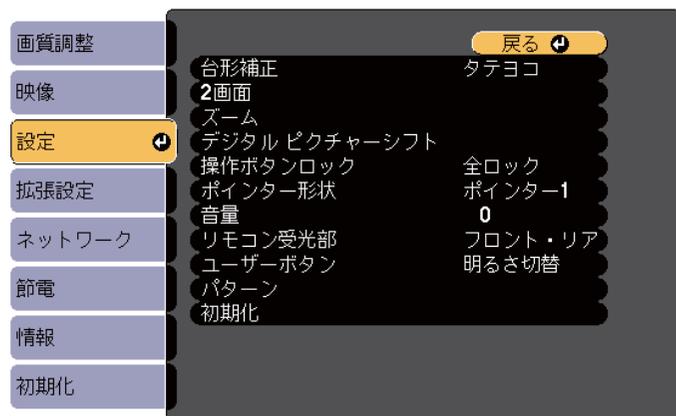


サブメニュー	機能
自動調整	<p>(コンピューターのアナログRGB信号入力時のみ有効)</p> <p>[オン]にすると、入力信号が切り替わったときに、トラッキング・同期・表示位置を最適な状態に自動調整します。</p>
入力解像度	<p>(コンピューターのアナログRGB信号入力時のみ有効)</p> <p>[オート]にすると、入力信号の解像度を自動で判別します。[オート]に設定していて投写映像が欠けるときは、接続しているコンピューターに合わせてワイド画面は[ワイド]に、4:3や5:4画面は[ノーマル]に設定してください。</p>
トラッキング	<p>(コンピューターのアナログRGB信号入力時のみ有効)</p> <p>映像に縦の縞模様が出るときに調整します。</p>

サブメニュー	機能
同期	(コンピューターのアナログRGB信号入力時のみ有効) 映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。
表示位置	(入力ソースがHDMI1またはHDMI2のときは設定不可) 映像の一部が欠けているときに表示位置を上下左右に移動し映像がすべて投写されるように調整します。
プログレッシブ変換	インターレース▶▶(i)信号をプログレッシブ▶▶(p)信号に変換します。(IP変換) [オフ]:動きの大きい映像に適しています。 [ビデオ]:一般のビデオ映像に適しています。 [フィルム/オート]:映画フィルムやCG、アニメーション映像に適しています。
ノイズリダクション	([映像処理]が[速い]のときは設定不可) プログレッシブ変換した映像のざらつきを抑えます。モードを2つ用意しています。お好みの設定でご覧ください。DVDなど映像ソースにノイズが少ないときは[オフ]に設定してご覧ください。
HDMIビデオレベル	本機のHDMI1またはHDMI2入力端子とDVDプレーヤーなどを接続しているときに、DVDプレーヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。投写映像の黒浮きや白飛びが気になるときは、[拡張]に設定します。
入力信号方式	コンピューター入力端子からの入力信号を選択します。 [オート]にすると、接続機器に応じて自動的に入力信号を設定します。 [オート]に設定していて、色が正しく表示されないときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。
ビデオ信号方式	ビデオ入力端子からの入力信号を選択します。[オート]にすると、ビデオ信号を自動認識します。[オート]に設定していて、映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きるときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。

サブメニュー	機能
アスペクト	映像のアスペクト比▶▶を設定します。 ▶▶「投写映像のアスペクト比を切り替える」p.71
オーバースキャン	(コンポーネントビデオ信号入力時のみ設定可能) 出画率(投写する映像の範囲)を変更します。トリミングする範囲の設定を、[オフ]、[4%]、[8%]のいずれかに変更できます。入力ソースがHDMI1のまたはHDMI2のときは[オート]が選択できるようになります。[オート]を選択すると入力信号に応じて自動的に変更されます。
映像処理	([Easy Interactive Function]で[ペンモード]を[マウス操作]に設定しているときは設定不可) [きれい]にすると、画質を優先して映像を投写します。 [速い]にすると、処理速度を優先して映像を投写します。インタラクティブ機能使用時は、ペンの追従性が向上します。
初期化	[映像]メニューのうち、[入力信号方式]と[映像処理]を除くすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。 ▶▶「初期化メニュー」p.204

## 設定メニュー



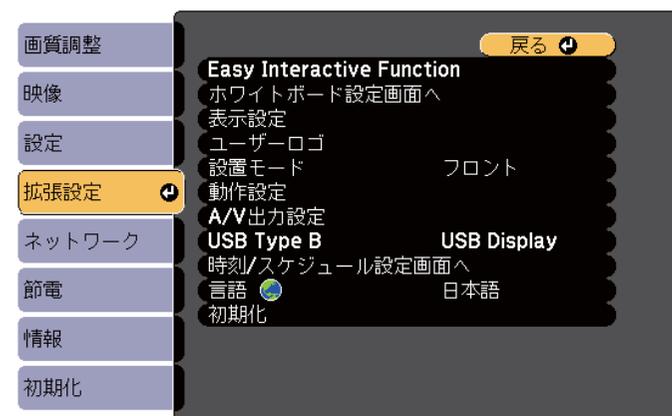
サブメニュー	機能
台形補正	台形にゆがんだ画面を補正します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [タテヨコ] 選択時： [タテ補正]、[ヨコ補正]を調整して縦・横方向のゆがみを補正します。</li> <li>・ [Quick Corner] 選択時： 投写映像の4つの角を選んで補正します。   「Quick Corner」 p.63</li> </ul>
2画面	2画面投写に切り替えます。  「2種類の映像を同時に投写する(2画面)」 p.130
ズーム	投写映像のサイズを調整します。
デジタルピクチャーシフト	本機を動かさずに映像の投写位置を調整します。  「映像の位置を調整する(デジタルピクチャーシフト)」 p.65
操作ボタンロック	本機操作パネルの操作制限を設定します。  「操作を制限する(操作ボタンロック)」 p.152

サブメニュー	機能
ポインター形状	ポインターの形状を選択します。 ポインター1：  ポインター2：  ポインター3：   「説明箇所を指し示す(ポインター)」 p.143
音量	(入力ソースがホワイトボードのときは設定不可) 音量を調整します。設定した内容は入力ソースごとに保持されます。
リモコン受光部	リモコンからの操作信号の受信を制限します。 [オフ]に設定すると、リモコンからの操作ができなくなります。リモコンから操作したいときは、リモコンの【メニュー】ボタンを15秒以上押して、設定を初期値に戻してください。
ユーザーボタン	リモコンの【ユーザー】ボタンに割り当てる環境設定メニューの項目を選択します。【ユーザー】ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。【ユーザー】ボタンに割り当てることができるのは以下の項目です。 [明るさ切替]、[情報]、[プログレッシブ変換]、[テストパターン]、[入力解像度]、[パターン表示]、[自動位置合わせ]

サブメニュー	機能
パターン	<p>[パターン表示]：パターンを表示させます。</p> <p>[パターン種類]：パターン1～5と、ユーザーパターンの6種類が選べます。パターン1～4は、罫線や格子などの補助線を表示します。パターン5は、4:3のスクリーンのフォーカス調整を行うためのテストパターンです。</p> <p>パターン1： パターン2：</p> <p>パターン3： パターン4：</p> <p>パターン5：</p> <p>[ユーザーパターン]：ユーザーパターンのキャプチャーを行います。   「ユーザーパターンの登録」 p.148</p> <p>[テストパターン]：本機を設置する際に、機器を接続せずに投写状態を調整できるようにテストパターンを表示します。テストパターン表示中はズーム調整、フォーカス調整、台形補正が行えます。テストパターンの表示を解除するときは、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>注意</b> 長時間パターンを表示していると投写映像に残像が残ることがあります。</p> </div>

サブメニュー	機能
初期化	<p>[設定]メニューのうち[ズーム]、[デジタルピクチャーシフト]、[ユーザーボタン]を除くすべての調整値を初期値に戻します。</p> <p>全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。</p> <p> 「初期化メニュー」 p.204</p>

## 拡張設定メニュー



サブメニュー	機能
Easy Interactive Function	<p>インタラクティブ機能に関する操作と設定をします。</p> <p> 「インタラクティブ機能の概要」 p.75</p> <p>詳細は次の表を参照してください。</p> <p> 「Easy Interactive Functionの設定項目」 p.183</p>
ホワイトボード設定画面へ	<p>ホワイトボードモードの設定をします。</p> <p> 「ホワイトボード設定画面」 p.185</p>

サブメニュー	機能
表示設定	<p>本機の表示に関する設定を行います。</p> <p>[メッセージ表示]：[オフ]に設定すると、次の表示がされなくなります。</p> <p>入力ソースやカラーモード、アスペクト比を切り替えたときの項目名の表示、映像信号が入力されていないときなどのメッセージの表示、高温警告などの警告表示。</p> <p>[背景表示]※1：映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を[黒]、[青]、[ロゴ]のいずれかで設定します。</p> <p>[スタートアップスクリーン]※1：[オン]にすると、投写開始時に[ユーザーロゴ]を表示します。</p> <p>[AVミュート]※1：リモコンの【AVミュート】ボタンを押したときに表示する画面を[黒]、[青]、[ロゴ]のいずれかで設定します。</p> <p>[ツールバー]：アノテーションモード使用時、ツールバータブを常に表示するかどうかを設定します。</p> <p>[ペンモードアイコン]：インタラクティブ機能使用時、ペンモードアイコンの表示位置を設定します。[オフ]にすると非表示になります。</p> <p>[プロジェクター制御]：インタラクティブ機能使用時に、プロジェクター制御ツールの表示位置を設定します。初期値は[下]になっています。[オフ]にするとプロジェクター制御ツールが非表示になります。</p>
ユーザーロゴ※1	<p>背景表示、AVミュート時などに表示するユーザーロゴを変更します。</p> <p>🔍 「ユーザーロゴの登録」 <a href="#">p.147</a></p>
設置モード	<p>本機の設置状態に合わせて次の中から設定します。</p> <p>[フロント]、[フロント・上下反転]、[リア]、[リア・上下反転]</p> <p>リモコンの【AVミュート】ボタンを約5秒間押し続けると、設置モードを次のように切り替えることができます。</p> <p>[フロント] ↔ [フロント・上下反転]</p> <p>[リア] ↔ [リア・上下反転]</p> <p>🔍 「いろいろな設置方法」 <a href="#">p.31</a></p>

サブメニュー	機能
動作設定	<p>[ダイレクトパワーオン]：[オン]にすると、電源プラグを差し込むだけで本機の電源が入ります。</p> <p>停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると本機の電源がオンになりますので、注意してください。</p> <p>[高地モード]：標高約1500m以上でお使いの場合は[オン]にします。</p> <p>[起動時入力検出]：[オフ]にすると、起動時に前回と同じ入力ソースから投写します。</p> <p>[オートパワーオン]：([待機モード]が[通信オン]のときのみ設定可能。)[コンピューター]に設定すると、本機がスタンバイ状態でもコンピューター入力端子から映像を受信したときに本機の電源が入ります。初期値は[オフ]です。</p>
AV出力設定	<p>[AV出力]：([待機モード]が[通信オン]のときのみ設定可能)</p> <p>本機がスタンバイ状態のときに、外部機器に音声や映像を出力するときは、[常時]に設定してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p> スタンバイ状態のときにファンが回転することがありますが、異常ではありません。</p> </div> <p>[音声出力]：コンピューター入力端子、ビデオ入力端子、USB-A端子から映像を投写するときに、音声を入力する端子を設定します。[音声入力1]、[音声入力2]、[音声入力3]に設定すると、入力ソースにかかわらず選択した端子からの音声を出力します。</p> <p>[HDMI1 音声出力]/[HDMI2 音声出力]：HDMI1またはHDMI2入力端子から映像を投写するときの入力音声を設定します。[音声入力1]、[音声入力2]、[音声入力3]に設定すると、選択した音声入力端子からの音声を出力します。</p>

サブメニュー	機能
USB Type B	<p>[Easy Interactive Function]：インタラクティブ機能のコンピューター操作(マウス操作)を有効にします。USBディスプレイとワイヤレスマウス機能は使えません。</p> <p>[USB Display/Easy Interactive Function]：インタラクティブ機能のコンピューター操作(マウス操作)とUSBディスプレイを有効にします。ワイヤレスマウス機能は使えません。</p> <p>[ワイヤレスマウス/USB Display]：ワイヤレスマウス機能とUSBディスプレイを有効にします。インタラクティブ機能のコンピューター操作(マウス操作)は使えません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☛ 「USBディスプレイで投写する」 p.57</li> <li>☛ 「リモコンでマウスポインターを操作する(ワイヤレスマウス)」 p.145</li> <li>☛ 「投写画面でコンピューターの操作を行う(マウス操作)」 p.114</li> </ul>
時刻/スケジュール設定画面へ	<p>プロジェクターの日時や、プロジェクターが決まった時刻に特定の動作をするスケジュールを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☛ 「スケジュール設定」 p.167</li> </ul>
言語	メッセージやメニューに表示する言語を設定します。
初期化	<p>[拡張設定]メニューのうち、[表示設定]※1、[動作設定]※2、[AV出力設定]※3の調整値を初期値に戻します。全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☛ 「初期化メニュー」 p.204</li> </ul>

※1 [ツールバー]、[ペンモードアイコン]、[プロジェクター制御]は除く。パスワードプロテクトの[ユーザーロゴ保護]を[オン]にしていると、ユーザーロゴに関する設定の変更はできません。[ユーザーロゴ保護]を[オフ]にしてから設定を変更してください。

☛ 「利用者を管理する(パスワードプロテクト)」 p.150

※2 [高地モード]、[起動時入力検出]は除く。

※3 [AV出力]は除く。

## Easy Interactive Functionの設定項目

### 全般項目

サブメニュー	機能
自動位置合わせ	自動ペン位置合わせを実行します。 ☛ 「自動ペン位置合わせ」 p.79
手動位置合わせ	手動ペン位置合わせを実行します。 ☛ 「手動ペン位置合わせ」 p.81
タッチユニット設置(EB-1430WTのみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [設置パターン]：タッチユニットの設置位置を決める際の基準点を表示します。</li> <li>• [電源]：[オン]に設定すると、タッチユニットの電源がオンになります。</li> <li>• [角度調整]：レーザー照射の角度調整を行います。</li> <li>• [指タッチ位置合わせ]：指タッチ操作の位置合わせを実行します。</li> </ul> <p>タッチユニットの設置方法は以下をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☛ 『設置工事説明書』</li> </ul>
ペンモード	<p>(入力ソースがコンピューター/HDMI1/HDMI2/USB Display/LANのときのみ設定可能)</p> <p>Easy Interactive Penの機能を切り替えます。[PCレスインタラクティブ](初期値)に設定すると、投写画面への描画ができます。[マウス操作]に設定すると、投写画面上でコンピューターのマウス操作ができます。Easy Interactive Penの機能は、リモコンの【ペンモード】ボタンまたは投写画面のペンモードアイコンでも切り替えられます。</p>
ホバリング	[オン](初期設定)に設定すると、ペン先を投写面から浮かせて動かしたときに、ペン先の動きに合わせてポインターが移動します。

サブメニュー	機能
詳細設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [複数台設置距離]：同じ部屋で本機を2台以上使用するときは、プロジェクター間の距離に応じて Easy Interactive Penの動作を調整します。Easy Interactive Penの動作が不安定なときは、もう一方の設定をお試しください。[モード1]に設定する目安は距離2mです。</li> <li>• [複数台同期]：同じ部屋で本機を2台以上使用するときは、Easy Interactive Pen同士の干渉を抑制する方法を選択します。[赤外線](初期設定)に設定すると、赤外線のみで同期します。プロジェクター同士をケーブルで接続するときは、[有線接続]に設定してください。   「複数台のプロジェクターを接続する」 p.48</li> <li>• [有線接続同期モード]：[モード1](初期設定)に設定すると、有線接続のみで同期します。[モード2]に設定すると、[複数台同期]を[有線接続]に設定しているときも、赤外線での同期を同時に行います。有線接続に対応していないプロジェクターと同じ部屋で使用するときは[モード2]に設定してください。</li> <li>• [ペンボタン動作]：[消しゴム](初期設定)に設定すると、Easy Interactive Pen側面のボタンを押すたびに、ペン先ボタンの機能をペンから消しゴムに交互に切り替えます。</li> <li>• [画面クリア確認]：[オン](初期設定)に設定すると、投写画面へ描画した内容をすべて消去する前に確認画面を表示します。</li> <li>• [カラーパレット]：[パレット2]を選択すると、色弱の方にも見やすい配色のパレットに変わります。初期設定のパレットの色が見えにくい方は、[パレット2]をお試しください。</li> </ul>

## マウス操作

投写画面上でコンピューターを操作するときの設定をします。

サブメニュー	機能
ペン動作モード	<p><b>EB-1430WTの場合</b>          接続しているコンピューターのOSに合わせて、Easy Interactive Penまたは指タッチ操作の動作モードを設定します。</p> <p>[モード1](初期設定)：Easy Interactive Penおよび指を使ったマウス操作ができます。Windows XP以前のバージョンのコンピューターを接続するときに選択します。Windows Vista/7/8/8.1のインク機能とマルチタッチが使用できません。ペン入力は使用できません。</p> <p>[モード2]：Easy Interactive Penおよび指を使ったマウス操作ができます。Windows Vista以降のバージョンのコンピューターおよびMacを接続するときに選択します。Windows Vista/7/8/8.1のインク機能、ペン入力、マルチタッチが使用できます。</p> <p>[モード3]：マウス操作ができます。Linuxコンピューターを接続しているときに選択します。</p> <p><b>EB-1420WTの場合</b>          Easy Interactive Penの動作モードと使用する人数を設定します。</p> <p>[2人で書く/マウス](初期設定)/[1人で書く/マウス]：Easy Interactive Penでマウス操作ができます。</p> <p>[1人で書く/ペン]：Windows Vista/7/8のペン機能を使用できます。</p>
右クリック通知	<p>([ペン動作モード]が[モード1]/[モード3]または[2人で書く/マウス]/[1人で書く/マウス]のときのみ設定可能)</p> <p>[オン]に設定すると、ペン先ボタンの長押しが右クリックとして機能します。</p>

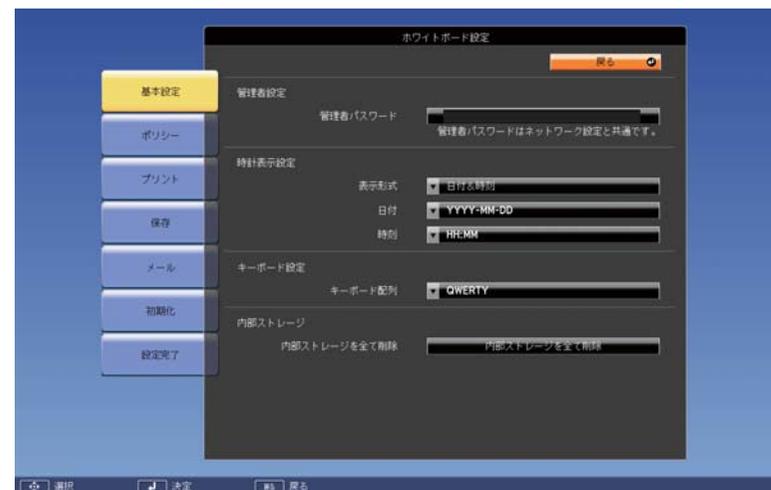
サブメニュー	機能
詳細設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [ペン先ボタン]：Easy Interactive Penのペン先ボタンの動作を設定します。初期設定は[左クリック]です。</li> <li>• [操作エリア自動調整]：[オン](初期値)に設定すると、接続するコンピューターの解像度が変わったときに、ペン操作エリアを自動で調整します。手動調整したペン操作エリアを自動調整したくないときは、[オフ]に設定します。</li> <li>• [操作エリア手動調整]：ペン操作エリアを手動で調整します。</li> </ul>

## ホワイトボード設定画面

ホワイトボード設定画面の操作上の注意や英数字の入力方法は、ネットワークメニューと共通です。

- ☛ 「ネットワークメニュー操作上のご注意」 p.190
- ☛ 「ソフトキーボードの操作」 p.191

## 基本設定メニュー



サブメニュー	機能
管理者設定	<p>[管理者パスワード]：管理者パスワードを設定します。半角英数字で最大16文字まで入力できます。管理者パスワードはネットワークメニューと共通です。</p> <p>☛ 「管理者設定メニュー」 p.198</p>
時計表示設定	<p>下段ツールバーに表示される時計の表示方法を設定します。日付や時刻はスケジュール設定の[日付&amp;時刻]で設定してください。</p> <p>☛ 「時刻を設定する」 p.167</p>
キーボード設定	<p>ホワイトボードで使用するソフトキーボードのキー配列を設定します。QWERTY、QWERTZ、AZERTYから選択できます。</p>
内部ストレージ	<p>[内部ストレージを全て削除]：内部ストレージのデータを完全に削除します。内部ストレージの削除は中止できません。テンプレート情報、アドレス帳、共有されたホワイトボードへの接続履歴が削除されます。内部ストレージに異常が発生したときや、製品を破棄または修理するときに実行します。</p>

## ポリシーメニュー



サブメニュー	機能
内部ストレージ	<p>[内部ストレージの利用]：[オン]に設定すると、ホワイトボードモードで描画したデータが内部ストレージに保存されるようになります。[オフ]に設定すると、同時に編集できるページ数が1ページになるなど、内部ストレージを使用する機能が制限されます。通常は[オン]に設定することを推奨します。</p> <p>[保存データの自動削除]：[削除]に設定すると、電源をオフにしたとき描画データが内部ストレージから削除されます。通常は[保持]に設定することを推奨します。</p> <p>[保存データのバックアップ時間]：意図せず電源がオフになったときに、描画データのバックアップを保持する時間を設定します。[保存データの自動削除]が[削除]に設定されているときでもバックアップは実行されます。</p>

サブメニュー	機能
ポリシー設定	キャプチャー、プリント、スキャンなどの機能の有効/無効を設定します。
テンプレート設定	[ユーザーテンプレートの保護]：[オン]に設定すると、Webブラウザからのみユーザー定義テンプレートの設定を行えます。[オフ]に設定すると、ホワイトボードモードからも設定を行えます。

## プリントメニュー



サブメニュー	機能
既定のプリンター	印刷時に使用される初期設定のプリンターを設定します。ホワイトボードモードでは、印刷用プリンター選択時に初期値として表示されます。アノテーションモードでは、印刷実行時に自動でこのプリンターが使用されます。
品質	印刷品質を設定します。
用紙サイズ	用紙サイズを設定します。
ジョブユーザー名	プリントジョブに設定するユーザー名を指定します。特に指定しないときは、プロジェクター名が表示されます。変更するときは、半角英数字64文字以内で入力します(" * +, / ; < = > ? [ \ ] ` :   とスペースは使用できません)。
IPアドレス	ネットワークプリンターのIPアドレスを入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)

サブメニュー	機能
プリンター情報取得	設定されたIPアドレスのプリンターと通信を行い、プリンターのタイプを自動で認識します。
プリンタータイプ	接続するプリンターのタイプです。通常はプリンター情報取得で自動設定された値を使用します。
テストページ印刷	テストページの印刷を実施します。

## 保存メニュー



サブメニュー	機能
既定の保存場所	描画データの初期設定の保存先を設定します。ホワイトボードモードでは、保存実行時に保存先の初期値として表示されます。アノテーションモードでは、保存実行時に自動でこの保存先に保存されます。

サブメニュー	機能
UNCアドレス	<p>ネットワークフォルダー名をUNC表記「\\ホスト名\共有名」で設定します。ホスト名としてIPアドレスまたはNetBIOS名を指定します。半角英数字で最大63文字まで入力できます（"*+,,;&lt;=&gt;?[\] "とスペースは使用できません）。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> • ホスト名としてIPアドレスを指定した場合は、CIFSプロトコルを使ってファイル共有サーバーと通信します。TCPプロトコルがルーティング設定されているネットワークであれば、サブネットをまたいで通信ができます。</p> <p>• ホスト名としてNetBIOS名を指定した場合は、SMBプロトコルを使ってファイル共有サーバーと通信します。サブネットをまたいでファイル共有サーバーと接続するには、WINSサーバーの設定が必要です。</p> <p>☛ 「無線LANメニュー」 p.192</p> <p>☛ 「有線LANメニュー」 p.197</p> </div>
ユーザー名	<p>ネットワークフォルダーに書き込みと読み込みのアクセス権限があるユーザー名を設定します。半角英数字で最大64文字まで入力できます（スペースは使用できません）。ドメイン名を含めて入力する必要があるときは、ユーザー名の前にバックスラッシュで区切ってドメイン名を追加します。</p>
パスワード	<p>ユーザー名に対応するパスワードを入力します。半角英数字で最大64文字まで入力できます。パスワードを入力し、[設定完了]を選択すると、パスワードはアスタリスク(*)で表示されます。</p>
接続確認	<p>接続確認を実施します。</p>

## メールメニュー



サブメニュー	機能
SMTPサーバー	<p>メールサーバーをホスト名またはIPアドレスで指定します。半角英数字で最大63文字まで入力できます（"*+,,;&lt;=&gt;?[\] "とスペースは使用できません）。</p> <p>ホスト名で指定する場合は、DNSサーバーの設定が必要です。</p> <p>☛ 「無線LANメニュー」 p.192</p> <p>☛ 「有線LANメニュー」 p.197</p> <p>IPアドレスで指定する場合は、各フィールドに0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。</p> <p>127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0 ～ 255.255.255.255 (xは0～255の数字)</p>
認証タイプ	<p>メールサーバーへの認証方式を設定します。</p>
ポート番号	<p>SMTPサーバーのポート番号を入力します。初期値は25です。1～65535までの有効な数値を入力できます。</p>

サブメニュー	機能
ユーザー名	メールサーバーへの認証に使うユーザー名を入力します。半角英数字で64文字まで入力できます(スペースは使用できません)。
パスワード	ユーザー名に対応するパスワードを入力します。半角英数字で64文字まで入力できます(スペースは使用できません)。
送信元アドレス	送信元として表示するメールアドレスを入力します。メールアドレスは最大64文字まで入力できます("()、; <> [\]: とスペースは使用できません)。
既定送信先アドレス	既定のメール送信先を入力します。メールアドレスは最大64文字まで入力できます("()、; <> [\]: とスペースは使用できません)。
テストメール送信	SMTPサーバーに接続してテストメールを既定送信先アドレスに送信します。

- テンプレート情報
- アドレス帳
- 共有されたホワイトボードへの接続履歴

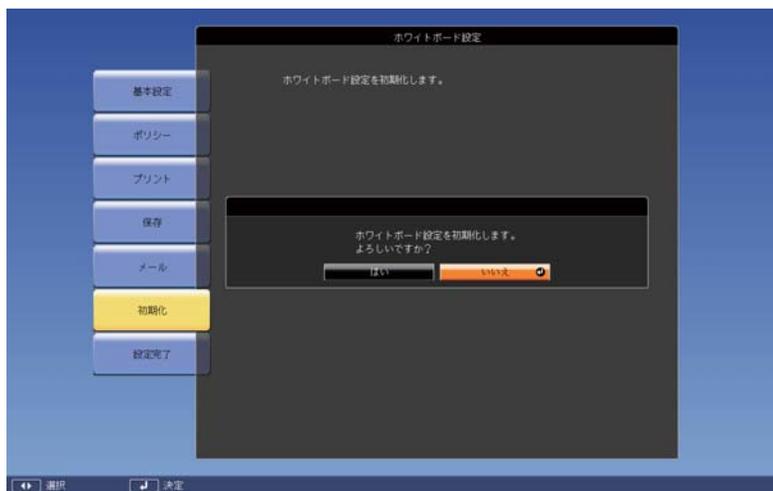
## ネットワークメニュー

[パスワードプロテクト]の[ネットワーク保護]を[オン]に設定していると、メッセージが表示されネットワークの設定を変更することはできません。[ネットワーク保護]を[オフ]にしてからネットワークの設定を行ってください。

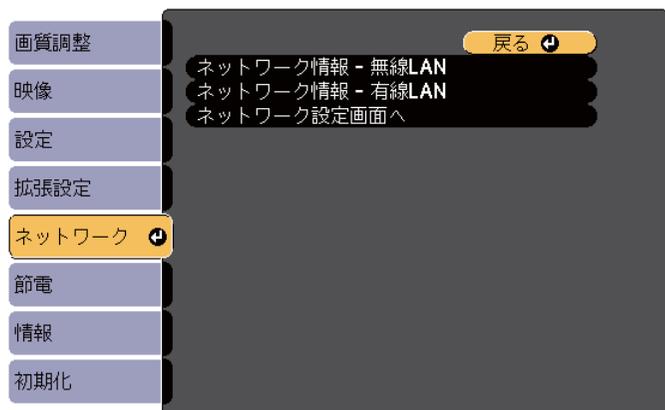
☛ 「パスワードプロテクトの設定方法」 [p.150](#)

ネットワークメニューを設定する前に、本機の時刻を設定してください。時刻を設定しないと、無線LANの設定が正しくできないことがあります。

## 初期化メニュー



ホワイトボード設定を初期状態に戻します。内部ストレージに保存されている以下のデータが削除されます。

 「時刻を設定する」 p.167


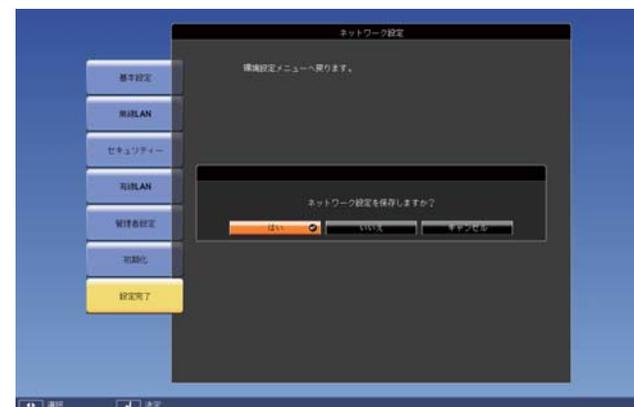
サブメニュー	機能
ネットワーク情報 - 無線LAN	以下のネットワーク設定状況を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 接続モード</li> <li>• 無線LAN方式</li> <li>• アンテナレベル</li> <li>• プロジェクター名</li> <li>• SSID</li> <li>• DHCP</li> <li>• IPアドレス</li> <li>• サブネットマスク</li> <li>• ゲートウェイアドレス</li> <li>• MACアドレス</li> </ul>
ネットワーク情報 - 有線LAN	以下のネットワーク設定状況を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• プロジェクター名</li> <li>• DHCP</li> <li>• IPアドレス</li> <li>• サブネットマスク</li> <li>• ゲートウェイアドレス</li> <li>• MACアドレス</li> </ul>

サブメニュー	機能
ネットワーク設定画面へ	以下の項目についてネットワークの設定を行います。 [基本設定]、[無線LAN]、[セキュリティー]、[有線LAN]、[管理者設定]、[初期化]

### ネットワークメニュー操作上のご注意

トップメニューやサブメニューの選択、選択した項目を変更する操作は環境設定メニューと同様に行います。

ただし、終了する際には必ず[設定完了]メニューを選択して、[はい]、[いいえ]、[キャンセル]のいずれかを選択します。[はい]または[いいえ]を選択すると、環境設定メニューに戻ります。



[はい]： 設定を保存してネットワークメニューを終了します。

[いいえ]： 設定を保存しないでネットワークメニューを終了します。

[キャンセル]： ネットワークメニューを続けます。

## ソフトキーボードの操作

ネットワークメニューでは英数字を入力して設定する項目があります。その際には以下のようなソフトキーボードが表示されます。リモコンの【】【】【】【】ボタンまたは操作パネルの【】【】【】【】ボタンで目的のキーにカーソルを移動し、【】ボタンを押して入力します。数字は、リモコンの【Num】ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押して入力することもできます。入力後キーボードの[Finish]を選択すると入力が確定します。キーボードの[Cancel]を選択すると入力は取り消されます。



- [CAPS]キーを選択して【】ボタンを押すたびに、アルファベットキーの大文字/小文字が切り替わります。
  - [SYM1/2]キーを選択して【】ボタンを押すたびに、枠で囲った部分の記号キーが切り替わります。
- 入力できる文字の種類は以下のとおりです。

数字	0123456789
アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
記号	! # \$ % & ' ( ) + - . / < = > ? @ ^ _ ` {   } ~



- :とスペースは、[SSID]を除くネットワークメニューでは入力できません。
  - 一部の記号(" \* , ; [ \ )はソフトキーボードで入力できません。Webブラウザーを使って入力してください。
- ☞「Webブラウザーを使って設定を変更する (Web制御)」 p.155

## 基本設定メニュー



サブメニュー	機能
プロジェクト名	同梱のEasyMP Network ProjectionやEasyMP Multi PC Projection上に表示される本機の名称です。変更するときは、半角英数字16文字以内で入力します(" * + , / ; < = > ? [ \ ] `   は使用できません)。
Web Remote/パスワード	Web Remoteを使用するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で最大8文字まで入力できます(*は使用できません)。 Web Remoteはネットワークで接続しているコンピューターのWebブラウザーを利用して、コンピューターから本機のリモコン操作をする機能です。 ☞「Webブラウザーを使って設定を変更する (Web制御)」 p.155

サブメニュー	機能
プロジェクター キーワード	[オン]に設定していると、本機とコンピューターをネットワークで接続しようとしたとき、キーワードの入力が求められます。これにより他のコンピューターからの接続でプレゼンテーションが妨害されるのを防ぐことができます。 通常は[オン]に設定してお使いください。 ☞ 『EasyMP Network Projection操作ガイド』

## 無線LANメニュー

本機とコンピューターを無線LANで接続するときは、無線LANユニットを本機に取り付けてください。

☞ 「無線LANユニットの取り付け」 p.47



サブメニュー	機能
無線LAN電源	本機とコンピューターを無線LANで接続するときは[オン]に設定します。無線LANで接続しないときは、[オフ]に設定しておくで他人からの不正なアクセス等を防ぐことができます。

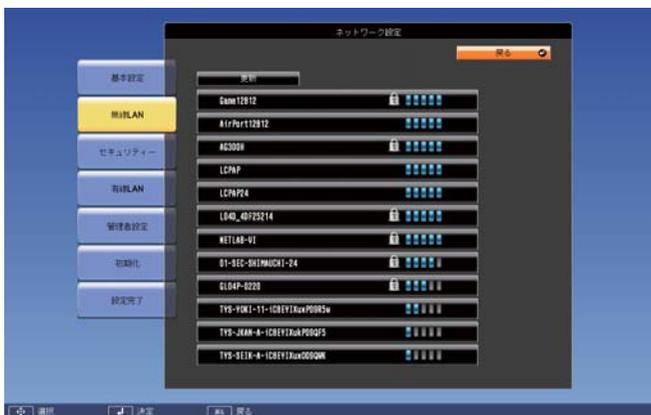
サブメニュー	機能
Wi-Fi Protected Setup	WPS(Wi-Fi Protected Setup)▶▶対応の無線LANアクセスポイントを経由してネットワークに接続するときに設定します。本機とアクセスポイント間の接続とセキュリティの設定を簡単に行うことができます。画面の指示に従って設定してください。
接続モード	本機とコンピューターを無線LANで接続するときの接続モードを設定します。 [かんたんモード]を選択すると、プロジェクターとコンピューターによる小規模なネットワークを自動的に構成します。EasyMP Network Projectionと組み合わせて用います。[自動SSID]が[オン]の場合は、プロジェクターが簡易なアクセスポイントとなり、[オフ]の場合はアドホックモード▶▶で構成されます。 [マニュアルモード]を選択すると、設置されているアクセスポイントとインフラストラクチャーモード▶▶で接続します。本機をネットワーク経由で監視・制御するときは、[マニュアルモード]に設定してください。
自動SSID設定	接続モードを[かんたんモード]に設定しているときは、[オン]に設定すると複数のプロジェクターの中からより早く本機を検索することができます。SSIDは自動的に設定されます。 かんたんモードで1台のコンピューターから複数のプロジェクターに接続するときは、[オフ]に設定し、接続するすべてのプロジェクターに同一のSSIDを設定してください。
SSID	SSIDを入力します。本機が参加する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを入力します。 半角英数字で最大32文字まで入力できます(^はWebブラウザからのみ入力できます)。SSIDを空欄またはANYに設定することでANY接続を行います。

サブメニュー	機能
アクセスポイント検索	接続モードを[マニュアルモード]に設定しているときは、周囲のアクセスポイントを検索し、その中から接続するSSIDを指定できます。アクセスポイントの設定によっては一覧に表示されない場合があります。セキュリティは別途設定が必要です。 ☛「アクセスポイント検索画面」p.194
チャンネル設定	かんたんモードで接続するとき使用するチャンネルを選択できます。他の電波の干渉を受けるときは、別のチャンネルに設定してください。
SSID表示	LAN待機画面上にSSIDを表示させないときは、[オフ]に設定します。
DHCP	DHCP▶▶を使用する([オン])/しない([オフ])を設定します。 ここで[オン]に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。
IPアドレス	本機に割り当てるIPアドレス▶▶を入力します。 アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0~255.255.255.255(xは0~255の数字)
サブネットマスク	本機のサブネットマスク▶▶を入力します。アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
ゲートウェイアドレス	本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレス▶▶は使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255(xは0~255の数字)

サブメニュー	機能
DNSサーバー	DNSサーバーは、インタラクティブ機能で描画内容をメール送信する場合に、メールサーバーをホスト名で指定するときに使用します。 アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、192.9.2.x、224.0.0.0~255.255.255.255(xは0~255の数字) [DHCP]を[オン]にしているときは、DHCPを利用してDNSサーバー情報が取得されます。そのとき、本設定が優先されます。
WINSサーバー	WINSサーバーは、インタラクティブ機能で描画内容を保存するときに、ネットワークフォルダーを保存先に指定する場合に使用します。WINSサーバーを使用して、異なるサブネットのネットワークフォルダーを指定するときに設定してください。 アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、192.9.2.x、224.0.0.0~255.255.255.255(xは0~255の数字) なお、WINSサーバーを設定しないときは、0.0.0.0を指定してください。 [DHCP]を[オン]にしているときは、DHCPを利用してWINSサーバー情報が取得されます。そのとき、本設定が優先されます。
IPアドレス表示	LAN待機画面上にIPアドレスを表示させないときは、[オフ]に設定します。

## アクセスポイント検索画面

検出されたアクセスポイントが一覧で表示されます。



サブメニュー	機能
更新	アクセスポイントを再検出します。
	すでに設定済みのアクセスポイントを表します。
	セキュリティが設定されているアクセスポイントを表します。 セキュリティが設定されていないアクセスポイントを選択すると、無線LANメニューに移行します。 セキュリティが設定されているアクセスポイントを選択すると、セキュリティメニューに移行します。アクセスポイントのセキュリティ設定に応じて、設定するセキュリティの種類を選択してください。

## セキュリティメニュー

無線LANユニットを装着してお使いの際は、セキュリティの設定を行うことをお奨めします。



サブメニュー	機能
セキュリティ	設定するセキュリティの種類を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>かんたんモード時 [Open]: セキュリティを設定しません。 [WPA2-PSK(AES)] ([自動SSID設定]が[オン]の場合のみ): WPA2によるセキュリティを使って通信を行います。暗号化にはAES方式を使用します。コンピューターからプロジェクターに接続するときは、パスフレーズに設定した値を入力してください。</li> <li>マニュアルモード時 [Open]: セキュリティを設定しません。 [WPA/WPA2-PSK]: WPA/パーソナルモードで接続を行います。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。アクセスポイントと共通のパスフレーズを設定します。 [WPA/WPA2-EAP]: WPAエンタープライズモードで接続を行います。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。LEAPを用いるときはこの項目を選択します。</li> </ul>



本機はWEPを暗号化方式として設定することはできません。

## WPA/WPA2-PSK選択時



サブメニュー	機能
パスフレーズ	<p>パスフレーズを入力します。半角英数字で8文字以上、最大63文字まで入力できます。パスフレーズを入力し、【↵】ボタンで確定すると、設定値はアスタリスク(*)で表示されます。</p> <p>EasyMP Network Projectionと組み合わせて使う場合、初期状態のパスフレーズであればコンピューター側でのパスフレーズ入力を省略することができます。</p> <p>セキュリティを確保するために、パスフレーズは定期的に変更することをお奨めします。ネットワーク設定の初期化を行うと、初期状態のパスフレーズに戻ります。</p> <p>☛「初期化メニュー」p.202</p> <p>環境設定メニューで入力できる文字数は最大32文字です。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。</p> <p>☛「Webブラウザを使って設定を変更する（Web制御）」p.155</p> <p>かんたんモード時には、初期状態でパスフレーズが設定されています。初期状態のパスフレーズは非公開です。Epson iProjectionを使うときは、任意のパスフレーズに変更してください。</p>

## WPA/WPA2-EAP選択時



サブメニュー	機能
EAP設定	<p>認証用プロトコルを設定します。</p> <p>[PEAP]: Windows Serverで広く使われている認証プロトコルです。</p> <p>[PEAP-TLS]: Windows Serverで使われている認証プロトコルです。クライアント証明書を使用する場合に設定します。</p> <p>[EAP-TLS]: 一般的に広く使われている、クライアント証明書を使用する認証プロトコルです。</p> <p>[EAP-Fast]、[LEAP]: これらの認証プロトコルが使用されているときに指定します。</p>

サブメニュー	機能
ユーザー名	<p>認証に使用するユーザー名を入力します。半角英数字で最大64文字まで入力できます。</p> <p>PEAP-TLS、EAP-TLS選択時は、クライアント証明書から自動的に取得されたユーザー名が表示されます。認証サーバーの要求により、別のユーザー名を指定する必要があるときは、変更することができます。</p> <p>環境設定メニューで入力できる文字数は最大32文字です。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。</p> <p>☛ 「Webブラウザを使って設定を変更する (Web制御)」 <a href="#">p.155</a></p> <p>ドメイン名を含めて入力する必要があるときは、ユーザー名の前にバックスラッシュで区切ってドメイン名を追加します。</p>
パスワード	<p>認証に使用するパスワードを入力します。半角英数字で最大64文字まで入力できます。パスワードを入力し、[Finish]を選択すると、パスワードはアスタリスク(*)で表示されます。</p> <p>環境設定メニューで入力できる文字数は最大32文字です。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。</p> <p>☛ 「Webブラウザを使って設定を変更する (Web制御)」 <a href="#">p.155</a></p>
クライアント証明書	<p>格納済みのクライアント証明書に設定された[発行先]、[発行者]、[有効期間]を表示します。証明書が設定されていない場合は空白となります。</p>
サーバー証明書の検証	<p>[オン]に設定すると、認証サーバーの証明書の正当性を検証します。サーバー証明書を検証するためのCA証明書を設定する必要があります。</p> <p>☛ 「証明書の設定をする」 <a href="#">p.158</a></p>
CA証明書	<p>格納済みのCA証明書に設定された[発行先]、[発行者]、[有効期間]を表示します。証明書が設定されていない場合は空白となります。</p>

サブメニュー	機能
認証サーバー名の指定	[オン]に設定すると、サーバー証明書の検証時に認証サーバー名を確認します。サーバー名を指定することで、不正な認証サーバーに接続するリスクを低減します。
認証サーバー名	認証サーバーの名前を指定します。 半角英数字で最大32文字まで入力できます(^は使用できません)。
サーバー証明書の有効期限検証	[オン]に設定すると、サーバー証明書の検証時に証明書の有効期限を確認します。

## 有線LANメニュー



サブメニュー	機能
DHCP	DHCP▶を使用する([オン])/しない([オフ])を設定します。 ここで[オン]に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。

サブメニュー	機能
IPアドレス	本機に割り当てるIPアドレス▶を入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)
サブネットマスク	本機のサブネットマスク▶を入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
ゲートウェイアドレス	本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレス▶は使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)
DNSサーバー	DNSサーバーは、インタラクティブ機能で描画内容をメール送信する場合に、メールサーバーをホスト名で指定するときに使用します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、192.9.2.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字) [DHCP]を[オン]にしているときは、DHCPを利用してDNSサーバー情報が取得されます。そのとき、本設定が優先されます。

サブメニュー	機能
WINSサーバー	<p>WINSサーバーは、インタラクティブ機能で描画内容を保存するときに、ネットワークフォルダーを保存先に指定する場合に使用します。WINSサーバーを使用して、異なるサブネットのネットワークフォルダーを指定するときに設定してください。</p> <p>アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、192.9.2.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)</p> <p>なお、WINSサーバーを設定しないときは、0.0.0.0を指定してください。</p> <p>[DHCP]を[オン]にしているときは、DHCPを利用してWINSサーバー情報が取得されます。そのとき、本設定が優先されます。</p>
IPアドレス表示	LAN待機画面上にIPアドレスを表示させないときは、[オフ]に設定します。

## 管理者設定メニュー



サブメニュー	機能
管理者パスワード	<p>ネットワーク設定の管理者設定メニューに対するパスワードを入力します。</p> <p>半角英数字で最大16文字まで入力できます(*は使用できません)。</p> <p>管理者パスワードが設定されていない場合は、パスワードは空白のまま[OK]を押してください。</p> <p>管理者パスワードはホワイトボード設定と共通です。</p> <p>☛「基本設定メニュー」<a href="#">p.185</a></p>
ネットワークホスト名	<p>Web制御時に本機を識別するための名称です。半角英数字15文字まで入力できます。記号は - _ のみ使用できます。(ただし、最初の文字はアルファベット、最後の文字はアルファベットまたは数字のみを使用してください。)</p>
PJLinkパスワード	<p>PJLink対応アプリケーションソフトを使って本機にアクセスするときの認証用パスワードを設定します。</p> <p>半角英数字で最大32文字まで入力できます(記号は使用できません)。</p> <p>☛「PJLinkについて」<a href="#">p.163</a></p>

サブメニュー	機能
Web 制御 パスワード	Web制御で本機を設定・制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で最大8文字まで入力できます(*は使用できません)。Web制御はネットワークで接続しているコンピューターのWebブラウザを利用して、コンピューターから本機を設定・制御する機能です。 ☛「Webブラウザを使って設定を変更する (Web制御)」 p.155
Monitorパスワード	EasyMP Monitorを使用するときの認証用パスワードを設定します。 半角英数字で最大16文字まで入力できます(*は使用できません)。
セキュアHTTP	Web制御でのプロジェクターとコンピューターの通信を暗号化し、セキュリティを強化します。セキュリティの設定をWeb制御で行う場合は、[オン]に設定することをお奨めします。
メール通知機能	メール通知機能の設定メニューに移行します。 ☛「メール通知機能メニュー」 p.199
証明書管理	証明書管理の設定メニューに移行します。 ☛「証明書管理メニュー」 p.200
SNMP	SNMPの設定メニューに移行します。 ☛「SNMPメニュー」 p.201
優先ゲートウェイ	優先ゲートウェイを[有線]/[無線]のどちらにするか選択します。
AMX Device Discovery	AMX Device Discovery▶による本機の検出を有効にしたいときは[オン]に設定します。AMX社のコントローラーやAMX Device Discoveryで制御する環境に接続していないときは、[オフ]に設定してください。

サブメニュー	機能
Crestron RoomView	Crestron RoomView®を使用して、ネットワーク経由で本機の監視・制御を行うときのみ[オン]に設定します。通常は[オフ]に設定してください。 ☛「Crestron RoomView®について」 p.163 設定の変更は、本機を再起動したときに有効になります。 [オン]に設定したときは、以下の機能はご利用になれません。 • Web制御 • Message Broadcasting (EasyMP Monitorのプラグイン)
Bonjour	Bonjourによるネットワーク接続を行うときは[オン]に設定します。Bonjourサービスの詳しい説明については、Apple社のWebサイトをご覧ください。 <a href="http://www.apple.com/">http://www.apple.com/</a>
EPSON Message Broadcasting	EPSON Message Broadcasting機能の有効、無効を切り替えます。 ソフトウェアおよび取扱説明書は、以下のWebサイトよりダウンロードしてください。 <a href="http://www.epson.jp/download/">http://www.epson.jp/download/</a>

### メール通知機能メニュー

プロジェクターが異常/警告状態になったときに、ここで通知先を設定すると電子メールで通知されます。

 「異常通知メールの見方」 p.160


サブメニュー	機能
メール通知機能	[オン]にすると、プロジェクターが異常/警告状態になったときに、設定した宛先にメールで通知します。
SMTPサーバー	本機が使うSMTPサーバーのIPアドレス▶を入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)
ポート番号	SMTPサーバーのポート番号を入力します。初期値は25です。1～65535までの有効な数値を入力できます。
メールアドレス1/ メールアドレス2/ メールアドレス3	通知メールの送信先のメールアドレスを入力します。送信先は最大3件まで登録できます。メールアドレスは最大64文字まで入力できます("() ; < > \ ] は使用できません)。環境設定メニューで入力できる文字数は最大32文字です。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使って入力します。  「Webブラウザーを使って設定を変更する (Web制御)」 p.155 通知メールの送信元は宛先1のアドレスです。

サブメニュー	機能
通知イベントの指定	メールで通知する本機の異常/警告を選択します。選択した異常/警告が本機で起きたときに、[メールアドレス]で指定したメールアドレスに異常/警告が発生したことを通知します。表示されている項目より、複数選択できます。

## 証明書管理メニュー



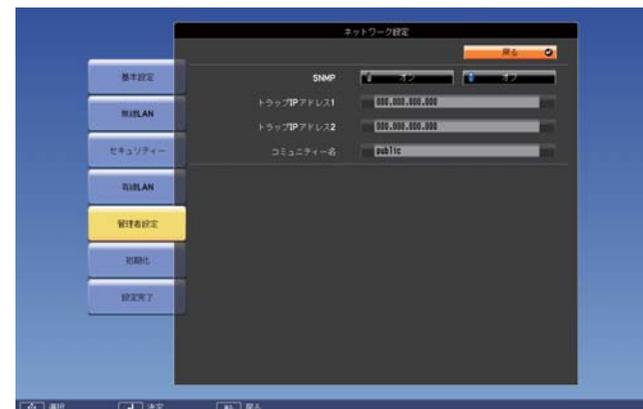
サブメニュー	機能
クライアント証明書	格納済みのクライアント証明書に設定された[発行先]、[発行者]、[有効期間]を表示します。証明書が設定されていない場合は空白となります。クライアント証明書の設定は、[セキュリティ]で[WPA/WPA2-EAP]選択時、[EAP設定]で[PEAP-TLS]、[EAP-TLS]を選択しているときに必要です。 [削除]を選択すると、格納された証明書を削除します。
CA証明書	格納済みのCA証明書に設定された[発行先]、[発行者]、[有効期間]を表示します。証明書が設定されていない場合は空白となります。CA証明書の設定は、[セキュリティ]で[WPA/WPA2-EAP]選択時に、認証サーバーの証明書の認証を行うときに必要です。 [削除]を選択すると、格納された証明書を削除します。

サブメニュー	機能
自己署名証明書	<p>([セキュアHTTP]を[オン]に設定しているときのみ)</p> <p>本機に内蔵されたサーバー機能が保持する証明書の[発行先]、[発行者]、[有効期間]を表示します。Webサーバー証明書が設定されているときは表示されません。</p> <p>[更新]を選択すると、自己署名証明書を更新します。</p>
Webサーバー証明書	<p>([セキュアHTTP]を[オン]に設定しているときのみ)</p> <p>本機に設定された証明書の[発行先]、[発行者]、[有効期間]を表示します。自己署名証明書が設定されているときは表示されません。</p> <p>[削除]を選択すると、格納された証明書を削除します。</p>



- 証明書の設定はWeb制御を使って行います。  
 ● 「証明書の設定をする」 p.158
- 本機への電子証明書のインストールは、USBストレージから行うことができます。ただし、USBストレージとネットワークの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

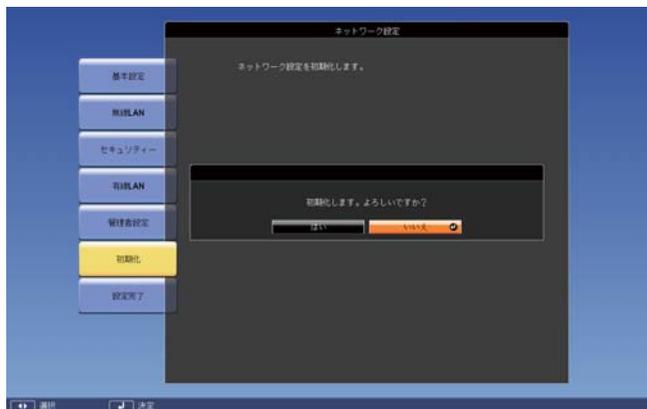
## SNMPメニュー



サブメニュー	機能
SNMP	<p>[オン]にすると、<b>SNMP</b>▶を使用して本機の監視をします。本機を監視するには、コンピューター側にSNMPマネージャープログラムがインストールされている必要があります。SNMPによる管理は、必ずネットワーク管理者が行ってください。初期値は[オフ]に設定されています。</p>
トラップIPアドレス1/トラップIPアドレス2	<p>SNMPのトラップ通知先のIPアドレスを2つまで登録できます。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。          127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)</p>
コミュニティ名	<p>SNMPのコミュニティ名を設定します。半角英数字で最大32文字まで入力できます(記号は@のみ使用できます)。</p>

## 初期化メニュー

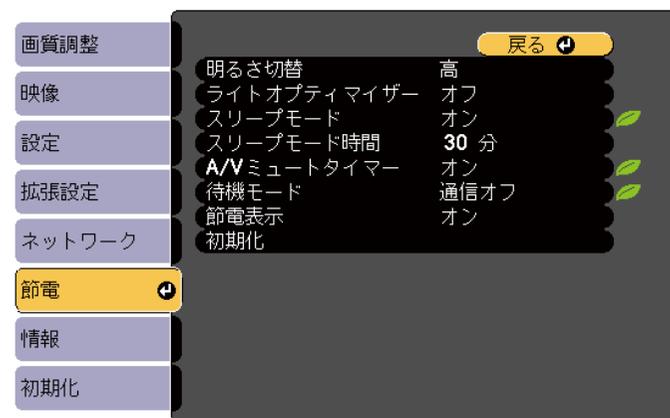
ネットワークの設定をすべて初期化します。



サブメニュー	機能
ネットワーク設定を初期化します。	ネットワーク設定をすべて初期化するときは[[はい]]を選択します。 初期化を実行すると、パスフレーズや管理者パスワード、証明書管理メニューの設定も初期値に戻り、証明書は削除されます。 初期化した後は、基本設定メニューに移行します。

## 節電メニュー

節電メニューを設定すると、本機の消費電力を抑える効果を発揮します。節電効果が有効な設定にしているときは、各サブメニューの横に葉っぱのアイコンが表示されます。



サブメニュー	機能
明るさ切替	ランプの明るさを2段階で切り替えることができます。暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投写映像が明るすぎるときは[[低]]に設定します。[[低]]で使用すると、投写中の消費電力とファン回転音が低下します。 [[オート]]に設定すると、照度センサーで周りの明るさを感知してランプの明るさを自動的に調整します。 高地や高温な場所でお使いのときは、設定が変更できなくなる場合があります。

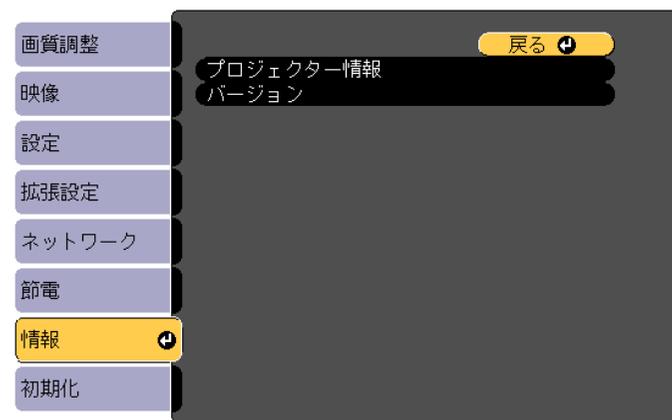
サブメニュー	機能
ライトオプティマイザー	<p>([明るさ切替]を[高]または[オート]に設定しているときのみ設定可能)</p> <p>[オン]に設定すると、投写する映像に応じてランプの明るさを調整します。状況に応じてランプを低輝度で動作させることにより、消費電力を軽減させることができます。</p> <p>設定値はカラーモードごとに保存されます。</p>
スリープモード	<p>[オン]に設定すると、映像信号が未入力のまま、一定時間操作しないときに自動で電源を切ります。また、映像信号が未入力状態で一定時間経つと、電源が切れるまでランプの明るさを抑えて動作します。映像信号が入力されたときは、通常の動作状態に戻ります。</p>
スリープモード時間	<p>[スリープモード]を[オン]にしたときに、自動で電源を切るまでの時間を1~30分の範囲で設定します。</p>
AVミュートタイマー	<p>[オン]に設定すると、AVミュートを実行してから約30分後に自動で電源を切ります。また、AVミュートを実行して一定時間経つと、電源が切れるまでランプの明るさを抑えて動作します。AVミュートを解除したときは、通常の動作状態に戻ります。</p>
待機モード	<p>[通信オン]に設定すると、本機がスタンバイ状態のときでも、以下の操作が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機をネットワーク経由でコンピューターから監視・制御する</li> <li>• 音声や映像を外部機器に出力する([AV出力]が[常時]のときのみ)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> 本機を無線LAN経由で監視・制御するときは、[接続モード]を[マニュアルモード]に設定してください。</p> <p>☛ [ネットワーク] - [無線LAN] - [接続モード] <a href="#">p.192</a></p> </div>

サブメニュー	機能
節電表示	<p>[オン]に設定すると、ランプの明るさが通常状態から低輝度または低輝度から通常状態に変わるときに、節電状況を表す葉っぱのアイコンを投写画面の左下に表示します。</p>
初期化	<p>[節電]メニューのうち、[待機モード]を除くすべての調整値を初期値に戻します。全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。</p> <p>☛「初期化メニュー」<a href="#">p.189</a></p>

## 情報メニュー(表示のみ)

投写している映像信号や本機の状態を確認できます。現在投写している入力ソースにより表示される項目が異なります。お使いの機種により対応していない入力ソースもあります。

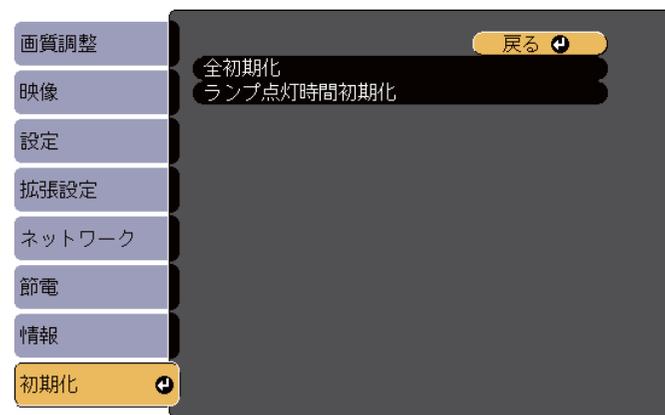
☛「入力信号を自動検出して切り替える(入力検出)」[p.56](#)



サブメニュー	機能
プロジェクター情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [ランプ点灯時間]：ランプの累積使用時間※を表示しています。ランプ寿命警告時間に達すると、文字が黄色に変わります。</li> <li>• [入力ソース]：現在投写中の機器を接続している入力ソース名を表示しています。</li> <li>• [入力信号]：[映像]メニューの[入力信号方式]の設定内容を入力ソースに応じて表示しています。</li> <li>• [入力解像度]：入力解像度を表示しています。</li> <li>• [ビデオ信号方式]：[映像]メニューの[ビデオ信号方式]の設定内容を表示しています。</li> <li>• [リフレッシュレート]：リフレッシュレート▶▶を表示しています。</li> <li>• [同期情報]：映像信号の情報を表示しています。お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。</li> <li>• [ステータス]：本機に発生した異常についての情報です。お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。</li> <li>• [シリアル番号]：本機のシリアル番号を表示します。</li> <li>• [Event ID]：ネットワークを介して本機とコンピューターを接続しているときにトラブルが生じると、トラブルの内容が番号(Event ID)で表示されます。Event IDの見方は、次を参照してください。   「Event IDについて」 p.229</li> </ul>
バージョン	[Main]/[Main2]：本機のソフトウェアのバージョンを表示します。

※ 累積使用時間が0～10時間までは「0H」と表示されます。10時間以上は「10H」、「11H」と1時間単位で表示されます。

## 初期化メニュー



サブメニュー	機能
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 [入力信号方式]、[ズーム]、[デジタルピクチャーシフト]、[ユーザーロゴ]、[ネットワーク]メニューの全項目、[ランプ点灯時間]、[言語]、[パスワード]は初期値に戻りません。
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の累積をクリアします。ランプを交換したときに行ってください。

프로젝터で一度設定した環境設定メニューの内容を、その他複数の 프로젝터に一括で設定できます(一括設定機能)。

以下のいずれかの方法で設定します。

- USBメモリーを使って設定する。
- EasyMP Network Updaterを経由して設定する。

詳しくは『設置工事説明書』をご覧ください。

☛ [『設置工事説明書』](#)



## 困ったときに

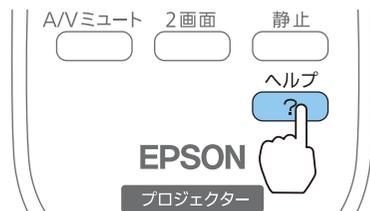
ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

トラブル発生時の解決方法を投写映像に表示できます。質問に答えていくと適切な状態に設定することもできます。

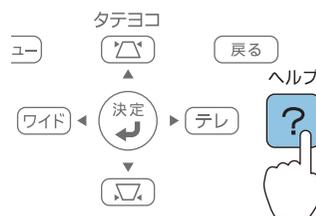
## 1 【ヘルプ】ボタンを押します。

ヘルプ画面が表示されます。

### リモコンの場合



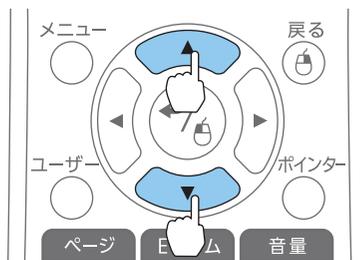
### 操作パネルの場合



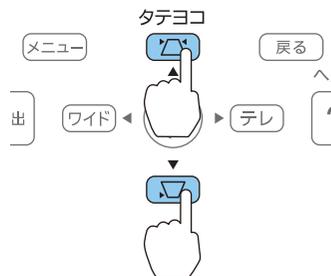
## 2 項目を選択します。



### リモコンの場合

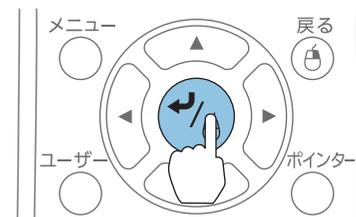


### 操作パネルの場合

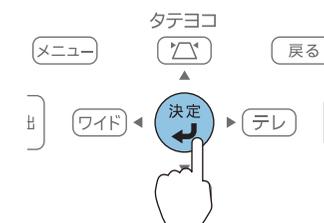


## 3 項目を決定します。

### リモコンの場合

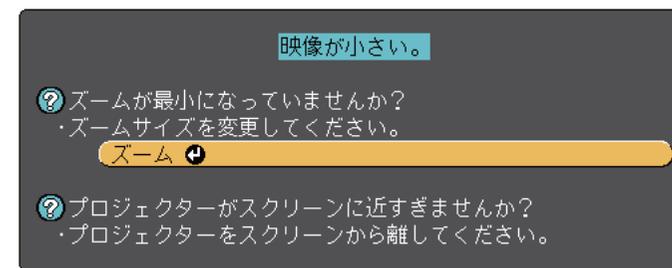


### 操作パネルの場合



以下の画面のように質問と対処法が表示されます。

【ヘルプ】ボタンを押すとヘルプは解除されます。



ヘルプ機能を使ってもわからないときは、以下をご覧ください。

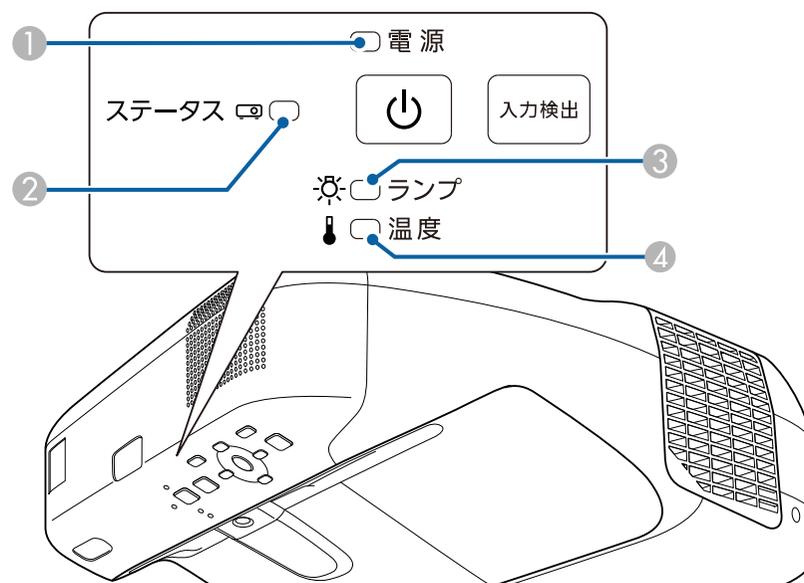
「故障かなと思ったら」 [p.208](#)

故障かな?と思ったら、まず本機のインジケータをご覧になり下記の「インジケータの見方」で本機の状態をご確認ください。  
インジケータをご覧になってもわからないときは、以下をご確認ください。

● 「インジケータを見てもわからないとき」 [p.212](#)

## インジケータの見方

本機には、次の4種類のインジケータがあります。インジケータの色と点灯状態によって本機の状態をお知らせします。



- ① 電源インジケータ
- ② ステータスインジケータ
- ③ ランプインジケータ

本機の状態をお知らせします。  
本機の状態をお知らせします。  
ランプの状態をお知らせします。

#### ④ 温度インジケータ 内部温度の状態をお知らせします。

インジケータ		状態	説明
電源	ステータス		
■ 青点灯	□ 消灯	スタンバイ状態	本機に電源が供給されている状態です。この状態で【⏻】電源ボタンを押すと投写を開始します。
		ネットワーク監視状態	ネットワーク経由で、本機の監視と制御を行なっている状態です（[待機モード]を[通信オン]にしているとき）。この状態のときに電源コードの抜き差しをすると、電源インジケータが青色に点滅します。
■ 青点灯	🔦 青点滅	ウォームアップ状態	本機の電源を入れた直後の状態です。ランプ点灯後、約30秒間ウォームアップ状態になります。この状態のときは、【⏻】電源ボタンを押しても電源を切ることができません。
		クールダウン状態	本機の電源を切った直後の状態です。この状態のときは、すべてのボタン操作が無効になります。
■ 青点灯	■ 青点灯	通常状態	投写中の状態です。

インジケータの状態とその対処方法については、次の表を参照してください。

インジケータがすべて消灯している場合は、電源コードが正しく接続されていないか、または電気が十分に供給されていません。

電源コードを抜いても【⏻】電源インジケータがしばらく点灯したままになることがあります。故障ではありません。

インジケータ				原因	処置または状態
電源	ステータス	ランプ	温度		
□ 消灯	🔦 青点滅	🔦 橙点滅	□ 消灯	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☎️【お問い合わせ先】
□ 消灯	🔦 青点滅	□ 消灯	🔦 橙点滅	ファン異常 センサー異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☎️【お問い合わせ先】

インジケーター				原因	処置または状態
電源	ステータス	ランプ	温度		
□ 消灯	 青点滅	□ 消灯	 橙点灯	内部高温異常 (オーバーヒート)	<p>ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態待ちます。約5分後、スタンバイ状態になりますので、次の2点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。</li> <li>エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換をします。 ☛「エアフィルターの掃除」 p.233,「エアフィルターの交換」 p.240</li> </ul> <p>上記を確認後もエラーになるときはご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛『お問い合わせ先』</p> <p>標高1500m以上の場所でお使いのときは、[高地モード]を[オン]にしてください。 ☛[拡張設定] - [動作設定] - [高地モード] p.181</p>
□ 消灯	 青点滅	 橙点灯	□ 消灯	ランプ異常 ランプ点灯失敗	<p>次の2点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ランプを取り出してランプが割れていないか確認します。 ☛「ランプの交換」 p.236</li> <li>エアフィルターを掃除します。 ☛「エアフィルターの掃除」 p.233</li> </ul> <p><b>割れていないとき</b>：ランプを再セットして、電源プラグをコンセントに接続します。 <b>それでもエラーになるとき</b>：ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛『お問い合わせ先』</p> <p><b>割れているとき</b>：お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください(ランプを交換しないと映像を投写することはできません)。 ☛『お問い合わせ先』</p> <p>標高1500m以上の場所でお使いのときは、[高地モード]を[オン]にしてください。 ☛[拡張設定] - [動作設定] - [高地モード] p.181</p>
				ランプカバー開放状態	<p>ランプとランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。 ランプとランプカバーの取り付けが不完全なときはランプが点灯しません。 ☛「ランプの交換」 p.236</p>
□ 消灯	 青点滅	 橙点滅	 橙点滅	オートアイリス異常	<p>ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛『お問い合わせ先』</p>

インジケータ				原因	処置または状態
電源	ステータス	ランプ	温度		
□ 消灯	 青点滅	 橙点灯	 橙点灯	電源系異常	
 青点滅	■ 状態依存	■ 状態依存	 橙点滅	高温警告	(異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動停止します。) <ul style="list-style-type: none"> <li>エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。</li> <li>エアフィルターが目詰まりしている場合は、掃除または交換をしてください。   「エアフィルターの掃除」 p.233, 「エアフィルターの交換」 p.240</li> </ul>
 青点滅	■ 状態依存	 橙点滅	■ 状態依存	ランプ交換勧告	新しいランプに交換してください。  「ランプの交換」 p.236 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。
□ 消灯	 青点滅	 橙点灯	 橙点灯	障害物検知異常	警告音が鳴り、「投写窓付近の障害物を取り除いてください。」と表示されます。そのままの状態にしておくと、自動的に電源がオフになります。次の2点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>投写窓付近に障害物がないか確認します。障害物があるときは取り除きます。</li> <li>障害物がないときは、障害物検知センサーを掃除します。   「障害物検知センサーの掃除」 p.232</li> </ul> それでもエラーになるとき：ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。  『お問い合わせ先』



- インジケータは異常を示していないのに、投写映像が異常のときは、以下をご覧ください。  
 「インジケータを見てもわからないとき」 p.212
- 各インジケータがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。  
 『お問い合わせ先』

## インジケータを見てわからないとき

まず、下記をご覧になりどのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。

### 映像に関するトラブル

<ul style="list-style-type: none"> <li>映像が表示されない 投写を開始しない・真っ黒の映像になる</li> </ul>	☞ p.213
<ul style="list-style-type: none"> <li>動画が表示されない(動画の部分だけが黒くなる) コンピューターで再生する動画が黒くなり映像が投写されない</li> </ul>	☞ p.214
<ul style="list-style-type: none"> <li>自動的に投写が消える</li> </ul>	☞ p.214
<ul style="list-style-type: none"> <li>「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される</li> </ul>	☞ p.214
<ul style="list-style-type: none"> <li>「映像信号が入力されていません。」と表示される</li> </ul>	☞ p.215
<ul style="list-style-type: none"> <li>ぼやける、ピントが合わない、ゆがむ</li> </ul>	☞ p.215
<ul style="list-style-type: none"> <li>ノイズが入る、乱れる</li> </ul>	☞ p.216
<ul style="list-style-type: none"> <li>マウスカーソルがちらつく(USBディスプレイ投写時のみ)</li> </ul>	☞ p.217
<ul style="list-style-type: none"> <li>映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクト比が合っていない、反転している 映像の一部分しか投写されない、映像の縦横の比率が正しくない</li> </ul>	☞ p.217
<ul style="list-style-type: none"> <li>色合いが違う 全体が赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむ</li> </ul>	☞ p.218
<ul style="list-style-type: none"> <li>暗い</li> </ul>	☞ p.218

### 投写開始時のトラブル

<ul style="list-style-type: none"> <li>電源が入らない</li> </ul>	☞ p.219
---	---------

## インタラクティブ機能に関するトラブル

<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクターの投写画面に描画できない</li> </ul>	☞ p.220
<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピューターと接続して投写画面上でコンピューターを操作できない</li> </ul>	☞ p.220
<ul style="list-style-type: none"> <li>「Easy Interactive Functionにエラーが発生しました。」と表示される</li> </ul>	☞ p.221
<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピューターのマウスが正しく動作しない</li> </ul>	☞ p.221
<ul style="list-style-type: none"> <li>Easy Interactive Penが動作しない</li> </ul>	☞ p.221
<ul style="list-style-type: none"> <li>Easy Interactive Penの反応が遅い(USBディスプレイ投写時のみ)</li> </ul>	☞ p.222
<ul style="list-style-type: none"> <li>指での操作(タッチ操作)がうまくできない(EB-1430WTのみ)</li> </ul>	☞ p.222
<ul style="list-style-type: none"> <li>手動ペン位置合わせ時に、ドットが次の位置に移動しない/自動的に移動してしまう</li> </ul>	☞ p.223
<ul style="list-style-type: none"> <li>共有が許可されたプロジェクターのホワイトボードに接続できない</li> </ul>	☞ p.223
<ul style="list-style-type: none"> <li>共有しているホワイトボードの描画内容が他の機器のホワイトボードに反映されない</li> </ul>	☞ p.223
<ul style="list-style-type: none"> <li>共有しているホワイトボードの画面をWebブラウザで保存できない</li> </ul>	☞ p.224
<ul style="list-style-type: none"> <li>キャプチャー、印刷、または保存の操作中に操作できなくなった</li> </ul>	☞ p.224
<ul style="list-style-type: none"> <li>キャプチャーした投写画面を正常に貼り付けられない</li> </ul>	☞ p.224
<ul style="list-style-type: none"> <li>正常に印刷できない</li> </ul>	☞ p.225
<ul style="list-style-type: none"> <li>正常にスキャンできない</li> </ul>	☞ p.225
<ul style="list-style-type: none"> <li>時計がずれている、内部ストレージの設定が正しく反映されない</li> </ul>	☞ p.225
<ul style="list-style-type: none"> <li>入力ソースの変更ができない</li> </ul>	☞ p.225

## その他のトラブル

<ul style="list-style-type: none"> <li>音が出ない・小さすぎる</li> </ul>	☞ p.226
---	---------

• 音声にノイズが混ざる(USBディスプレイ投写時のみ)	☞ p.226
• リモコンで操作できない	☞ p.227
• メッセージやメニューの言語を変更したい	☞ p.227
• 無線LANの認証設定ができない	☞ p.227

• プロジェクターに異常が起きててもメール通知されない	☞ p.228
• 「時刻を保持する電池残量が低下しています。」と表示される	☞ p.228
• Webブラウザを使って設定を変更できない	☞ p.228

## 映像に関するトラブル

### 映像が表示されない

確認	対処法
【Ⓛ】電源ボタンを押しましたか？	【Ⓛ】電源ボタンを押して電源を入れます。
インジケータがすべて消灯していませんか？	電源コードが正しく接続されていない、または電気が供給されていません。 本機に電源コードを正しく接続してください。 ☞ 「設置から投写までの流れ」 p.55 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
AVミュートの状態になっていませんか？	リモコンの【AVミュート】ボタンを押してAVミュートを解除します。 ☞ 「映像と音声を一時的に消す (AVミュート)」 p.142
環境設定メニューの設定で間違っているものはありませんか？	全初期化してみてください。 ☞ 「初期化」 - 「全初期化」 p.204
入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？ (コンピューター投写時のみ)	スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
映像の信号形式の設定は合っていますか？ (ビデオ機器投写時のみ)	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 ☞ 「映像」 - 「ビデオ信号方式」 p.178
USBケーブルが正しく接続されていますか？ (USBディスプレイ投写時のみ)	USBケーブルが正しく接続されているかを確認します。接続されていなかったり間違っていて接続されているときは、接続し直します。
Windows Media Centerを全画面表示にしていますか？ (USBディスプレイ、ネットワーク接続時のみ)	Windows Media Centerを全画面で表示すると、USBディスプレイまたはネットワーク接続で投写できません。縮小画面表示にしてください。
WindowsのDirectX機能を使用するアプリケーションを表示していませんか？ (USBディスプレイ、ネットワーク接続時のみ)	WindowsのDirectX機能を使用するアプリケーションは、正しく表示されない可能性があります。

## 動画が表示されない(動画の部分だけが黒くなる)

確認	対処法
コンピュータ映像信号が外部と液晶画面の両方に出力されていませんか？ (ノートや液晶一体型タイプのコンピュータ投写時のみ)	コンピュータ側の映像信号を外部のみの出力に切り替えます。コンピュータに添付の取扱説明書、あるいはお使いのコンピュータのメーカーにお問い合わせください。
動画コンテンツが著作権保護されていませんか？	著作権保護された動画コンテンツをコンピュータで再生すると、プロジェクターから投写されないことがあります。詳しくはプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

## 自動的に投写が消える

確認	対処法
[スリープモード]、[AVミュートタイマー]を[オン]にしていませんか？	各設定を[オン]にしていると、以下のときに自動的に電源を切ります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [スリープモード]が[オン]：映像信号が未入力状態で一定時間操作しなかったとき</li> <li>• [AVミュートタイマー]が[オン]：AVミュートを実行してから約30分経過したとき</li> </ul> 自動的に電源が切れないようにしたいときは、各設定を[オフ]にしてください。 ☛ [節電] - [スリープモード]/[AVミュートタイマー] <a href="#">p.202</a>
コンピュータの省電力設定が有効になっていませんか？	コンピュータの省電力設定が有効のとき、一定時間コンピュータを操作しないと映像が消えることがあります。コンピュータを操作して映像を再表示してください。

## 「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ (ビデオ機器投写時のみ)	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 ☛ [映像] - [ビデオ信号方式] <a href="#">p.178</a>
映像信号の解像度やリフレッシュレートが対応するモードですか？ (コンピュータ投写時のみ)	コンピュータから出力されている映像信号の解像度・リフレッシュレートの変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。 ☛ 「対応解像度一覧」 <a href="#">p.247</a>

### 「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ☛「設置から投写までの流れ」p.55
接続した入力端子を正しく選択していますか？	リモコン、操作パネル、またはコントロールパッドの【入力検出】ボタンを押して映像を切り替えます。 ☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」p.56
接続されたコンピューターやビデオ機器の電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源を入れます。
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ (ノートや液晶一体型タイプのコンピューター投写時のみ)	映像信号がコンピューターの液晶モニターや付属モニターにだけ出力されている場合は、外部にも出力するように切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターや付属モニターに映像が出せないモデルもあります。 本機やコンピューターの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFnキー(ファンクションキー)が働かないことがあります。本機およびコンピューターの電源を入れ直してください。 ☛「設置から投写までの流れ」p.55 ☛コンピューターの取扱説明書など
コンピューターの省電力設定が有効になっていませんか？	コンピューターの省電力設定が有効のとき、一定時間コンピューターを操作しないと映像が消えることがあります。コンピューターを操作して映像を再表示してください。

### ぼやける、ピントが合わない、ゆがむ

確認	対処法
ピントは正しく調整されていますか？	フォーカスレバーでピントを合わせます。 ☛「ピントのズレを補正する」p.67
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲を外れていませんか？ 推奨範囲内で設置してください。 ☛「スクリーンサイズと投写距離」p.245
台形補正の調整値を大きくしていませんか？	投写角度を小さくして台形補正の調整値を小さくしてください。 ☛「映像の高さを調整する（フット同梱機種のみ）」p.66
アスペクト比▶▶は正しく設定されていますか？	入力信号の種類、縦横比、解像度に合わせて、投写映像のアスペクト比を切り替えます。 ☛「投写映像のアスペクト比を切り替える」p.71

確認	対処法
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に使用する部屋に本機を設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。

## ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ (ビデオ機器投写時のみ)	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 ☛ [映像] - [ビデオ信号方式] p.178
ケーブル類は正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ☛ 「接続する」 p.34
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを接続して確認してください。
解像度の選択は正しいですか？ (コンピューター投写時のみ)	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 ☛ 「対応解像度一覧」 p.247 ☛ コンピューターの取扱説明書など
同期▶▶・トラッキング▶▶は正しく調整されていますか？ (コンピューター投写時のみ)	リモコンの【自動調整】ボタンまたは操作パネルの【↵】ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれないときは、環境設定メニューから調整することもできます。 ☛ [映像] - [トラッキング]、[同期] p.178
[入力解像度]を[オート]以外に設定していますか？ (2画面投写時のみ)	環境設定メニューの[入力解像度]で設定している解像度と、投写している映像の入力解像度が異なるときは、映像が乱れることがあります。 映像が乱れるときは[入力解像度]を[オート]に設定してください。 ☛ [映像] - [入力解像度] p.178
[レイヤードウィンドウの転送]にチェックマークが入っていませんか？ (USBディスプレイ投写時のみ)	コンピューターで[すべてのプログラム] - [EPSON Projector] - [Epson USB Display] - [Epson USB Display Vx.xxの設定]の順にクリックして、[レイヤードウィンドウの転送]のチェックを外します。

## マウスカーソルがちらつく(USBディスプレイ投写時のみ)

確認	対処法
[デスクトップ画面のマウスカーソルをきれいにする]にチェックマークが入っていますか？	<p>コンピューターで[すべてのプログラム]-[EPSON Projector]-[Epson USB Display]-[Epson USB Display Vx.xxの設定]の順にクリックして、[デスクトップ画面のマウスカーソルをきれいにする]にチェックを入れます。(Windows 2000は対応していません。)</p> <p>Windows Vista/7の場合、チェックを入れるとWindows Aeroが無効になります。</p>

## 映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクトが合っていない、反転している

確認	対処法
ワイドパネルのコンピューター映像を投写していますか？ (コンピューター投写時のみ)	<p>接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。</p> <p>☛ [映像]-[入力解像度] <a href="#">p.178</a></p>
Eズームで拡大したままになっていませんか？	<p>リモコンの【戻る】ボタンを押してEズーム機能を解除します。</p> <p>☛ 「映像を部分的に拡大する (Eズーム)」 <a href="#">p.144</a></p>
表示位置は正しく調整されていますか？	<p>(コンピューター入力端子から入力しているアナログRGB信号の投写時のみ)</p> <p>リモコンの【自動調整】ボタンまたは操作パネルの【↵】ボタンを押して、表示位置を調整します。</p> <p>表示位置は環境設定メニューからも調整できます。</p> <p>☛ [映像]-[表示位置] <a href="#">p.178</a></p>
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？ (コンピューター投写時のみ)	<p>接続しているコンピューターのコントロールパネルの[画面のプロパティ]でデュアルディスプレイの設定をしていると、コンピューター画面の映像が半分くらいしか投写されません。コンピューター画面の映像をすべて投写するときは、デュアルディスプレイの設定を解除します。</p> <p>☛ コンピューターのビデオドライバーの取扱説明書</p>
解像度の選択は正しいですか？ (コンピューター投写時のみ)	<p>本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。</p> <p>☛ 「対応解像度一覧」 <a href="#">p.247</a></p> <p>☛ コンピューターの取扱説明書など</p>
ズーム調整または台形補正後に映像の位置を調整しましたか？	<p>ズーム調整または台形補正後にデジタルピクチャーシフトを行い、映像の位置を調整します。</p> <p>☛ 「映像の位置を調整する (デジタルピクチャーシフト)」 <a href="#">p.65</a></p>
設置モードは正しいですか？	<p>設置状況に合わせて、設置モードを[フロント][フロント・上下反転][リア][リア・上下反転]から設定します。</p> <p>☛ [拡張設定]-[設置モード] <a href="#">p.181</a></p> <p>☛ 「いろいろな設置方法」 <a href="#">p.31</a></p>

## 色合いが違う

確認	対処法
入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか？	以下のとおり接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• コンピューター入力端子に接続した機器の映像のとき   [映像] - [入力信号方式] <a href="#">p.178</a></li> <li>• ビデオ入力端子に接続した機器の映像のとき   [映像] - [ビデオ信号方式] <a href="#">p.178</a></li> </ul>
映像の明るさは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの[明るさ]を調整してください。  [画質調整] - [明るさ] <a href="#">p.177</a>
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。  「接続する」 <a href="#">p.34</a>
コントラスト▶▶は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの[コントラスト]を調整してください。  [画質調整] - [コントラスト] <a href="#">p.177</a>
適切なカラー調整に設定されていますか？	環境設定メニューの[ガンマ]、[RGB]、[RGBCMY]を調整してください。  [画質調整] - [アドバンスト] <a href="#">p.177</a>  「画質を調整する」 <a href="#">p.69</a>
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ (ビデオ機器投写時のみ)	環境設定メニューの[色の濃さ]、[色合い]を調整してください。  [画質調整] - [色の濃さ]、[色合い] <a href="#">p.177</a>

## 暗い

確認	対処法
映像の明るさは正しく設定されていますか？	環境設定メニューから[明るさ]や[明るさ切替]を設定してください。  [画質調整] - [明るさ] <a href="#">p.177</a>  [節電] - [明るさ切替] <a href="#">p.202</a>
コントラスト▶▶は正しく調整されていますか？	環境設定メニューから[コントラスト]を調整してください。  [画質調整] - [コントラスト] <a href="#">p.177</a>
ランプの交換時期ではありませんか？	ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。  「ランプの交換」 <a href="#">p.236</a>

確認	対処法
高地や高温な場所で本機を使っていませんか？	高地や高温な場所でお使いのときは、画面が暗くなることがあります。このときは、[明るさ切替]の設定ができませんが、そのまま使い続けて問題ありません。

## 投写開始時のトラブル

### 電源が入らない

確認	対処法
【  】電源ボタンを押しましたか？	【  】電源ボタンを押して電源を入れます。
インジケータがすべて消灯していませんか？	電源コードが正しく接続されていない、または電気が供給されていません。 電源コードを抜いて挿し直してください。 ☛ [設置から投写までの流れ] p.55 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
電源コードを触ると、インジケータが点いたり消えたりしませんか？	電源コードが接触不良を起こしているか、電源コードが故障している可能性があります。電源コードを挿し直してください。それでも直らないときは、ご使用をやめ電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。 ☛ 『お問い合わせ先』
[操作ボタンロック]が[全ロック]になっていませんか？	リモコンの【  】ボタンを押します。[操作ボタンロック]を働かせないときは設定を[オフ]にしてください。 ☛ [設定] - [操作ボタンロック] p.180
リモコン受光部の設定は正しいですか？	環境設定メニューの[リモコン受光部]の設定を確認してください。 ☛ [設定] - [リモコン受光部] p.180

## インタラクティブ機能に関するトラブル

### プロジェクターの投写画面に描画できない

確認	対処法
正しくペン位置合わせされていますか？	Easy Interactive Penを初めて使うときは、ペン位置を本機に正しく認識させるため、必ずペン位置合わせを行ってください。 また、位置ずれが気になるときは、再度ペン位置合わせを行ってください。 ☛ 「自動ペン位置合わせ」 p.79
「ペンモード」が「マウス操作」になっていませんか？	環境設定メニューで「ペンモード」を「PCレスインタラクティブ」に設定してください。 ☛ 「拡張設定」 - 「Easy Interactive Function」 - 「ペンモード」 p.181

### コンピューターと接続して投写画面上でコンピューターを操作できない

確認	対処法
「拡張設定」は正しく設定されていますか？	コンピューターの機能と組み合わせて使用するには、以下を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>環境設定メニューで、「ペンモード」を「マウス操作」に設定します。</li> <li>環境設定メニューで、「拡張設定」 - 「USB Type B」を「Easy Interactive Function」または「USB Display/Easy Interactive Function」に設定します。USBディスプレイを使っているときは、「USB Display/Easy Interactive Function」に設定します。</li> </ul> ☛ 「拡張設定」 - 「USB Type B」 p.181
「ペン動作モード」は正しく設定されていますか？	EB-1420WTの場合：マウス操作をするときは、環境設定メニューで「ペン動作モード」を「2人で書く/マウス」または「1人で書く/マウス」に設定してください。 EB-1430WTの場合：マウス操作をするときは、接続しているコンピューターのOSに合わせて環境設定メニューで「ペン動作モード」を設定してください。 ☛ 「拡張設定」 - 「Easy Interactive Function」 - 「ペン動作モード」 p.181
USBケーブルは正しく接続されていますか？	USBケーブルの接続を確認してください。USBケーブルを一度抜いてから再度接続することで、問題が解消することがあります。
ノートタイプのコンピューターをお使いの場合、バッテリーが不足するとUSBポートが機能しなくなり、USBデバイスが利用できなくなる可能性があります。	コンピューターの電源をコンセントにつないでください。

## 「Easy Interactive Functionにエラーが発生しました。」と表示される

確認	対処法
インタラクティブ機能にエラーが発生しています。	お問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。 ☛ <a href="#">「お問い合わせ先」</a>

## コンピューターのマウスが正しく動作しない

確認	対処法
投写面内にEasy Interactive Penが置かれていませんか？	Easy Interactive Penを投写面の外に移動させるか、Easy Interactive Penの電源をオフにしてください。

## Easy Interactive Penが動作しない

確認	対処法
Easy Interactive Penから本機へ信号を送信する経路に障害物があります。	障害物を移動してください。また、投写面の前に立つときは、信号経路を妨げないでください。
赤外線を出す光源等と干渉しています。	赤外線リモコンや赤外線マイクロホンと同じ空間で使用すると、Easy Interactive Penが誤動作することがあります。赤外線を出す光源等を消灯してください。
電池が不足しています。	電池交換を行ってください。
周囲が明るすぎます。	投写面または本機のEasy Interactive Function受光部に強い光が当たらないようにしてください。
正しくペン位置合わせされていますか？	Easy Interactive Penを初めて使うときは、ペン位置を本機に正しく認識させるため、必ずペン位置合わせを行ってください。 また、位置ずれが気になるときは、再度ペン位置合わせを行ってください。 ☛ <a href="#">「自動ペン位置合わせ」</a> <a href="#">p.79</a>
同じ部屋で本機を2台以上使用していますか？	同じ部屋で本機を2台以上使用しているときは、Easy Interactive Pen同士が干渉し動作が不安定になることがあります。オプションのワイヤードリモコンケーブル(ELPKC28)でプロジェクター同士を接続してください。ワイヤードリモコンケーブルをお持ちでない方は、環境設定メニューの[複数台設置距離]の設定を変更してください。 ☛ <a href="#">「複数台のプロジェクターを接続する」</a> <a href="#">p.48</a> ☛ <a href="#">「拡張設定」</a> - <a href="#">「Easy Interactive Function」</a> - <a href="#">「複数台設置距離」</a> <a href="#">p.181</a>

## Easy Interactive Penの反応が遅い(USBディスプレイ投写時のみ)

確認	対処法
Windows Aeroが有効ですか？ (Windows Vista/7のみ)	Windows Aeroが有効のとき、Easy Interactive Penの動作が遅くなることがあります。お使いのコンピューター上で、Windows Aeroを無効に設定してください。 コンピューターで[すべてのプログラム] - [EPSON Projector] - [Epson USB Display] - [Epson USB Display Ver.x.xxの設定]の順にクリックして、[Windows Aeroを無効にしてインタラクティブペンの追従性を向上する]にチェックを入れます。

## 指での操作(タッチ操作)がうまくできない(EB-1430WTのみ)

確認	対処法
タッチユニットは正しく設置されていますか？	タッチユニットが正しく設置されていない可能性があります。詳しくは、同梱の『設置工事説明書』をご覧ください。 ☛『設置工事説明書』
タッチユニットの電源はオンになっていますか？	タッチユニットのインジケーターが青色に点灯していることを確認してください。タッチユニットのインジケーターが点灯していないときは、環境設定メニューの[タッチユニット設置]で[電源]が[オン]になっていることを確認してください。 ☛ [拡張設定]-[Easy Interactive Function]-[タッチユニット設置]-[電源] p.181 ☛『設置工事説明書』
タッチユニットの角度調整を行いましたか？	環境設定メニューから、タッチユニットの角度調整を行ってください。詳しくは、同梱の『設置工事説明書』をご覧ください。 ☛ [拡張設定]-[Easy Interactive Function]-[タッチユニット設置]-[角度調整] p.181 ☛『設置工事説明書』
指タッチ位置合わせを行いましたか？	指で描画している位置と実際に描画される位置がずれるときは、環境設定メニューから[指タッチ位置合わせ]を行ってください。 ☛「指タッチ位置合わせ」 p.84
タッチユニットやスクリーンの周囲に、ケーブルなどの障害物はありませんか？	タッチユニットのレーザー照射口やスクリーン内に障害物があると、本機が指の位置を正しく認識できません。タッチユニット周囲やスクリーン内にある障害物を取り除いてください。

### 手動ペン位置合わせ時に、ドットが次の位置に移動しない/自動的に移動してしまう

確認	対処法
近くに別の赤外線を出す光源等があるため、投写面の情報を正確に受信できていません。	赤外線を出す光源等を遠ざけるか、本機の取り付け位置を移動してください。
本機の位置が投写面に近すぎると、投写面の情報を正確に送受信できないことがあります。	投写距離の推奨範囲内に設置してください。 ☛「スクリーンサイズと投写距離」 p.245
周囲の赤外線を出す光源等の状態が不安定なため Easy Interactive Pen が無効になっています。	本機の取り付け位置を移動するか、赤外線を出す光源等を消灯してください。

### 共有が許可されたプロジェクターのホワイトボードに接続できない

確認	対処法
プロジェクターがネットワークに接続されていますか？	ホワイトボードを共有するときは、接続先のプロジェクターと同じネットワークに本機を接続する必要があります。 ☛「LANケーブルの接続」 p.46 ☛「無線LANユニットの取り付け」 p.47
正しいPINコードを入力しましたか？	PINコードの入力を10分間のうちに10回間違えると、その後3分間はホワイトボードへの接続が拒否されます。3分後に再度接続してください。

### 共有しているホワイトボードの描画内容が他の機器のホワイトボードに反映されない

確認	対処法
プロジェクターがネットワークに接続されていますか？	ホワイトボードを共有するときは、接続先のプロジェクターと同じネットワークに本機を接続する必要があります。 ☛「LANケーブルの接続」 p.46 ☛「無線LANユニットの取り付け」 p.47

確認	対処法
共有しているホワイトボードへのネットワーク接続が切れていませんか？	下段ツールバーで【  】をクリックしてください。ホワイトボードへ正しく接続しているときは、接続先のアドレスと[共有ホワイトボードの終了]ボタンが表示されます。[ホワイトボードの共有を開始]ボタンと[共有ホワイトボードに接続]ボタンが表示されたときは、ホワイトボードへの接続が切れています。もう一度接続を行ってください。 ●「他のプロジェクターのホワイトボードを閲覧する」 <a href="#">p.103</a>

### 共有しているホワイトボードの画面をWebブラウザで保存できない

確認	対処法
接続先のホワイトボードで、保存を許可する設定になっていますか？	接続先のプロジェクターがホワイトボード画面を保存時に、[参加者に配布]を設定したときのみ、接続先のホワイトボード画面をWebブラウザで保存できます。 ●「保存する（ホワイトボードモード）」 <a href="#">p.96</a>

### キャプチャー、印刷、または保存の操作中に操作できなくなった

確認	対処法
操作の途中でEasy Interactive Pen、リモコン、またはコントロールパッドでの操作に切り替えませんでしたか？	Easy Interactive Penで操作を開始したときは一連の操作を最後までEasy Interactive Penで行ってください。リモコンまたはコントロールパッドで操作を開始したときは、一連の操作を最後までリモコンまたはコントロールパッドで行ってください。

### キャプチャーした投写画面を正常に貼り付けられない

確認	対処法
投写映像が保護されたコンテンツではありませんか？	保護されたコンテンツはキャプチャーできません。

### 正常に印刷できない

確認	対処法
プリンターは正常に接続されていますか？	USB接続の場合は、プロジェクターのUSB-A端子か、コントロールパッドのUSB-A端子(プリンター用)に接続されていることを確認してください。ネットワーク接続の場合は、ホワイトボード設定画面で設定値を確認してください。その後、[テストページ印刷]を実行して正常に印刷できることを確認します。
2台のUSBプリンターが接続されていませんか？	USBプリンターは1台のみ接続してください。
プリンターにエラーが発生していませんか？	プリンターを操作してエラーを解除してください。

### 正常にスキャンできない

確認	対処法
プリンターは正常に接続されていますか？	スキャナー機能は、プリンターが正常に接続されていなければ動作しません。また、単体のスキャナーの接続はサポートされていません。
プリンターにエラーが発生していませんか？	プリンターを操作してエラーを解除してください。 プリンターがエラー状態の時は、プリンターのスキャナー機能も動作しません。
紙をセットしないで、ADFからの読み込みを行っていませんか？	ADFを使ってスキャンするときは、あらかじめ紙をADFにセットしてください。

### 時計がずれている、内部ストレージの設定が正しく反映されない

確認	対処法
時刻設定は正しいですか？	時計を合わせたり、ホワイトボードモードの内部ストレージ設定を正しく反映させたりするには、時刻設定が必要です。 ☛「スケジュール設定」p.167

### 入力ソースの変更ができない

確認	対処法
開く、スキャン、保存、または印刷を実行中ではありませんか？	処理には時間がかかることがあります。処理中は入力ソースの変更ができません。処理中に入力ソースを変更したいときは、処理をキャンセルします。

## その他のトラブル

### 音が出ない・小さすぎる

確認	対処法
オーディオケーブルは正しく接続されていますか？	音声入力端子からケーブルを抜いて挿し直してください。
プロジェクターの音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。  [設定]-[音量] p.180  「音量を調整する」p.69
コンピューターまたは映像機器の音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。
AVミュートの状態になっていませんか？	リモコンの【AVミュート】ボタンを押してAVミュートを解除します。  「映像と音声を一時的に消す (AVミュート)」p.142
オーディオケーブルの仕様は「抵抗なし」となっていますか？	市販のオーディオケーブルを使う場合は「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。
HDMIケーブルで接続していますか？	HDMIケーブルで接続していて音が出ないときは、接続先の機器の設定をPCM出力にしてください。
[音声をプロジェクターで出力する]にチェックマークが入っていますか？ (USBディスプレイ投写時のみ)	コンピューターで[すべてのプログラム]-[EPSON Projector]-[Epson USB Display]-[Epson USB Display Vx.xxの設定]で、[音声をプロジェクターで出力する]にチェックを入れます。
音声入力が正しく選択されていますか？	環境設定メニューの[音声出力]、[HDMI1音声出力]、[HDMI2音声出力]の設定を確認してください。  [拡張設定]-[AV出力設定] p.181

### 音声にノイズが混ざる(USBディスプレイ投写時のみ)

確認	対処法
コンピューターの音量を最小、プロジェクターの音量を最大に設定していませんか？	コンピューターの音量を最小、プロジェクターの音量を最大に設定していると、ノイズが混ざることがあります。コンピューターの音量は大きく、プロジェクターの音量は小さく設定してください。  [設定]-[音量] p.180

## リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部を本機のリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。 ☛ [リモコンの操作可能範囲] p.21
本機から離れすぎていませんか？	操作可能距離は、約6mです。 ☛ [リモコンの操作可能範囲] p.21
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部に当たる場所を避けて設置してください。または、環境設定メニューの[リモコン受光部]で光の影響を受けている方の受光部を[オフ]にしてください。 ☛ [設定] - [リモコン受光部] p.180
[リモコン受光部]の設定は正しいですか？	環境設定メニューの[リモコン受光部]の設定を確認してください。 ☛ [設定] - [リモコン受光部] p.180
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きにセットします。 ☛ [リモコンの電池交換] p.20

## メッセージやメニューの言語を変更したい

確認	対処法
言語の設定を変更します。	環境設定メニューの言語で目的の言語を選択してください。 ☛ [拡張設定] - [言語] p.181

## 無線LANの認証設定ができない

確認	対処法
時刻は正しく設定されていますか？	無線LANが正しく設定されているにもかかわらず、認証設定ができないときは、時刻の設定が正しくない可能性があります。正しく設定されているか確認してください。 ☛ [拡張設定] - [時刻/スケジュール設定] p.181

### プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない

確認	対処法
[待機モード]を[通信オン]に設定していますか？	本機がスタンバイ状態のときもメール通知機能を使うためには、環境設定メニューの[待機モード]を[通信オン]に設定します。 ☛ [節電] - [待機モード] <a href="#">p.202</a>
致命的な異常が発生し、本機が瞬時に起動停止状態になっていませんか？	瞬時に起動停止したときはメール送信できません。 本機を確認しても異常状態が復帰しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛ 『 <a href="#">お問い合わせ先</a> 』
本機に電源が供給されていますか？	本機が設置されている地域が停電になっていたり、本機の電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。
環境設定メニューでメール通知機能が正しく設定されていますか？	異常通知のメールは環境設定メニューの[メール通知機能]の設定に従って発信されます。正しく設定されているか確認してください。 ☛ 「 <a href="#">管理者設定メニュー</a> 」 <a href="#">p.198</a>

### 「時刻を保持する電池残量が低下しています。」と表示される

確認	対処法
時刻を保持する内部電源の残量が低下しています。	お買い求めいただいた販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛ 『 <a href="#">お問い合わせ先</a> 』

### Webブラウザを使って設定を変更できない

確認	対処法
ユーザーID、パスワードは正しいですか？	ユーザーIDには「EPSONWEB」を入力します。変更はできません。パスワードの設定が無効でも、ユーザーIDを入力します。 パスワードは、Web制御パスワードで設定した文字を入力します。パスワードの初期設定は「admin」です。管理者パスワードが設定されている場合に管理者設定メニューへ接続するときは、以下を入力してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザーID：EPSONADMIN</li> <li>• パスワード：設定した管理者パスワード</li> </ul>

番号を確認して以下のとおり対処してください。問題が解決しない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせいただくか、次に記載の連絡先にお問い合わせください。

☛ 『お問い合わせ先』

Event ID	要因	対処法
0432 0435	EasyMP Network Projectionの起動に失敗しました。	プロジェクターを再起動してください。
0434 0482 0484 0485	ネットワークの通信状態が不安定です。	ネットワークの通信状態を確認して、しばらくしてから再接続してください。
0433	転送された画像を再生できません。	EasyMP Network Projectionを再起動してください。
0481	コンピューターから通信が切断されました。	
0483 04FE	EasyMP Network Projectionが予期せず終了しました。	ネットワークの通信状態を確認して、プロジェクターを再起動してください
0479 04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。	プロジェクターを再起動してください。
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。	コンピューターやアクセスポイントとプロジェクターを同じSSIDに設定してください。
0892	WPA/WPA2の認証方式が一致しません。	無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。
0893	WEP/TKIP/AESの暗号化方式が一致しません。	☛ 「セキュリティメニュー」 p.194
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。	ネットワーク管理者に確認して指示に従ってください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。	DHCPサーバーが正しく動作しているか確認してください。DHCPを使用しないときは、DHCPの設定をオフにしてください。 ☛ 「ネットワークメニュー」 p.189
0899	その他、接続に関するエラー	プロジェクターまたはEasyMP Network Projectionを再起動しても問題が解決しない場合は、次に記載の連絡先にお問い合わせください。 ☛ 『お問い合わせ先』
089A	EAP認証タイプが不一致です。	無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。
089B	EAPのサーバー認証が失敗しました。	

Event ID	要因	対処法
089C	EAPのクライアント認証が失敗しました。	☛「セキュリティーメニュー」 <a href="#">p.194</a>
089D	鍵交換が失敗しました。	
0B01	内蔵ストレージが正常に検出されませんでした。	[内部データを全て削除]を実行してください。正常に終了した場合は、プロジェクターのコンセントを差し直して起動してください。正常に終了しない場合は、次に記載の連絡先にお問い合わせください。 ☛ <a href="#">『お問い合わせ先』</a>
0BFF	ホワイトボード機能にエラーが発生しました。	プロジェクターを再起動してください。



# メンテナンス

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くお使いいただくための補足的な知識について説明しています。

本機が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

## 注意

掃除をするときは本機の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

## 本機の掃除

本機の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

## 注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質、変色することがあります。

## 投写窓の掃除

投写窓の汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

## 警告

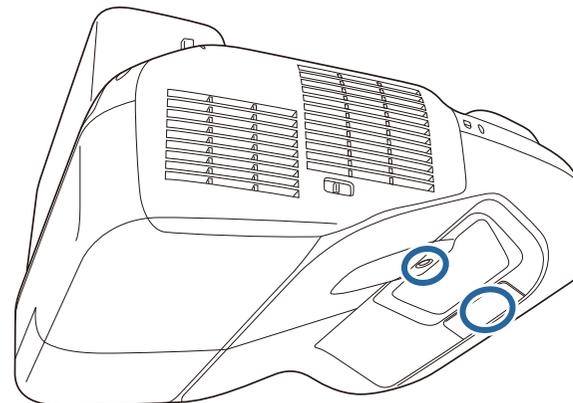
レンズに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

## 注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

## 障害物検知センサーの掃除

障害物がないのに、警告音とともに「投写窓付近の障害物を取り除いてください。」と表示される時は、障害物検知センサーの掃除をしてください。障害物検知センサーの汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。



## 警告

障害物検知センサーに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

## 注意

障害物検知センサーの表面は、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

センサーの表面に傷がつくと、誤作動の原因となります。

## エアフィルターの掃除

以下のメッセージが表示されたらエアフィルターや吸気口の掃除をしてください。

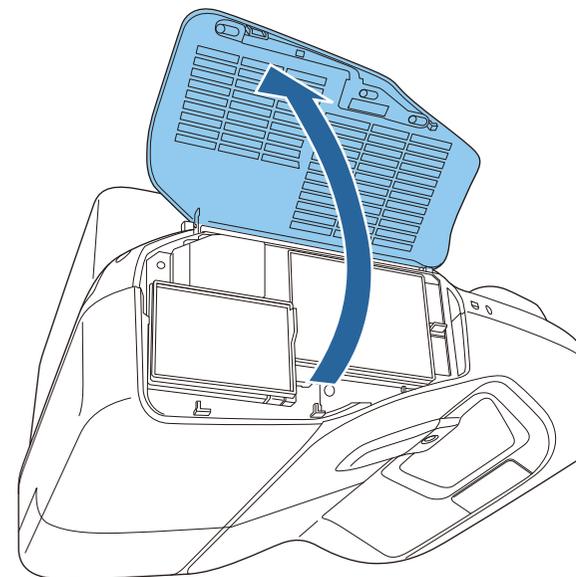
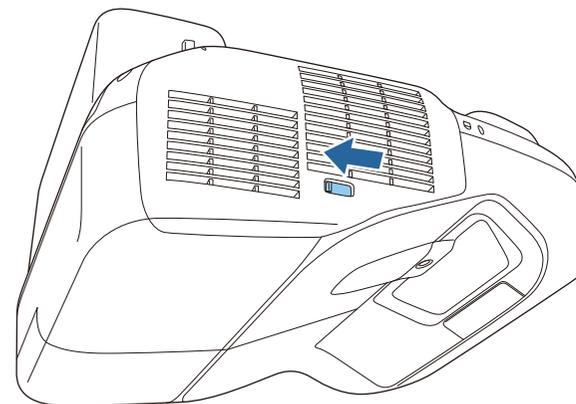
「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」

### 注意

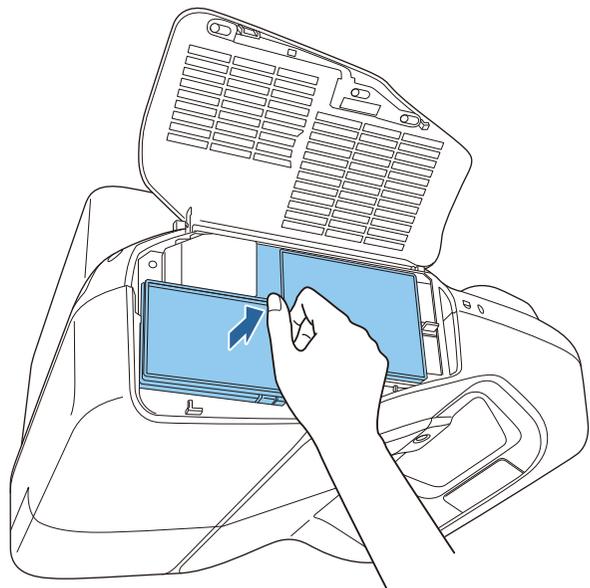
- エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。
- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- 掃除にブラシを使用するときは、毛先の長い柔らかいブラシで軽くなでるように掃除をしてください。強くこするとホコリがエアフィルター内部に入ってしまう、取れなくなることがあります。

- 1 本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源コードを外します。

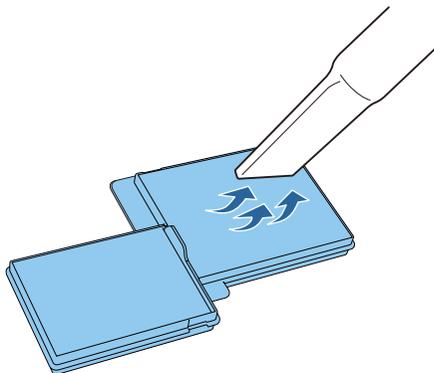
- 2 エアフィルターカバーを開けます。  
エアフィルターカバーのツメを押しながらカバーを開けます。



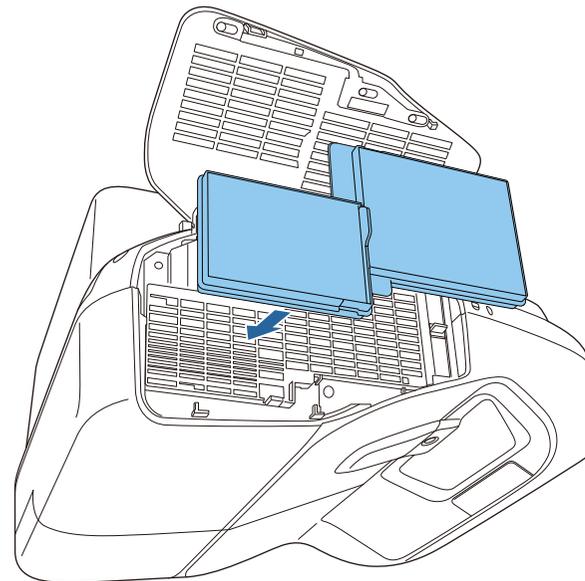
- 3** エアフィルターを取り外します。  
エアフィルター中央の突起をつまみ、まっすぐに取り出します。

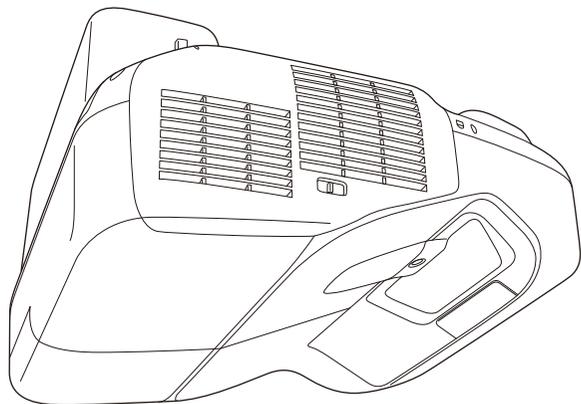
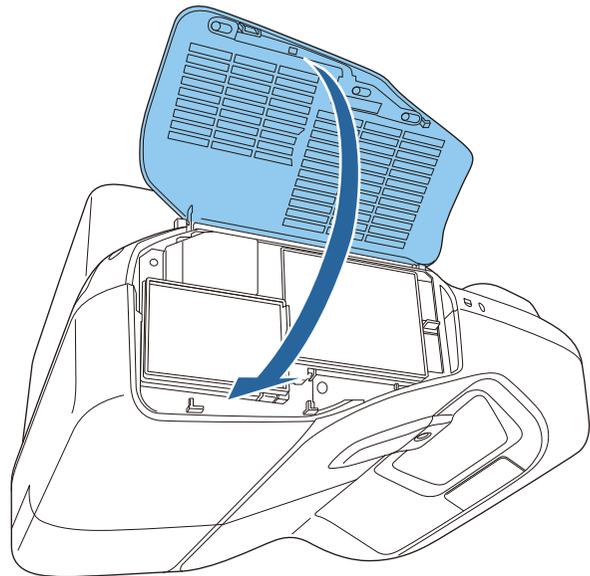


- 4** エアフィルターにたまったホコリを表側から掃除機で吸い取ります。



- 5** エアフィルターを取り付けます。



**6** エアフィルターカバーを閉めます。

- 掃除をしても頻繁にメッセージが表示される場合は交換時期です。新しいエアフィルターに交換してください。  
☛ 「エアフィルターの交換」 p.240
- 約3ヶ月に一度は掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。

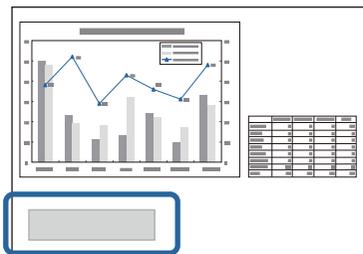
ここでは、ランプ、エアフィルターの交換方法について説明します。

## ランプの交換

### ランプの交換時期

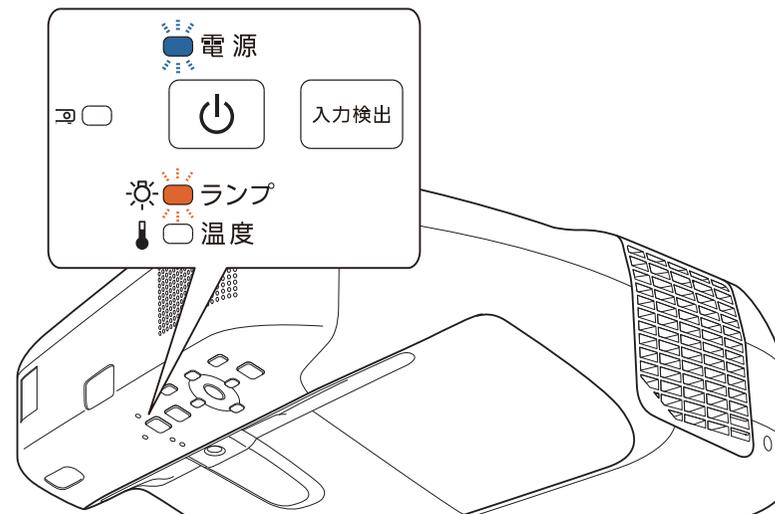
次の場合は、ランプを交換してください。

- 以下のメッセージが表示されたとき  
「ランプの交換時期です。交換用ランプの情報につきましては取扱販売店にお問い合わせいただくか、[www.epson.jp](http://www.epson.jp)をご覧ください。」



メッセージは30秒経過すると消えます。

- ランプインジケータがオレンジ色に点滅したとき



- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

## 注意

- 交換メッセージは、初期の明るさや画質を維持するため、次の時間で表示されます。  
[明るさ切替]を[高]にして使い続けた場合：約3900時間  
[明るさ切替]を[低]にして使い続けた場合：約5900時間  
☛ [節電]-[明るさ切替] p.202
- 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 電源オフ直後に電源をオンにする操作を繰り返さないでください。頻繁に電源オフ/オンを繰り返すと、ランプ寿命が短くなるおそれがあります。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお奨めします。
- プロジェクターの性能を十分に発揮するために、エプソン純正品の交換用ランプをお使いください。純正品以外のランプを使用すると、プロジェクター本体に品質面、安全面で悪影響を及ぼす可能性があります。純正品以外のランプを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内でも有償修理となります。



ランプを交換するときには、併せてエアフィルターの掃除もすることをお奨めします。

☛ 「エアフィルターの掃除」 p.233

## ランプの交換方法

本機は壁掛け・天吊り設置したままでもランプの交換ができます。

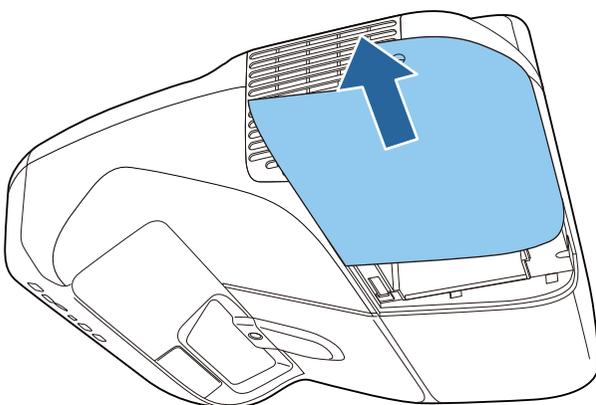
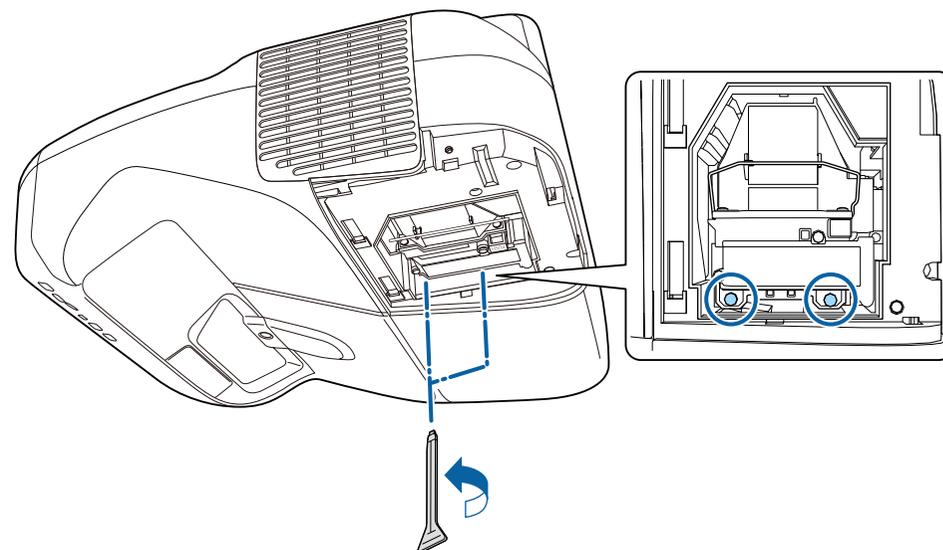
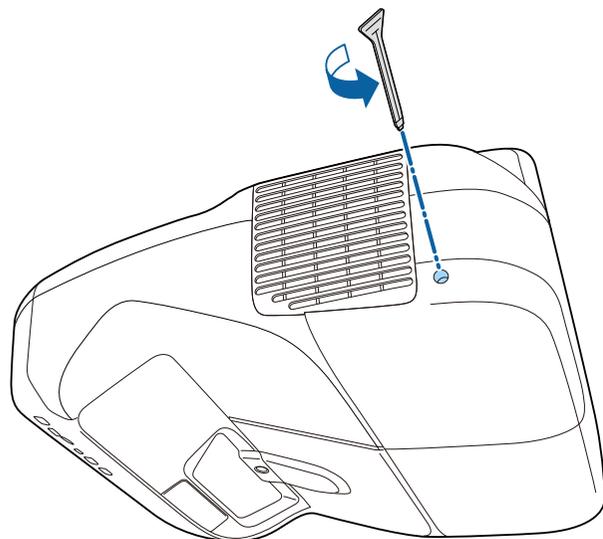
## 警告

- ランプが点灯しなくなり交換するときは、ランプが割れている可能性があります。本機を壁掛け・天吊り設置していてランプ交換を行うときは、ランプが割れていることを想定しランプカバーの真下に立たずに横から作業してください。また、ランプカバーをそっと取り外してください。ランプカバーを取り外す際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があり、けがの原因となります。万一、目や口にガラス破片が入ったときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ランプの分解・改造は、絶対にしないでください。分解・改造したランプをセットして本機を使用すると、火災・感電・事故の原因となります。

## 注意

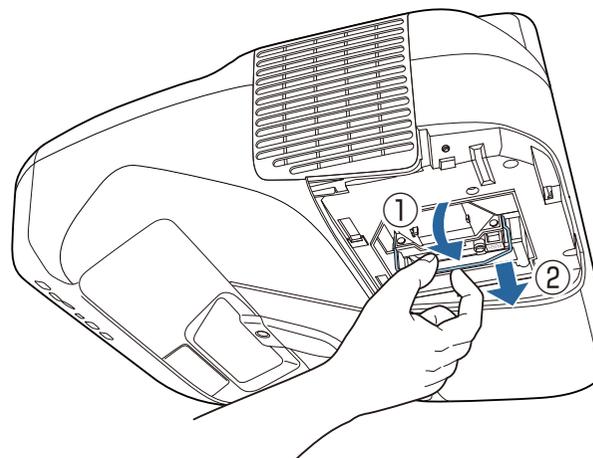
ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。ランプが十分冷えるには、電源を切ってから約1時間必要です。

- 1 本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源コードを外します。
- 2 ランプが十分冷えてから、本機上面のランプカバーを外します。ランプカバーの固定ネジを交換用ランプに同梱のドライバー、または+のドライバーでゆるめます。ランプカバーをまっすぐスライドさせて、持ち上げて外します。



- 4** 古いランプを取っ手をつまんで取り出します。  
ランプが割れているときは、お買い上げの販売店または「お問い合わせ先」に記載の連絡先にご相談ください。

☛ 『お問い合わせ先』

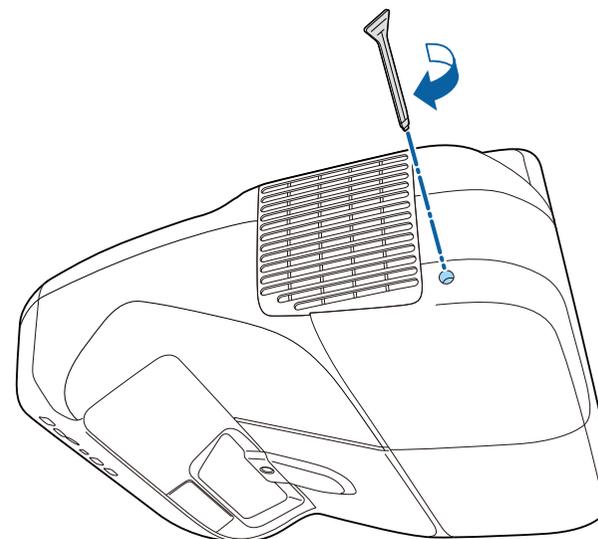
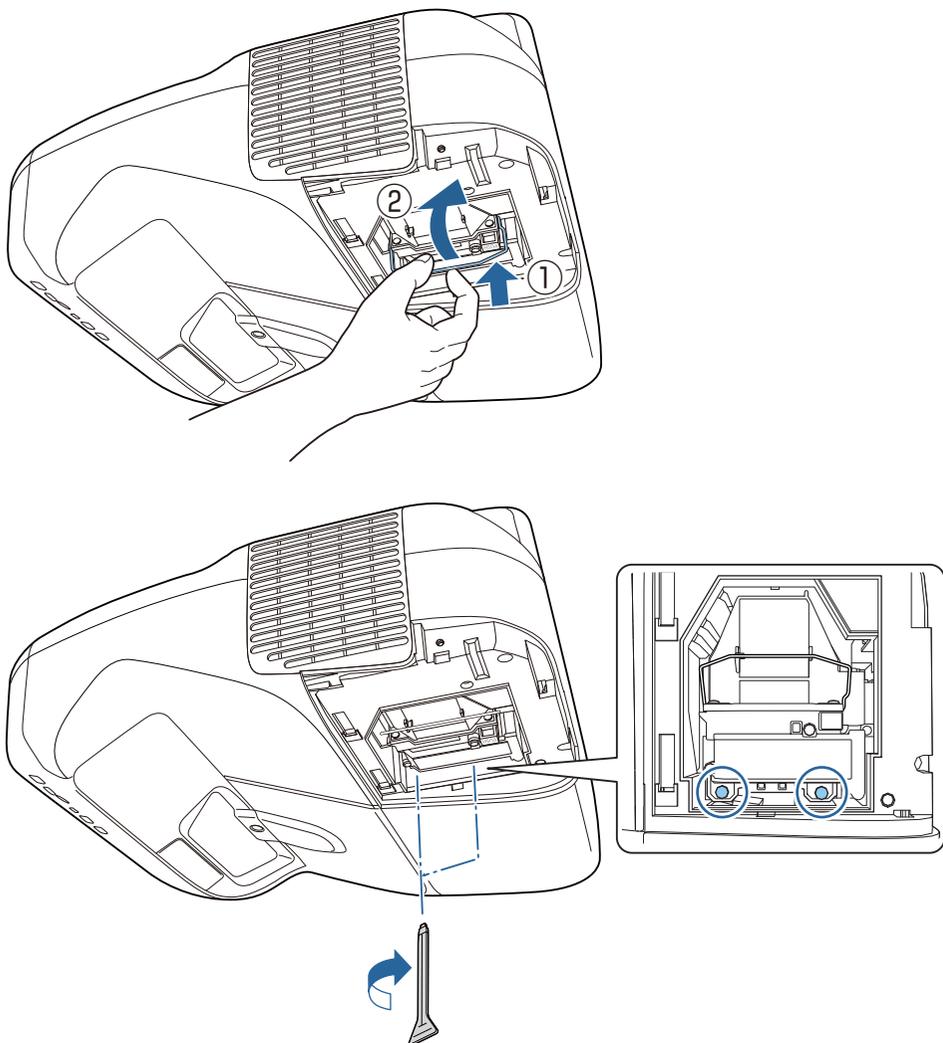


本機を壁掛けまたは天吊り設定した状態でランプ交換を行うときは、ランプカバーが落ちないように手で支えながらそっと取り外してください。

- 3** ランプ固定ネジ2本をゆるめます。

**5** 新しいランプを取り付けます。

ランプを収納部の形に合う向きでガイドレールに沿って入れ、しっかりと押し込み、取っ手を倒します。ランプ固定ネジ2本を締めます。



**注意**

- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的に電源がオフになります。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと電源が入りません。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

**ランプ点灯時間の初期化**

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達するとメッセージやインジケータでお知らせします。ランプ交換を実施した後は、環境設定メニューでランプ点灯時間の累計を初期化してください。

☛ 「初期化メニュー」 p.204

**6** ランプカバーを取り付けます。



ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外に行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

## エアフィルターの交換

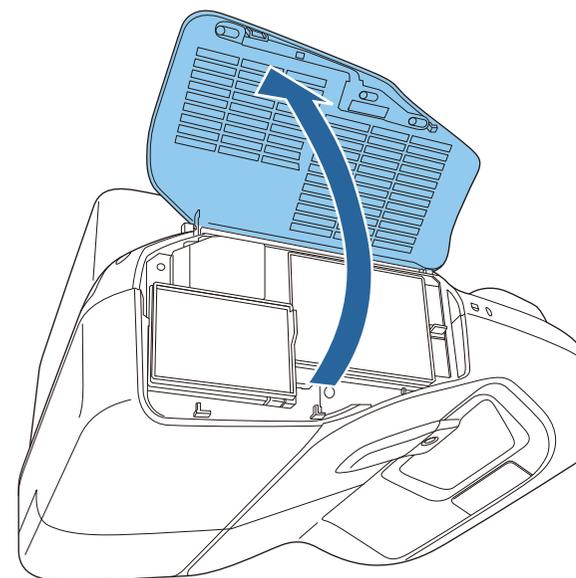
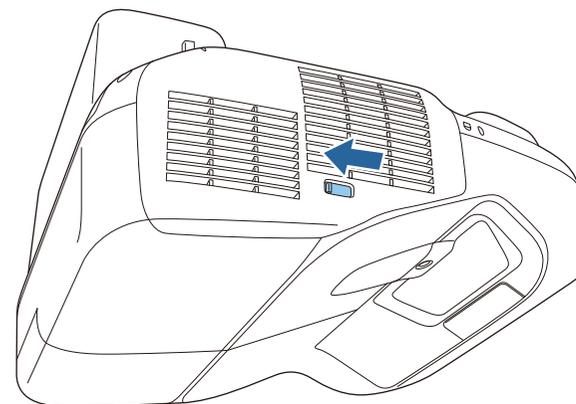
### エアフィルターの交換時期

エアフィルターの掃除をしても頻繁にメッセージが表示されるときは、エアフィルターを交換してください。

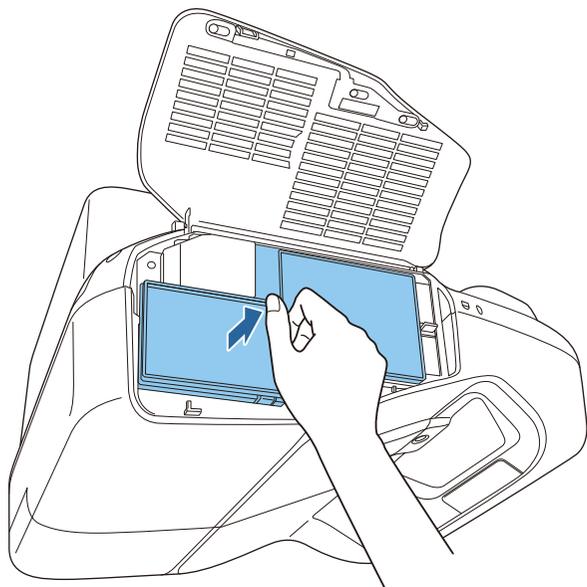
### エアフィルターの交換方法

本機は壁掛け・天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

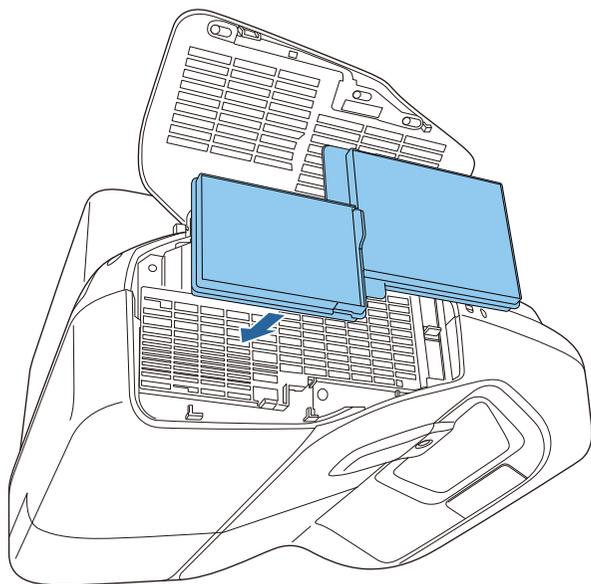
- 1** 本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源コードを外します。
- 2** エアフィルターカバーを開けます。  
エアフィルターカバーのツメを押しながらカバーを開けます。



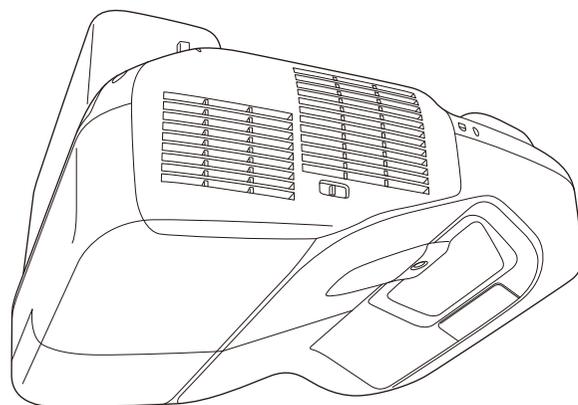
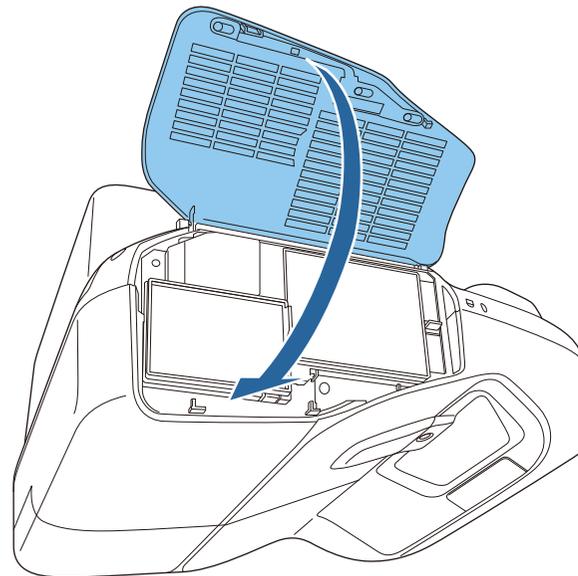
- 3** エアフィルターを取り外します。  
エアフィルター中央の突起をつまみ、まっすぐに取り出します。



**4** 新しいエアフィルターを取り付けます。



**5** エアフィルターカバーを閉めます。





使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

枠部分の材質：ポリプロピレン

フィルター部分の材質：ポリプロピレン



# 付録

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション類は2014年4月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

## オプション

### 書画カメラ ELPDC11/ELPDC12/ELPDC20

書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。

### コンピューターケーブル ELPKC02

(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用1.8m)

### コンピューターケーブル ELPKC09

(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m)

### コンピューターケーブル ELPKC10

(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m)

### D端子ケーブル ELPKC22

(ミニD-Sub 15pin/D端子用 3m)

映像機器のD端子と接続するときに使います。

### コンポーネントビデオケーブル ELPKC19

(ミニD-Sub 15pin/RCAオス×3用 3m)

コンポーネントビデオ▶▶を投写するときに使います。

### クイックワイヤレス用USBキー ELPAP09

本機とWindows搭載のコンピューターを1対1で即接続して投写するときに使います。

### 無線LANユニット ELPAP07

無線LANネットワークへ接続するときに使います。本機に同梱されている無線LANユニットと同じ製品です。

### セッティングプレート※ ELPMB43

本機を壁に掛けて設置するための金具です。

### テーブル投写金具 ELPMB29

本機を机に取り付けるための金具です。

### 天吊り金具※ ELPMB23

本機を天井に取り付けるときに使います。

### パイプ450(450mm)※ ELPPFP13

### パイプ700(700mm)※ ELPPFP14

本機を高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。

### Easy Interactive Pen ELPPN04A/ELPPN04B

インタラクティブ機能の専用ペンです。同じ型番のEasy Interactive Penは同時に使えません。

### 電子ペン延長キット ELPPE01

Easy Interactive Penに取り付けて指示棒のように使います。

### 交換用ペン先 ELPPS02

交換用のEasy Interactive Penのペン先です。

### ワイヤードリモコンケーブル ELPKC28

以下のときに使います。

- コントロールパッドとプロジェクターを接続するとき
- インタラクティブ機能を搭載したプロジェクター同士を接続するとき

※ 設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

☞ [『お問い合わせ先』](#)

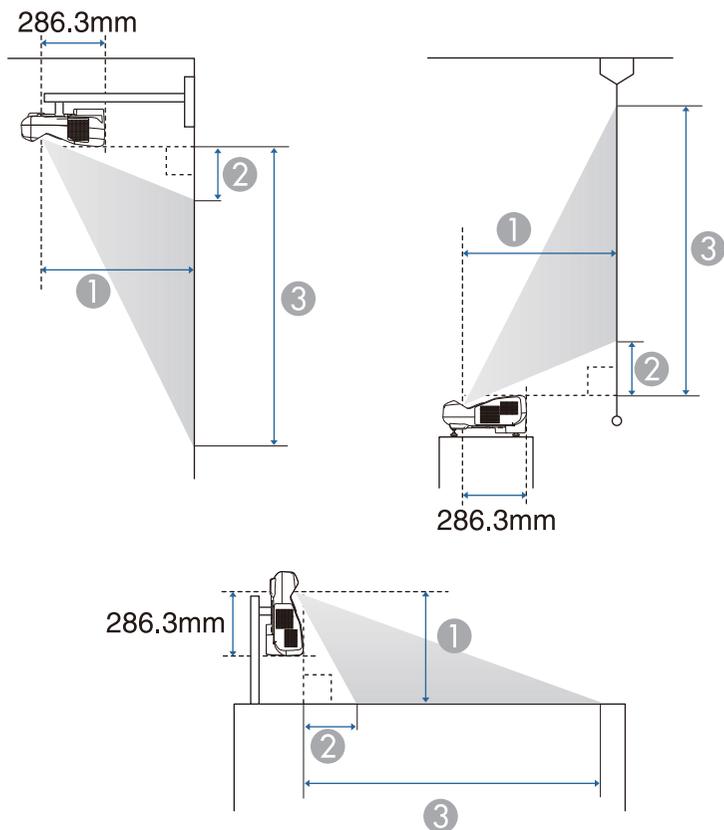
## 消耗品

### 交換用ランプ ELPLP80

使用済みランプと交換します。

### エアフィルター ELPAF40

使用済みエアフィルターと交換します。



① 投写距離

② 本機からスクリーン上端までの長さ(壁掛け・天吊り・縦に設置する場合)

本機からスクリーン下端までの長さ(机などに設置する場合)

③ 本機からスクリーン下端までの長さ(壁掛け・天吊り・縦に設置する場合)

本機からスクリーン上端までの長さ(机などに設置する場合)

単位：cm

16:10スクリーンサイズ		①	②	③
		最短(ワイド)~最長(テレ)	最短(ワイド)	最短(ワイド)
60型	129x81	35 ~ 48	9	90
70型	151x94	41 ~ 56	12	106
80型	172x108	47 ~ 60	14	122
90型	194x121	53 ~ 60	17	138
100型	215x135	60*	20	154

※ ワイド(ズーム最大)で投写してください。

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		①	②	③
		最短(ワイド)~最長(テレ)	最短(ワイド)	最短(ワイド)
53型	108x81	35 ~ 48	9	90
60型	122x91	40 ~ 55	11	103
70型	142x107	47 ~ 60	14	121
80型	163x122	54 ~ 60	17	139
88型	179x134	59 ~ 60	20	154

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		①	②	③
		最短(ワイド)~最長(テレ)	最短(ワイド)	最短(ワイド)
59型	131x74	35 ~ 48	13	87
60型	133x75	36 ~ 49	14	88
70型	155x87	42 ~ 58	17	104
80型	177x100	49 ~ 60	21	120

16:9スクリーンサイズ		①	②	③
		最短(ワイド)～最長(テレ)	最短(ワイド)	最短(ワイド)
90型	199x112	55 ~ 60	24	136
97型	215x121	60※	26	147

※ ワイド(ズーム最大)で投写してください。

## 対応解像度

### コンピューター映像(アナログRGB)

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60/72/75/85	640x480
SVGA	56/60/72/75/85	800x600
XGA	60/70/75/85	1024x768
WXGA	60	1280x768
	60	1366x768
	60/75/85	1280x800
WXGA+	60/75/85	1440x900
WXGA++	60	1600x900
SXGA	70/75/85	1152x864
	60/75/85	1280x960
	60/75/85	1280x1024
SXGA+	60/75	1400x1050
WSXGA+※1	60	1680x1050
UXGA	60	1600x1200
MAC13"	67	640x480
MAC16"	75	832x624
MAC19"	75	1024x768
	59	1024x768
MAC21"	75	1152x870

※1 環境設定メニューの[入力解像度]で[ワイド]を選択しているときに限り対応します。

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写することができます。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

## コンポーネントビデオ

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
SDTV(480i)	60	720x480
SDTV(576i)	50	720x576
SDTV(480p)	60	720x480
SDTV(576p)	50	720x576
HDTV(720p)	50/60	1280x720
HDTV(1080i)	50/60	1920x1080

## コンポジットビデオ

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
TV(NTSC)	60	720x480
TV(SECAM)	50	720x576
TV(PAL)	50/60	720x576

## HDMI入力端子からの入力信号

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60	640x480
SVGA	60	800x600
XGA	60	1024x768
WXGA	60	1280x800
	60	1366x768
WXGA+	60	1440x900
WXGA++	60	1600x900
WSXGA+	60	1680x1050
SXGA	60	1280x960

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
	60	1280x1024
SXGA+	60	1400x1050
UXGA	60	1600x1200
SDTV(480i/480p)	60	720x480
SDTV(576i/576p)	50	720x576
HDTV(720p)	50/60	1280x720
HDTV(1080i)	50/60	1920x1080
HDTV(1080p)	24/30/50/60	1920x1080

### MHL入力端子からの入力信号

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60	640x480
SDTV(480i/480p)	60	720 x 480
SDTV(576i/576p)	50	720 x 576
HDTV(720p)	50/60	1280 x 720
HDTV(1080i)	50/60	1920 x 1080
HDTV(1080p)	24/30	1920 x 1080

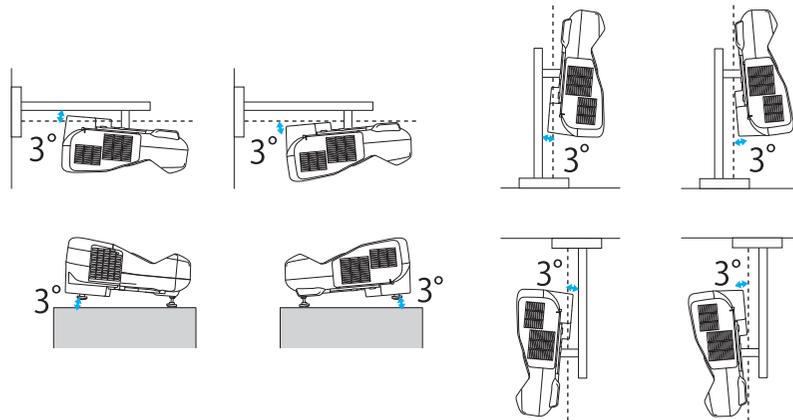
## 本機仕様

商品名		EB-1430WT	EB-1420WT
外形サイズ		幅367x高さ155x奥行き375mm(突起部含まず)	
液晶パネルサイズ		0.59型ワイド	
表示方式		ポリシリコンTFT アクティブマトリクス	
画素数		1,024,000個 WXGA(横1280x縦800 ドット)x3	
フォーカス調整		手動	
ズーム調整		デジタル(1-1.35)	
ランプ		UHEランプ 定格245W 型番：ELPLP80	
音声最大出力		16W	
スピーカー		1個	
電源		100-240V AC±10% 50/60Hz 3.8-1.7A	
消費電力	100-120Vエリア	定格消費電力：384W 待機時消費電力(通信オン)：2.4W 待機時消費電力(通信オフ)：0.31W	
	220-240Vエリア	定格消費電力：365W 待機時消費電力(通信オン)：2.5W 待機時消費電力(通信オフ)：0.42W	
動作高度		標高 0～3000m	
動作温度範囲		+5～+35℃(結露しないこと)(標高 0～2286m) +5～+30℃(結露しないこと)(標高 2287～3000m)	
保存温度範囲		-10～+60℃(結露しないこと)	
質量		約5.6kg	

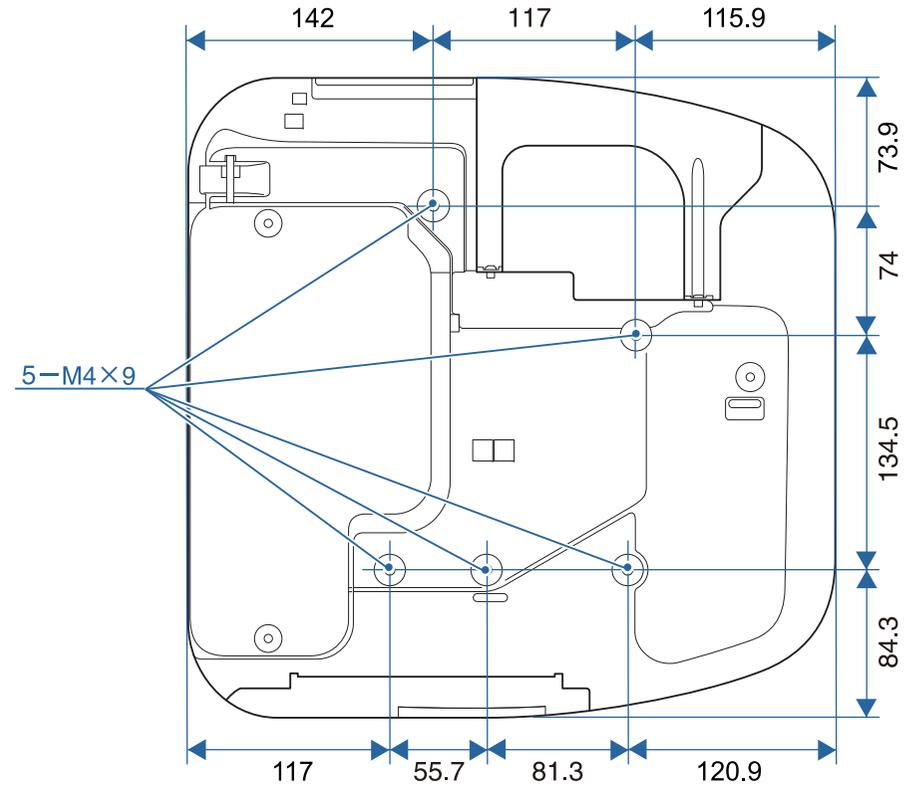
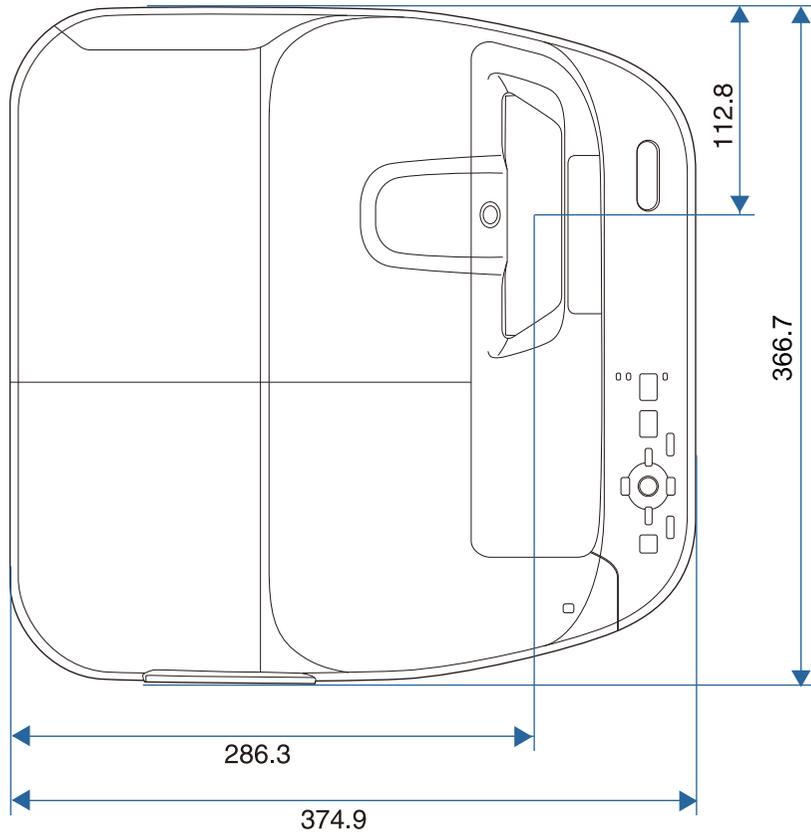
接続端子	コンピューター入力端子	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス)
	ビデオ入力端子	1系統	RCAピンジャック
	音声入力1端子	1系統	ステレオミニピンジャック
	音声入力2端子	1系統	ステレオミニピンジャック
	音声入力3端子	1系統	ステレオミニピンジャック
	音声出力端子	1系統	ステレオミニピンジャック
	リモート端子	1系統	ステレオミニピンジャック
	モニター出力端子	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス)
	HDMI1/MHL入力端子	1系統	HDMI(音声はPCMにのみ対応)
	HDMI2入力端子	1系統	HDMI(音声はPCMにのみ対応)
	USB-A端子※	2系統	USBコネクタ(Aタイプ)
	USB-B端子※	1系統	USBコネクタ(Bタイプ)
	USB端子 (無線LANユニット専用)	1系統	USBコネクタ(Aタイプ)
	LAN端子	1系統	RJ-45
	RS-232C端子	1系統	ミニD-Sub 9pin(オス)
	SYNC端子	2系統	ステレオミニピンジャック
TCH端子(EB-1430WTのみ)	1系統	ミニDIN 8pin	

※ USB2.0に対応しています。ただし、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

## 傾斜角度

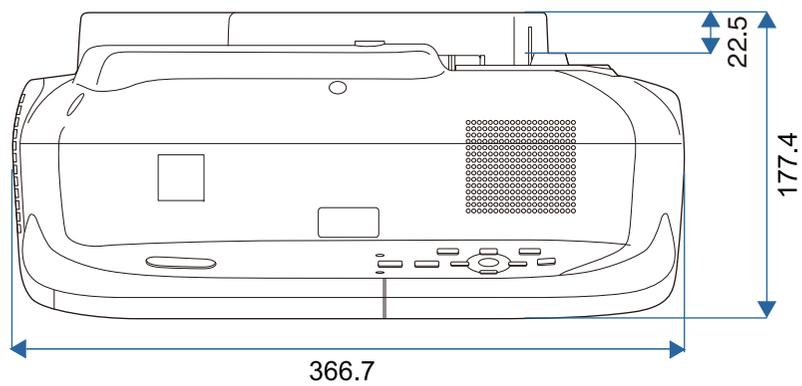


3°以上傾けてお使いになると、故障や事故の原因となります。

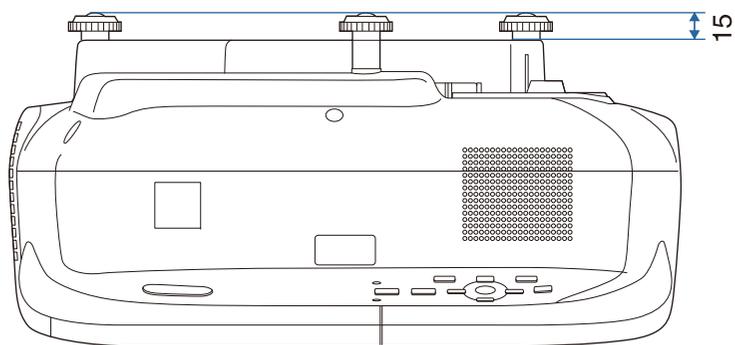


単位：mm

フットなし



フットあり



単位：mm

本書で使用している用語で、本文中に説明がないものや難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

<b>AMX Device Discovery</b>	AMX Device Discoveryとは、AMX社のコントロールシステムとその対象機器の構成を容易にする、AMX社の提唱する技術です。エプソンでは、その技術のプロトコルを導入して、そのプロトコル機能を有効(ON)にできる設定を用意しました。詳細に関しては、AMX社のWebサイトを参照してください。 URL <a href="http://www.amx.com/">http://www.amx.com/</a>
<b>DHCP</b>	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、 <a href="#">IPアドレス</a> を自動的に割り当てるプロトコルのことです。
<b>DICOM</b>	Digital Imaging and Communication in Medicineの略称です。医用画像の画像規格および通信プロトコルを定義した世界標準規格です。
<b>HDCP</b>	High-bandwidth Digital Content Protectionの略でDVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。本機のHDMI入力端子はHDCPに対応しているためHDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
<b>HDTV</b>	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 垂直解像度720p、1080i以上(pは<a href="#">プログレッシブ</a>走査、iは<a href="#">インターレース</a>走査)</li> <li>● 画面のアスペクト比は16:9</li> </ul>
<b>IPアドレス</b>	ネットワークに接続されたコンピューターを識別するための数字のことです。
<b>MHL</b>	Mobile High-definition Linkの略で、スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末をターゲットにした接続インターフェースの規格です。 デジタル信号を圧縮せず高品質のまま高速で伝送し、端末への電源供給も行います。
<b>SDTV</b>	Standard Definition Televisionの略で、 <a href="#">HDTV</a> の条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
<b>SNMP</b>	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいてルーターやコンピューター、端末などネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
<b>sRGB</b>	各画像装置が表現する色をコンピューターのオペレーティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定します。
<b>SSID</b>	SSIDは、無線LANの環境で相手と接続するための識別データです。SSIDが一致している機器同士で無線通信できます。
<b>SVGA</b>	画面サイズの規格で、横800ドットx縦600ドットのことを呼びます。
<b>SXGA</b>	画面サイズの規格で、横1,280ドットx縦1,024ドットのことを呼びます。
<b>VGA</b>	画面サイズの規格で、横640ドットx縦480ドットのことを呼びます。
<b>WPS(Wi-Fi Protected Setup)</b>	Wi-Fi Allianceで無線LANの設定や暗号化が簡単にできるように策定した規格です。
<b>XGA</b>	画面サイズの規格で、横1,024ドットx縦768ドットのことを呼びます。

アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。横：縦の比率が16：9の、HDTVなどの画面をワイド画面といいます。SDTVや、一般的なコンピュータのディスプレイのアスペクト比は4：3です。
アドホックモード	無線LANの通信方式の一つで、アクセスポイントを経由せずに機器同士が直接通信を行う方式です。
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へ1つ飛ばしに伝送します。1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき(フリッカー)が出やすくなります。
インフラストラクチャーモード	無線LANの通信方式の一つで、各機器がアクセスポイントを経由して通信を行います。
ゲートウェイアドレス	サブネットマスク▶▶によって分割したネットワーク(サブネット)を超えて通信するためのサーバー(ルーター)のことです。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
コンポーネントビデオ	映像信号を、輝度信号(Y)や青色差信号(CbまたはPb)と赤色差信号(CrまたはPr)に分離して伝送する方式です。
コンジットビデオ	映像信号の輝度信号や色信号を、1本のケーブルで伝送する方式です。
サブネットマスク	IPアドレスから、分割したネットワーク(サブネット)のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
同期	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
トラッキング	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数に本機の周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
トラップIPアドレス	SNMPで異常を通知する場合の、通知先のコンピューターのIPアドレス▶▶のことです。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を一度で映し出して1フレーム分の映像を表示します。そのため走査線の本数が同じでもインターレースと比べて時間あたりの情報量が2倍になるためちらつきが少ない映像になります。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で表します。

## ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

## 使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

## 本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源コードは販売国の電源仕様にに基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にしてお求めください。

## 瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

## JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

## 電波法による規制

電波法により次の行為は禁止されています。

- 改造および分解の禁止(アンテナ部分を含む)
- 適合証明ラベルの剥離

## 表記について

Microsoft® Windows® 2000 operating system  
Microsoft® Windows® XP operating system  
Microsoft® Windows Vista® operating system  
Microsoft® Windows® 7 operating system  
Microsoft® Windows® 8 operating system  
Microsoft® Windows® 8.1 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Vista」、「Windows 7」、「Windows 8」、「Windows 8.1」と表記しています。また、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1を総称する場合はWindows、複数のWindowsを併記する場合はWindows 2000/XP/Vista/7/8/8.1のように、Windowsの表記を省略することがあります。

Mac OS X 10.3.x

Mac OS X 10.4.x

Mac OS X 10.5.x

Mac OS X 10.6.x

OS X 10.7.x

OS X 10.8.x

OS X 10.9.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Mac OS X 10.3.x」、「Mac OS X 10.4.x」、「Mac OS X 10.5.x」、「Mac OS X 10.6.x」、「OS X 10.7.x」、「OS X 10.8.x」、「OS X 10.9.x」と表記しています。またこれらを総称する場合は「OS X」と表記します。

## 商標について

EPSONおよびELPLPはセイコーエプソン株式会社の商標または登録商標です。

Mac、Mac OS、OS Xは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Windows ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

eneloop®はパナソニックグループの登録商標です。

WPA™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの登録商標です。

App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

Google playは、Google Inc.の商標です。

本製品は、RSA Security Inc.のRSA,BSAFE™ソフトウェアを搭載しています。RSAはRSA Security Inc.の登録商標です。BSAFEはRSA Security Inc.の米国および他の国における登録商標です。

HDMIとHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI LicensingLLCの商標、または登録商標です。 

MHLとMHLのロゴ、及びMobile High-Definition Linkは、米国およびその他の国におけるMHL、LLCの商標または登録商標です。

PJLinkは、日本、米国、その他の国や地域における商標または登録商標です。

Foxit PDF SDK Copyright ©2011, Foxit Software Company [www.foxitsoftware.com](http://www.foxitsoftware.com), All rights reserved.

CrestronおよびCrestron RoomViewは、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。